

外国人材
就労意識調査

報告書

令和2年3月

広島県

目次

第一章 調査概要.....	1
第二章 調査結果の概要と分析.....	4
1. 就労環境・就労に対する意識.....	4
(1) 職場での課題について.....	4
(2) 今後の日本における就労意向について.....	5
2. 生活環境・地域交流.....	8
(1) 生活上の課題.....	8
(2) 公的窓口の認知度について.....	9
(3) 情報の入手や伝達について.....	9
(4) 求める生活関連情報.....	10
(5) 将来家族と日本で生活する際に不安に感じること.....	10
(6) 広島県に対する評価について.....	10
(7) 地域との交流について.....	12
(8) 一般外国人に対する調査との比較.....	14
3. 今後の外国人材受入対策における課題.....	14
第三章 アンケート調査結果.....	16
1. 調査結果（技能実習生）.....	16
(1) 回答者属性.....	16
(2) 現在の職場における就労環境について.....	18
(3) 今後の日本での就労意向について.....	27
(4) 日本語の学習について.....	37
(5) 技能実習生の普段の生活状況について.....	40
(6) 日本人との交流状況.....	58
(7) 広島県に対する評価.....	61
2. 調査結果（留学生）.....	64
(1) 回答者属性.....	64
(2) 留学の状況.....	66
(3) アルバイト先における就労環境について（留学生のみ）.....	71
(4) 修了後の就労において求める条件等.....	80
(5) 日本語の学習について.....	88
(6) 日本語学校生等の普段の生活状況について.....	93
(7) 日本人との交流状況.....	118
(8) 広島県に対する評価.....	122
3. 調査結果（一般外国人）.....	126
(1) 回答者属性.....	126

(2) 修了後の就労において求める条件等	127
(3) 日本語の学習について	130
(4) 一般外国人の普段の生活状況について	133
(5) 日本人との交流状況	138
(6) 広島県に対する評価	139
第四章 グループインタビュー調査結果	141
1. 調査対象者	141
2. 調査結果	142
第五章 調査資料	152
1. 技能実習生向け調査票	152
2. 留学生及び一般外国人向け調査票	162

第一章 調査概要

(1) 調査目的

広島県内企業で就労する技能実習生や、広島県内教育機関に通う留学生等の今後の就労意向や就労する場合の条件、課題、現在の生活実態等を調査し、今後の取り組みにおける検討の基礎資料を作成することを目的とする。

(2) 調査対象

【郵送調査】

- ①広島県内の企業で就労する技能実習生 2,402 人
- ②広島県内の日本語教育機関等及び大学等に在籍する留学生 2,064 人
(日本語教育機関等：979 人 大学等：1,085 人)
- ③公益財団法人ひろしま国際センターへの来所者（相談窓口及びその他一般外国人） 86 人

(3) 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査
- ・グループインタビュー調査

(4) 回収状況等

【郵送アンケート調査】

		対象者数（人）	回収数（人）	回収率（％）
①技能実習生		2,402	1,311	54.6%
②留学生	日本語教育機関等	979	610	62.3%
	大学生等	1,085	261	24.1%
③一般外国人		86	50	58.1%

※集計対象者の定義については、「(8) 備考」に記載

【グループインタビュー調査】

- ①広島県内の企業で就労する技能実習生 9 名
- ②広島県内の日本語教育機関及び大学に在籍する留学生 21 名
(日本語教育機関 15 名 大学：6 名)

(5) 調査期間

【郵送調査】

令和元年 9 月 4 日～令和元年 10 月 24 日

【グループインタビュー調査】

令和元年 12 月 3 日～令和元年 12 月 13 日

(6) 実施機関

株式会社日本統計センター

(7) 調査結果の見方

調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はNで示している（各質問における無回答者を除外した回答者の総数を示している）。

回答率(%)については、小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。

出身国、在留期間、日本語習熟度などの内訳を表示している場合、属性について未回答である者が存在するため、内訳の合計は全体の合計と必ずしも一致しないことがある。

(8) 備考

■技能実習生の定義

在留資格が「技能実習」であり、居住地域及び就業地域を広島県内としている1,311人を「技能実習生」として集計対象とした。

出身国	ベトナム	中国	フィリピン	インドネシア	その他	不明	合計
集計対象	498人	498人	150人	101人	55人	9人	1,311人

■日本語学校生等の定義

在留資格が「留学」かつ現在の留学先が県内の「専修学校専門課程（専門学校）」及び「日本語教育機関（日本語学校）」と回答した610人を「日本語学校生等」として集計対象とした。

国籍	ベトナム	中国	ネパール	その他	不明	合計
集計対象	425人	83人	50人	50人	2人	610人

■大学生等の定義

在留資格が「留学」かつ現在の留学先が県内の「大学院（博士コース、修士コース）」、「専門職大学院課程」、「大学の学部正規課程」、「短期大学」、「準備教育課程」、「その他（研究生等）」と回答した261人を「大学生等」として集計対象とした。

国籍	ベトナム	中国	その他	不明	合計
集計対象	58人	151人	52人	0人	261人

■一般外国人の定義

在留資格が「留学」以外と回答した対象者50名を「一般外国人」として集計対象とした。

国籍	ベトナム	中国	その他	不明	合計
集計対象	13人	16人	19人	2人	50人

■就業地域及び居住地域の集約について

就業地域及び居住地域を以下の4地域に集約し、集計を行った。

北部地域：三次市、庄原市、安芸高田市、安芸太田町、北広島町
 東部地域：三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町
 中部地域：呉市、竹原市、東広島市、江田島市、大崎上島町
 西部地域：広島市、大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町

■日本語の習熟度による集計について

本調査では、外国人が自覚している日本語習熟度による就労・生活環境の課題などの傾向をみるため、日本語能力に関する設問の回答結果をもとに、日本語の習熟度を「習熟度【高】」、「習熟度【中】」、「習熟度【低】」の3段階に分類し、集計を行った。よって、本調査の習熟度の分類は、試験等の結果に基づく客観的な指標ではない。

なお、日本語の習熟度分類における定義は、以下のとおりである。

手順①：日本語能力に関する設問の結果を集約

技能実習生における調査票のQ19、留学生・一般外国人における調査票のQ22の各設問において、「会話」、「読み」、「書き」の回答結果を下表の区分により「できる」、「できない」に類別した。

	「できる」	「できない」
①日本語で会話する	「3.できる」と回答	「1.ほとんどできない」、「2.少しできる」と回答
②ひらがな・カタカナを読む	「3.できる」と回答	「1.ほとんどできない」、「2.少しできる」と回答
③漢字を読む	「3.できる」と回答	「1.ほとんどできない」、「2.少しできる」と回答
④ひらがな・カタカナで書く	「3.できる」と回答	「1.ほとんどできない」、「2.少しできる」と回答
⑤漢字を使って日本語を書く	「3.できる」と回答	「1.ほとんどできない」、「2.少しできる」と回答

手順②：類別した区分「できる」、「できない」に該当する回答の個数に応じて、日本語の習熟度に分類
 手順①で集約したカテゴリの個数に応じて、以下のように日本語の習熟度を分類した。

日本語の習熟度	類別した区分に該当する回答の個数
①習熟度【高】	「できる」が4個以上
②習熟度【中】	「できる」が2個または3個
③習熟度【低】	「できる」が1個以下



◆対象者別日本語習熟度の分類結果

	①習熟度【高】	②習熟度【中】	③習熟度【低】
技能実習生	8.8% (98人/1,120人)	59.1% (662人/1,120人)	32.1% (360人/1,120人)
日本語学校生等	28.5% (153人/537人)	58.8% (316人/537人)	12.7% (68人/537人)
大学生等	70.6% (175人/248人)	20.2% (50人/248人)	9.3% (23人/248人)

※ () 内は、それぞれの実数値

第二章 調査結果の概要と分析

1. 就労環境・就労に対する意識

(1) 職場での課題について

- 技能実習生、日本語学校生等、大学生等の6～7割が職場^{※1}において何らかの課題を抱えている。
- 主な課題は、「方言がわからない」（各25%前後）をはじめ、職場でのコミュニケーションに関する課題が多い。
- 在留期間が短く、日本語の習熟度^{※2}が低いほど、職場の困りごとが多い傾向がある。ヒアリング調査においても、来日当初は「専門用語がわからない」、「指示が聞き取れない」など困ることがあり、同僚等のサポートにより解決したという声が聞かれた。

【職場で困っていること（在留期間別、複数回答）】

(上段:実数、下段:%)

	回答者数	仕事が難しい	仕事が多い	仕事で必要な日本語が聞き取れない	仕事で必要な日本語が話せない	仕事で必要な日本語が読めない	仕事で必要な日本語が書けない	仕事で必要な専門的な言葉がわからない	方言（広島独特のことば）がわからない	会社の人と日本語でコミュニケーションが取れない	会社のルールが理解できない	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
技能実習生	1,271	45	52	165	130	95	54	94	315	220	25	78	472	64
	100.0	3.5	4.1	13.0	10.2	7.5	4.2	7.4	24.8	17.3	2.0	6.1	37.1	5.0
1年未満	315	19	8	92	46	41	14	40	103	66	3	8	78	10
	100.0	6.0	2.5	29.2	14.6	13.0	4.4	12.7	32.7	21.0	1.0	2.5	24.8	3.2
1年	282	6	11	33	32	28	17	24	63	46	0	17	109	19
	100.0	2.1	3.9	11.7	11.3	9.9	6.0	8.5	22.3	16.3	0.0	6.0	38.7	6.7
2年	436	14	19	28	33	17	12	15	100	84	15	32	169	24
	100.0	3.2	4.4	6.4	7.6	3.9	2.8	3.4	22.9	19.3	3.4	7.3	38.8	5.5
3年	178	3	12	9	16	6	8	12	39	20	6	15	85	7
	100.0	1.7	6.7	5.1	9.0	3.4	4.5	6.7	21.9	11.2	3.4	8.4	47.8	3.9
4年以上	40	2	2	0	1	2	2	1	5	3	1	4	23	3
	100.0	5.0	5.0	0.0	2.5	5.0	5.0	2.5	12.5	7.5	2.5	10.0	57.5	7.5
日本語学校生等	546	24	42	84	93	52	41	114	129	58	12	39	147	23
	100.0	4.4	7.7	15.4	17.0	9.5	7.5	20.9	23.6	10.6	2.2	7.1	26.9	4.2
1年未満	207	8	18	43	53	27	15	55	51	34	3	13	43	5
	100.0	3.9	8.7	20.8	25.6	13.0	7.2	26.6	24.6	16.4	1.4	6.3	20.8	2.4
1年	177	6	16	29	25	15	17	36	38	16	5	13	50	5
	100.0	3.4	9.0	16.4	14.1	8.5	9.6	20.3	21.5	9.0	2.8	7.3	28.2	2.8
2年	96	5	6	9	8	7	5	17	29	4	2	9	31	8
	100.0	5.2	6.3	9.4	8.3	7.3	5.2	17.7	30.2	4.2	2.1	9.4	32.3	8.3
3年	32	0	2	2	1	1	2	4	9	1	1	3	9	4
	100.0	0.0	6.3	6.3	3.1	3.1	6.3	12.5	28.1	3.1	3.1	9.4	28.1	12.5
4年以上	31	5	0	0	5	1	1	2	1	3	1	1	13	1
	100.0	16.1	0.0	0.0	16.1	3.2	3.2	6.5	3.2	9.7	3.2	3.2	41.9	3.2
大学生等	179	3	15	9	14	6	2	36	45	9	5	14	73	8
	100.0	1.7	8.4	5.0	7.8	3.4	1.1	20.1	25.1	5.0	2.8	7.8	40.8	4.5
1年未満	17	0	3	4	6	2	1	6	6	1	0	3	3	0
	100.0	0.0	17.6	23.5	35.3	11.8	5.9	35.3	35.3	5.9	0.0	17.6	17.6	0.0
1年	13	1	0	3	2	2	0	5	5	2	1	0	3	0
	100.0	7.7	0.0	23.1	15.4	15.4	0.0	38.5	38.5	15.4	7.7	0.0	23.1	0.0
2年	39	0	2	0	2	0	1	7	14	1	3	1	16	3
	100.0	0.0	5.1	0.0	5.1	0.0	2.6	17.9	35.9	2.6	7.7	2.6	41.0	7.7
3年	61	2	6	2	4	1	0	11	14	5	1	7	23	3
	100.0	3.3	9.8	3.3	6.6	1.6	0.0	18.0	23.0	8.2	1.6	11.5	37.7	4.9
4年以上	49	0	4	0	0	1	0	7	6	0	0	3	28	2
	100.0	0.0	8.2	0.0	0.0	2.0	0.0	14.3	12.2	0.0	0.0	6.1	57.1	4.1

※在留期間の不明となっている回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しない。

※1 技能実習生については実習先、日本語学校生等及び大学生等についてはアルバイト先。

※2 調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分。現実の日本語能力と必ずしも一致していない。

第二章 調査結果の概要と分析

【職場で困っていること（日本語習熟度別、複数回答）】

(上段:実数、下段:%)

	回答者数	仕事が難しい	仕事が多い	仕事で必要な日本語が聞き取れない	仕事で必要な日本語が話せない	仕事で必要な日本語が読めない	仕事で必要な日本語が書けない	仕事で必要な専門的な言葉がわからない	方言（広島特有のことば）がわからない	会社の人と日本語でコミュニケーションが取れない	会社のルールが理解できない	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
技能実習生	1,271	45	52	165	130	95	54	94	315	220	25	78	472	64
	100.0	3.5	4.1	13.0	10.2	7.5	4.2	7.4	24.8	17.3	2.0	6.1	37.1	5.0
日本語習熟度【低】	349	18	17	46	42	23	18	32	92	87	10	26	106	15
	100.0	5.2	4.9	13.2	12.0	6.6	5.2	9.2	26.4	24.9	2.9	7.4	30.4	4.3
日本語習熟度【中】	646	20	24	78	58	53	29	46	162	96	12	30	252	40
	100.0	3.1	3.7	12.1	9.0	8.2	4.5	7.1	25.1	14.9	1.9	4.6	39.0	6.2
日本語習熟度【高】	95	2	2	7	5	4	0	3	22	8	1	7	52	3
	100.0	2.1	2.1	7.4	5.3	4.2	0.0	3.2	23.2	8.4	1.1	7.4	54.7	3.2
日本語学校生等	546	24	42	84	93	52	41	114	129	58	12	39	147	23
	100.0	4.4	7.7	15.4	17.0	9.5	7.5	20.9	23.6	10.6	2.2	7.1	26.9	4.2
日本語習熟度【低】	53	4	3	12	21	6	5	7	8	5	0	2	12	3
	100.0	7.5	5.7	22.6	39.6	11.3	9.4	13.2	15.1	9.4	0.0	3.8	22.6	5.7
日本語習熟度【中】	305	13	23	44	49	35	29	63	79	37	4	19	78	13
	100.0	4.3	7.5	14.4	16.1	11.5	9.5	20.7	25.9	12.1	1.3	6.2	25.6	4.3
日本語習熟度【高】	129	1	11	18	16	3	4	35	33	10	5	14	43	5
	100.0	0.8	8.5	14.0	12.4	2.3	3.1	27.1	25.6	7.8	3.9	10.9	33.3	3.9
大学生等	179	3	15	9	14	6	2	36	45	9	5	14	73	8
	100.0	1.7	8.4	5.0	7.8	3.4	1.1	20.1	25.1	5.0	2.8	7.8	40.8	4.5
日本語習熟度【低】	7	0	1	0	0	1	0	1	3	0	0	0	2	0
	100.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
日本語習熟度【中】	29	0	2	2	7	4	1	6	9	3	0	1	7	2
	100.0	0.0	6.9	6.9	24.1	13.8	3.4	20.7	31.0	10.3	0.0	3.4	24.1	6.9
日本語習熟度【高】	132	2	11	6	4	0	0	27	32	5	4	11	61	6
	100.0	1.5	8.3	4.5	3.0	0.0	0.0	20.5	24.2	3.8	3.0	8.3	46.2	4.5

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

○ 職場の困りごとの相談相手は、

- 技能実習生 会社の日本人 46.2% (598人/1,295人)、同じ国出身の同僚 45.1% (584人/1,295人)
- 日本語学校生等 学校等の友人 51.9% (286人/551人)、会社の日本人 50.5% (278人/551人)
- 大学生等 学校等の友人 59.4% (107人/180人)、会社の日本人 47.8% (86人/180人)

○ 同じ国出身の同僚や頼りになる日本人従業員の存在が就労環境に大きく影響すると考えられる。

【活用したい在留資格】

(上段:実数、下段:%)

(2) 今後の日本における就労意向について

① 就労意向の有無

- ほとんどの外国人材が引き続き日本に滞在して就労を希望している。

《就労希望「あり」の回答の割合》

- 技能実習生 81.4% (1,040人/1,277人)
- 日本語学校生等 95.6% (562人/588人)
- 大学生等 82.4% (202人/245人)

② 活用したい在留資格

- 技能実習生は、半数以上が特定技能を視野に入れている。

- 日本語学校生等、大学生等は、7～8割程度が専門的・技術的分野の在留資格（技術・人文知識・国際業務）での就労を希望している。

	回答者数	専門的・技術的分野（人文・技術的・分国際・業技）	特定技能	その他の在留資格	在留資格についてわからない
技能実習生	1,214	291	677	107	271
	100.0	24.0	55.8	8.8	22.3
ベトナム	456	104	262	50	89
	100.0	22.8	57.5	11.0	19.5
中国	458	156	189	29	149
	100.0	34.1	41.3	6.3	32.5
フィリピン	144	16	119	8	7
	100.0	11.1	82.6	5.6	4.9
インドネシア	98	2	78	19	8
	100.0	2.0	79.6	19.4	8.2
その他	50	12	25	0	14
	100.0	24.0	50.0	0.0	28.0
日本語学校生等	541	394	154	39	25
	100.0	72.8	28.5	7.2	4.6
ベトナム	394	305	105	20	10
	100.0	77.4	26.6	5.1	2.5
中国	66	48	15	10	7
	100.0	72.7	22.7	15.2	10.6
ネパール	40	18	19	5	5
	100.0	45.0	47.5	12.5	12.5
その他	39	21	15	4	3
	100.0	53.8	38.5	10.3	7.7
大学生等	179	150	28	11	10
	100.0	83.8	15.6	6.1	5.6
ベトナム	49	44	7	0	0
	100.0	89.8	14.3	0.0	0.0
中国	102	91	15	9	3
	100.0	89.2	14.7	8.8	2.9
その他	28	15	6	2	7
	100.0	53.6	21.4	7.1	25.0

③ 日本で就労する場合の業種や企業等の選択基準

a. 業種の希望について

- 技能実習生は「製造業」を中心に希望が多く、日本語学校生等は「外食業」や「製造業」が多い。一方、大学生等では「その他サービス業」や「その他」が多く、自由記述欄の記載を見ると、通訳・翻訳、教育、IT関係などのサービス業の希望が多い。活用したい在留資格と同様に、来日目的やキャリアに対する意識等の違いがみられる結果となっている。
- 選択理由は、いずれも「自分の技術や経験が使えるから」が半数以上で最多である。
- 技能実習生は、全体では約7割が現在の実習先と同じ分野を選択している。

【外国人材が就労を希望する業種（3つまで複数回答）】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	農業	漁業 (かき養殖など)	建設業 (土木・建築など)	製造業 (繊維・衣服)	製造業 (食品)	製造業 (機械・金属)	製造業 (電気・電子関連)	製造業 (造船)	製造業 (自動車関係)	製造業 (その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他
技能実習生	1,276	91	25	74	263	346	220	208	222	313	70	104	39	215	81	13	48	60
	100.0	7.1	2.0	5.8	20.6	27.1	17.2	16.3	17.4	24.5	5.5	8.2	3.1	16.8	6.3	1.0	3.8	4.7
日本語学校生等	557	17	2	25	28	131	35	123	6	139	25	48	49	169	76	7	78	68
	100.0	3.1	0.4	4.5	5.0	23.5	6.3	22.1	1.1	25.0	4.5	8.6	8.8	30.3	13.6	1.3	14.0	12.2
大学生等	199	6	1	6	5	23	16	26	3	28	7	30	16	34	9	1	53	55
	100.0	3.0	0.5	3.0	2.5	11.6	8.0	13.1	1.5	14.1	3.5	15.1	8.0	17.1	4.5	0.5	26.6	27.6

【業種を選択理由（3つまで複数回答）】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	自分の技術や経験が使える	帰国後に仕事に関与	いきなり条件が	給料の支払いが	仕事の継続が	みたくい経験が積	その他の分野で	その他
技能実習生	1,259	692	566	421	454			61	
	100.0	55.0	45.0	33.4	36.1			4.8	
日本語学校生等	551	327	323	165		181		18	
	100.0	59.3	58.6	29.9		32.8		3.3	
大学生等	196	104	72	54		90		9	
	100.0	53.1	36.7	27.6		45.9		4.6	

【外国人材が就労を希望する業種（技能実習生、3つまで複数回答）】

今後就労する場合の希望業種

	サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業 (繊維・衣服)	製造業 (食品)	製造業 (機械・金属)	製造業 (電気・電子関連)	製造業 (造船)	製造業 (自動車関係)	製造業 (その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	現在と同業種への就労志望者比率	
全体	1,276	91	25	74	263	346	220	208	222	313	70	104	39	215	81	13	48	60	89.8	
	100.0	7.1	2.0	5.8	20.6	27.1	17.2	16.3	17.4	24.5	5.5	8.2	3.1	16.8	6.3	1.0	3.8	4.7	70.4	
実習先の業種	農業	45	33	0	1	3	12	2	5	0	2	4	2	10	3	2	0	4	33	
		100.0	73.3	0.0	2.2	6.7	26.7	4.4	11.1	0.0	11.1	4.4	8.9	4.4	22.2	6.7	4.4	0.0	8.9	73.3
	漁業	14	2	4	0	7	1	1	2	1	0	1	0	1	0	2	1	0	4	4
		100.0	14.3	28.6	0.0	50.0	7.1	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	0.0	28.6
	建設業	87	8	2	52	2	20	11	31	3	23	6	3	6	1	0	3	1	52	1
		100.0	9.2	2.3	59.8	2.3	23.0	12.6	35.6	3.4	26.4	6.9	3.4	3.4	6.9	1.1	0.0	3.4	1.1	59.8
	製造業(繊維・衣服)	230	7	4	3	199	46	5	10	2	8	9	17	1	41	18	2	4	3	199
		100.0	3.0	1.7	1.3	86.5	20.0	2.2	4.3	0.9	3.5	3.9	7.4	0.4	17.8	7.8	0.9	1.7	1.3	86.5
	製造業(食品)	173	12	5	2	15	142	7	37	5	21	5	21	7	53	13	4	10	9	142
		100.0	6.9	2.9	1.2	8.7	82.1	4.0	21.4	2.9	12.1	2.9	12.1	4.0	30.6	7.5	2.3	5.8	5.2	82.1
	製造業(機械・金属)	172	4	2	6	7	24	133	28	26	43	14	11	7	18	5	2	4	4	133
	100.0	2.3	1.2	3.5	4.1	14.0	77.3	16.3	15.1	25.0	8.1	6.4	4.1	10.5	2.9	1.2	2.3	2.3	77.3	
製造業(造船)	186	11	6	9	3	11	34	24	172	45	11	3	6	3	0	1	4	0	172	
	100.0	5.9	3.2	4.8	1.6	5.9	18.3	12.9	92.5	24.2	5.9	1.6	3.2	1.6	0.0	0.5	2.2	0.0	92.5	
製造業(自動車関係)	213	8	1	0	12	51	15	36	0	145	7	37	9	52	15	0	11	10	145	
	100.0	3.8	0.5	0.0	5.6	23.9	7.0	16.9	0.0	68.1	3.3	17.4	4.2	24.4	7.0	0.0	5.2	4.7	68.1	
小売業	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
介護	18	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	0	0	18	
	100.0	22.2	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	127	1	1	0	11	34	11	32	12	18	16	7	2	28	8	0	9	29	29	
	100.0	0.8	0.8	0.0	8.7	26.8	8.7	25.2	9.4	14.2	12.6	5.5	1.6	22.0	6.3	0.0	7.1	22.8		

b. 企業の選択基準について

- いずれの外国人材も「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が半数を超えて最重要視している。
- 「給料がいいこと」は重要な条件であるものの、「会社の人が親切にしてくれること」や「自分の働きたい場所、住みたい場所にあること」と近い比率で並んでいる。
- 就労地・居住地重視の選択者は、半数以上が県内を希望している。ヒアリング調査において、県内での就労・居住を希望する理由として、広島に対する愛着や住み慣れた土地への安心感、物価の安さなどの声があった。

【働く会社を選択するときに重視する条件（3つまで複数回答）】

(上段:実数、下段:%)

	回答者数	この技術を学んだが使える、	帰国後に就職したい仕事	自分が進みたい会社	残業が少ないこと	給料がいいこと	会社で生活面を支援してくれること	会社の人と親しく	同じ国の人と働く	自分自身が働きたい場所	その他
技能実習生	1,268 100.0	651 51.3	310 24.4	118 9.3	39 3.1	471 37.1	365 28.8	500 39.4	226 17.8	517 40.8	53 4.2
日本語学校生等	556 100.0	314 56.5	181 32.6	88 15.8	10 1.8	188 33.8	204 36.7	170 30.6	39 7.0	253 45.5	15 2.7
大学生等	199 100.0	116 58.3	42 21.1	51 25.6	17 8.5	88 44.2	54 27.1	80 40.2	12 6.0	86 43.2	3 1.5

【「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者の就労・居住希望場所(出身国別)】

(上段:実数、下段:%)

	回答者数	広島県内	東京	大阪	その他
技能実習生	509 100.0	290 57.0	160 31.4	52 10.2	7 1.4
ベトナム	185 100.0	120 64.9	46 24.9	18 9.7	1 0.5
中国	226 100.0	96 42.5	98 43.4	28 12.4	4 1.8
フィリピン	52 100.0	36 69.2	12 23.1	2 3.8	2 3.8
インドネシア	26 100.0	23 88.5	2 7.7	1 3.8	0 0.0
その他	19 100.0	14 73.7	2 10.5	3 15.8	0 0.0
日本語学校生等	247 100.0	170 68.8	22 8.9	36 14.6	19 7.7
ベトナム	181 100.0	127 70.2	15 8.3	28 15.5	11 6.1
中国	30 100.0	20 66.7	6 20.0	2 6.7	2 6.7
ネパール	18 100.0	11 61.1	1 5.6	2 11.1	4 22.2
その他	17 100.0	11 64.7	0 0.0	4 23.5	2 11.8
大学生等	85 100.0	48 56.5	17 20.0	13 15.3	7 8.2
ベトナム	18 100.0	13 72.2	1 5.6	4 22.2	0 0.0
中国	56 100.0	29 51.8	12 21.4	9 16.1	6 10.7
その他	11 100.0	6 54.5	4 36.4	0 0.0	1 9.1

2. 生活環境・地域交流

(1) 生活上の課題

- 技能実習生及び大学生等の約7割、日本語学校生等の約8割が生活上で何らかの課題を抱えている。
- 主な課題は、「方言がわからない」(概ね2～3割程度)など、コミュニケーション関係の課題が上位を占めている。
- 職場での課題と同様、在留期間が短く、日本語の習熟度が低いほど生活上の困りごとが多い傾向がある。
一方、「病院でことばが通じない」や「災害の時にどうしたらいいかわからない」などについては、在留期間が長くなっても、困っている状態が継続している傾向がある。
- 生活上の困りごとの相談相手は、
 - 技能実習生：同じ国出身の同僚 45.4% (590人/1,299人)、監理団体の人 44.5% (578人/1,299人)
 - 日本語学校生等：日本語教室等の先生 59.3% (354人/597人)、自分国の家族等 34.8% (208人/597人)
 - 大学生等：自分の国の家族等 45.0% (117人/260人)、会社や学校の同じ国の人 37.7% (98人/260人)
- 技能実習生及び日本語学校生等の相談相手は、日本国内の所属先(企業、学校等)の身近な人が最も多い。大学生等については、相談相手は自分の国の家族等が最も多いが、会社や学校の同じ国の人なども3割以上で続いており、身近な人にも相談していることがうかがえる。また、ヒアリング調査では、SNSを活用して同じ国の人とのコミュニティの中で解決しているという声もあった。

【普段の生活で困っていることや不安なこと (在留期間別/複数回答、一部抜粋)】

		(上段：実数、下段：%)													
回答者数	聞き取れない日本語が必要	話せない日本語が必要	読めない日本語が必要	書けない日本語が必要	方言(広島特有のことば)がわからない	地域の人と日本語で取れないコミュニケーション	日本の文化や習慣が理解できない	生活のルールがわからない	病院でことばが通じない	必要な手続きの方法がわからない	電気、ガス、電話やインターネットなど、生活にたらないかわからない	災害(大雨、地震、台風など)のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他	
技能実習生	1,262	152	148	82	76	294	217	88	16	228	99	121	419	43	
	100.0	12.0	11.7	6.5	6.0	23.3	17.2	7.0	1.3	18.1	7.8	9.6	33.2	3.4	
1年未満	315	64	54	37	26	103	60	21	7	48	22	39	84	7	
	100.0	20.3	17.1	11.7	8.3	32.7	19.0	6.7	2.2	15.2	7.0	12.4	26.7	2.2	
1年	283	26	26	20	16	61	53	27	3	50	24	23	95	9	
	100.0	9.2	9.2	7.1	5.7	21.6	18.7	9.5	1.1	17.7	8.5	8.1	33.6	3.2	
2年	429	42	48	21	17	81	72	24	3	88	33	39	148	19	
	100.0	9.8	11.2	4.9	4.0	18.9	16.8	5.6	0.7	20.5	7.7	9.1	34.5	4.4	
3年	178	16	17	4	12	37	26	13	3	38	15	14	70	5	
	100.0	9.0	9.6	2.2	6.7	20.8	14.6	7.3	1.7	21.3	8.4	7.9	39.3	2.8	
4年以上	39	2	1	0	3	7	5	2	0	4	5	3	16	2	
	100.0	5.1	2.6	0.0	7.7	17.9	12.8	5.1	0.0	10.3	12.8	7.7	41.0	5.1	
日本語学校生等	592	122	116	45	38	162	105	55	17	115	83	79	96	16	
	100.0	20.6	19.6	7.6	6.4	27.4	17.7	9.3	2.9	19.4	14.0	13.3	16.2	2.7	
1年未満	217	70	65	24	18	67	59	22	7	41	31	32	20	6	
	100.0	32.3	30.0	11.1	8.3	30.9	27.2	10.1	3.2	18.9	14.3	14.7	9.2	2.8	
1年	196	33	30	15	10	52	27	19	6	37	32	27	36	4	
	100.0	16.8	15.3	7.7	5.1	26.5	13.8	9.7	3.1	18.9	16.3	13.8	18.4	2.0	
2年	107	13	10	4	7	28	9	6	2	23	11	10	22	5	
	100.0	12.1	9.3	3.7	6.5	26.2	8.4	5.6	1.9	21.5	10.3	9.3	20.6	4.7	
3年	35	2	1	1	0	8	3	4	1	7	5	6	9	1	
	100.0	5.7	2.9	2.9	0.0	22.9	8.6	11.4	2.9	20.0	14.3	17.1	25.7	2.9	
4年以上	34	3	9	1	3	6	6	3	1	5	4	3	8	0	
	100.0	8.8	26.5	2.9	8.8	17.6	17.6	8.8	2.9	14.7	11.8	8.8	23.5	0.0	
大学生等	258	36	30	20	16	54	29	18	19	39	31	40	69	19	
	100.0	14.0	11.6	7.8	6.2	20.9	11.2	7.0	7.4	15.1	12.0	15.5	26.7	7.4	
1年未満	56	21	18	15	10	18	13	5	10	10	11	14	6	4	
	100.0	37.5	32.1	26.8	17.9	32.1	23.2	8.9	17.9	17.9	19.6	25.0	10.7	7.1	
1年	29	5	7	4	2	8	5	1	4	4	1	6	5	4	
	100.0	17.2	24.1	13.8	6.9	27.6	17.2	3.4	13.8	13.8	3.4	20.7	17.2	13.8	
2年	52	3	3	1	2	9	4	4	3	9	9	6	17	5	
	100.0	5.8	5.8	1.9	3.8	17.3	7.7	7.7	5.8	17.3	17.3	11.5	32.7	9.6	
3年	70	4	1	0	0	14	6	6	0	10	7	8	18	4	
	100.0	5.7	1.4	0.0	0.0	20.0	8.6	8.6	0.0	14.3	10.0	11.4	25.7	5.7	
4年以上	51	3	1	0	2	5	1	2	2	6	3	6	23	2	
	100.0	5.9	2.0	0.0	3.9	9.8	2.0	3.9	3.9	11.8	5.9	11.8	45.1	3.9	

※在留期間の不明となっている回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しない。

第二章 調査結果の概要と分析

【普段の生活で困っていることや不安なこと（日本語習熟度別／複数回答、一部抜粋）】

(上段:実数, 下段:%)

	回答者数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	生活のルールがわからない	病院でことばが通じない	電気のガス、電話やインターネットの方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
技能実習生	1,262	152	148	82	76	294	217	88	16	228	99	121	419	43
	100.0	12.0	11.7	6.5	6.0	23.3	17.2	7.0	1.3	18.1	7.8	9.6	33.2	3.4
日本語習熟度【低】	346	39	39	28	28	74	68	29	3	61	29	40	103	7
	100.0	11.3	11.3	8.1	8.1	21.4	19.7	8.4	0.9	17.6	8.4	11.6	29.8	2.0
日本語習熟度【中】	645	76	81	45	39	162	104	41	9	121	49	63	218	28
	100.0	11.8	12.6	7.0	6.0	25.1	16.1	6.4	1.4	18.8	7.6	9.8	33.8	4.3
日本語習熟度【高】	95	7	8	2	2	22	8	6	1	17	9	5	46	2
	100.0	7.4	8.4	2.1	2.1	23.2	8.4	6.3	1.1	17.9	9.5	5.3	48.4	2.1
日本語学校生等	592	122	116	45	38	162	105	55	17	115	83	79	96	16
	100.0	20.6	19.6	7.6	6.4	27.4	17.7	9.3	2.9	19.4	14.0	13.3	16.2	2.7
日本語習熟度【低】	64	25	22	8	7	15	14	6	1	8	12	5	8	0
	100.0	39.1	34.4	12.5	10.9	23.4	21.9	9.4	1.6	12.5	18.8	7.8	12.5	0.0
日本語習熟度【中】	313	66	70	26	22	94	59	33	5	71	51	47	40	6
	100.0	21.1	22.4	8.3	7.0	30.0	18.8	10.5	1.6	22.7	16.3	15.0	12.8	1.9
日本語習熟度【高】	149	19	15	6	3	38	20	8	7	28	18	18	40	9
	100.0	12.8	10.1	4.0	2.0	25.5	13.4	5.4	4.7	18.8	12.1	12.1	26.8	6.0
大学生等	258	36	30	20	16	54	29	18	19	39	31	40	69	19
	100.0	14.0	11.6	7.8	6.2	20.9	11.2	7.0	7.4	15.1	12.0	15.5	26.7	7.4
日本語習熟度【低】	23	9	8	9	4	6	7	2	3	4	4	2	1	3
	100.0	39.1	34.8	39.1	17.4	26.1	30.4	8.7	13.0	17.4	17.4	8.7	4.3	13.0
日本語習熟度【中】	48	14	14	8	7	12	10	4	5	14	7	8	9	2
	100.0	29.2	29.2	16.7	14.6	25.0	20.8	8.3	10.4	29.2	14.6	16.7	18.8	4.2
日本語習熟度【高】	174	9	7	2	2	32	11	9	10	20	18	27	58	14
	100.0	5.2	4.0	1.1	1.1	18.4	6.3	5.2	5.7	11.5	10.3	15.5	33.3	8.0

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・分類した区分

※習熟度の分類ができない回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しない。

【公的相談窓口の認知度及び相談経験の有無】

(上段:実数, 下段:%)

(2) 公的窓口の認知度について

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに7割前後が役所など公的な相談窓口があることを知らないと回答している。
 - 技能実習生 70.8% (894人/1,263人)
 - 日本語学校生等 68.5% (394人/575人)
 - 大学生等 72.7% (184人/253人)

	回答者数	知っている		知らない
		も相談した	は相談した	
技能実習生	1,263	36	333	894
	100.0	2.9	26.4	70.8
日本語学校生等	575	33	148	394
	100.0	5.7	25.7	68.5
大学生等	253	16	53	184
	100.0	6.3	20.9	72.7

(3) 情報の入手や伝達について

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに7割前後がスマートフォンを所有しており、PC等その他の手段を含め、ほぼ全ての外国人材がインターネットにアクセスできる環境にある。

《スマートフォン所有》

- 技能実習生 78.7% (1,015人/1,289人)
- 日本語学校生等 76.2% (454人/596人)
- 大学生等 66.2% (172人/260人)

【スマートフォンやインターネットにつながる機器の保有】

(上段:実数, 下段:%)

《インターネット利用可能》

- 技能実習生 99.1% (1,277人/1,289人)
- 日本語学校生等 98.0% (584人/596人)
- 大学生等 98.8% (257人/260人)

	回答者数	スマートフォンを持っている	スマートフォンやインターネットにつながる機器の保有		もっていない
			スマートフォンやインターネットにつながる機器を保有している	スマートフォンやインターネットにつながる機器を保有していない	
技能実習生	1,289	1,015	195	67	12
	100.0	78.7	15.1	5.2	0.9
日本語学校生等	596	454	118	12	12
	100.0	76.2	19.8	2.0	2.0
大学生等	260	172	79	6	3
	100.0	66.2	30.4	2.3	1.2

(4) 求める生活関連情報

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに「災害など緊急の時の情報」、「医療（病院、薬局など）の情報」のニーズが高い。

【生活についてほしい情報（複数回答）】

（上段：実数、下段：％）

	回答者数	情報局など病院の、	業医療への病の、	業自での情の国言	知役所からのお	情日語教室の	の災害など緊急	案通公ルのゴミ	内機施設のし	特にない	その他
技能実習生	1,246	393	350	105	196	504	201	224	244	23	
	100.0	31.5	28.1	8.4	15.7	40.4	16.1	18.0	19.6	1.8	
1年未満	317	128	103	28	54	157	68	65	39	5	
	100.0	40.4	32.5	8.8	17.0	49.5	21.5	20.5	12.3	1.6	
1年	277	89	74	15	44	111	36	57	52	6	
	100.0	32.1	26.7	5.4	15.9	40.1	13.0	20.6	18.8	2.2	
2年	421	120	117	36	53	151	55	59	102	8	
	100.0	28.5	27.8	8.6	12.6	35.9	13.1	14.0	24.2	1.9	
3年	174	48	44	18	34	66	34	36	36	4	
	100.0	27.6	25.3	10.3	19.5	37.9	19.5	20.7	20.7	2.3	
4年以上	38	4	7	7	6	14	6	4	10	0	
	100.0	10.5	18.4	18.4	15.8	36.8	15.8	10.5	26.3	0.0	
日本語学校生等	572	259	182	127	177	259	142	112	53	4	
	100.0	45.3	31.8	22.2	30.9	45.3	24.8	19.6	9.3	0.7	
1年未満	217	95	74	46	82	101	55	44	15	2	
	100.0	43.8	34.1	21.2	37.8	46.5	25.3	20.3	6.9	0.9	
1年	184	87	60	43	49	83	50	41	20	1	
	100.0	47.3	32.6	23.4	26.6	45.1	27.2	22.3	10.9	0.5	
2年	100	48	30	21	23	42	18	19	12	1	
	100.0	48.0	30.0	21.0	23.0	42.0	18.0	19.0	12.0	1.0	
3年	35	13	12	8	13	17	11	5	4	0	
	100.0	37.1	34.3	22.9	37.1	48.6	31.4	14.3	11.4	0.0	
4年以上	33	15	4	9	9	13	8	3	2	0	
	100.0	45.5	12.1	27.3	27.3	39.4	24.2	9.1	6.1	0.0	
大学生等	255	117	58	64	65	95	77	53	47	11	
	100.0	45.9	22.7	25.1	25.5	37.3	30.2	20.8	18.4	4.3	
1年未満	55	28	18	16	15	29	25	21	6	1	
	100.0	50.9	32.7	29.1	27.3	52.7	45.5	38.2	10.9	1.8	
1年	28	14	7	10	6	12	8	7	2	3	
	100.0	50.0	25.0	35.7	21.4	42.9	28.6	25.0	7.1	10.7	
2年	52	29	9	10	12	16	13	10	7	4	
	100.0	55.8	17.3	19.2	23.1	30.8	25.0	19.2	13.5	7.7	
3年	69	28	15	18	17	19	18	7	14	3	
	100.0	40.6	21.7	26.1	24.6	27.5	26.1	10.1	20.3	4.3	
4年以上	51	18	9	10	15	19	13	8	18	0	
	100.0	35.3	17.6	19.6	29.4	37.3	25.5	15.7	35.3	0.0	

※在留期間の不明となっている回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しない。

(5) 将来家族と日本で生活する際に不安に感じること

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに、「家族が日本語がわからない」、「住む家を見つけること」が上位を占めた。

【広島県内で家族と生活するうえで不安なこと（複数回答）】

（上段：実数、下段：％）

	回答者数	る住むこと家を見つけ	が家族が病つたとき	出産や子育て	校子（供）の教育（学	わ家族が日本語が	勉強（者）日本語の	配偶（妻）日本語の	な方（ごみ）の音やにおい	地（ごみ）の音やにおい	ケ（ごみ）の音やにおい	家の家族と近所の人	ら通な族い	から族が乗れない	車族が乗れない	わう災かすのばい、かど	い不安なこと	その他
技能実習生	1,264	459	274	184	298	758	205	185	265	245	245	214	133	173	35			
	100.0	36.3	21.7	14.6	23.6	60.0	16.2	14.6	21.0	19.4	19.4	16.9	10.5	13.7	2.8			
日本語学校生等	574	190	118	138	99	258	64	62	122	87	108	64	90	13				
	100.0	33.1	20.6	24.0	17.2	44.9	11.1	10.8	21.3	15.2	18.8	11.1	15.7	2.3				
大学生等	249	74	65	39	51	143	31	41	81	39	46	42	32	6				
	100.0	29.7	26.1	15.7	20.5	57.4	12.4	16.5	32.5	15.7	18.5	16.9	12.9	2.4				

(6) 広島県に対する評価について

- 「広島県内に住んで良かったと思うこと」については、技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに、所属する「会社や学校の日本人が親切」、「東京などに比べて物価が安い」が上位を占めた。

第二章 調査結果の概要と分析

【広島県内に住んで良かったと思ったこと(出身国別、複数回答)】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	日会社 本人や 親校 切の	が近 親所 切の 日本 人	豊自 然か や文 化が	活店 が便 多利 、生	いべ 東京 物な 価ど に安 比	いて同 いる 国 人 が ら 多 来	な思 い な っ た こ と は	良 な っ た こ と は	そ の 他
技能実習生	1,280 100.0	678 53.0	302 23.6	417 32.6	311 24.3	479 37.4	343 26.8	64 5.0	24 1.9	
ベトナム	489 100.0	279 57.1	100 20.4	140 28.6	164 33.5	213 43.6	131 26.8	15 3.1	11 2.2	
中国	485 100.0	259 53.4	143 29.5	148 30.5	99 20.4	181 37.3	131 27.0	49 10.1	6 1.2	
フィリピン	142 100.0	72 50.7	22 15.5	73 51.4	26 18.3	25 17.6	36 25.4	0 0.0	2 1.4	
インドネシア	101 100.0	26 25.7	20 19.8	45 44.6	16 15.8	52 51.5	35 34.7	0 0.0	0 0.0	
その他	55 100.0	38 69.1	16 29.1	9 16.4	6 10.9	6 10.9	6 10.9	0 0.0	5 9.1	
日本語学校生等	592 100.0	277 46.8	129 21.8	200 33.8	206 34.8	345 58.3	147 24.8	20 3.4	13 2.2	
ベトナム	415 100.0	182 43.9	78 18.8	142 34.2	162 39.0	259 62.4	124 29.9	7 1.7	7 1.7	
中国	81 100.0	41 50.6	27 33.3	19 23.5	23 28.4	44 54.3	19 23.5	5 6.2	3 3.7	
ネパール	49 100.0	29 59.2	12 24.5	20 40.8	10 20.4	20 40.8	3 6.1	4 8.2	3 6.1	
その他	46 100.0	24 52.2	11 23.9	19 41.3	10 21.7	21 45.7	1 2.2	4 8.7	0 0.0	
大学生等	258 100.0	130 50.4	80 31.0	108 41.9	79 30.6	147 57.0	53 20.5	11 4.3	11 4.3	
ベトナム	56 100.0	28 50.0	13 23.2	23 41.1	19 33.9	30 53.6	11 19.6	3 5.4	2 3.8	
中国	150 100.0	69 46.0	52 34.7	61 40.7	44 29.3	92 61.3	36 24.0	5 3.3	7 4.7	
その他	52 100.0	33 63.5	15 28.8	24 46.2	16 30.8	25 48.1	6 11.5	3 5.8	2 3.8	

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等とも、県内での就労・居住を希望する者は、広島県内に住んで良かったと思うこととして「会社や学校の日本人が親切」を選択する傾向が高く、人間関係を良好に保つことが、就業地・居住地の選択に大きな影響を与えることが考えられる。

【広島県内に住んで良かったと思ったこと(働く企業を選ぶときに就労地・居住地を重視する外国人材のみ、複数回答)】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	親の会 切日社 本や 人学 が校	人近 が所 親の 切日 本	が自 豊然 かや 文化	生店 活 が 多 便 利 、	が比 安べ 京な 物ど に	が来同 多て いい る 国 人 ら	は思 な な っ た こ と と	良 な っ た こ と と	そ の 他
技能実習生	511 100.0	232 45.4	128 25.0	168 32.9	126 24.7	209 40.9	152 29.7	28 5.5	10 2.0	
は住 みたい 場所 また										
広島県内	284 100.0	161 56.7	80 28.2	100 35.2	78 27.5	118 41.5	90 31.7	4 1.4	4 1.4	
東京	160 100.0	45 28.1	30 18.8	47 29.4	38 23.8	64 40.0	47 29.4	17 10.6	4 2.5	
大阪	52 100.0	20 38.5	14 26.9	18 34.6	8 15.4	21 40.4	14 26.9	6 11.5	1 1.9	
その他	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3	
日本語学校生等	246 100.0	122 49.6	46 18.7	86 35.0	87 35.4	161 65.4	67 27.2	3 1.2	4 1.6	
は住 みたい 場所 また										
広島県内	165 100.0	87 52.7	33 20.0	63 38.2	64 38.8	97 58.8	45 27.3	3 1.8	3 1.8	
東京	22 100.0	9 40.9	4 18.2	5 22.7	5 22.7	19 86.4	2 9.1	0 0.0	1 4.5	
大阪	36 100.0	12 33.3	2 5.6	9 25.0	12 33.3	32 88.9	14 38.9	0 0.0	0 0.0	
その他	18 100.0	11 61.1	6 33.3	6 33.3	4 22.2	10 55.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	
大学生等	86 100.0	44 51.2	33 38.4	37 43.0	31 36.0	55 64.0	22 25.6	5 5.8	4 4.7	
は住 みたい 場所 また										
広島県内	48 100.0	24 50.0	18 37.5	26 54.2	17 35.4	28 58.3	12 25.0	3 6.3	3 6.3	
東京	17 100.0	13 76.5	9 52.9	7 41.2	4 23.5	11 64.7	5 29.4	0 0.0	0 0.0	
大阪	13 100.0	5 38.5	3 23.1	2 15.4	5 38.5	9 69.2	1 7.7	2 15.4	0 0.0	
その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	5 71.4	6 85.7	4 57.1	0 0.0	1 14.3	

※就労または居住希望地が不明な回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しないことがある。

(7) 地域との交流について

① 日本人との交流について

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに9割以上が近所の日本人と親睦を深めたいと考えている。

- 技能実習生 90.0% (1,139人/1,266人)
- 日本語学校生等 92.4% (545人/590人)
- 大学生等 91.1% (234人/257人)

【「住んでいる場所の日本人と仲良くなりたと思うか。」への回答結果】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	思っている	思っていない
技能実習生	1,266 100.0	1,139 90.0	127 10.0
ベトナム	483 100.0	426 88.2	57 11.8
中国	479 100.0	436 91.0	43 9.0
フィリピン	144 100.0	136 94.4	8 5.6
インドネシア	99 100.0	97 98.0	2 2.0
その他	53 100.0	37 69.8	16 30.2
日本語学校生等	590 100.0	545 92.4	45 7.6
ベトナム	415 100.0	386 93.0	29 7.0
中国	80 100.0	73 91.3	7 8.8
ネパール	48 100.0	46 95.8	2 4.2
その他	46 100.0	39 84.8	7 15.2
大学生等	257 100.0	234 91.1	23 8.9
ベトナム	56 100.0	45 80.4	11 19.6
中国	150 100.0	140 93.3	10 6.7
その他	51 100.0	49 96.1	2 3.9

- しかしながら、技能実習生の85.3%(1,094人/1,282人)、日本語学校生等の76.1%(448人/589人)、大学生等の64.7%(165人/255人)が、近所の日本人との会話の頻度が「あいさつ程度」または「会話がなし」と回答しており、現状では交流が少ない。

ヒアリング調査から、あいさつ以上の交流が進まない一因として、日本語での理解力や会話力の不足が背景との声があった。

【近所の日本人と話す機会】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	ある				ない	(参考) 「あいさつ程度」 「会話がなし」 (A+B)
		い に 相 つ く こ と を し て き	こ い と を 話 す こ と が あ る	こ い と を 話 す こ と が あ る こ と が あ る	こ い と を 話 す こ と が あ る こ と が あ る		
技能実習生	1,282 100.0	48 3.7	140 10.9	893 69.7	201 15.7	1,094 85.3	
日本語学校生等	589 100.0	29 4.9	112 19.0	314 53.3	134 22.8	448 76.1	
大学生等	255 100.0	29 11.4	61 23.9	126 49.4	39 15.3	165 64.7	

- 交流の手段としては、技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに半数以上が「近所の行事(祭りなど)に参加」を希望し、最多である。

ヒアリング調査から、チラシなどでは、地域行事などのイベント情報が行き届かないのではないかと声があった。

【希望する地域の日本人との交流方法】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	近所の行事(祭りなど)に参加したい	自分の国の文化を紹介したい	一緒にボランティア活動をした	一緒に食事など気軽に交流したい	その他
技能実習生	1,033 100.0	519 50.2	368 35.6	247 23.9	288 27.9	53 5.1
ベトナム	393 100.0	238 60.6	184 46.8	97 24.7	72 18.3	22 5.6
中国	372 100.0	164 44.1	122 32.8	100 26.9	115 30.9	28 7.5
フィリピン	130 100.0	49 37.7	32 24.6	31 23.8	42 32.3	3 2.3
インドネシア	96 100.0	36 37.5	18 18.8	14 14.6	54 56.3	0 0.0
その他	36 100.0	26 72.2	12 33.3	4 11.1	5 13.9	0 0.0
日本語学校生等	519 100.0	280 53.9	227 43.7	150 28.9	196 37.8	11 2.1
ベトナム	372 100.0	192 51.6	178 47.8	100 26.9	146 39.2	6 1.6
中国	67 100.0	45 67.2	18 26.9	26 38.8	29 43.3	4 6.0
ネパール	43 100.0	25 58.1	13 30.2	13 30.2	6 14.0	1 2.3
その他	36 100.0	17 47.2	17 47.2	11 30.6	14 38.9	0 0.0
大学生等	226 100.0	137 60.6	93 41.2	84 37.2	119 52.7	5 2.2
ベトナム	42 100.0	21 50.0	19 45.2	17 40.5	17 40.5	0 0.0
中国	137 100.0	83 60.6	49 35.8	51 37.2	65 47.4	4 2.9
その他	47 100.0	33 70.2	25 53.2	16 34.0	37 78.7	1 2.1

※出身国が不明となっている回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しないことがある。

② 同じ国の人が集まるコミュニティについて

- 同じ国の人が集まるコミュニティの認知度・活用状況をみると、技能実習生は、日本語学校生等及び大学生等と比べて認知度・活用状況とも低い。

また、国別に見ると、ベトナム出身者は、技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに「コミュニティに行ったことがある」と回答した者の割合が、他の国出身者よりも高い結果となった。

【自国の人が集まるコミュニティの有無】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	が近所 にある こと ①	こ近く には ない こと ②	きがある こと を 知 つ て い る こ と ③	ながある こと を 知 つ て い る こ と ④	がある こと を 知 つ て い る こ と ⑤	コ ミ ユ ニ テ ィ は な い	わ か ら な い	参考
									①+②
技能実習生	1,279 100.0	285 22.3	53 4.1	192 15.0	68 5.3	43 3.4	187 14.6	451 35.3	338 26.4
ベトナム	491 100.0	170 34.6	33 6.7	107 21.8	18 3.7	24 4.9	56 11.4	83 16.9	203 41.3
中国	485 100.0	45 9.3	3 0.6	33 6.8	22 4.5	11 2.3	95 19.6	276 56.9	48 9.9
フィリピン	142 100.0	30 21.1	6 4.2	17 12.0	22 15.5	3 2.1	10 7.0	54 38.0	36 25.4
インドネシア	100 100.0	30 30.0	5 5.0	23 23.0	3 3.0	4 4.0	19 19.0	16 16.0	35 35.0
その他	53 100.0	6 11.3	6 11.3	10 18.9	2 3.8	0 0.0	7 13.2	22 41.5	12 22.8
日本語学校生等	591 100.0	218 36.9	40 6.8	65 11.0	36 6.1	24 4.1	75 12.7	133 22.5	258 43.7
ベトナム	416 100.0	182 43.8	18 4.3	62 14.9	26 6.3	22 5.3	45 10.8	61 14.7	200 48.1
中国	81 100.0	14 17.3	7 8.6	1 1.2	3 3.7	1 1.2	17 21.0	38 46.9	21 25.9
ネパール	48 100.0	12 25.0	4 8.3	1 2.1	3 6.3	0 0.0	8 16.7	20 41.7	16 33.3
その他	45 100.0	10 22.2	11 24.4	0 0.0	4 8.9	1 2.2	5 11.1	14 31.1	21 46.7
大学生等	256 100.0	102 39.8	19 7.4	22 8.6	14 5.5	7 2.7	29 11.3	63 24.6	121 47.3
ベトナム	56 100.0	31 55.4	2 3.6	10 17.9	4 7.1	3 5.4	2 3.6	4 7.1	33 58.9
中国	148 100.0	51 34.5	13 8.8	5 3.4	9 6.1	1 0.7	22 14.9	47 31.8	64 43.2
その他	52 100.0	20 38.5	4 7.7	7 13.5	1 1.9	3 5.8	5 9.6	12 23.1	24 46.2

※出身国が不明となっている回答者がいるため、属性ごとの小計と内訳は一致しないことがある。

- ヒアリング結果において、
- 生活に必要な情報は、同じ国の人との SNS グループなどのネットワークを活用し、入手することが多い
 - 大学内に同じ国の人々の大きなコミュニティがなく、入学当初は戸惑った。
- という声があったことから、日本での生活に慣れていない外国人や日本語の習熟度が低い外国人にとっては、同じ国の人々の存在やサポートは心強いと考えられる。

③ 今後の日本語学習の意向について

- 技能実習生及び日本語学校生等、大学生等ともに、ほとんどが学習したい^{※3}と回答している。
- 技能実習生 88.1% (1,144 人/1,298 人)
 - 日本語学校生等 98.5% (591 人/600 人)
 - 大学生等 95.8% (249 人/260 人)

※3 会社が機会を設けたり、日本語教室が近隣にある等の条件付き回答も含む。

- 「職場の課題」、「生活上の課題」や「日本人との交流」にあるように日本語能力が課題であることから、日本語学習環境の整備が、職場や生活上の課題の解決、地域交流の促進に繋がることが期待できる。

(8) 一般外国人に対する調査との比較

- 同時に実施した一般外国人に対する調査と比べた場合、技能実習生及び日本語学校生等、大学生等に対する生活環境や交流に関する結果については、「生活に必要な日本語が書けない」の選択者が多いことを除いて、大きな差異は認められなかった。

生活上の課題の傾向は、約6割が何らかの課題を抱えているが、課題の内訳は多岐にわたっていることは共通しており、主に日本語やコミュニケーション関係（「方言がわからない」22.4%、「病院でことばが通じない」22.4%、「生活に必要な日本語が話せない」22.4%）となっている。

【普段の生活で困っていることや不安なこと（一般外国人／複数回答、一部抜粋）】

(上段：実数、下段：%)

	回答者数	生活に必要な日本語が聞かれない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言（広島特有のことば）がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	生活のルールがわからない	病院でことばが通じない	電気、ガス、電話やインターネットなどの生活に必要な方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
一般外国人	49 100.0	6 12.2	11 22.4	7 14.3	10 20.4	11 22.4	6 12.2	1 2.0	2 4.1	11 22.4	5 10.2	2 4.1	18 36.7	2 4.1
技能実習生	1,262 100.0	152 12.0	148 11.7	82 6.5	76 6.0	294 23.3	217 17.2	88 7.0	16 1.3	228 18.1	99 7.8	121 9.6	419 33.2	43 3.4
日本語学校生等	592 100.0	122 20.6	116 19.6	45 7.6	38 6.4	162 27.4	105 17.7	55 9.3	17 2.9	115 19.4	83 14.0	79 13.3	96 16.2	16 2.7
大学生等	258 100.0	36 14.0	30 11.6	20 7.8	16 6.2	54 20.9	29 11.2	18 7.0	19 7.4	39 15.1	31 12.0	40 15.5	69 26.7	19 7.4

3. 今後の外国人材受入対策における課題

本調査の結果を受け、次の取組を進めていくことが必要と考えられる。

(1) 外国人が地域住民との繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくり

外国人の9割以上が近所の日本人と親睦を深めたいと思っているが、現状では交流が少ない状況であり、地域住民と外国人との繋がりを促進する必要がある。

また、生活上の様々な困りごとの解決や情報入手は、同じ出身国の人など外国人同士のネットワークを通じて行われることが多く、こうしたネットワークの繋がり強化や活発化を支援することが有効である。

こうした取組により、外国人が孤立することなく、地域住民との共生も図られることが期待できる。

(2) 地域における日本語学習機会の拡充

職場や普段の生活で日本語能力が課題となっており、また、将来家族が来日した際に、日本語がわからないことを不安視する意見が多いこと、さらに、外国人の日本語学習の意欲もとても高いことから、地域における日本語教室の拡充を図っていくことが必要である。

(3) 行政情報や生活関連情報の提供の充実

災害や医療など緊急時の情報のニーズが高いことから、外国人が安心して暮らせるよう、これらの情報提供が必要である。また、地域との交流において、近所の行事に参加したいという回答が多く、地域行事・イベント情報を届けることが参加のきっかけづくりとなることが期待できる。

情報提供の手段としては、スマートフォンの所有率が高く、ほぼ全ての外国人がインターネットにアクセスできる環境にあることから、SNS 等による情報発信が有効と考えられる。

第三章 アンケート調査結果

1. 調査結果（技能実習生）

(1) 回答者属性

①性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
実数	1,304	570	729	5
構成比	100.0	43.7	55.9	0.4

②年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
実数	1,301	29	430	358	284	133	67
構成比	100.0	2.2	33.1	27.5	21.8	10.2	5.1

③出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	フィリピン	インドネシア	その他
実数	1,302	498	498	150	101	55
構成比	100.0	38.2	38.2	11.5	7.8	4.2

④結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
実数	1,293	566	727
構成比	100.0	43.8	56.2

⑤職場の地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	1,146	248	143	669	86
構成比	100.0	21.6	12.5	58.4	7.5

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	1,141	248	142	664	87
構成比	100.0	21.7	12.4	58.2	7.6

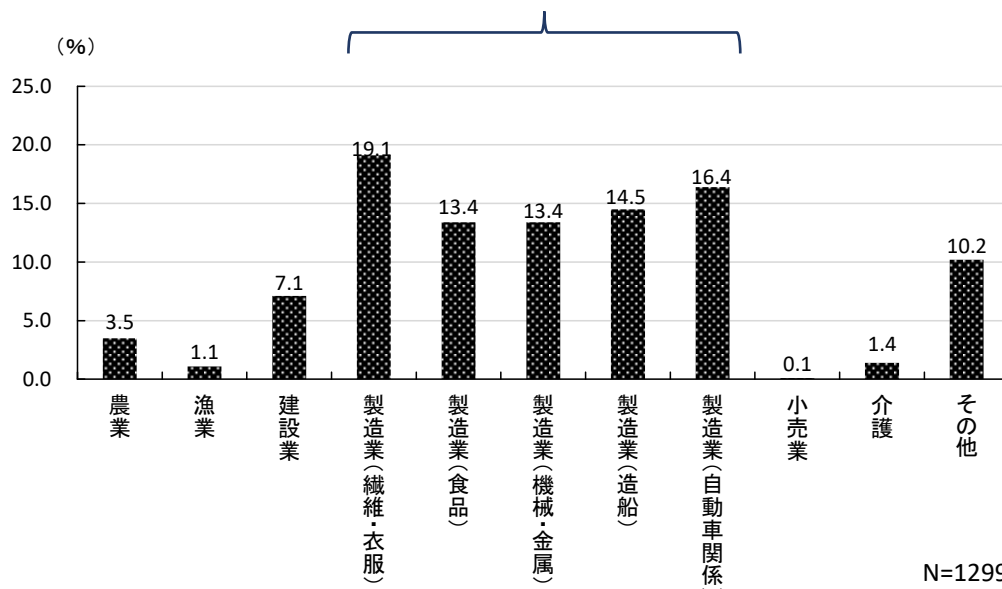
⑦日本での在住年数

	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
実数	1,289	329	293	444	182	41
構成比	100.0	25.5	22.7	34.4	14.1	3.2

⑧受け入れ先の業種

サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	小売業	介護	その他
1299	45	14	92	248	174	174	188	213	1	18	132

製造業計 76.8%



【出身国別】

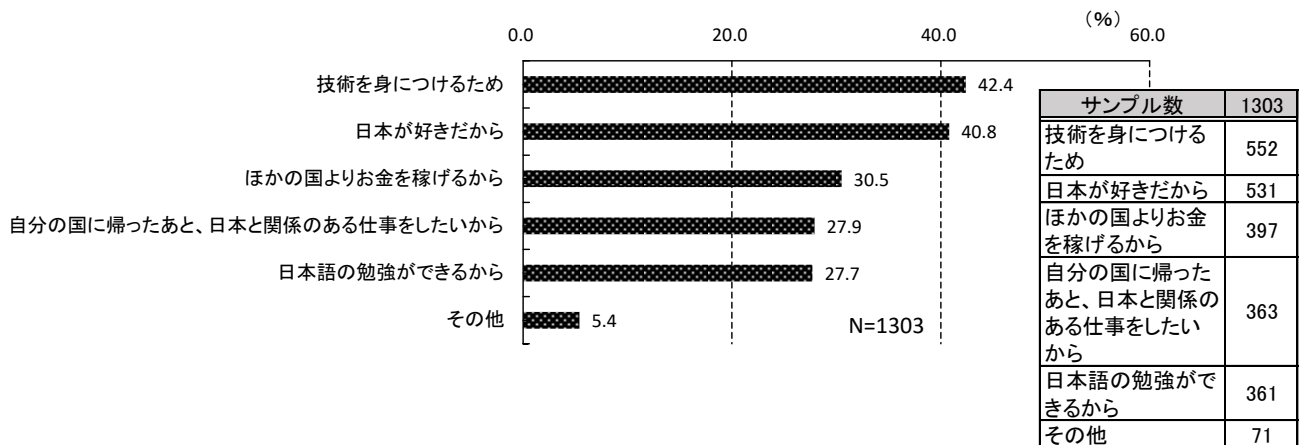
		サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	小売業	介護	その他
上段:実数、下段:%													
全体		1,299 100.0	45 3.5	14 1.1	92 7.1	248 19.1	174 13.4	174 13.4	188 14.5	213 16.4	1 0.1	18 1.4	132 10.2
出身国	ベトナム	495 100.0	3 0.6	2 0.4	80 16.2	73 14.7	100 20.2	49 9.9	55 11.1	63 12.7	1 0.2	0 0.0	69 13.9
	中国	492 100.0	36 7.3	11 2.2	11 2.2	159 32.3	56 11.4	47 9.6	15 3.0	118 24.0	0 0.0	0 0.0	39 7.9
	フィリピン	150 100.0	6 4.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	11 7.3	34 22.7	60 40.0	24 16.0	0 0.0	0 0.0	14 9.3
	インドネシア	101 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.0	29 28.7	53 52.5	6 5.9	0 0.0	11 10.9	0 0.0
	その他	53 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	13 24.5	4 7.5	14 26.4	2 3.8	2 3.8	0 0.0	7 13.2	10 18.9

(2)現在の職場における就労環境について

① 就業先として、日本を選択した理由

設問：あなたは、なぜ働く場所として日本を選びましたか？（複数回答可）

「技術を身につけるため」が42.4%で最も高く、次いで「日本が好きだから」が40.8%、「ほかの国よりお金が稼げるから」が30.5%となった。



【出身国別】

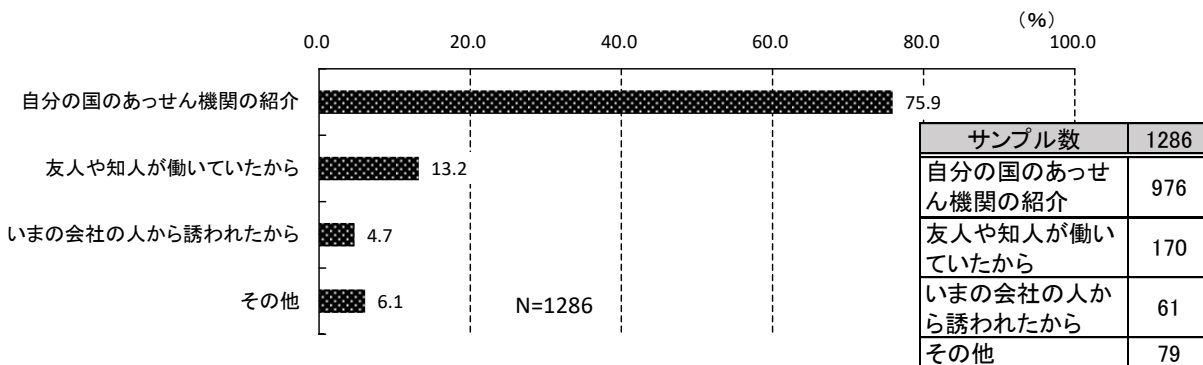
出身国別にみると、フィリピンとベトナム出身者では「技術を身につけるため」がそれぞれ58.0%、49.1%と最も高くなっている。中国出身者では「日本が好きだから」が53.3%、インドネシアとその他の国の出身者では「ほかの国よりお金を稼げるから」がそれぞれ51.5%、48.1%と高くなっており、来日目的の傾向に違いがみられた。

	サンプル数	技術を身につけるため	日本語の勉強ができるから	日本が好きだから	ほかの国よりお金を稼げるから	自分の国に帰ったあと、日本と関係のある仕事をしたいから	その他	
全体	1,303	552	361	531	397	363	71	
	100.0	42.4	27.7	40.8	30.5	27.9	5.4	
出身国	ベトナム	497	244	155	184	125	197	23
		100.0	49.1	31.2	37.0	25.2	39.6	4.6
	中国	495	162	150	264	140	105	35
		100.0	32.7	30.3	53.3	28.3	21.2	7.1
	フィリピン	150	87	15	35	53	25	6
	100.0	58.0	10.0	23.3	35.3	16.7	4.0	
インドネシア	101	36	29	30	52	24	2	
	100.0	35.6	28.7	29.7	51.5	23.8	2.0	
その他	52	17	11	17	25	10	5	
	100.0	32.7	21.2	32.7	48.1	19.2	9.6	

② 現在の会社で就業することになった理由

設問：どうして、いまの会社で働くことになりましたか？（1つだけ選択）

「自分の国のあっせん機関の紹介」が75.9%で最も高く、次いで「友人や知人が働いていたから」が13.2%となった。



【出身国別】

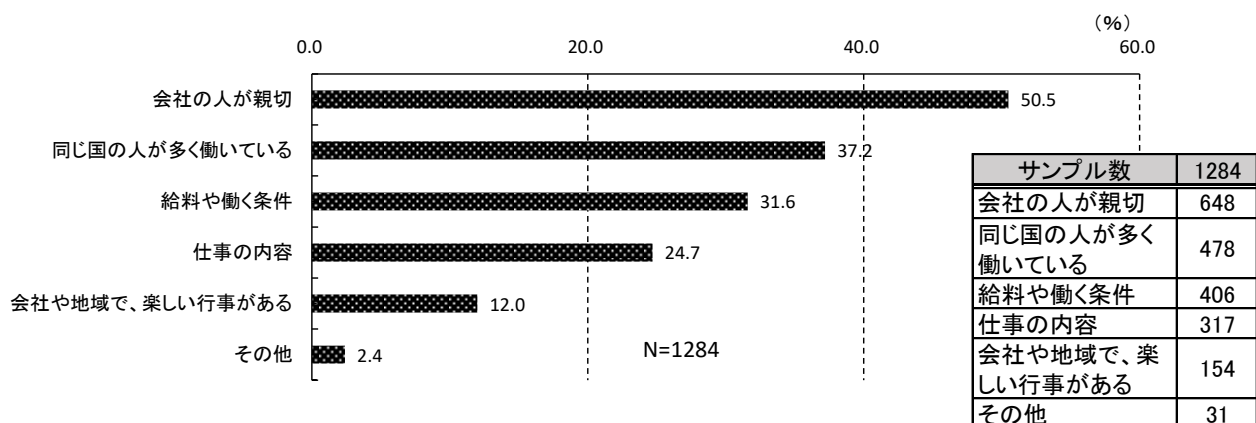
出身国別にみると、ベトナムと中国出身者では「自分の国のあっせん機関の紹介」がそれぞれ86.5%、76.0%と高い。また、インドネシアとフィリピン出身者では、「自分の国のあっせん機関の紹介」が最も高いが、「友人や知人が働いていたから」も20%以上となっている。

出身国	サンプル数	理由				その他
		から誘われた人	友人や知人が働いていたから	自分の国のあっせん機関の紹介	その他	
全体	1,286	61	170	976	79	
	100.0	4.7	13.2	75.9	6.1	
ベトナム	489	14	46	423	6	
	100.0	2.9	9.4	86.5	1.2	
中国	491	16	59	373	43	
	100.0	3.3	12.0	76.0	8.8	
フィリピン	144	18	29	72	25	
	100.0	12.5	20.1	50.0	17.4	
インドネシア	101	2	25	70	4	
	100.0	2.0	24.8	69.3	4.0	
その他	53	11	8	33	1	
	100.0	20.8	15.1	62.3	1.9	

③ 現在の仕事の良い点

設問：いまの仕事の良い点は何ですか？（複数回答可）

「会社の人が親切」が50.5%で最も高く、次いで「同じ国の人が多く働いている」が37.2%、「給料などの働く条件」が31.6%と、人間関係や同国籍者の存在など、職場環境における項目の評価が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムと中国、その他の国の出身者では「会社の人が親切」がそれぞれ50%以上と最多となっている。一方、フィリピン出身者では「給料や働く条件」、インドネシア出身者では「同じ国の人が多く働いている」が最多となっている。

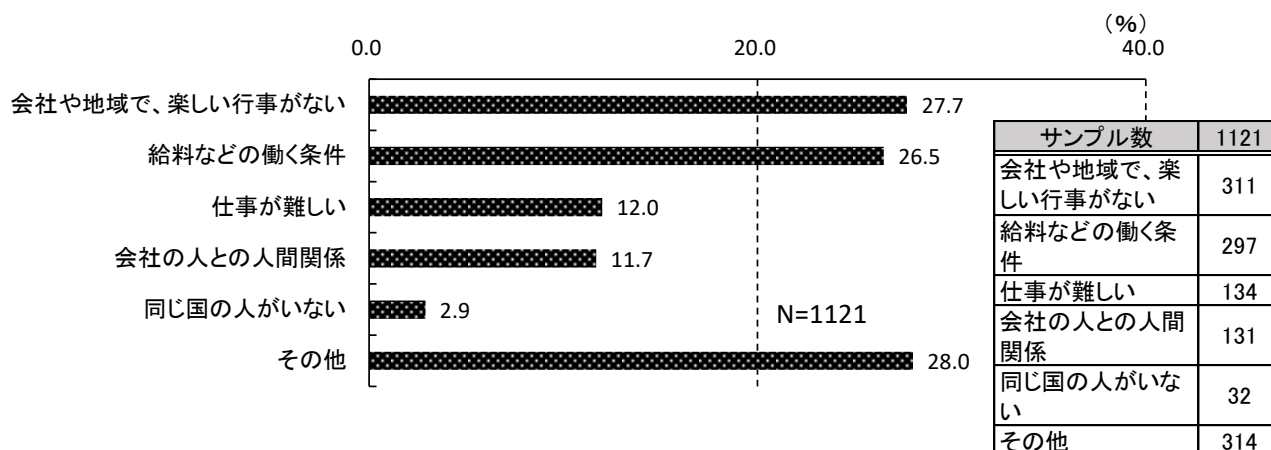
なお、中国出身者では「同じ国の人が多く働いている」、インドネシア出身者では「給料や働く条件」も40%以上と、次いで高くなっている。

	サンプル数	仕事の内容	給料や働く条件	会社の人 が親切	同じ国の 人が多 く働いて いる	会社や 地域で 楽しい 行事が ある	その他
全体	1,284	317	406	648	478	154	31
	100.0	24.7	31.6	50.5	37.2	12.0	2.4
出身国	ベトナム	481	122	120	255	171	31
		100.0	25.4	24.9	53.0	35.6	6.4
	中国	493	129	154	268	210	85
		100.0	26.2	31.2	54.4	42.6	17.2
	フィリピン	149	47	64	59	37	10
	100.0	31.5	43.0	39.6	24.8	6.7	
インドネシア	100	8	45	35	47	18	
	100.0	8.0	45.0	35.0	47.0	18.0	
その他	53	10	21	28	8	9	
	100.0	18.9	39.6	52.8	15.1	17.0	

④ 現在の仕事の嫌な点

設問：いまの仕事の嫌な点は何ですか？（複数回答可）

「会社や地域で、楽しい行事がない」が27.7%、次いで「給料などの働く条件」が26.5%と高くなっている。なお、「その他」の自由記載されたものとしては、「特にない」が半数以上を占めた一方で、「日本語が難しい」や「残業が少ない」などが多かった。



【出身国別】

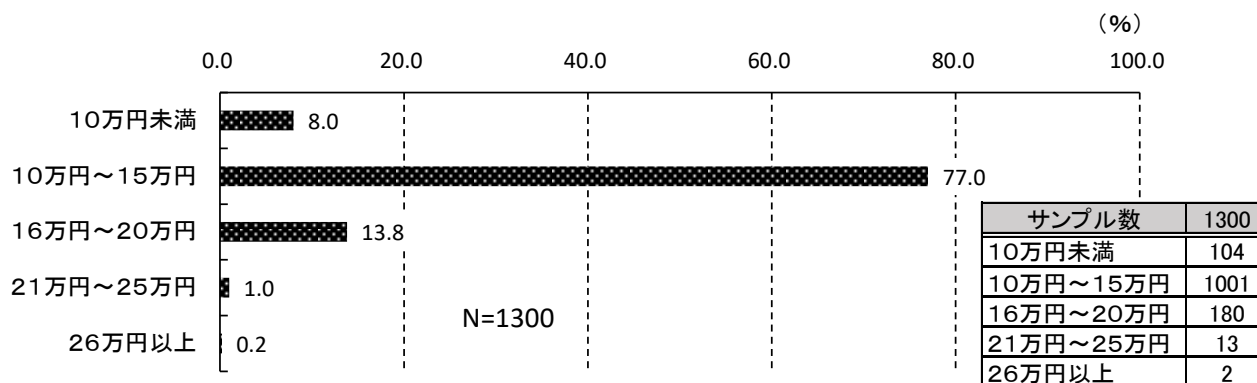
出身国別にみると、インドネシア出身者では「会社や地域で、楽しい行事がない」が48.3%で最も高く、他国出身者と比較しても高い結果となった。ベトナム、中国、その他の国の出身者では「給料などの働く条件」がそれぞれ30%前後と最も高い。また、フィリピン出身者では、「会社の人との人間関係」が33.3%と最も高い結果となった。

	サンプル数	仕事が難しい	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	同じ国の人がいない	会社や地域で、楽しい行事がない	その他	
								上段:実数、下段:%
全体	1,121	134	297	131	32	311	314	
	100.0	12.0	26.5	11.7	2.9	27.7	28.0	
出身国	ベトナム	438	57	126	34	28	106	124
		100.0	13.0	28.8	7.8	6.4	24.2	28.3
	中国	419	47	138	42	1	125	115
		100.0	11.2	32.9	10.0	0.2	29.8	27.4
	フィリピン	120	7	16	40	2	33	31
	100.0	5.8	13.3	33.3	1.7	27.5	25.8	
インドネシア	89	9	3	4	0	43	31	
	100.0	10.1	3.4	4.5	0.0	48.3	34.8	
その他	48	12	13	11	1	2	11	
	100.0	25.0	27.1	22.9	2.1	4.2	22.9	

⑤ 現在の職場での一か月の給与額

設問：いまの仕事の1か月の給料はいくらですか？実際にもらうお金の平均を教えてください。
（1つだけ選択）

「10万円～15万円」が77.0%で最も高く、次いで「16万円～20万円」が13.8%となった。



【受入先業種別】

受入先業種別にみると、「小売業」以外の業種において、「10万円～15万円」の割合が最も高く、それぞれ約60%～90%となっている。

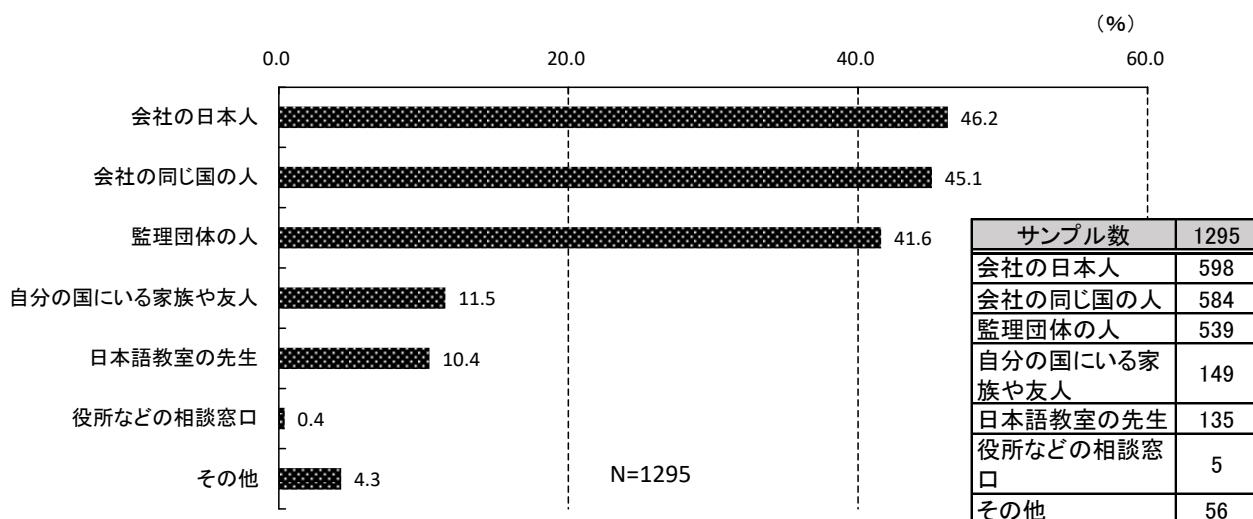
また、農業、製造業（自動車関係）については、「16万円～20万円」に対する回答がそれぞれ30%程度であった。

	サンプル数	10万円未満	10万円～15万円	16万円～20万円	21万円～25万円	26万円以上
上段:実数、下段:%						
全体	1,300	104	1,001	180	13	2
	100.0	8.0	77.0	13.8	1.0	0.2
現在の受け入れ先の業種	農業	44	3	29	12	0
		100.0	6.8	65.9	27.3	0.0
	漁業	14	1	13	0	0
		100.0	7.1	92.9	0.0	0.0
	建設業	90	20	65	4	1
		100.0	22.2	72.2	4.4	1.1
	製造業(繊維・衣服)	245	9	223	13	0
		100.0	3.7	91.0	5.3	0.0
	製造業(食品)	173	33	122	17	0
		100.0	19.1	70.5	9.8	0.0
	製造業(機械・金属)	174	10	132	29	2
	100.0	5.7	75.9	16.7	1.1	
製造業(造船)	186	5	157	16	8	
	100.0	2.7	84.4	8.6	4.3	
製造業(自動車関係)	212	12	130	70	0	
	100.0	5.7	61.3	33.0	0.0	
小売業	1	1	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
介護	18	0	14	4	0	
	100.0	0.0	77.8	22.2	0.0	
その他	132	10	107	13	2	
	100.0	7.6	81.1	9.8	1.5	

⑦ 現在の職場で困っている際の相談相手

設問：仕事で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「会社の日本人」が46.2%で最も高く、次いで「会社の同じ国の人」が45.1%、「監理団体の人」が41.6%となっており、会社の日本人や同じ国の人、監理団体の人など、対面で相談できる身近な人を頼る者が多い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、「会社の日本人」は、ベトナムとインドネシア、その他の国の出身者でそれぞれ50%以上と高くなっているが、フィリピン出身者では28.4%と低い結果となった。

「会社の同じ国の人」では、インドネシア出身者が70%程度で、他国出身者と比較して特に高くなっている。

また、「監理団体の人」では、インドネシア出身者が約60%と、他国出身者と比較して高い結果となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	自分や友人に在る	日本語教室の先生	その他
上段:実数、下段:%									
全体		1,295	598	584	539	5	149	135	56
		100.0	46.2	45.1	41.6	0.4	11.5	10.4	4.3
出身国	ベトナム	489	250	208	204	0	47	11	10
		100.0	51.1	42.5	41.7	0.0	9.6	2.2	2.0
	中国	494	214	212	192	4	75	101	35
		100.0	43.3	42.9	38.9	0.8	15.2	20.4	7.1
	フィリピン	148	42	69	51	1	21	15	9
	100.0	28.4	46.6	34.5	0.7	14.2	10.1	6.1	
インドネシア	101	58	69	60	0	3	8	0	
	100.0	57.4	68.3	59.4	0.0	3.0	7.9	0.0	
その他	55	32	21	28	0	3	0	2	
	100.0	58.2	38.2	50.9	0.0	5.5	0.0	3.6	

【職場で困っている際の相談相手の関係性】

職場で困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況についてみると、相談相手が「その他」と回答した者以外では、約 30%~50%の者が「会社の日本人」や「会社の同じ国の人」、「監理団体の人」など、面談で相談できる身近な人にも頼ることが多い結果となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	自分の国にいる家族や友人	日本語教室の先生	その他
上段:実数、下段:%									
全体		1,295 100.0	598 46.2	584 45.1	539 41.6	5 0.4	149 11.5	135 10.4	56 4.3
仕事で困っているときの相談相手	会社の日本人	598 100.0	598 100.0	223 37.3	266 44.5	2 0.3	43 7.2	47 7.9	9 1.5
	会社の同じ国の人	584 100.0	223 38.2	584 100.0	165 28.3	2 0.3	58 9.9	50 8.6	12 2.1
	監理団体の人	539 100.0	266 49.4	165 30.6	539 100.0	4 0.7	44 8.2	38 7.1	5 0.9
	役所などの相談窓口	5 100.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	5 100.0	3 60.0	4 80.0	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	149 100.0	43 28.9	58 38.9	44 29.5	3 2.0	149 100.0	17 11.4	4 2.7
	日本語教室の先生	135 100.0	47 34.8	50 37.0	38 28.1	4 3.0	17 12.6	135 100.0	2 1.5
	その他	56 100.0	9 16.1	12 21.4	5 8.9	0 0.0	4 7.1	2 3.6	56 100.0

(3) 今後の日本での就労意向について

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
(1つだけ選択)

「知っている」が75.5%と、70%以上の者が特定技能を認知している結果となった。

出身国別にみると、ベトナム、中国、フィリピン、インドネシア出身者では「知っている」がそれぞれ70%以上で、特にインドネシア出身者では82.7%と高くなっている。

		サンプル数	知っている	知らない
上段:実数、下段:%				
全体		1,275 100.0	963 75.5	312 24.5
出身国	ベトナム	479 100.0	353 73.7	126 26.3
	中国	488 100.0	388 79.5	100 20.5
	フィリピン	148 100.0	113 76.4	35 23.6
	インドネシア	98 100.0	81 82.7	17 17.3
	その他	54 100.0	22 40.7	32 59.3

② 技能実習終了後の就労意向

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

① あなたは、技能実習が終わったあとも、日本で働きたいですか？ (1つだけ選択)

「できれば働きたい」が81.4%で、80%以上の技能実習生が技能実習終了後も継続して日本での就労意向がある結果となった。

出身国別にみると、ベトナム、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者では「できれば働きたい」が約80%~90%、中国出身者では約70%という結果となった。

		サンプル数	できれば働きた	働きたくない
上段:実数、下段:%				
全体		1,277 100.0	1,040 81.4	237 18.6
出身国	ベトナム	482 100.0	421 87.3	61 12.7
	中国	487 100.0	337 69.2	150 30.8
	フィリピン	144 100.0	141 97.9	3 2.1
	インドネシア	101 100.0	84 83.2	17 16.8
	その他	55 100.0	51 92.7	4 7.3

【日本で継続して就労したいと思う理由（自由回答）】

日本で継続して就労したいと思う理由について、自由記述の回答を分類集約したところ、「お金を稼ぎたい」、「給料がいいから」、「貯金したいから」と、収入確保に関連する回答が最も多くなった。次いで、職場環境や生活環境がいいこと、日本の企業で経験を積みたいなどの意見も多くみられた。

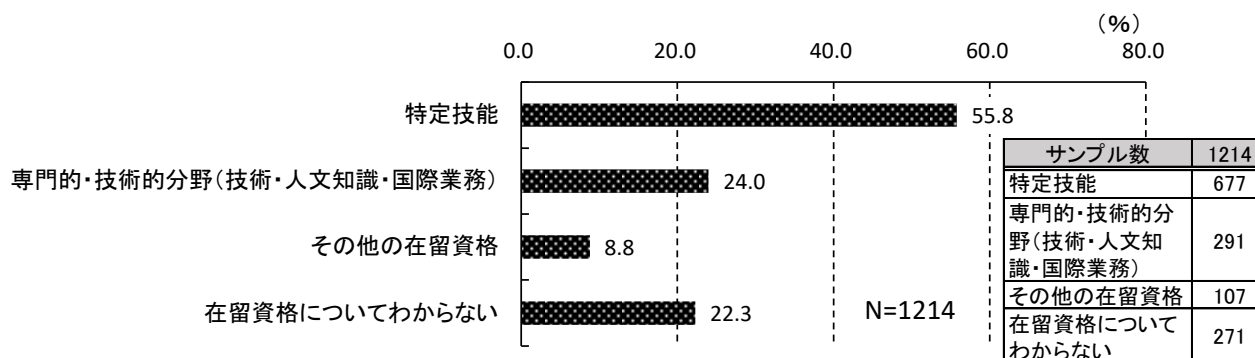
カテゴリNo.	カテゴリ名	件数
1	お金を稼ぎたいから、給料がいいから、貯金したいから	329
2	職場環境がいいから	142
3	日本でもっと経験を積みたい、技術を学びたいから	142
4	生活環境がいいから	117
5	日本が好きだから	79
6	日本語の勉強をしたいから	52
7	日本での生活・仕事に慣れたから	34

③ 就労する場合に活用したい在留資格

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

「特定技能」が 55.8%で最も高く、次いで「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が 24.0%となっており、特定技能活用の意向が高い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、「特定技能」活用意向は、フィリピン出身者が 82.6%、インドネシア出身者が 79.6%で、ベトナム、中国、その他の国の出身者と比較して特に高い結果となった。一方で、中国出身者では「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が 34.1%で、他国出身者と比較して、高くなっている。また、中国とその他の国の出身者については「在留資格についてわからない」がそれぞれ 32.5%、28.0%となった。

	サンプル数	専門的・技術的分野(技術・人文知識・国際業務)	特定技能	その他の在留資格	在留資格についてわからない	
						上段:実数、下段:%
全体	1,214 100.0	291 24.0	677 55.8	107 8.8	271 22.3	
出身国	ベトナム	456 100.0	104 22.8	262 57.5	50 11.0	89 19.5
	中国	458 100.0	156 34.1	189 41.3	29 6.3	149 32.5
	フィリピン	144 100.0	16 11.1	119 82.6	8 5.6	7 4.9
	インドネシア	98 100.0	2 2.0	78 79.6	19 19.4	8 8.2
	その他	50 100.0	12 24.0	25 50.0	0 0.0	14 28.0

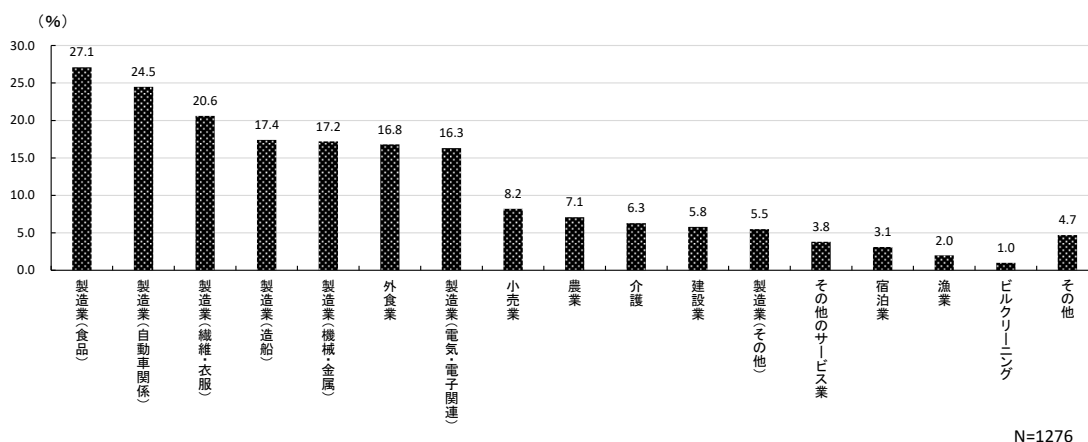
④ 就労希望業種

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

製造業関連の業種が上位7項目中6項目を占めるほか、「外食業」も16.8%で高くなっている。

サンプル数	製造業(食品)	製造業(自動車関係)	製造業(繊維・衣服)	製造業(造船)	製造業(機械・金属)	外食業	製造業(電気・電子関連)	小売業	農業
	346	313	263	222	220	215	208	104	91
1276	介護	建設業	製造業(その他)	その他	その他のサービス業	宿泊業	漁業	ビルクリーニング	
	81	74	70	60	48	39	25	13	



【出身国別】

出身国別に希望の多い業種をみると、ベトナム出身者では「製造業（食品）」が34.4%、「製造業（電気・電子関連）」が27.0%で、中国出身者では「製造業（繊維・衣服）」が31.9%、「製造業（食品）」が30.3%、「外食業」が22.5%、フィリピン出身者では「製造業（造船）」が46.7%、インドネシア出身者では「製造業（造船）」が58.6%で、「製造業（機械・金属）」が37.4%、となっている。

	サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)	他製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
																			上段:実数、下段:%
全体	1,276	91	25	74	263	346	220	208	222	313	70	104	39	215	81	13	48	60	
	100.0	7.1	2.0	5.8	20.6	27.1	17.2	16.3	17.4	24.5	5.5	8.2	3.1	16.8	6.3	1.0	3.8	4.7	
出身国	ベトナム	485	24	15	50	87	167	75	131	65	121	24	35	10	83	29	6	18	26
		100.0	4.9	3.1	10.3	17.9	34.4	15.5	27.0	13.4	24.9	4.9	7.2	2.1	17.1	6.0	1.2	3.7	5.4
	中国	479	39	3	15	153	145	54	55	24	123	21	58	16	108	28	0	22	17
		100.0	8.1	0.6	3.1	31.9	30.3	11.3	11.5	5.0	25.7	4.4	12.1	3.3	22.5	5.8	0.0	4.6	3.5
	フィリピン	150	18	5	7	3	18	40	10	70	29	14	3	2	15	5	5	6	11
	100.0	12.0	3.3	4.7	2.0	12.0	26.7	6.7	46.7	19.3	9.3	2.0	1.3	10.0	3.3	3.3	4.0	7.3	
インドネシア	99	3	2	2	3	5	37	7	58	26	4	3	10	5	12	1	1	1	
	100.0	3.0	2.0	2.0	3.0	5.1	37.4	7.1	58.6	26.3	4.0	3.0	10.1	5.1	12.1	1.0	1.0	1.0	
その他	55	7	0	0	14	10	13	3	2	11	6	5	1	3	7	1	1	5	
	100.0	12.7	0.0	0.0	25.5	18.2	23.6	5.5	3.6	20.0	10.9	9.1	1.8	5.5	12.7	1.8	1.8	9.1	

【現在の業種と希望業種】

今後日本で就業を継続する際の希望業種については、約 70%の技能実習生が、現在の実習先と同じ分野の業種で就労を希望する結果となった。特に、「製造業（繊維・衣服）」、「製造業（食品）」、「製造業（造船）」では、現在の実習先と同じ分野での就労を希望する者の割合がそれぞれ 80%以上と高い傾向となった。

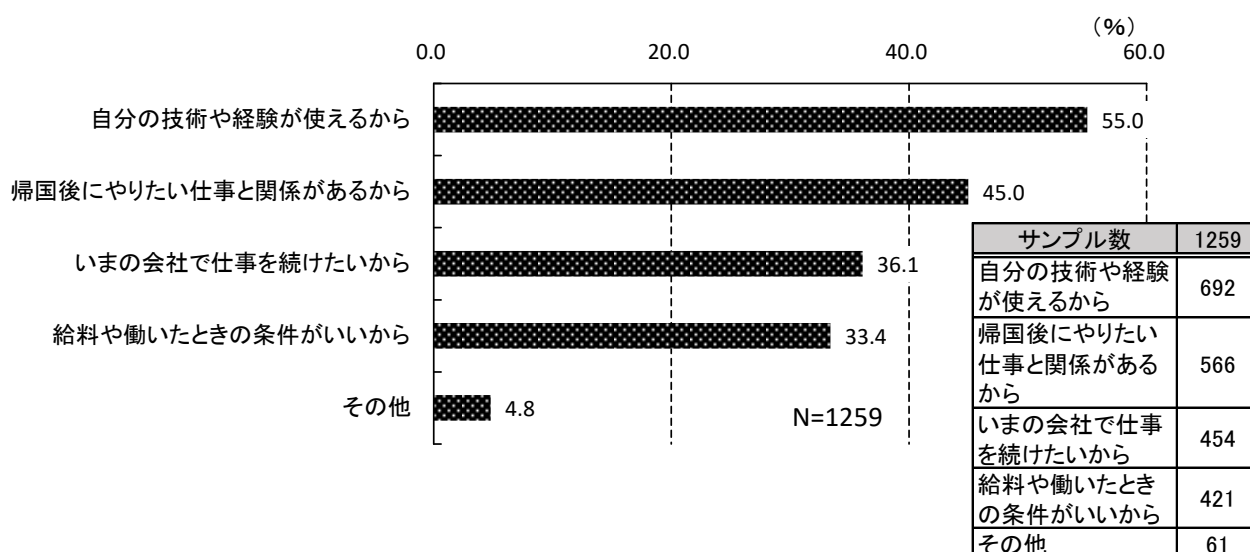
		今後就労する場合の希望業種																	現在と同業種への 就労志望者比率		
上段:実数,下段:%		サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業（繊維・衣服）	製造業（食品）	製造業（機械・金属）	製造業（電気・電子関連）	製造業（造船）	製造業（自動車関係）	他製造業（その他）	小売業	宿泊業	外食業	介護	グビルクリーニン	その他のサービ		その他	
全体	1,276 100.0	91 7.1	25 2.0	74 5.8	263 20.6	346 27.1	220 17.2	208 16.3	222 17.4	313 24.5	70 5.5	104 8.2	39 3.1	215 16.8	81 6.3	13 1.0	48 3.8	60 4.7	898 70.4		
実習先の業種	農業	45 100.0	33 73.3	0 0.0	1 2.2	3 6.7	12 26.7	2 4.4	5 11.1	0 0.0	5 11.1	2 4.4	4 8.9	2 4.4	10 22.2	3 6.7	2 4.4	0 0.0	4 8.9	33 73.3	
	漁業	14 100.0	2 14.3	4 28.6	0 0.0	7 50.0	1 7.1	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	0 0.0	14.3	2 14.3	1 7.1	0 0.0	4 28.6
	建設業	87 100.0	8 9.2	2 2.3	52 59.8	2 2.3	20 23.0	11 12.6	31 35.6	3 3.4	23 26.4	6 6.9	3 3.4	3 3.4	6 6.9	1 1.1	0 0.0	3 3.4	1 1.1	1 1.1	52 59.8
	製造業（繊維・衣服）	230 100.0	7 3.0	4 1.7	3 1.3	199 86.5	46 20.0	5 2.2	10 4.3	2 0.9	8 3.5	9 3.9	17 7.4	1 0.4	41 17.8	18 7.8	2 0.9	4 1.7	3 1.3	199 86.5	
	製造業（食品）	173 100.0	12 6.9	5 2.9	2 1.2	15 8.7	142 82.1	7 4.0	37 21.4	5 2.9	21 12.1	5 2.9	21 12.1	7 4.0	53 30.6	13 7.5	4 2.3	10 5.8	9 5.2	142 82.1	
	製造業（機械・金属）	172 100.0	4 2.3	2 1.2	6 3.5	7 4.1	24 14.0	133 77.3	28 16.3	26 15.1	43 25.0	14 8.1	11 6.4	7 4.1	18 10.5	5 2.9	2 1.2	4 2.3	4 2.3	133 77.3	
	製造業（造船）	186 100.0	11 5.9	6 3.2	9 4.8	3 1.6	11 5.9	34 18.3	24 12.9	172 92.5	45 24.2	11 5.9	3 1.6	6 3.2	3 1.6	0 0.0	0.5	2.2	0.0	0 0.0	172 92.5
	製造業（自動車関係）	213 100.0	8 3.8	1 0.5	0 0.0	12 5.6	51 23.9	15 7.0	36 16.9	0 0.0	145 68.1	7 3.3	37 17.4	9 4.2	52 24.4	15 7.0	0 0.0	11 5.2	10 4.7	145 68.1	
	小売業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	介護	18 100.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	18 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 100.0
	その他	127 100.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0	11 8.7	34 26.8	11 8.7	32 25.2	12 9.4	18 14.2	16 12.6	7 5.5	2 1.6	28 22.0	8 6.3	0 0.0	9 7.1	29 22.8	127 100.0	

⑤ 就労希望業種を選択した理由

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

④ 『③』で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

「自分の技術や経験が使えるから」が55.0%で最も高く、次いで「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が45.0%、「いまの会社で仕事を続けたいから」が36.1%となっており、自身の能力を生かしたい、今の会社で続けたいなど、現在の実習先と同じ分野の業種で継続して就労を希望する者が多いことが裏付けられた。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では「自分の技術や経験が使えるから」がそれぞれ68.5%、66.3%で、他国出身者と比較して高い。ベトナム、フィリピン、その他の国の出身者では「いまの会社で仕事を続けたいから」がそれぞれ40%以上となっている。

また、ベトナム出身者については、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が50%程度で、他国出身者よりも日本での経験、技術を自国に持ち帰って活用したいと考える者が多い傾向がみられた。

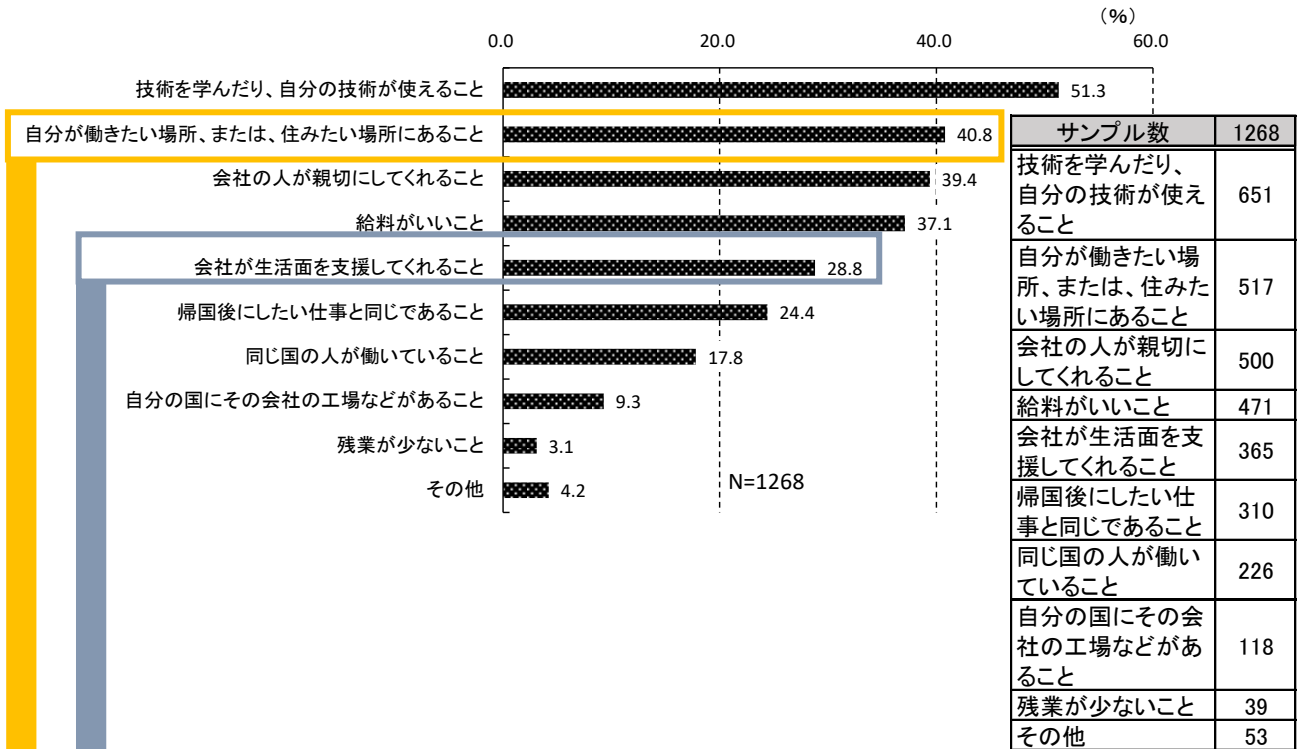
	サンプル数	自分の技術や経験が使えるから	帰国後にやりたい仕事と関係があるから	給料や働いたときの条件がいいから	いまの会社で仕事を続けたいから	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	1,259	692	566	421	454	61	
	100.0	55.0	45.0	33.4	36.1	4.8	
出身国	ベトナム	481	263	249	154	204	21
		100.0	54.7	51.8	32.0	42.4	4.4
	中国	472	239	188	161	143	31
		100.0	50.6	39.8	34.1	30.3	6.6
	フィリピン	146	100	68	53	60	5
		100.0	68.5	46.6	36.3	41.1	3.4
インドネシア	98	65	41	33	20	3	
	100.0	66.3	41.8	33.7	20.4	3.1	
その他	54	20	17	18	24	1	
	100.0	37.0	31.5	33.3	44.4	1.9	

⑥ 働く企業を選ぶ際に重視する条件と、希望する就労・居住地域

設問：技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が51.3%で最も高く、次いで「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が40.8%、「会社の人が親切にしてくれること」が39.4%と、給料以外の条件が上位3項目を占めた。



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、「家を借りること」が62.2%で最も高く、次いで「日本語の勉強」が46.3%となった。

出身国別にみると、インドネシア、フィリピン、ベトナム出身者では「日本語の勉強」、中国、ベトナム出身者では「家を借りること」がそれぞれ高く、出身国で希望する支援内容のウェイトに差がみられた。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他	
上段:実数、下段:%					
全体	164	76	102	11	
	100.0	46.3	62.2	6.7	
出身国	ベトナム	70	40	40	4
		100.0	57.1	57.1	5.7
	中国	63	18	48	7
		100.0	28.6	76.2	11.1
	フィリピン	17	10	7	0
	100.0	58.8	41.2	0.0	
インドネシア	11	7	4	0	
	100.0	63.6	36.4	0.0	
その他	3	1	3	0	
	100.0	33.3	100.0	0.0	



【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、「広島県内」が57.0%で、東京・大阪を抑えた。

出身国別にみると、ベトナム、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者で「広島県内」が最も高いが、中国では「東京」が43.4%と、わずかな差で最も高い結果となった。

		サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他
上段:実数、下段:%						
全体		509 100.0	290 57.0	160 31.4	52 10.2	7 1.4
出身国	ベトナム	185 100.0	120 64.9	46 24.9	18 9.7	1 0.5
	中国	226 100.0	96 42.5	98 43.4	28 12.4	4 1.8
	フィリピン	52 100.0	36 69.2	12 23.1	2 3.8	2 3.8
	インドネシア	26 100.0	23 88.5	2 7.7	1 3.8	0 0.0
	その他	19 100.0	14 73.7	2 10.5	3 15.8	0 0.0

【出身国別】

出身国別に働く企業を選ぶ際に重視する条件をみると、フィリピンとインドネシア出身者では「技術を学んだり、自分の技術が使えること」がそれぞれ75.2%、64.0%で、他国出身者と比較して特に高くなっている。ベトナム、中国の国の出身者では「会社の人が親切にしてくれること」がそれぞれ40%以上と高く、他国出身者よりも人間関係を重視する傾向が強い結果となった。また、就労・居住希望地域で「東京」が最多であった中国出身者については「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が47.9%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

		サンプル数	自分の技術を学んだり、自分の技術が使えること	帰国後にしたい仕事	自分の国にその会社	残業が少ないこと	給料がいいこと	会社が生活面を支援	会社の人と親切にし	同じ国の人と一緒に働く	自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること	その他
上段:実数、下段:%												
全体		1,268 100.0	651 51.3	310 24.4	118 9.3	39 3.1	471 37.1	365 28.8	500 39.4	226 17.8	517 40.8	53 4.2
出身国	ベトナム	481 100.0	228 47.4	123 25.6	47 9.8	4 0.8	192 39.9	179 37.2	212 44.1	90 18.7	188 39.1	12 2.5
	中国	480 100.0	230 47.9	106 22.1	29 6.0	33 6.9	159 33.1	117 24.4	207 43.1	90 18.8	230 47.9	31 6.5
	フィリピン	149 100.0	112 75.2	50 33.6	27 18.1	1 0.7	53 35.6	33 22.1	41 27.5	16 10.7	53 35.6	3 2.0
	インドネシア	100 100.0	64 64.0	23 23.0	1 1.0	0 0.0	51 51.0	22 22.0	18 18.0	25 25.0	26 26.0	4 4.0
	その他	50 100.0	16 32.0	5 10.0	13 26.0	1 2.0	15 30.0	9 18.0	20 40.0	4 8.0	19 38.0	2 4.0

【希望する就労・居住地域を選択した理由（自由回答）】

希望する就労・居住地域を選択した理由について、自由記述の回答を分類集約したところ、広島県内希望者においては「生活環境がいい」、「広島での生活に慣れた」、「生活費が安い」など、生活環境に対する評価が理由となっている傾向が見られた。

一方、東京を希望した者については「給料の高さ」や「繁栄している、賑わっている」などを理由としている者が多い傾向となった。

広島県内希望者		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活環境がいいから	32
2	広島での生活に慣れたから	19
3	生活費が安いから	14
東京希望者		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	給料が安定している、高いから	23
2	繁栄している、賑わっているから	18
3	日本の首都・中心部だから	12

⑦ **仕事のために勉強したい技術や知識の有無**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい技術や知識はありますか？
（1つだけ選択）

「ある」が75.2%で、70%以上の技能実習生が仕事のために学習したいことがあるという結果となった。

出身国別にみると、中国とその他の国の出身者で学習したいことが「ある」者の割合が、他と比較して低い傾向となった。

		サンプル数	ある	ない
上段:実数、下段:%				
全 体		1,248 100.0	939 75.2	309 24.8
出身国	ベトナム	470 100.0	398 84.7	72 15.3
	中国	479 100.0	324 67.6	155 32.4
	フィリピン	141 100.0	104 73.8	37 26.2
	インドネシア	97 100.0	82 84.5	15 15.5
	その他	54 100.0	24 44.4	30 55.6

【仕事のために勉強したい技術や知識について（自由回答）】

仕事のために勉強したい技術や知識が「ある」と回答した者の、どのようなことを学びたいか自由記述の回答を分類集約したところ、**「日本語」**が232件で最も多い結果となった。

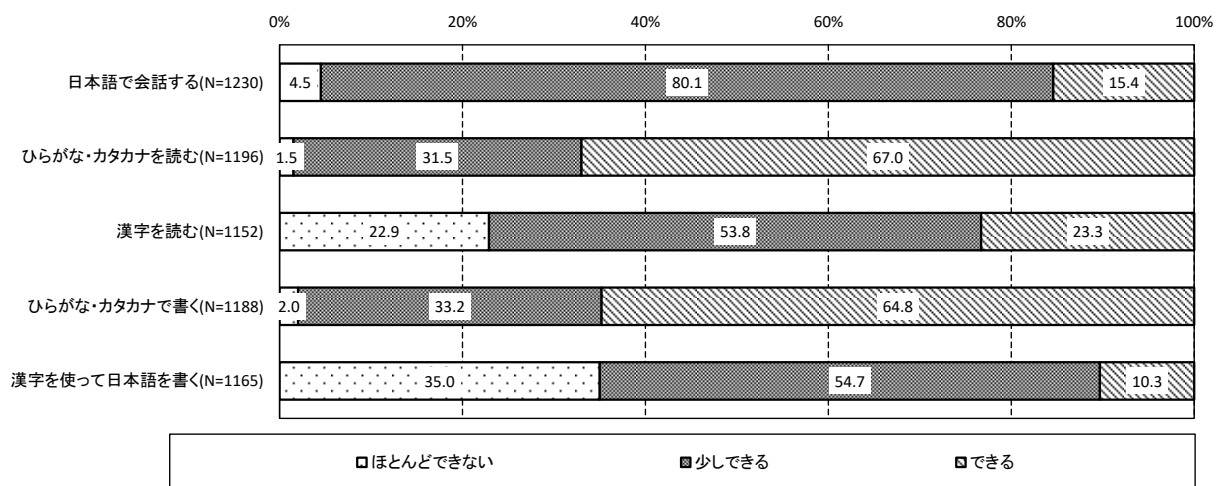
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	日本語	232
2	溶接関連	44
3	機械関連	36
4	縫製関連	25
5	介護関連	18
6	自動車関連	18
7	造船関連	12
8	電気・電子関連	8
9	CNC関連	7
10	農業関連	7

(4) 日本語の学習について

① 日本語の習熟度

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？
 （それぞれの内容について、1つだけ選択）

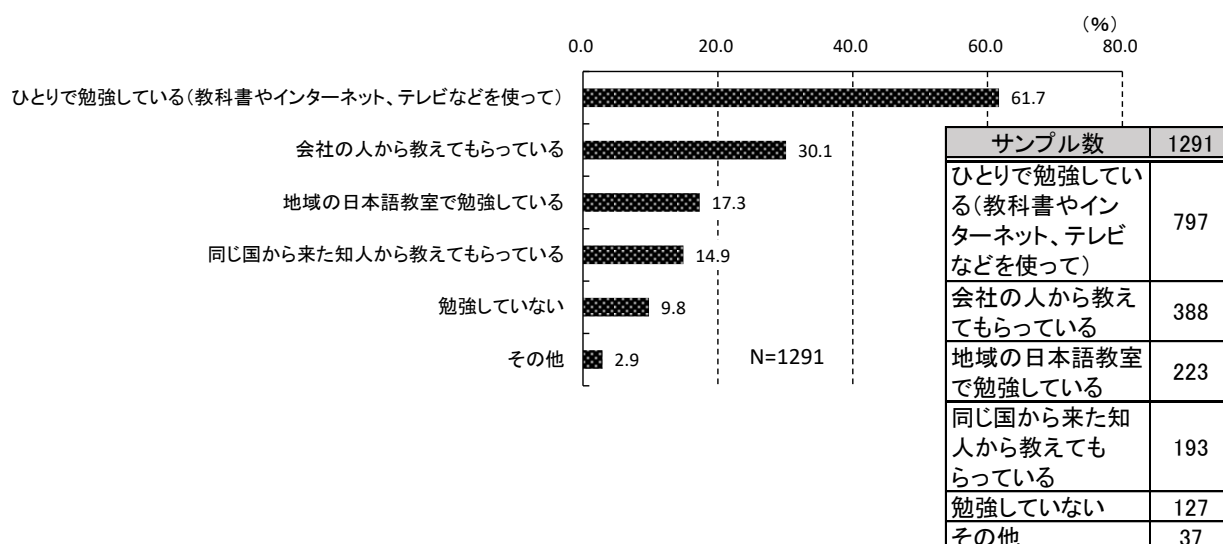
日本語での会話は「少しできる」が80.1%、ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」についてはそれぞれ60%以上の者が「できる」と回答している。



② 日本語の学習状況

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が61.7%で最も高く、次いで「会社の人から教えてもらっている」が30.1%、「地域の日本語教室で勉強している」が17.3%となった。



【出身国別】

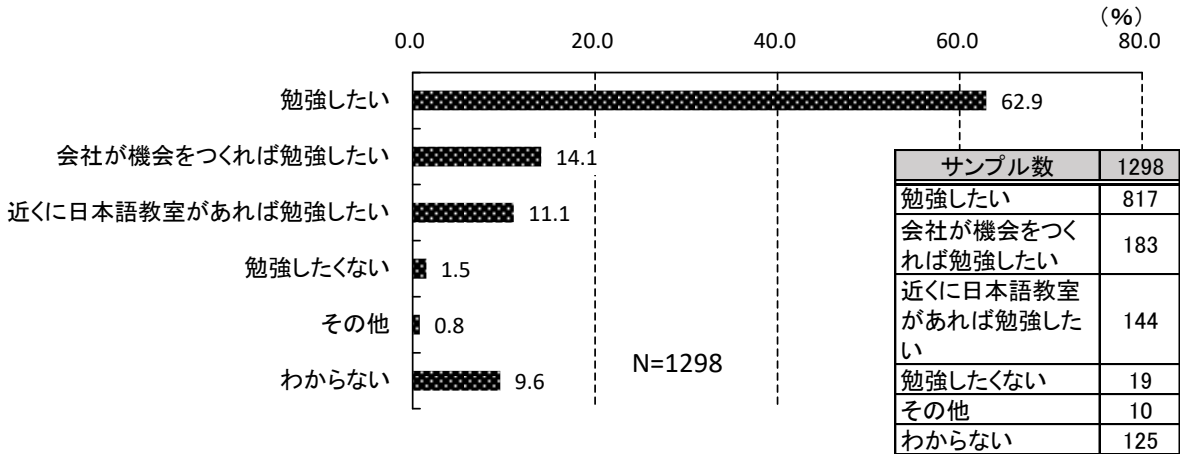
出身国別にみると、ベトナムとインドネシア出身者では「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」がそれぞれ77.1%、84.0%で、他国出身者と比較して割合が高い傾向となった。一方、フィリピン出身者では「地域の日本語教室で勉強している」が51.7%、中国とその他の国の出身者では「会社の人から教えてもらっている」がそれぞれ45.3%、50.0%で、ベトナムやインドネシア出身者と比較して「ひとりで勉強」以外の方法での学習機会が多い傾向となった。

	サンプル数	学習方法						
		ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)	地域の日本語教室で勉強している	会社の人から教えてもらっている	同じ国から来た知人から教えてもらっている	勉強していない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,291 100.0	797 61.7	223 17.3	388 30.1	193 14.9	127 9.8	37 2.9	
出身国	ベトナム	490 100.0	378 77.1	84 17.1	96 19.6	58 11.8	34 6.9	8 1.6
	中国	492 100.0	248 50.4	25 5.1	223 45.3	86 17.5	78 15.9	18 3.7
	フィリピン	147 100.0	53 36.1	76 51.7	22 15.0	14 9.5	2 1.4	8 5.4
	インドネシア	100 100.0	84 84.0	35 35.0	17 17.0	27 27.0	1 1.0	0 0.0
	その他	54 100.0	29 53.7	2 3.7	27 50.0	7 13.0	12 22.2	3 5.6

③ 日本語の学習意向

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

今後も日本語を「勉強したい」が62.9%で最も高く、会社の支援や日本語教室に通える環境があれば勉強したい人も含めると、約90%の技能実習生が日本語の学習意欲があるという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では「勉強したい」が70.9%で他の国と比較して高くなっている。

一方、フィリピン出身者では「会社が機会をつくれれば勉強したい」が42.6%、インドネシア出身者では「近くに日本語教室があれば勉強したい」が42.6%と、他国出身者と比較して、条件があれば日本語を学習したいと回答している技能実習生の割合が高い傾向となった。

	サンプル数	勉強したい	会社が機会をつくれれば勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	わからない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,298 100.0	817 62.9	183 14.1	144 11.1	19 1.5	125 9.6	10 0.8	
出身国	ベトナム	492 100.0	349 70.9	49 10.0	60 12.2	4 0.8	25 5.1	5 1.0
	中国	494 100.0	299 60.5	66 13.4	30 6.1	9 1.8	87 17.6	3 0.6
	フィリピン	148 100.0	68 45.9	63 42.6	7 4.7	1 0.7	7 4.7	2 1.4
	インドネシア	101 100.0	52 51.5	5 5.0	43 42.6	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	その他	55 100.0	43 78.2	0 0.0	2 3.6	5 9.1	5 9.1	0 0.0

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、「勉強したい」の割合は、習熟度が高くなるにつれ、高くなる傾向がみられた。

	サンプル数	勉強したい	会社が機会をつくれれば勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	わからない	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	1,298 100.0	817 62.9	183 14.1	144 11.1	19 1.5	125 9.6	10 0.8	
日本語習熟度	習熟度【低】	359 100.0	206 57.4	60 16.7	29 8.1	8 2.2	52 14.5	4 1.1
	習熟度【中】	660 100.0	417 63.2	96 14.5	89 13.5	8 1.2	45 6.8	5 0.8
	※調査対象者のうち、習熟度【高】に該当する者は97名（7.4%）であり、このうち「勉強したい」と回答した者は77名（79.7%）であった。	97 100.0	77 79.7	6 6.2	7 7.2	1 1.0	6 6.2	0 0.0

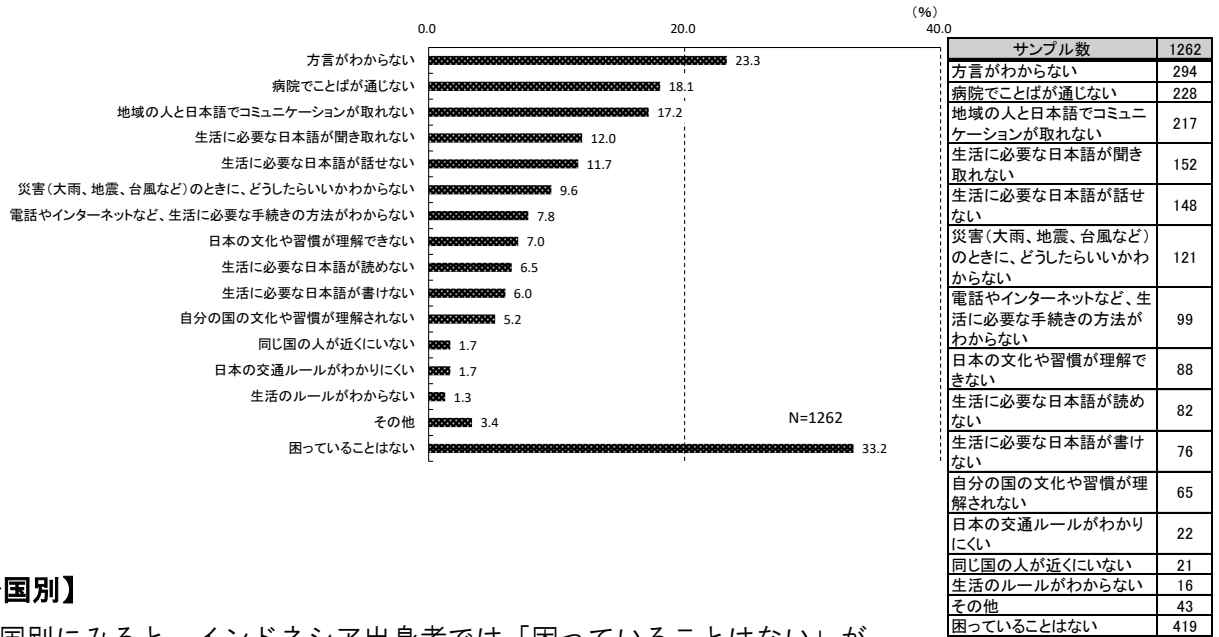
(5) 技能実習生の普段の生活状況について

① 普段の生活の中で困っていること

設問：最近（6か月以内）、仕事以外で、困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

「困っていることはない」が33.2%で最も高くなっているものの、66.8%は何らかの困りごとがあると回答している。

困りごとの内容としては、「方言がわからない」が23.3%、「病院でことばが通じない」が18.1%、「地域の人とコミュニケーションがとれない」が17.2%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、インドネシア出身者では「困っていることはない」が61.0%で、他国出身者と比較して特に高くなっている。

「地域の人と日本語でコミュニケーションがとれない」では、ベトナム、中国、フィリピン出身者でそれぞれ15%~20%程度に対し、インドネシア、その他の国の出身者では、それぞれ10%未満となった。

また、「病院でことばが通じない」では、ベトナムと中国出身者で20%程度に対し、フィリピン、インドネシア、その他の国の出身者では、それぞれ10%未満という結果となった。

出身国	サンプル数	聞き取れない	話せない	読めない	書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションがとれない	日本の文化や習慣が理解できない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	災害(大雨、地震、台風など)のときに、どうしたらいいかわからない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	困っていることはない	その他
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	1,262	12.0	11.7	6.5	6.0	23.3	17.2	7.0	6.5	6.0	5.2	1.7	1.3	1.7	18.1	9.6	7.8	33.2	4.3
ベトナム	480	11.9	12.5	5.6	6.0	22.5	15.6	9.2	2.1	1.7	1.0	2.1	1.7	1.0	17.9	7.7	10.4	31.0	2.3
中国	482	15.8	13.5	6.0	6.2	27.0	22.4	5.8	7.3	0.8	1.7	1.0	1.7	1.0	24.7	9.5	7.9	33.4	4.8
フィリピン	139	8.6	8.6	12.2	6.5	15.8	20.1	3.6	5.8	4.3	1.4	1.4	1.4	7.2	4.3	14.4	25.2	3.6	5
インドネシア	100	0.0	3.0	0.0	1.0	22.0	2.0	2.0	9.0	2.0	0.0	0.0	0.0	8.0	5.0	4.0	61.0	0.0	0
その他	53	13.2	15.1	17.0	11.3	18.9	5.7	13.2	5.7	1.9	1.9	9.4	7.5	5.7	15.1	20.8	0.0	0	0

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者とみると、在留期間が長くなるほど「困っていることはない」の割合が高くなる傾向にある。

日本語の面では、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」などの項目については、在留期間が1年未満の者が1年以上の者よりも高い傾向がみられた。「方言がわからない」、「病院でことばが通じない」については、在留期間が1年以上の者はその期間が長くなっても、あまり低減していない結果となった。

		サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人と近くにいる	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわからない	病院でことばが通じない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
上段:実数, 下段:%																		
全体		1,262 100.0	152 12.0	148 11.7	82 6.5	76 6.0	294 23.3	217 17.2	88 7.0	65 5.2	21 1.7	16 1.3	22 1.7	228 18.1	99 7.8	121 9.6	419 33.2	43 3.4
在留期間	1年未満	315 100.0	64 20.3	54 17.1	37 11.7	26 8.3	103 32.7	60 19.0	21 6.7	8 2.5	9 2.9	7 2.2	0 0.0	48 15.2	22 7.0	39 12.4	84 26.7	7 2.2
	1年	283 100.0	26 9.2	26 9.2	20 7.1	16 5.7	61 21.6	53 18.7	27 9.5	12 4.2	3 1.1	3 1.1	12 4.2	50 17.7	24 8.5	23 8.1	95 33.6	9 3.2
	2年	429 100.0	42 9.8	48 11.2	21 4.9	17 4.0	81 18.9	72 16.8	24 5.6	27 6.3	5 1.2	3 0.7	5 1.2	88 20.5	33 7.7	39 9.1	148 34.5	19 4.4
	3年	178 100.0	16 9.0	17 9.6	4 2.2	12 6.7	37 20.8	26 14.6	13 7.3	12 6.7	3 1.7	3 1.7	3 1.7	38 21.3	15 8.4	14 7.9	70 39.3	5 2.8
	4年以上	39 100.0	2 5.1	1 2.6	0 0.0	3 7.7	7 17.9	5 12.8	2 5.1	3 7.7	1 2.6	0 0.0	2 5.1	4 10.3	5 12.8	3 7.7	16 41.0	2 5.1

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、職場での困りごとと同様に、習熟度が上がるほど「困っていることはない」とする者の割合が高くなっており、困りごとが少なくなる傾向となった。一方で、「方言がわからない」、「病院でことばが通じない」と回答する者の割合は、習熟度に高くなってもほとんど低減しないという結果となった。

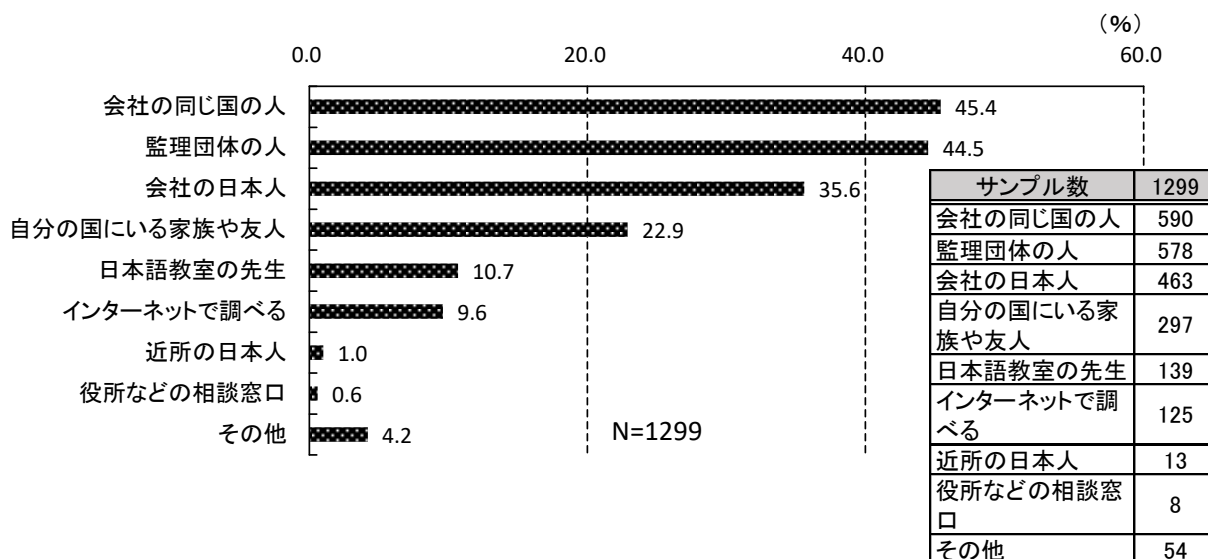
		サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人と近くにいる	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわからない	病院でことばが通じない	電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	困っていることはない	その他
上段:実数, 下段:%																		
全体		1,262 100.0	152 12.0	148 11.7	82 6.5	76 6.0	294 23.3	217 17.2	88 7.0	65 5.2	21 1.7	16 1.3	22 1.7	228 18.1	99 7.8	121 9.6	419 33.2	43 3.4
日本語習熟度	習熟度【低】	346 100.0	39 11.3	39 11.3	28 8.1	28 8.1	74 21.4	68 19.7	29 8.4	20 5.8	6 1.7	3 0.9	13 3.8	61 17.6	29 8.4	40 11.6	103 29.8	7 2.0
	習熟度【中】	645 100.0	76 11.8	81 12.6	45 7.0	39 6.0	162 25.1	104 16.1	41 6.4	36 5.6	9 1.4	9 1.4	5 0.8	121 18.8	49 7.6	63 9.8	218 33.8	28 4.3
	習熟度【高】	95 100.0	7 7.4	8 8.4	2 2.1	2 2.1	22 23.2	8 8.4	6 6.3	3 3.2	0 0.0	1 1.1	3 3.2	17 17.9	9 9.5	5 5.3	46 48.4	2 2.1

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

② 普段の生活において困っていることの相談相手

設問：仕事以外で、困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「会社の同じ国の人」が45.4%で最も高く、次いで「監理団体の人」が44.5%、「会社の日本人」が35.6%で、仕事における困りごとの相談相手と同様に、インターネット等の活用なしでも対面で相談できる身近な人へ相談する者の割合が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、インドネシア出身者では「会社の同じ国の人」が70.0%「監理団体の人」54.0%と、それぞれ他国出身者と比較して高い結果となった。

また、フィリピン出身者については「会社の日本人」が15.3%と他国出身者と比較して特に低くなっている。

	サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	家族や友人	日本語教室の先生	近所の日本人	その他	
											上段:実数、下段:%
全体	1,299	463	590	578	8	125	297	139	13	54	
	100.0	35.6	45.4	44.5	0.6	9.6	22.9	10.7	1.0	4.2	
出身国	ベトナム	493	201	218	237	1	77	126	14	4	8
		100.0	40.8	44.2	48.1	0.2	15.6	25.6	2.8	0.8	1.6
	中国	494	168	220	205	6	30	107	98	4	36
		100.0	34.0	44.5	41.5	1.2	6.1	21.7	19.8	0.8	7.3
	フィリピン	150	23	57	54	0	13	44	18	1	10
	100.0	15.3	38.0	36.0	0.0	8.7	29.3	12.0	0.7	6.7	
インドネシア	100	39	70	54	0	3	14	9	3	0	
	100.0	39.0	70.0	54.0	0.0	3.0	14.0	9.0	3.0	0.0	
その他	54	30	22	23	1	1	5	0	1	0	
	100.0	55.6	40.7	42.6	1.9	1.9	9.3	0.0	1.9	0.0	

【普段の生活の中で困っている際の相談相手の関係性】

普段の生活の中で困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、「インターネットで調べる」、「自分の国にいる家族や友人」を相談相手としている者は、その他の相談相手として「会社の同じ国の人」も選択している割合が高い傾向となった。

		サンプル数	会社の日本人	会社の同じ国の人	監理団体の人	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	自分の国にいる家族や友人	日本語教室の先生	近所の日本人	その他
上段:実数、下段:%											
全体		1,299 100.0	463 35.6	590 45.4	578 44.5	8 0.6	125 9.6	297 22.9	139 10.7	13 1.0	54 4.2
普段の生活で困っている際の相談相手	会社の日本人	463 100.0	463 100.0	185 40.0	249 53.8	1 0.2	48 10.4	53 11.4	44 9.5	6 1.3	3 0.6
	会社の同じ国の人	590 100.0	185 31.4	590 100.0	193 32.7	4 0.7	64 10.8	120 20.3	62 10.5	3 0.5	18 3.1
	監理団体の人	578 100.0	249 43.1	193 33.4	578 100.0	6 1.0	40 6.9	69 11.9	34 5.9	7 1.2	8 1.4
	役所などの相談窓口	8 100.0	1 12.5	4 50.0	6 75.0	8 100.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
	インターネットで調べる	125 100.0	48 38.4	64 51.2	40 32.0	0 0.0	125 100.0	36 28.8	10 8.0	2 1.6	2 1.6
	自分の国にいる家族や友人	297 100.0	53 17.8	120 40.4	69 23.2	2 0.7	36 12.1	297 100.0	18 6.1	1 0.3	5 1.7
	日本語教室の先生	139 100.0	44 31.7	62 44.6	34 24.5	3 2.2	10 7.2	18 12.9	139 100.0	0 0.0	0 0.0
	近所の日本人	13 100.0	6 46.2	3 23.1	7 53.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	13 100.0	0 0.0
	その他	54 100.0	3 5.6	18 33.3	8 14.8	0 0.0	2 3.7	5 9.3	0 0.0	0 0.0	54 100.0

③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

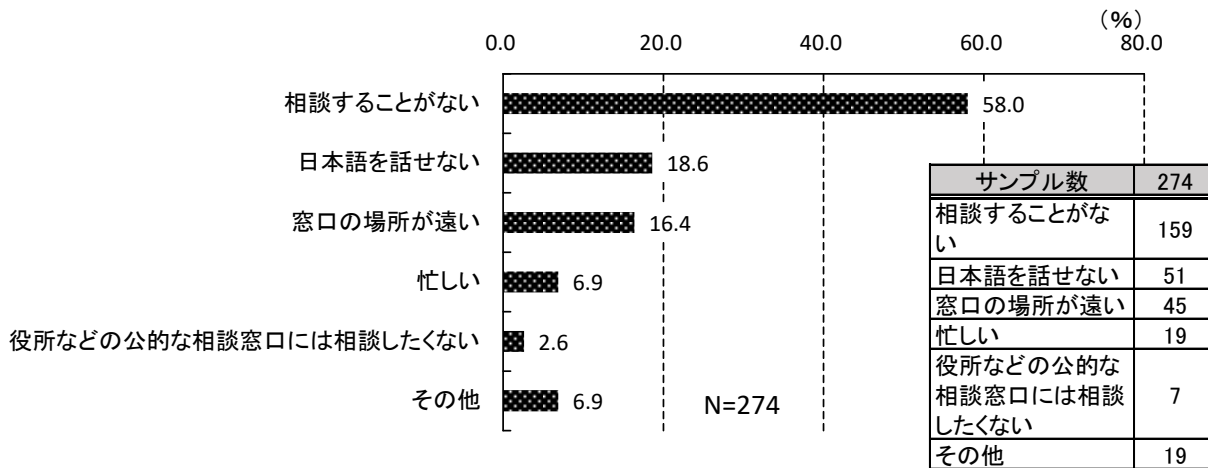
設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

「知らない」が70.8%で最も高く、多くの技能実習生が公的な相談窓口を認知していないという結果となった。

	サンプル数	認知している 。したこともあ る。あ	知っている た。た ない。た け	知らない	
上段:実数、下段:%					
全体	1,263 100.0	36 2.9	333 26.4	894 70.8	
出身国	ベトナム	484 100.0	7 1.4	81 16.7	396 81.8
	中国	485 100.0	20 4.1	129 26.6	336 69.3
	フィリピン	134 100.0	3 2.2	61 45.5	70 52.2
	インドネシア	99 100.0	3 3.0	54 54.5	42 42.4
	その他	53 100.0	3 5.7	5 9.4	45 84.9

【相談したことがない理由（「知っているけれど、相談したことはない」選択者のみ）】

公的な相談窓口を認知しているが相談したことがないと選択した回答者に対して、相談したことがない理由をたずねたところ、「相談することがない」が58.0%で最も高い一方で、「日本語を話せない」が18.6%、「窓口の場所が遠い」が16.4%と、約1/3の者が、自身の日本語能力や居住環境などの理由により、相談窓口を利用できていないという結果となった。

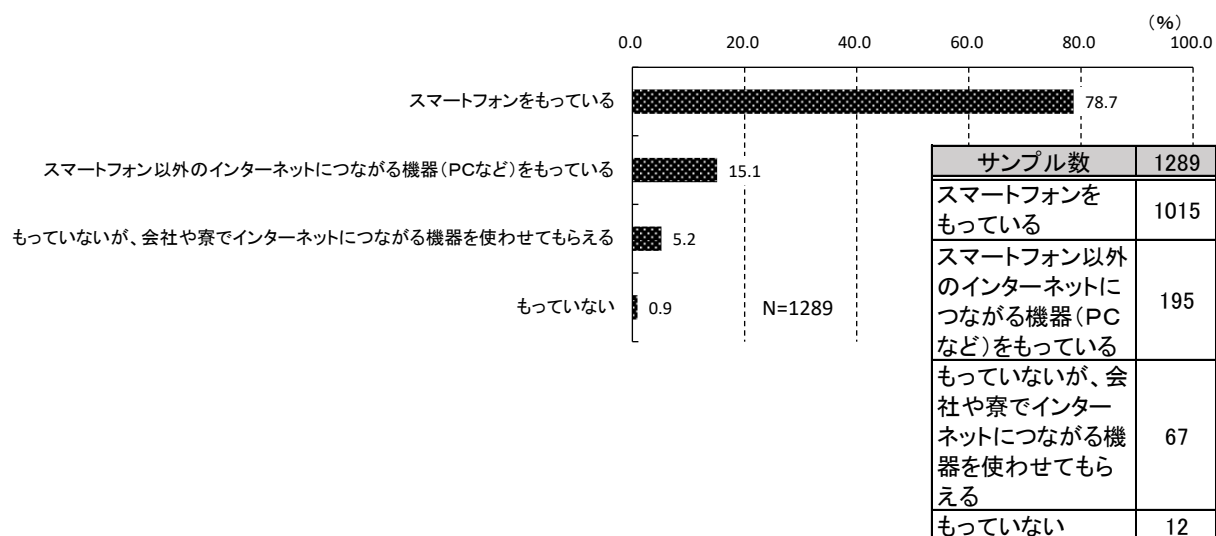


④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

「スマートフォンをもっている」が78.7%で最も高く、次いで「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器」が15.1%、「もっていないが、会社や寮でインターネットにつながる機器を使わせてもらえる」が5.2%で、あわせてインターネットを利用できる環境にある者が90%以上となった。

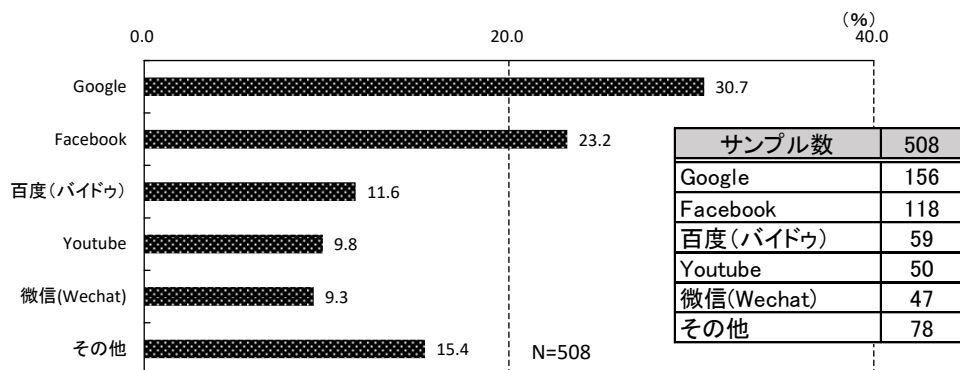


設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

- ② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。
また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイト】

「Google」が 30.7%で最も高く、次いで「Facebook」が 23.2%、「百度（バイドゥ）」が 11.6%となった。



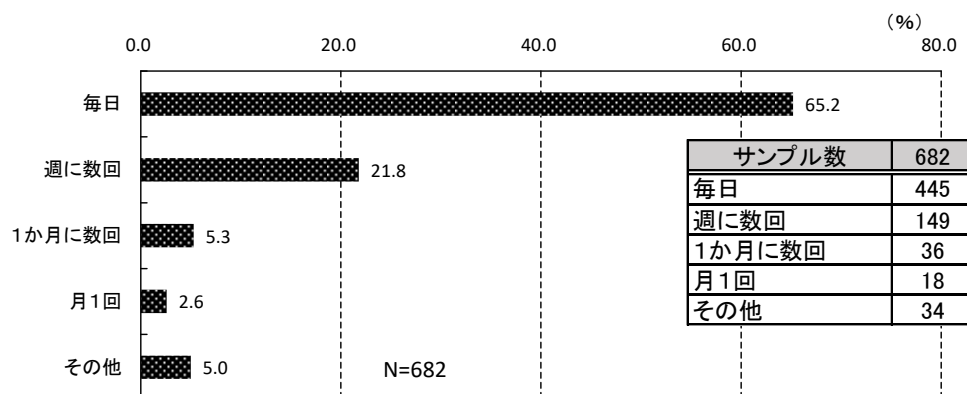
【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では、「Facebook」、フィリピンとインドネシア出身者では「Google」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者では、70%以上の者が「微信（Wechat）」または「百度（バイドゥ）」を利用しているという結果となった。

		サンプル数	F a c e b o o k	G o o g l e	Y o u t u b e	微信 (W e c h a t)	百度 (バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%								
全体		508 100.0	118 23.2	156 30.7	50 9.8	47 9.3	59 11.6	78 15.4
出身国	ベトナム	229 100.0	101 44.1	66 28.8	21 9.2	0 0.0	0 0.0	41 17.9
	中国	142 100.0	0 0.0	10 7.0	4 2.8	47 33.1	59 41.5	22 15.5
	フィリピン	75 100.0	10 13.3	51 68.0	9 12.0	0 0.0	0 0.0	5 6.7
	インドネシア	43 100.0	1 2.3	26 60.5	10 23.3	0 0.0	0 0.0	6 14.0
	その他	15 100.0	5 33.3	1 6.7	6 40.0	0 0.0	0 0.0	3 20.0

【最もよく利用する web サイトの利用頻度】

最もよく利用する web サイトの利用頻度は、「毎日」が 65.2%で最も高く、次いで「週に数回」が 21.8%で、週に数回以上利用する者が 80%以上となった。



【出身国別】

出身国別にみると、すべての国においても、約 80%~90%の者が、「週に数回」以上利用しているという結果となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
全体		682	445	149	36	18	34
		100.0	65.2	21.8	5.3	2.6	5.0
出身国	ベトナム	295	208	55	16	4	12
		100.0	70.5	18.6	5.4	1.4	4.1
	中国	225	129	54	15	6	21
		100.0	57.3	24.0	6.7	2.7	9.3
	フィリピン	98	64	27	3	3	1
		100.0	65.3	27.6	3.1	3.1	1.0
インドネシア	42	27	10	1	4	0	
	100.0	64.3	23.8	2.4	9.5	0.0	
その他	18	16	2	0	0	0	
	100.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	

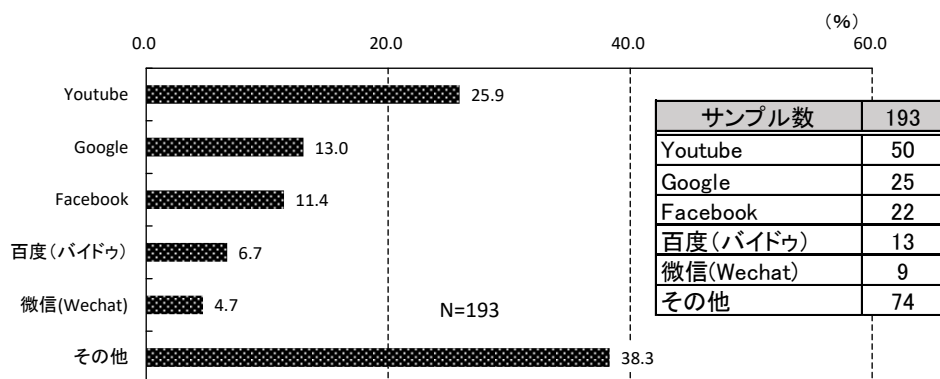
【最もよく利用する web サイト別利用頻度】

最もよく利用する web サイト別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Facebook」が 31.7%で最も高く、次いで「Google」が 26.9%となった。「週に数回」利用するでは、「Google」が 43.0%で最も高かった。

		サンプル数	Facebook	Google	YouTube	~(Wechat)	百度(バイ)	その他
上段:実数、下段:%								
全体		508	118	156	50	47	59	78
		100.0	23.2	30.7	9.8	9.3	11.6	15.4
利用頻度	毎日	331	105	89	38	31	25	43
		100.0	31.7	26.9	11.5	9.4	7.6	13.0
	週に数回	114	7	49	8	9	18	23
		100.0	6.1	43.0	7.0	7.9	15.8	20.2
	1か月に数回	19	0	4	1	1	8	5
		100.0	0.0	21.1	5.3	5.3	42.1	26.3
月1回	7	0	6	0	0	0	1	
	100.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	
その他	4	0	2	0	0	2	0	
	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

【2番目によく利用するweb サイト】

「その他」を除くと、「Youtube」が25.9%、次いで「Google」が13.0%、「Facebook」が11.4%となった。



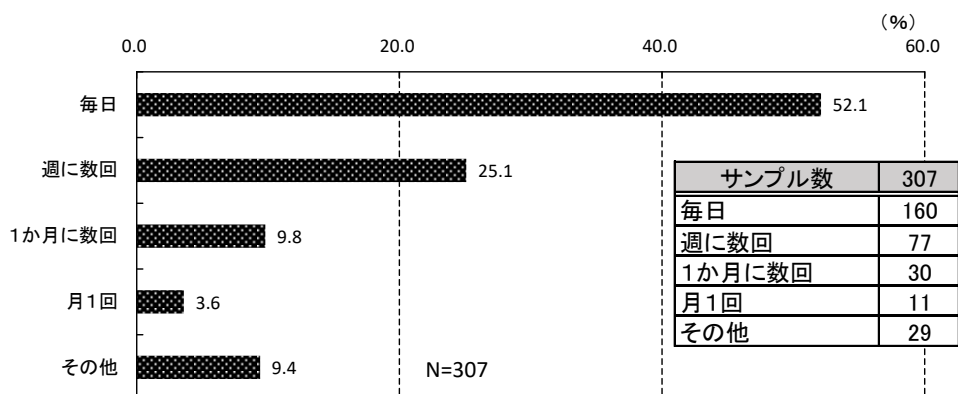
【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では、「Youtube」の割合が高い傾向となった。また、その他の国以外の出身者では「その他」が、約 30%~40%と高くなっている。

		サンプル数	Facebook	Google	Youtube	微信 (Wechat)	百度 (バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%								
全体		193	22	25	50	9	13	74
		100.0	11.4	13.0	25.9	4.7	6.7	38.3
出身国	ベトナム	91	16	15	26	0	0	34
		100.0	17.6	16.5	28.6	0.0	0.0	37.4
	中国	54	0	6	2	9	13	24
		100.0	0.0	11.1	3.7	16.7	24.1	44.4
	フィリピン	34	5	2	15	0	0	12
		100.0	14.7	5.9	44.1	0.0	0.0	35.3
インドネシア	13	0	2	7	0	0	4	
	100.0	0.0	15.4	53.8	0.0	0.0	30.8	
その他	1	1	0	0	0	0	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【2番目によく利用するwebサイトの利用頻度】

2番目によく利用するwebサイトの利用頻度は、「毎日」が52.1%で最も高く、次いで「週に数回」が25.1%で、1番よく利用するwebサイトと同様に、週に数回以上利用する者が80%程度という結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、いずれも「週に数回」以上利用する者が、約70%~90%と高くなっている。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
全体		307	160	77	30	11	29
		100.0	52.1	25.1	9.8	3.6	9.4
出身国	ベトナム	127	78	32	5	4	8
		100.0	61.4	25.2	3.9	3.1	6.3
	中国	110	46	26	15	6	17
		100.0	41.8	23.6	13.6	5.5	15.5
	フィリピン	51	26	14	8	0	3
	100.0	51.0	27.5	15.7	0.0	5.9	
インドネシア	15	8	4	2	0	1	
	100.0	53.3	26.7	13.3	0.0	6.7	
その他	3	2	1	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

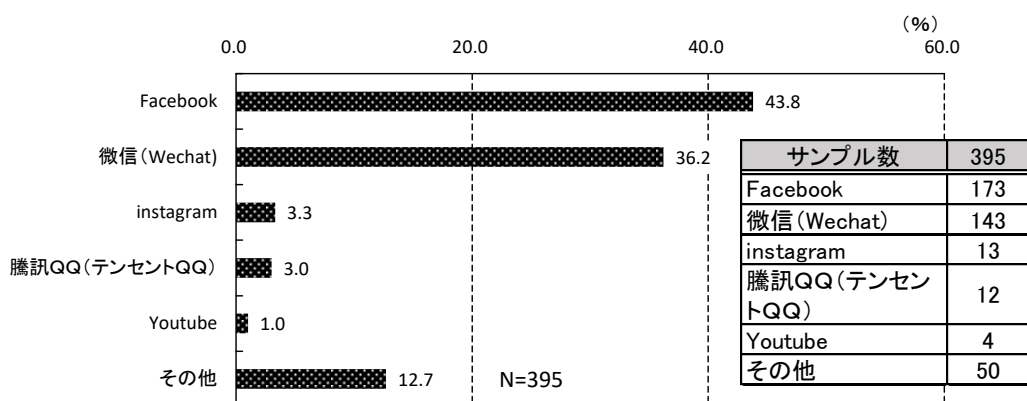
【2番目によく利用するwebサイト別利用頻度】

2番目によく利用するwebサイト別の利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Youtube」が29.9%で最も高く、次いで「Facebook」が18.6%となった。「週に数回」利用するでは、「その他」を除けば「Youtube」が27.3%と最も高い結果となった。

		サンプル数	k F a c e b o o	G o o g l e	Y o u t u b e	（ W 信 e c h a t	ド 百 度 （ パ イ	そ の 他
上段:実数、下段:%								
全体		193	22	25	50	9	13	74
		100.0	11.4	13.0	25.9	4.7	6.7	38.3
利用頻度	毎日	97	18	11	29	7	3	29
		100.0	18.6	11.3	29.9	7.2	3.1	29.9
	週に数回	55	3	7	15	1	6	23
		100.0	5.5	12.7	27.3	1.8	10.9	41.8
	1か月に数回	18	0	3	3	0	3	9
	100.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	
月1回	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	4	0	2	1	0	0	1	
	100.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	

【最もよく利用する SNS と利用頻度】

「Facebook」が43.8%で最も高く、次いで「微信（Wechat）」が36.2%となった。



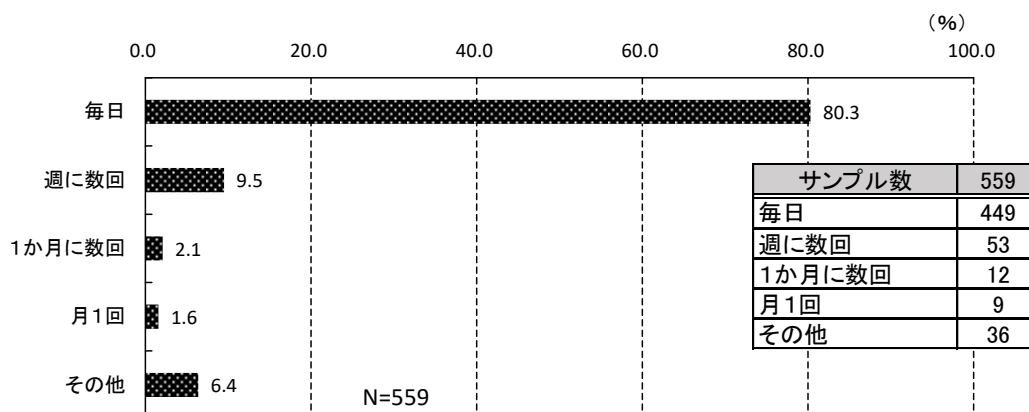
【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者以外では、「Facebook」がそれぞれ約50%～80%で、高い傾向となった。一方、中国出身者では、「微信（Wechat）」が91.1%となっており、90%以上の者が利用しているという結果となった。

	サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	Y o u t u b e	微 信 (W e c h a t)	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン ト Q Q)	そ の 他
上段:実数、下段:%							
全 体	395	173	13	4	143	12	50
	100.0	43.8	3.3	1.0	36.2	3.0	12.7
出 身 国	ベトナム	55	37	0	0	0	18
		100.0	67.3	0.0	0.0	0.0	32.7
	中国	157	1	0	0	143	12
		100.0	0.6	0.0	0.0	91.1	7.6
	フィリピン	70	56	0	1	0	13
		100.0	80.0	0.0	1.4	0.0	18.6
インドネシア	96	70	12	3	0	11	
	100.0	72.9	12.5	3.1	0.0	11.5	
その他	14	7	0	0	0	7	
	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	

【最もよく利用する SNS の利用頻度】

最もよく利用する SNS の利用頻度は、「毎日」が 80.3%で最も高いという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピン、インドネシア、その他の国出身者では、「毎日」利用する者が約 80%~90%と高い傾向となった。ベトナム、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者が約 80%で、いずれの国の出身者においても、利用頻度は高い傾向となった。

	サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	559 100.0	449 80.3	53 9.5	12 2.1	9 1.6	36 6.4	
出身国	ベトナム	107 100.0	68 63.6	14 13.1	5 4.7	4 3.7	16 15.0
	中国	225 100.0	175 77.8	21 9.3	5 2.2	4 1.8	20 8.9
	フィリピン	112 100.0	104 92.9	6 5.4	2 1.8	0 0.0	0 0.0
	インドネシア	87 100.0	79 90.8	7 8.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0
	その他	25 100.0	20 80.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

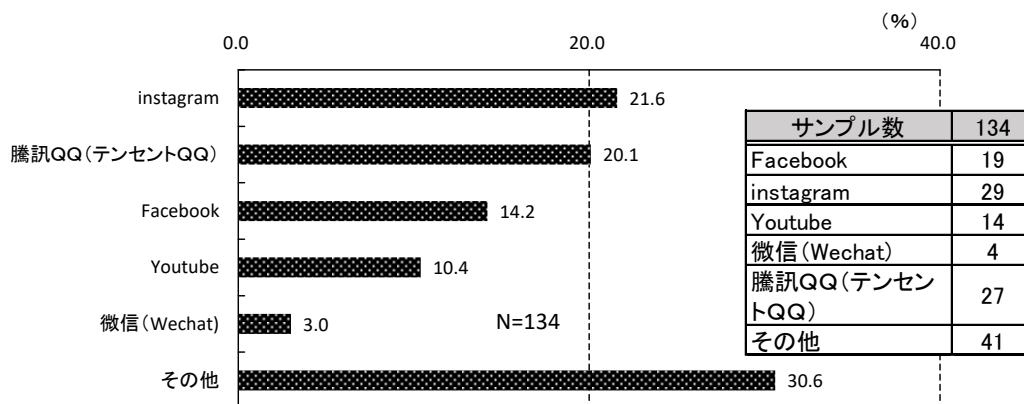
【最もよく利用する SNS 別利用頻度】

最もよく利用する SNS 別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「Facebook」が 44.2%で最も高く、次いで「微信（Wechat）」が 34.5%となった。「週に数回」利用するも同様に、「Facebook」が 47.8%、次いで「微信（Wechat）」が 30.4%と高くなっている。

	サンプル数	Facebook	Instagram	YouTube	微信 (Wechat)	騰訊 QQ (テン)	その他	
上段:実数、下段:%								
全体	395 100.0	173 43.8	13 3.3	4 1.0	143 36.2	12 3.0	50 12.7	
利用頻度	毎日	328 100.0	145 44.2	12 3.7	4 1.2	113 34.5	9 2.7	45 13.7
	週に数回	23 100.0	11 47.8	0 0.0	0 0.0	7 30.4	1 4.3	4 17.4
	1か月に数回	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS】

「その他」を除くと「instagram」が 21.6%、次いで「騰訊（テンセント QQ）」が 20.1%、「Facebook」が 14.2%となっている。



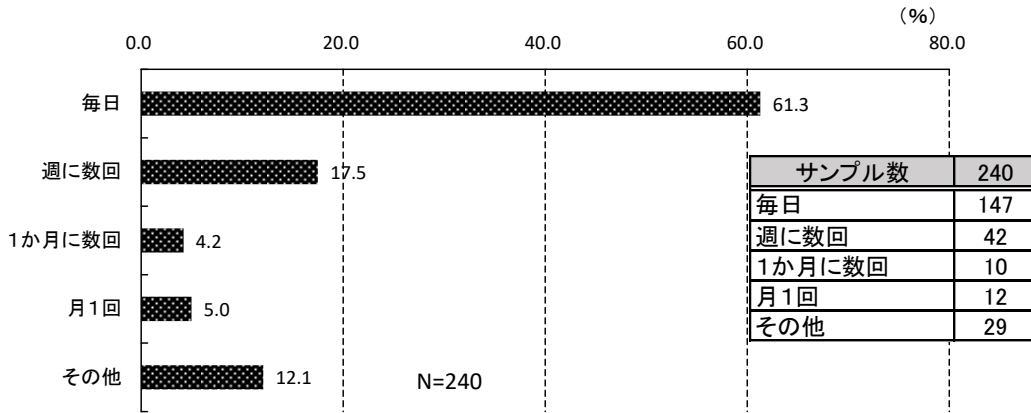
【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者では「騰訊（テンセント QQ）」が 75.0%と高くなっている。また、インドネシア出身者では「instagram」が 44.9%で、他国出身者と比較して、高い傾向となった。

		サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	Y o u t u b e	微 信 (W e c h a t)	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン ト)	そ の 他
		上段:実数、下段:%						
出身国	全 体	134 100.0	19 14.2	29 21.6	14 10.4	4 3.0	27 20.1	41 30.6
	ベトナム	18 100.0	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	13 72.2
	中国	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 11.1	27 75.0	5 13.9
	フィリピン	27 100.0	3 11.1	6 22.2	6 22.2	0 0.0	0 0.0	12 44.4
	インドネシア	49 100.0	10 20.4	22 44.9	6 12.2	0 0.0	0 0.0	11 22.4
	その他	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS の利用頻度】

2番目によく利用する SNS の利用頻度は、「毎日」が61.3%で最も高く、次いで「週に数回」が17.5%で、約80%の者が、週に数回以上利用するという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピンとインドネシア出身者では、「毎日」利用する者が約80%で、他の国の出身者と比較して高い傾向となった。ベトナム、中国、その他の国の出身者においても、「週に数回」以上利用する者がそれぞれ60%以上となっている。

	サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他	
							上段:実数、下段:%
全体	240	147	42	10	12	29	
	100.0	61.3	17.5	4.2	5.0	12.1	
出身国	ベトナム	50	27	6	3	5	9
		100.0	54.0	12.0	6.0	10.0	18.0
	中国	86	38	20	6	6	16
		100.0	44.2	23.3	7.0	7.0	18.6
	フィリピン	49	37	7	0	1	4
		100.0	75.5	14.3	0.0	2.0	8.2
インドネシア	47	39	7	1	0	0	
	100.0	83.0	14.9	2.1	0.0	0.0	
その他	6	4	2	0	0	0	
	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	

【2番目によく利用する SNS 別利用頻度】

2番目によく利用する SNS 別に利用頻度をみると、「毎日」利用するでは「その他」を除けば「instagram」が22.0%と最も高くなった。「週に数回」では、「騰訊(テンセント QQ)」が33.3%で最も高く、次いで「instagram」が29.6%となった。

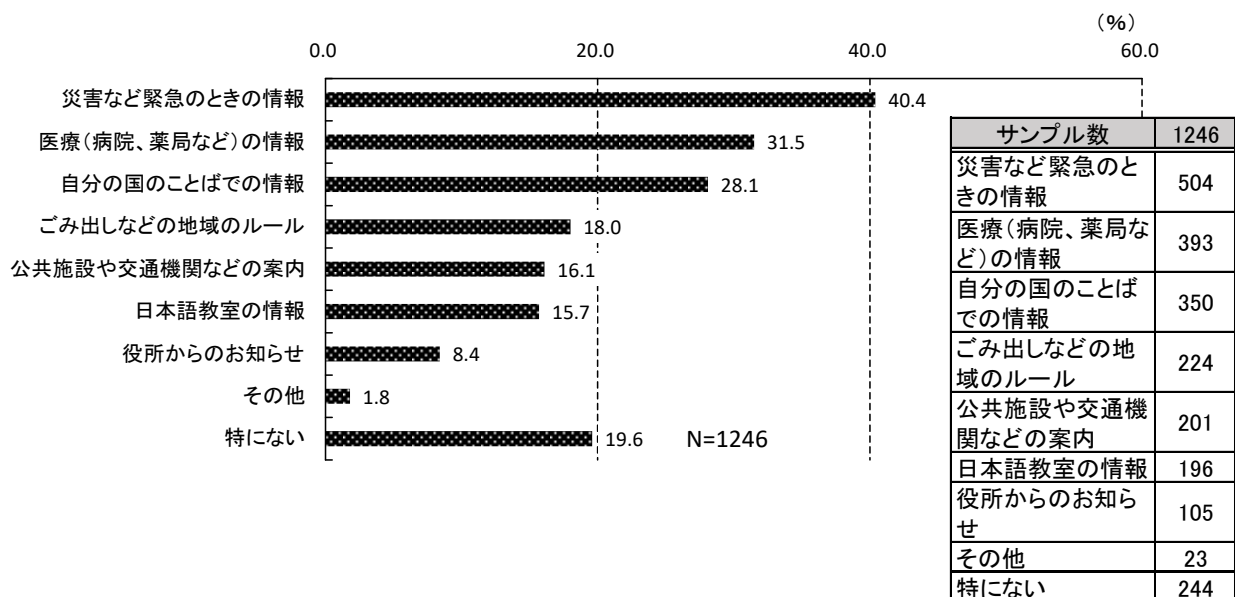
	サンプル数	Facebook	Instagram	YouTube	Wechat	騰訊QQ(テンセントQQ)	その他	
								上段:実数、下段:%
全体	134	19	29	14	4	27	41	
	100.0	14.2	21.6	10.4	3.0	20.1	30.6	
利用頻度	毎日	91	17	20	12	2	13	27
		100.0	18.7	22.0	13.2	2.2	14.3	29.7
	週に数回	27	2	8	1	1	9	6
		100.0	7.4	29.6	3.7	3.7	33.3	22.2
	1か月に数回	8	0	1	0	0	5	2
		100.0	0.0	12.5	0.0	0.0	62.5	25.0
月1回	3	0	0	0	0	0	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	1	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

⑤ 普段の生活の中で必要な情報

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

「災害など緊急のときの情報」が 40.4%で最も高く、次いで「医療（病院、薬局など）の情報」が 31.5%、「自分の国のことばでの情報」が 28.1%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム出身者では「災害など緊急のときの情報」が 53.0%、「医療（病院、薬局など）の情報」が 38.8%で、高くなっている。フィリピン出身者については、ベトナム出身者と同様に「災害など緊急のときの情報」が 44.8%、「医療（病院、薬局など）の情報」が 39.2%で高くなっているほか、「公共施設や交通機関などの案内」も 32.9%で高い結果となった。インドネシア出身者については「自分の国のことばの情報」が 60.4%で、他と比較して特に高くなっている。

一方、中国出身者は「特にない」が 37.0%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	局医 な療 ど(病 院の 情、 報薬	ば自 分で の情 国の こと	ら役 せ所 から の知	報日 本語 教室 の情	と災 害な ど情 報緊 急の	機公 関施 な設 のや 案内 通	地ご 域の 出し しな ルの	特に ない	そ の 他	
											上段:実数、下段:%
全体	1,246	393	350	105	196	504	201	224	244	23	
	100.0	31.5	28.1	8.4	15.7	40.4	16.1	18.0	19.6	1.8	
出身国	ベトナム	474	184	171	46	91	251	71	108	53	5
		100.0	38.8	36.1	9.7	19.2	53.0	15.0	22.8	11.2	1.1
	中国	470	131	77	26	58	142	58	69	174	9
		100.0	27.9	16.4	5.5	12.3	30.2	12.3	14.7	37.0	1.9
	フィリピン	143	56	16	26	19	64	47	33	3	4
	100.0	39.2	11.2	18.2	13.3	44.8	32.9	23.1	2.1	2.8	
インドネシア	101	14	61	5	24	25	14	10	8	5	
	100.0	13.9	60.4	5.0	23.8	24.8	13.9	9.9	7.9	5.0	
その他	50	4	20	1	4	19	11	3	5	0	
	100.0	8.0	40.0	2.0	8.0	38.0	22.0	6.0	10.0	0.0	

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者についてみると、「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」、「公共施設や交通機関などの案内」において、在留期間が短いの方が、在留期間が長い者よりも情報のニーズが高い傾向となった。

		サンプル数	局医療など（病院の情、報薬	ば自での情国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情	と災害など緊急の	機公共施設や案内	地ごみの出しなどの	特にな	その他
上段:実数、下段:%											
全 体		1,246 100.0	393 31.5	350 28.1	105 8.4	196 15.7	504 40.4	201 16.1	224 18.0	244 19.6	23 1.8
在留期間	1年未満	317 100.0	128 40.4	103 32.5	28 8.8	54 17.0	157 49.5	68 21.5	65 20.5	39 12.3	5 1.6
	1年	277 100.0	89 32.1	74 26.7	15 5.4	44 15.9	111 40.1	36 13.0	57 20.6	52 18.8	6 2.2
	2年	421 100.0	120 28.5	117 27.8	36 8.6	53 12.6	151 35.9	55 13.1	59 14.0	102 24.2	8 1.9
	3年	174 100.0	48 27.6	44 25.3	18 10.3	34 19.5	66 37.9	34 19.5	36 20.7	36 20.7	4 2.3
	4年以上	38 100.0	4 10.5	7 18.4	7 18.4	6 15.8	14 36.8	6 15.8	4 10.5	10 26.3	0 0.0

【居住地域別】

居住地域別にみると、西部地域、中部地域では「災害など緊急のときの情報」がそれぞれ45.0%、63.3%、「ごみ出しなどの地域のルール」がそれぞれ26.4%、28.8%で、他の地域と比較して高い傾向となっており、居住地域によって「緊急時の情報」や「地域ルールに関する情報」のニーズに傾向の違いがみられた。

		サンプル数	局医療など（病院の情、報薬	ば自での情国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情	と災害など緊急の	機公共施設や案内	地ごみの出しなどの	特にな	その他
上段:実数、下段:%											
全 体		1,246 100.0	393 31.5	350 28.1	105 8.4	196 15.7	504 40.4	201 16.1	224 18.0	244 19.6	23 1.8
居住地域	西部	242 100.0	85 35.1	79 32.6	30 12.4	44 18.2	109 45.0	38 15.7	64 26.4	32 13.2	2 0.8
	中部	139 100.0	54 38.8	44 31.7	13 9.4	23 16.5	88 63.3	24 17.3	40 28.8	11 7.9	2 1.4
	東部	631 100.0	177 28.1	179 28.4	49 7.8	96 15.2	223 35.3	94 14.9	88 13.9	137 21.7	12 1.9
	北部	83 100.0	25 30.1	11 13.3	1 1.2	9 10.8	29 34.9	11 13.3	8 9.6	31 37.3	1 1.2

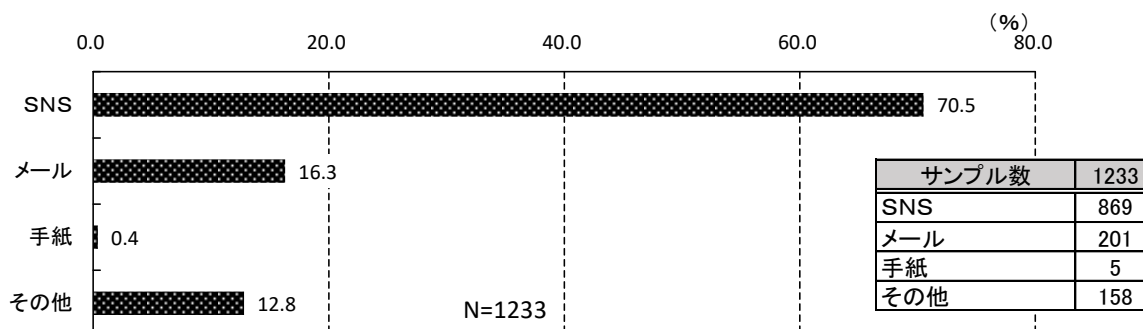
⑥ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

「SNS」が70.5%で最も高く、次いで「メール」が16.3%、「その他」が12.8%となった。

【連絡方法】



【出身国別】

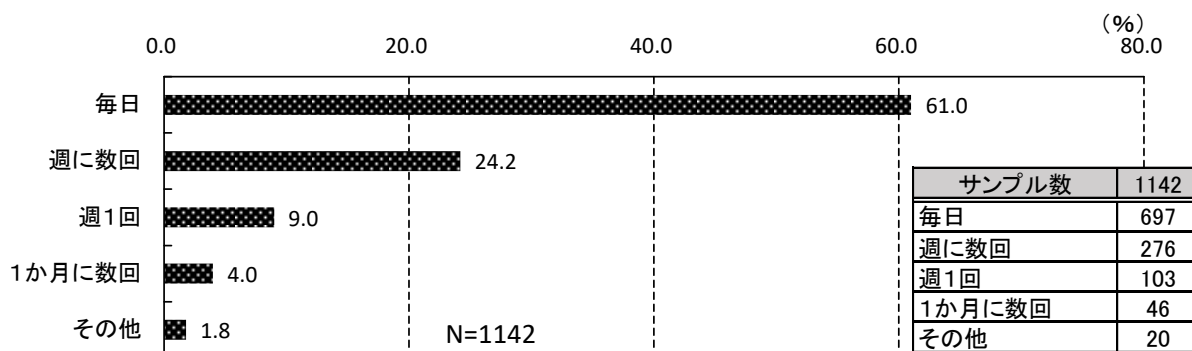
出身国別にみると、ベトナム出身者以外では、「SNS」がそれぞれ約70%~90%で、特にインドネシア出身者では97.0%と高い傾向となった。

また、ベトナム、フィリピン出身者では、「メール」がそれぞれ約20%~30%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	メール	SNS	手紙	その他	
上段:実数、下段:%						
全体	1,233 100.0	201 16.3	869 70.5	5 0.4	158 12.8	
出身国	ベトナム	468 100.0	140 29.9	272 58.1	2 0.4	54 11.5
	中国	462 100.0	19 4.1	350 75.8	3 0.6	90 19.5
	フィリピン	143 100.0	31 21.7	108 75.5	0 0.0	4 2.8
	インドネシア	100 100.0	1 1.0	97 97.0	0 0.0	2 2.0
	その他	52 100.0	9 17.3	35 67.3	0 0.0	8 15.4

【連絡頻度】（1つだけ選択）

「毎日」が61.0%で最も高く、次いで「週に数回」が24.2%となっており、80%以上の者が、週に数回以上の頻度で連絡を取っているという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、フィリピン出身者では「毎日」が84.2%で、他国出身者と比較して連絡頻度が高い傾向となった。また、他の国出身者についても、約80%以上は週に数回以上の頻度で連絡をとっている。

	サンプル数	毎日	週に数回	週1回	1か月に数回	その他	
上段:実数、下段:%							
全体	1,142 100.0	697 61.0	276 24.2	103 9.0	46 4.0	20 1.8	
出身国	ベトナム	437 100.0	269 61.6	117 26.8	35 8.0	16 3.7	0 0.0
	中国	422 100.0	227 53.8	91 21.6	56 13.3	28 6.6	20 4.7
	フィリピン	133 100.0	112 84.2	19 14.3	2 1.5	0 0.0	0 0.0
	インドネシア	96 100.0	48 50.0	43 44.8	3 3.1	2 2.1	0 0.0
	その他	47 100.0	36 76.6	5 10.6	6 12.8	0 0.0	0 0.0

② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

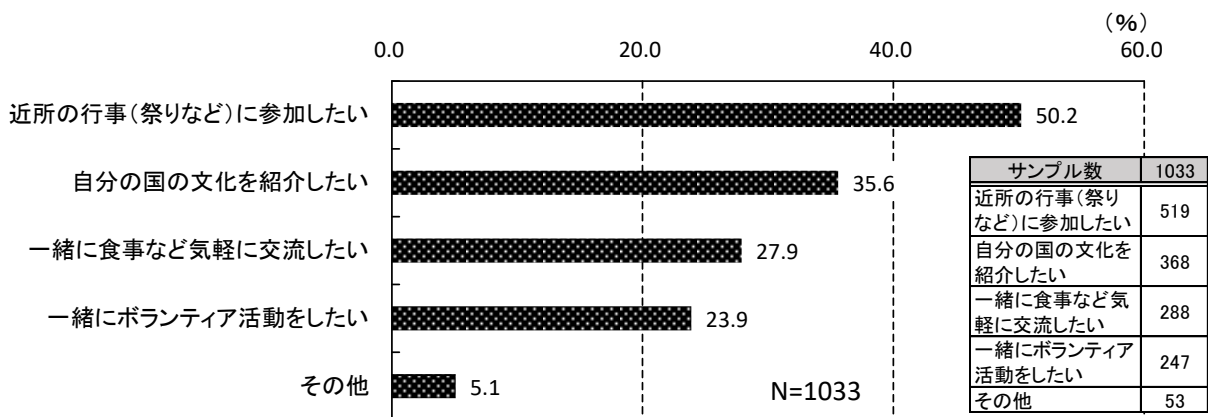
設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

近所の日本人と今後仲良くなりたいと「思っている」が90.0%で、ほとんどの者が近所の日本人と親睦を深めたいと思っている結果となった。

		サンプル数	思っている	思っていない
上段:実数、下段:%				
全体		1,266 100.0	1,139 90.0	127 10.0
出身国	ベトナム	483 100.0	426 88.2	57 11.8
	中国	479 100.0	436 91.0	43 9.0
	フィリピン	144 100.0	136 94.4	8 5.6
	インドネシア	99 100.0	97 98.0	2 2.0
	その他	53 100.0	37 69.8	16 30.2

【近所の日本人とどのように交流関係を築きたいか（複数回答可）】

「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が50.2%で最も高く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が35.6%、「一緒に食事など気軽に交流したい」が27.9%となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムとその他の国の出身者では「近所の行事（祭りなど）に参加したい」がそれぞれ60.6%、72.2%で高くなっている。ベトナム出身者については「自分の国などの文化を紹介したい」も46.8%と、他の国と比較して高い結果となった。

インドネシア出身者については「一緒に食事など気軽に交流したい」が56.3%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

		サンプル数	近所の行事(祭りなど)に参加したい	自分の国の文化を紹介したい	一緒に食事など気軽に交流したい	一緒にボランティア活動をしたい	その他
上段:実数、下段:%							
全体		1,033 100.0	519 50.2	368 35.6	247 23.9	288 27.9	53 5.1
出身国	ベトナム	393 100.0	238 60.6	184 46.8	97 24.7	72 18.3	22 5.6
	中国	372 100.0	164 44.1	122 32.8	100 26.9	115 30.9	28 7.5
	フィリピン	130 100.0	49 37.7	32 24.6	31 23.8	42 32.3	3 2.3
	インドネシア	96 100.0	36 37.5	18 18.8	14 14.6	54 56.3	0 0.0
	その他	36 100.0	26 72.2	12 33.3	4 11.1	5 13.9	0 0.0

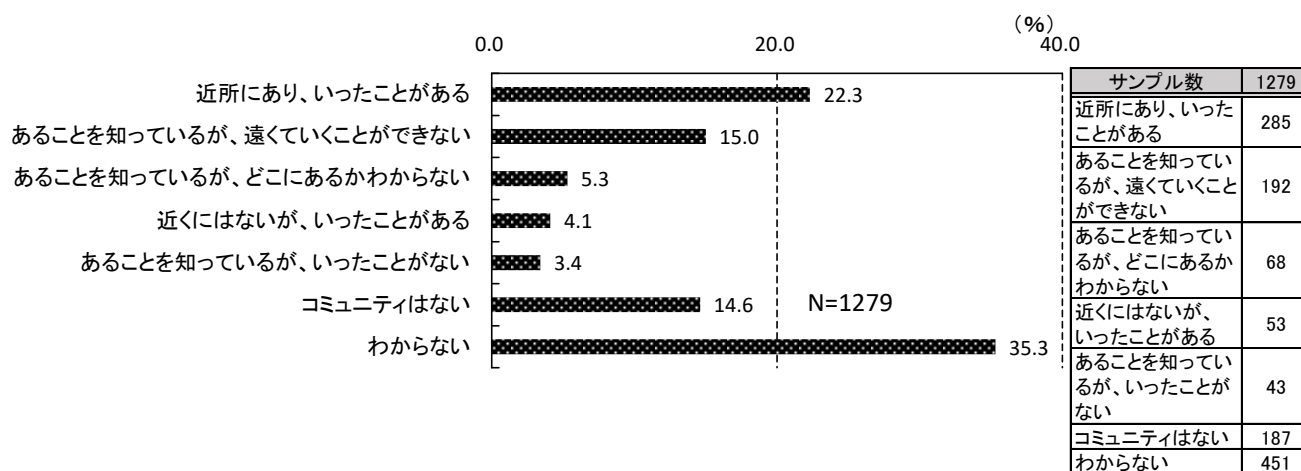
③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティは、ありますか？（1つだけ選択）

「わからない」が35.3%で最も高く、約1/3の者が同じ国の出身者が集まるコミュニティを認知していない結果となった。

一方、「近所にあり、いったことがある」が22.3%となっており、「近くにはないが、いったことがある」と合わせたコミュニティの活用経験者は、約1/4という結果となった。

しかしながら、「あることを知っているが、遠くて行くことができない」が15.0%、「あることを知っているが、どこにあるかわからない」が5.3%で、認知しているにもかかわらず、居住環境などにより、活用にはっていない者が20%程度となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナムとインドネシア出身者では「近所にあり、いったことがある」と「近くにはないが、いったことがある」を合わせた割合が35~40%程度で、他国出身者よりも活用経験者の割合が高い結果となった。

一方で、中国とその他の国の出身者については「わからない」がそれぞれ56.9%と41.5%で、同じ国の出身者同士が集まるコミュニティの認知度が低い傾向となった。

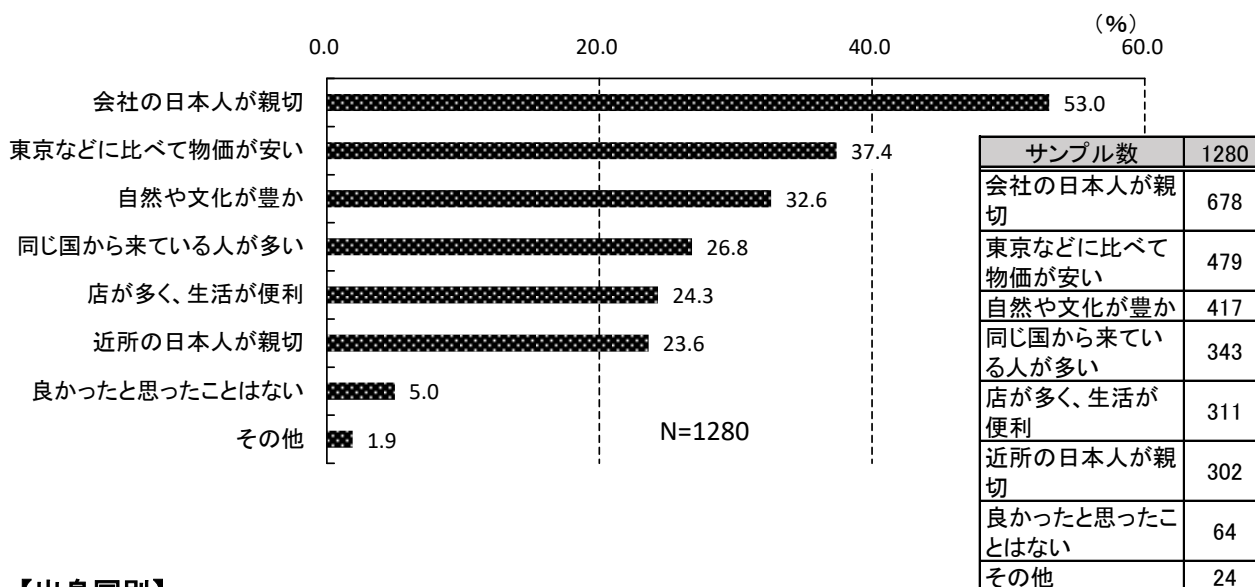
	サンプル数	近所にあり、いったことがある	近くにはないが、いったことがある	あることを知っているが、遠くて行くことができない	あることを知っているが、どこにあるかわからない	近くにはないが、いったことがある	あることを知っているが、いったことがない	コミュニティはない	わからない
全体	1,279	285	53	192	68	43	187	451	
	100.0	22.3	4.1	15.0	5.3	3.4	14.6	35.3	
出身国	ベトナム	491	170	33	107	18	24	56	83
		100.0	34.6	6.7	21.8	3.7	4.9	11.4	16.9
	中国	485	45	3	33	22	11	95	276
		100.0	9.3	0.6	6.8	4.5	2.3	19.6	56.9
	フィリピン	142	30	6	17	22	3	10	54
	100.0	21.1	4.2	12.0	15.5	2.1	7.0	38.0	
インドネシア	100	30	5	23	3	4	19	16	
	100.0	30.0	5.0	23.0	3.0	4.0	19.0	16.0	
その他	53	6	6	10	2	0	7	22	
	100.0	11.3	11.3	18.9	3.8	0.0	13.2	41.5	

(7) 広島県に対する評価

① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

「会社の日本人が親切」が53.0%で最も高く、次いで「東京などに比べて物価が安い」が37.4%、「自然や文化が豊か」が32.6%と高く、人間関係や生活環境に対する評価が高い結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、ベトナム、中国、フィリピン、その他の国の出身者については「会社の日本人が親切」がそれぞれ50%以上となっているのに対し、インドネシア出身者では25.7%と低い傾向となった。

一方、インドネシア出身者では「東京などに比べて物価が安い」が51.5%、「自然や文化が豊か」が44.6%と高く、生活環境などについての評価が高い傾向となった。

また、ベトナム出身者では「店が多く、生活が便利」が33.5%、フィリピン出身者では「自然や文化が豊か」が51.4%で、それぞれ他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	会社の日本人が親切 (%)	近所の日本人が親切 (%)	自然や文化が豊か (%)	店が多く、生活が便利 (%)	東京などに比べて物価が安い (%)	同じ国から来ている人が多い (%)	良かったとは思わない (%)	その他 (%)	
上段:実数、下段:%										
全体	1,280	53.0	23.6	32.6	24.3	37.4	26.8	5.0	1.9	
出身国	ベトナム	489	57.1	20.4	28.6	33.5	43.6	26.8	3.1	2.2
	中国	485	53.4	29.5	30.5	20.4	37.3	27.0	10.1	1.2
	フィリピン	142	72	22	73	26	25	36	0	2
	インドネシア	101	26	20	45	16	52	35	0	0
	その他	55	38	16	9	6	6	6	0	5

【就業・居住希望地域別】

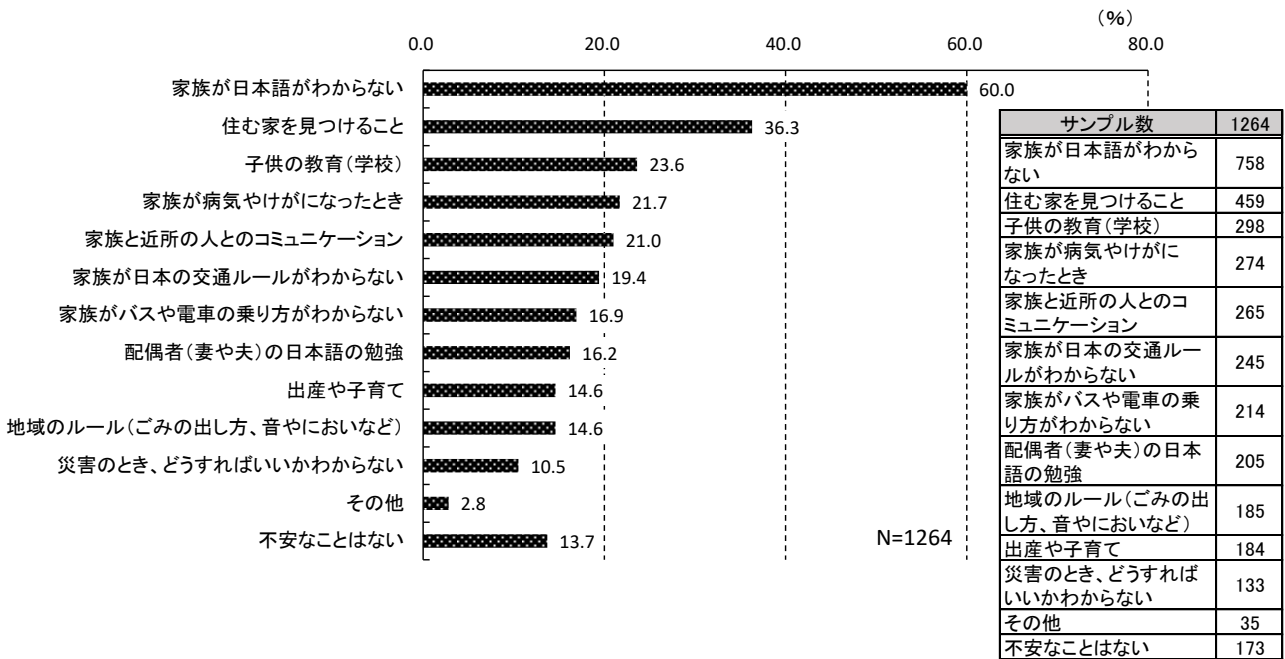
就労する企業の選択基準で就業・居住地を重視する者についてみると、就業・居住希望地域を広島県内とした者は「会社の日本人が親切」が56.7%で、東京や大阪、その他の地域を希望する者よりも高くなっており、現在の間関係が、今後も広島県内で就業・居住したいとする要因のひとつとなることが考えられる。

		サンプル数	親会社の日本人が	近所の日本人が	自然や文化が豊か	店が多く、生活が便利	東京などが安い	同じ国から来て	良かったと思っ	その他
上段:実数、下段:%										
全 体		1,280 100.0	678 53.0	302 23.6	417 32.6	311 24.3	479 37.4	343 26.8	64 5.0	24 1.9
就業・居住希望地域	広島県内	284 100.0	161 56.7	80 28.2	100 35.2	78 27.5	118 41.5	90 31.7	4 1.4	4 1.4
	東京	160 100.0	45 28.1	30 18.8	47 29.4	38 23.8	64 40.0	47 29.4	17 10.6	4 2.5
	大阪	52 100.0	20 38.5	14 26.9	18 34.6	8 15.4	21 40.4	14 26.9	6 11.5	1 1.9
	その他	7 100.0	2 28.6	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3

② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：もし、将来、家族を連れて来ることができるようになった場合、不安なことは何ですか？
（複数回答可）

「家族が日本語がわからない」が60.0%で最も高く、次いで「住む家を見つけること」が36.3%、「子どもの教育（学校）」が23.6%となっている



【出身国別】

出身国別にみると、中国出身者では「家族が日本語がわからない」が73.2%で、他国出身者と比較して高くなっている。また、フィリピン、インドネシア出身者では「住む家を見つけること」がそれぞれ47.2%、52.5%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	住む家を見つける	家族が病氣やけがになったとき	出産や子育て	子供の教育(学校)	家族が日本語がわからない	配偶者(妻や夫)の日本語の勉強	地域のルール(ごみの出し方、音やにおいなど)	家族と近所の人とのコミュニケーション	家族が日本の交通ルールがわからない	家族がバスや電車の乗り方がわからない	災害のとき、どうすればいいかわからない	その他	不安なことはない
全体	1,264	459	274	184	298	758	205	185	265	245	214	133	35	173
ベトナム	485	167	104	126	95	258	64	65	112	91	91	47	71	11
中国	474	162	120	26	142	347	93	95	111	123	92	71	64	17
フィリピン	142	67	10	9	31	69	28	5	21	7	14	4	14	6
インドネシア	101	53	27	18	19	49	14	11	16	13	8	5	7	1
その他	54	7	10	2	9	31	2	6	3	11	9	6	17	0

2. 調査結果（留学生）

(1) 回答者属性

① 性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
上段:実数、下段:%				
日本語学校生等	607 100.0	330 54.4	269 44.3	8 1.3
大学生等	261 100.0	115 44.1	146 55.9	0 0.0

② 年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等	608 100.0	102 16.8	349 57.4	124 20.4	24 3.9	7 1.2	2 0.3
大学生等	261 100.0	7 2.7	171 65.5	59 22.6	16 6.1	7 2.7	1 0.4

③ 出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	ネパール	その他
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	608 100.0	425 69.9	83 13.7	50 8.2	50 8.2
大学生等	261 100.0	58 22.2	151 57.9	—	52 19.9

④ 結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
上段:実数、下段:%			
日本語学校生等	607 100.0	37 6.1	570 93.9
大学生等	259 100.0	23 8.9	236 91.1

⑤アルバイトの有無とアルバイト先の地域

	サンプル数	はい	いいえ
上段:実数、下段:%			
日本語学校生等	589 100.0	543 92.2	46 7.8
大学生等	257 100.0	174 67.7	83 32.3

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	328 100.0	103 31.4	20 6.1	202 61.6	3 0.9
大学生等	115 100.0	90 78.3	14 12.2	11 9.6	0 0.0

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	466 100.0	171 36.7	30 6.4	263 56.4	2 0.4
大学生等	224 100.0	173 77.2	21 9.4	19 8.5	11 4.9

⑦日本での在住年数

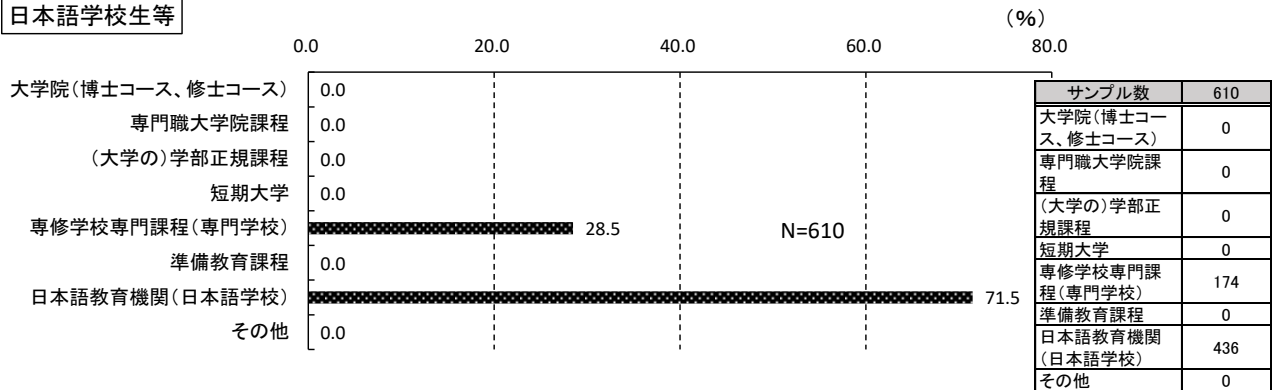
	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等	607 100.0	224 36.9	203 33.4	111 18.3	35 5.8	34 5.6
大学生等	261 100.0	56 21.5	29 11.1	53 20.3	72 27.6	51 19.5

(2) 留学の状況

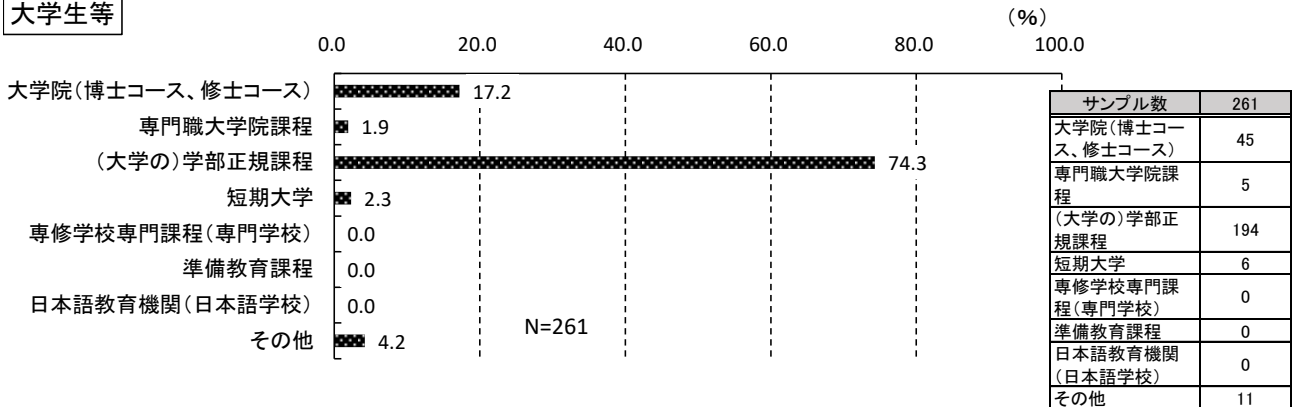
① 現在の留学先

設問：あなたのいまの留学先（学校）は、次のどれですか？（1つだけ選択）

日本語学校生等



大学生等

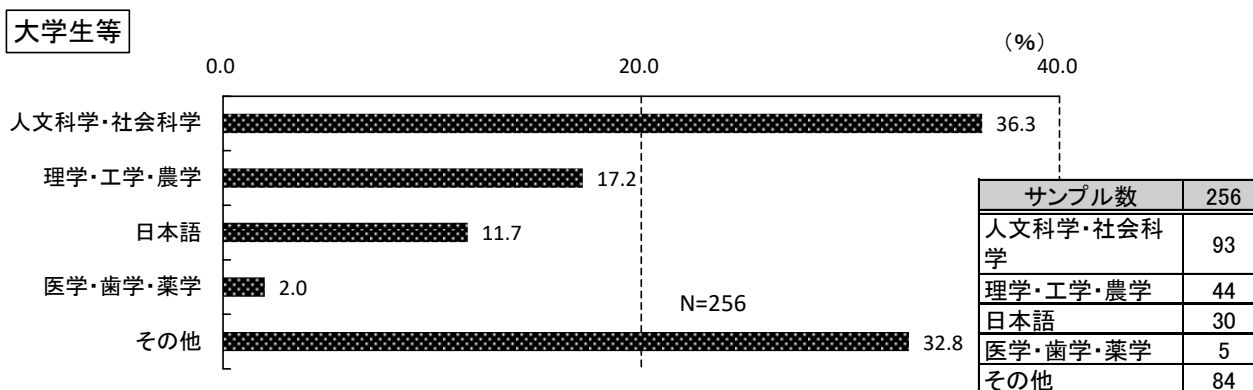
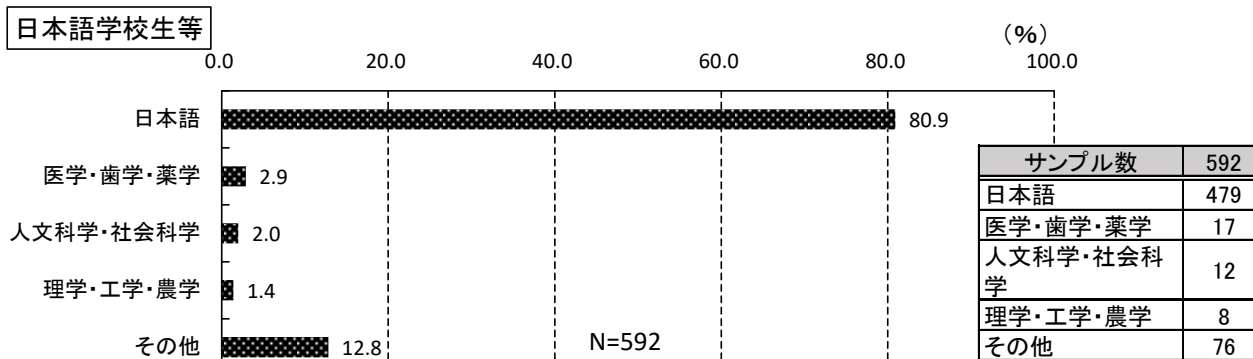


【出身国別】

	サンプル数	出身国別								
		日本語教育機関等	専修学校(専門学校)	短期大学	正(大学の)学部	専門職大学院課程	大学院(博士コース、修士コース)	その他	割合 (%)	
日本語教育機関等全体	610	0	0	0	0	0	174	0	436	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.5	0.0	71.5	0.0
出身国	ベトナム	425	0	0	0	0	132	0	293	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.1	0.0	68.9	0.0
	中国	83	0	0	0	0	36	0	47	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.4	0.0	56.6	0.0
	ネパール	50	0	0	0	0	1	0	49	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	98.0	0.0	
その他	50	0	0	0	0	5	0	45	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	90.0	0.0	
大学生等全体	261	45	5	194	6	0	0	0	11	
	100.0	17.2	1.9	74.3	2.3	0.0	0.0	0.0	4.2	
出身国	ベトナム	58	2	52	2	0	0	0	2	
		100.0	3.4	89.7	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	
	中国	151	27	117	2	0	0	0	4	
		100.0	17.9	77.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6	
その他	52	16	4	25	2	0	0	5		
	100.0	30.8	7.7	48.1	3.8	0.0	0.0	9.6		

② 現在の専攻分野

設問：あなたのいまの学校の専攻分野を教えてください。1つだけ選択)



【出身国別】

		サンプル数	人文科学・社会科学	理学・工学・農学	医学・歯学・薬学	日本語	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		592	12	8	17	479	76
		100.0	2.0	1.4	2.9	80.9	12.8
出身国	ベトナム	409	8	3	16	313	69
		100.0	2.0	0.7	3.9	76.5	16.9
	中国	82	0	1	1	76	4
		100.0	0.0	1.2	1.2	92.7	4.9
出身国	ネパール	49	2	0	0	46	1
		100.0	4.1	0.0	0.0	93.9	2.0
出身国	その他	50	2	4	0	42	2
		100.0	4.0	8.0	0.0	84.0	4.0
大学生等全体		256	93	44	5	30	84
		100.0	36.3	17.2	2.0	11.7	32.8
出身国	ベトナム	56	28	2	1	4	21
		100.0	50.0	3.6	1.8	7.1	37.5
	中国	148	54	26	4	16	48
	100.0	36.5	17.6	2.7	10.8	32.4	
出身国	その他	52	11	16	0	10	15
		100.0	21.2	30.8	0.0	19.2	28.8

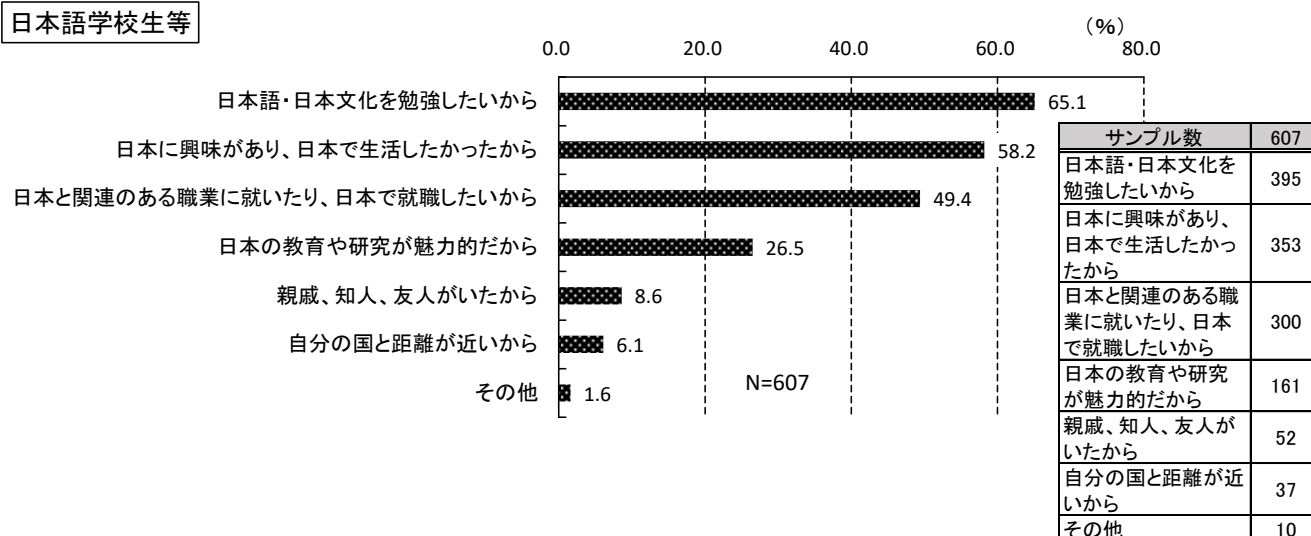
③ 留学先に日本を選んだ理由

設問：あなたは、なぜ日本を留学先に選びましたか？（3つまで複数回答可）

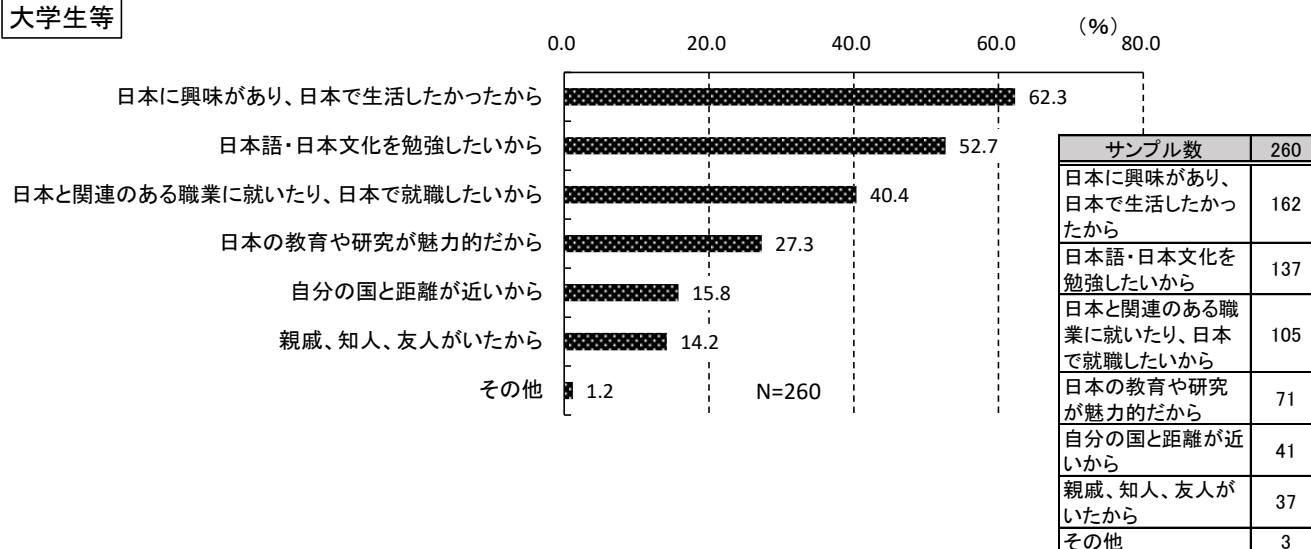
日本語学校生等では、「日本語・日本文化を勉強したいから」が65.1%で最も高く、次いで「日本に興味があり、日本で生活したかったから」が58.2%、「日本と関連のある職業に就いたり、日本で就職したいから」が49.4%となった。

大学生等では、「日本に興味があり、日本で生活したかったから」が62.3%で最も高く、次いで「日本語・日本文化を勉強したいから」が52.7%、「日本と関連のある職業に就いたり、日本で就業したいから」が40.4%で、上位三項目は、日本語学校生等と同様の結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者では「日本と関連のある職業に就いたり、日本で就職したいから」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

また、日本語学校生等では、ベトナム出身者で「日本語・日本文化を勉強したいから」が71.4%で、他国出身者と比較して高くなっている。

大学生等では、その他の国の出身者で「日本に興味があり、日本で生活がしたかったから」、「日本の教育や研究が魅力的だから」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	た日本から	魅力日本	自分から	勉強日本	で業日本	い親た	その他	
		た日本から	魅力日本	自分から	勉強日本	で業日本	い親た	その他	
		た日本から	魅力日本	自分から	勉強日本	で業日本	い親た	その他	
上段:実数、下段:%									
日本語学校生等全体	607 100.0	353 58.2	161 26.5	37 6.1	395 65.1	300 49.4	52 8.6	10 1.6	
出身国	ベトナム	423 100.0	256 60.5	97 22.9	9 2.1	302 71.4	246 58.2	30 7.1	4 0.9
	中国	83 100.0	46 55.4	21 25.3	18 21.7	41 49.4	29 34.9	16 19.3	2 2.4
	ネパール	50 100.0	28 56.0	31 62.0	6 12.0	30 60.0	10 20.0	3 6.0	1 2.0
	その他	49 100.0	23 46.9	12 24.5	3 6.1	21 42.9	15 30.6	2 4.1	3 6.1
大学生等全体	260 100.0	162 62.3	71 27.3	41 15.8	137 52.7	105 40.4	37 14.2	3 1.2	
出身国	ベトナム	58 100.0	38 65.5	8 13.8	7 12.1	32 55.2	37 63.8	10 17.2	1 1.7
	中国	150 100.0	86 57.3	41 27.3	31 20.7	76 50.7	53 35.3	24 16.0	2 1.3
	その他	52 100.0	38 73.1	22 42.3	3 5.8	29 55.8	15 28.8	3 5.8	0 0.0

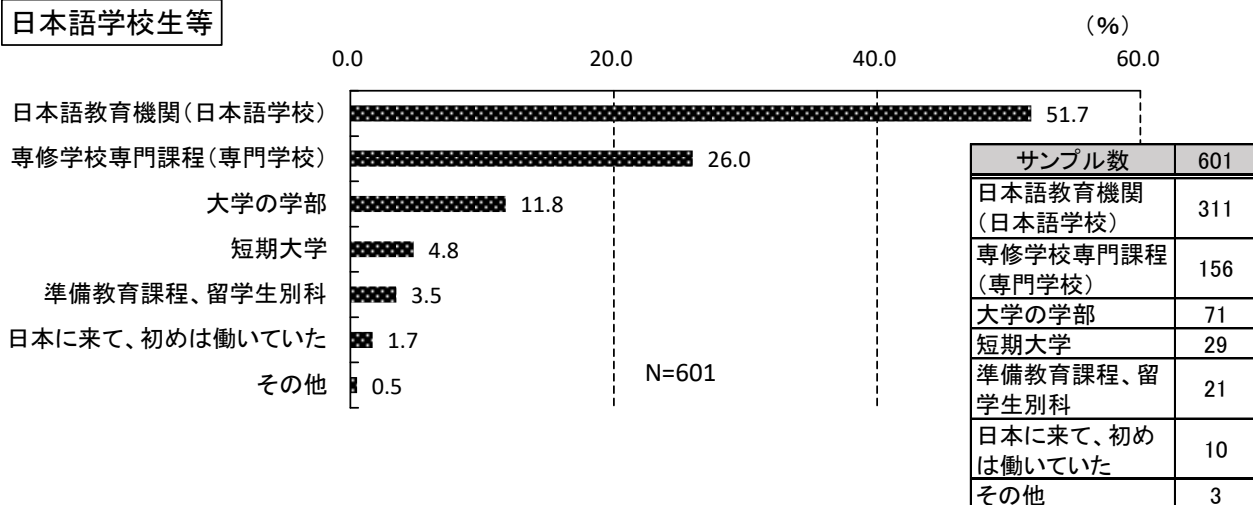
④ 日本で最初に入学した学校

設問：あなたが日本に来て、一番最初に入学した学校は、次のどれですか？（1つだけ選択）

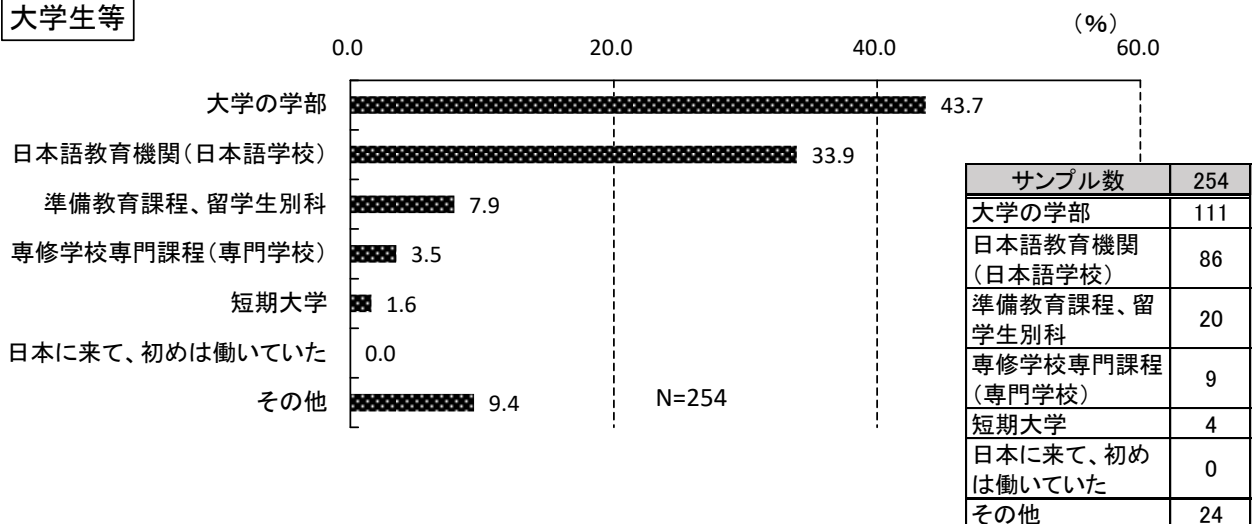
日本語学校生等では、「日本語教育機関（日本語学校）」が51.7%で最も高く、次いで「専修学校専門課程（専門学校）」が26.0%、「大学の学部」が11.8%となった。

大学生等では、「大学の学部」が43.7%で最も高く、次いで「日本語教育機関（日本語学校）」が33.9%、「その他」が9.4%となった。

日本語学校生等



大学生等



(3) アルバイト先における就労環境について（留学生のみ）

① アルバイトの有無

設問：あなたは、いま、アルバイトをしていますか？（1つだけ選択）

アルバイトをしている者は、日本語学校生等では 94.8%に対し、大学生等では 71.5%と、アルバイトの状況に差がみられた。

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともにベトナム出身者でそれぞれ 90%以上の者がアルバイトをしているのに対し、中国出身者ではそれぞれ 70%程度で、出身国によってアルバイトの状況に違いがみられた。

		サンプル数	はい	いいえ
		上段:実数、下段:%		
日本語学校生等全体		592 100.0	561 94.8	31 5.2
出身国	ベトナム	409 100.0	405 99.0	4 1.0
	中国	83 100.0	59 71.1	24 28.9
	ネパール	50 100.0	50 100.0	0 0.0
	その他	48 100.0	45 93.8	3 6.3
大学生等全体		256 100.0	183 71.5	73 28.5
出身国	ベトナム	55 100.0	52 94.5	3 5.5
	中国	149 100.0	110 73.8	39 26.2
	その他	52 100.0	21 40.4	31 59.6

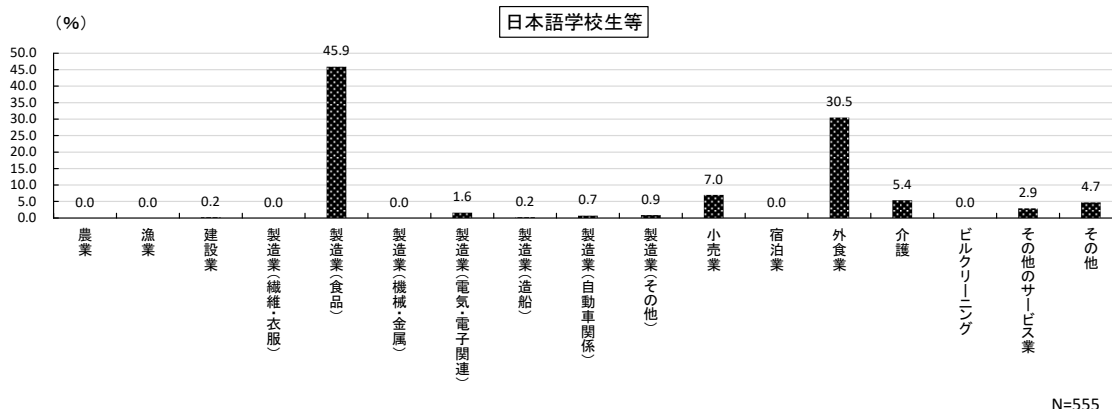
② 現在の職場（アルバイト先）の業種

設問：主なアルバイトは、どのような仕事ですか？（1つだけ選択）

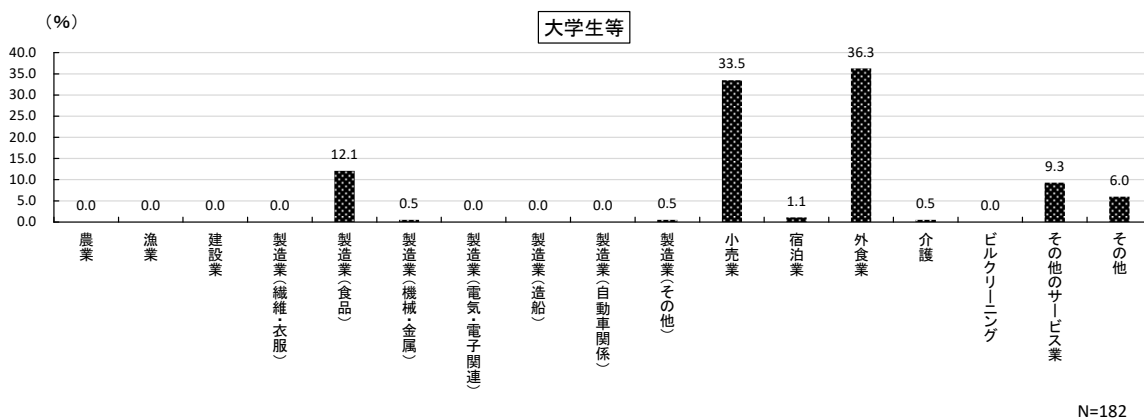
日本語学校生等では、「製造業（食品）」が45.9%で最も高く、次いで「外食業」が30.5%、「小売」が7.0%と、3業種で80%以上を占めた。

大学生等では、「外食業」が36.3%で最も高く、次いで「小売業」が33.5%、「製造業（食品）」が12.1%と、業種に違いはあるが、日本語学校生等と同様に、3業種で80%以上を占めた。

サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)
	0	0	1	0	255	0	9	1	4
555	製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
	5	39	0	169	30	0	16	26	



サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)
	0	0	0	0	22	1	0	0	0
182	製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
	1	61	2	66	1	0	17	11	



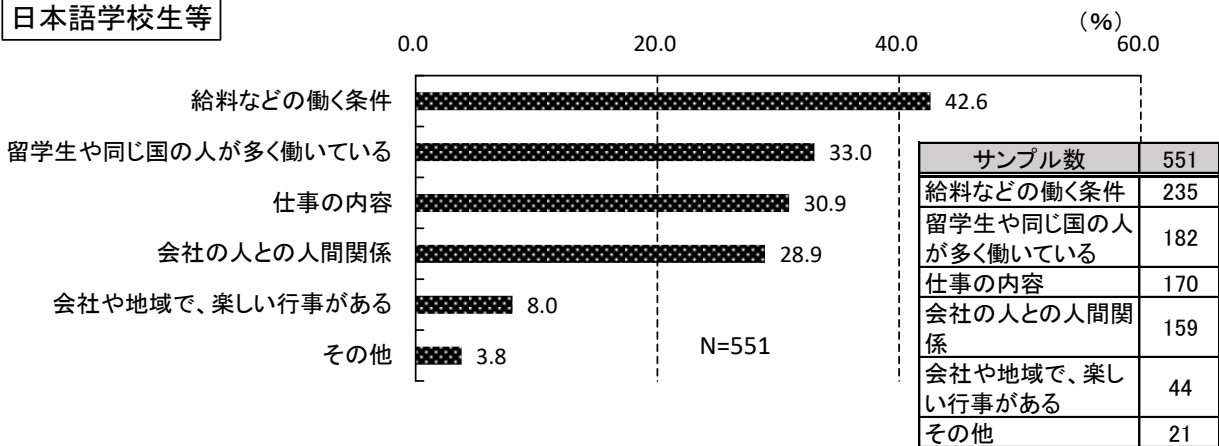
③ 現在の職場（アルバイト先）の良い点

設問：現在のアルバイト先の良い点は何ですか？（複数回答可）

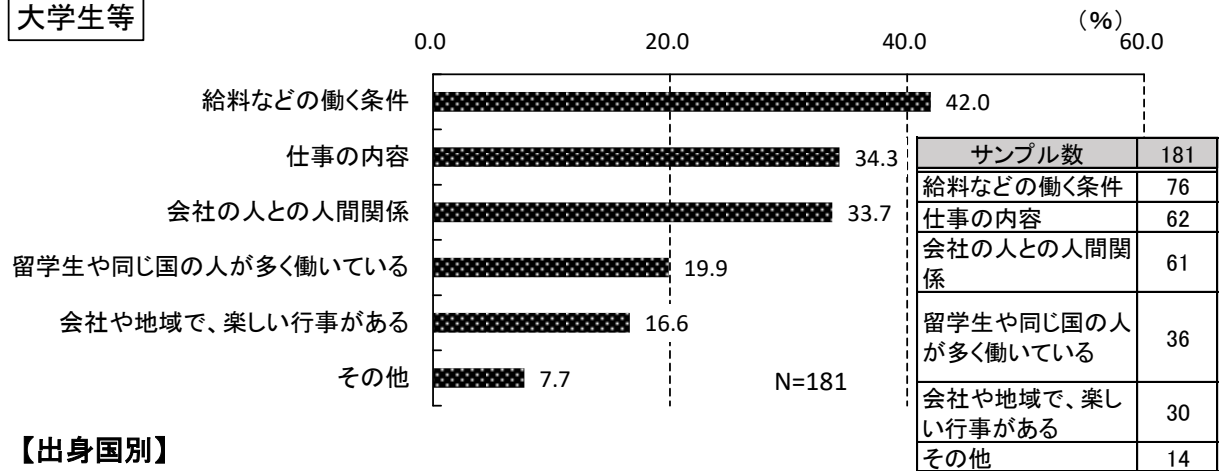
日本語学校生等では、「給料などの働く条件」が 42.6%で最も高く、次いで「留学生や同じ国の人が多く働いている」が 33.0%、「仕事の内容」が 30.9%となった。

大学生等では、「給料などの働く条件」が 42.0%で最も高く、次いで「仕事の内容」が 34.3%、「会社の人との人間関係」が 33.7%で、いずれも給料などの条件を評価しているほか、同国籍者の存在や人間関係などを評価する者の割合が高い結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、「給料などの働く条件」については、日本語学校生等ではベトナム出身者で 48.1%で他国出身者と比較して高くなっているが、大学生等では出身国による差はみられない。

また、日本語学校生等では、ネパール出身者で「会社の人との人間関係」が 57.1%で他の国と比較して高くなっている。

大学生等では、ベトナム出身者で「仕事の内容」が 52.9%、中国出身者で「会社や地域で楽しい行事がある」が 23.9%で、他国出身者と比較して高くなっている。

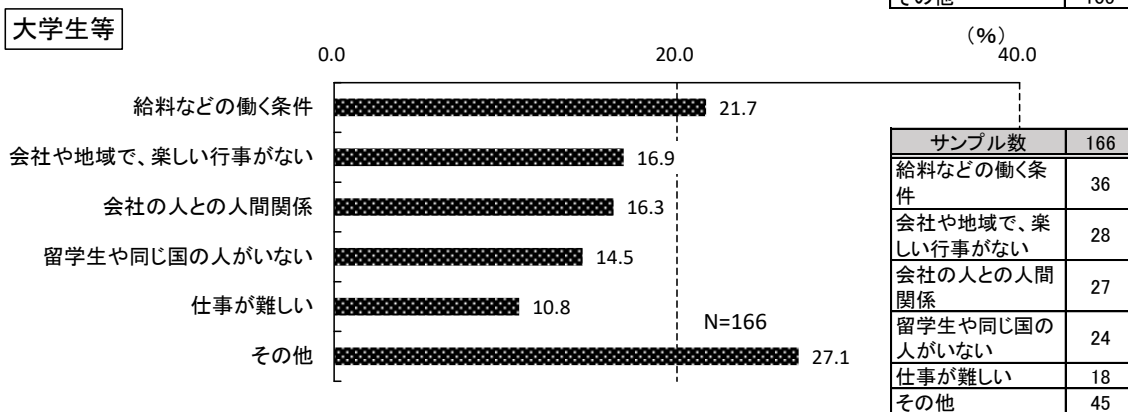
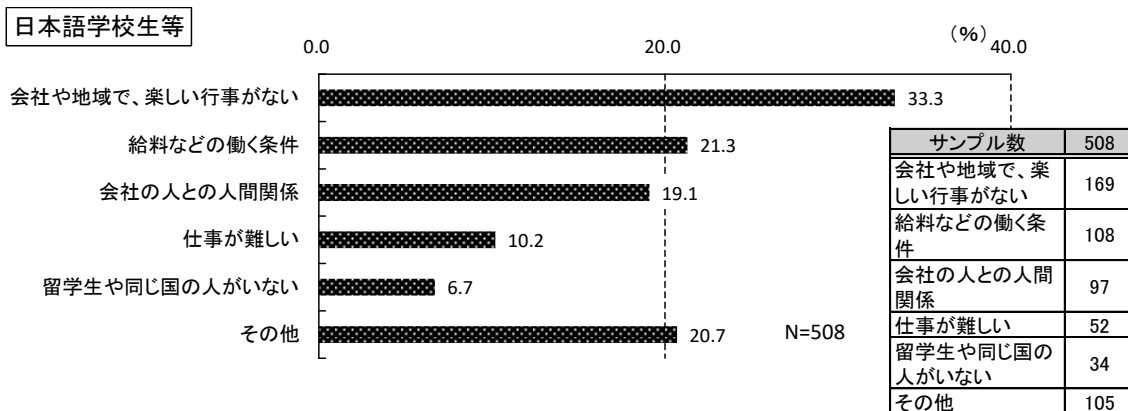
	サンプル数	仕事の内容	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	留学生や同じ国の人が多く働いている	会社や地域で、楽しい行事がある	その他	
日本語学校生等全体	551	170	235	159	182	44	21	
	100.0	30.9	42.6	28.9	33.0	8.0	3.8	
出身国	ベトナム	397	140	191	96	134	17	8
		100.0	35.3	48.1	24.2	33.8	4.3	2.0
	中国	58	11	22	17	23	10	5
		100.0	19.0	37.9	29.3	39.7	17.2	8.6
	ネパール	49	7	13	28	13	5	3
	100.0	14.3	26.5	57.1	26.5	10.2	6.1	
その他	45	12	7	18	12	12	5	
	100.0	26.7	15.6	40.0	26.7	26.7	11.1	
大学生等全体	181	62	76	61	36	30	14	
	100.0	34.3	42.0	33.7	19.9	16.6	7.7	
出身国	ベトナム	51	27	21	17	10	3	1
		100.0	52.9	41.2	33.3	19.6	5.9	2.0
	中国	109	29	46	38	25	26	10
		100.0	26.6	42.2	34.9	22.9	23.9	9.2
その他	21	6	9	6	1	1	3	
	100.0	28.6	42.9	28.6	4.8	4.8	14.3	

④ 現在の職場（アルバイト先）の嫌な点

設問：いまのアルバイト先の嫌な点は何ですか？（複数回答可）

日本語学校生等では、「会社や地域で、楽しい行事がない」が33.3%で最も高く、次いで「給料などの働く条件」が21.3%、「その他」が20.7%、「会社の人との人間関係」が19.1%となっている。

大学生等では、「その他」を除けば、「給料などの働く条件」が21.7%、次いで「会社や地域で、楽しい行事がない」が16.9%、「会社の人との人間関係」が16.3%で、「その他」を除いた上位3項目は、日本語学校生等、大学生等ともに同様の結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナムとネパール出身者、大学生等ではベトナム出身者で「会社や地域で、楽しい行事がない」の割合が他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	仕事が難しい	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	留学生や同じ国の人がいない	会社や地域で、楽しい行事がない	その他	
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等全体	508	52	108	97	34	169	105	
	100.0	10.2	21.3	19.1	6.7	33.3	20.7	
出身国	ベトナム	369	30	75	70	21	141	71
		100.0	8.1	20.3	19.0	5.7	38.2	19.2
	中国	53	4	15	15	5	6	20
		100.0	7.5	28.3	28.3	9.4	11.3	37.7
ネパール	43	10	6	8	5	13	6	
	100.0	23.3	14.0	18.6	11.6	30.2	14.0	
その他	42	8	12	4	3	8	8	
	100.0	19.0	28.6	9.5	7.1	19.0	19.0	
大学生等全体	166	18	36	27	24	28	45	
	100.0	10.8	21.7	16.3	14.5	16.9	27.1	
出身国	ベトナム	50	6	8	8	3	16	11
		100.0	12.0	16.0	16.0	6.0	32.0	22.0
	中国	97	7	24	17	16	12	30
	100.0	7.2	24.7	17.5	16.5	12.4	30.9	
その他	19	5	4	2	5	0	4	
	100.0	26.3	21.1	10.5	26.3	0.0	21.1	

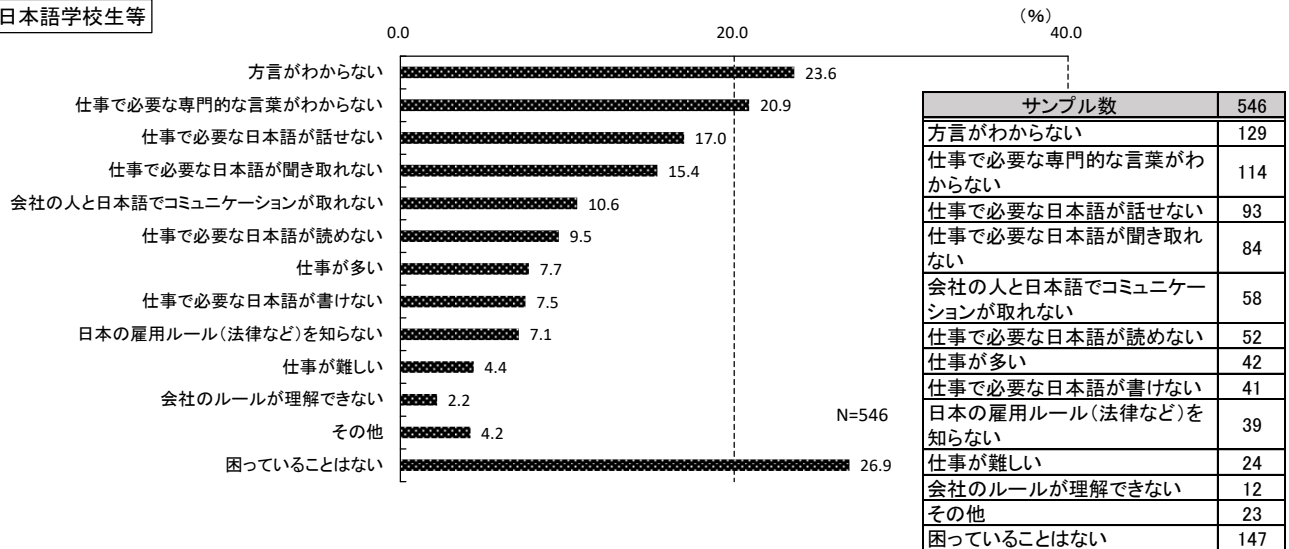
⑤ 現在の職場（アルバイト先）で困っていること

設問：いまのアルバイトで、困っていることは何ですか？（複数回答可）

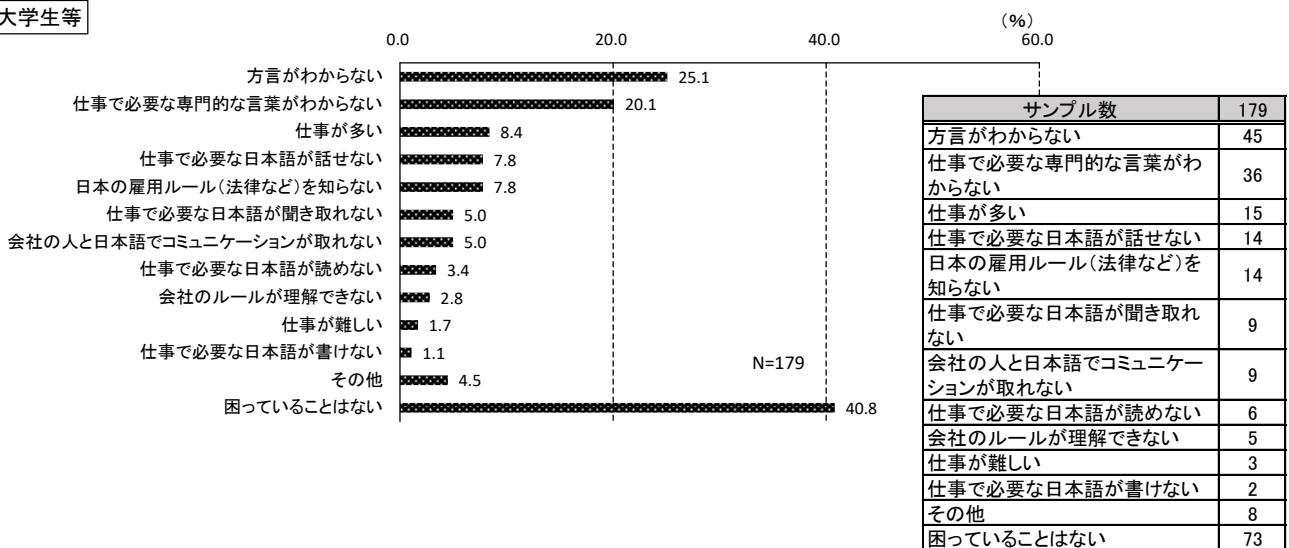
日本語学校生等では、「困っていることはない」が26.9%で最も高くなっている一方で、何らかの困りごとがある回答した者が73.1%いた。その内容としては、「方言が分からない」が23.6%、「仕事に必要な専門的な言葉がわからない」が20.9%、「仕事に必要な日本語が話せない」が17.0%、「仕事に必要な日本語が聞き取れない」が15.4%と、日本語に関連した困りごとをあげる者の割合が高い傾向となった。

大学生等も同様に「困っていることはない」が40.8%で最も高くなっている一方で、何らかの困りごとがある回答した者が59.2%いた。その内容としては、「方言が分からない」が25.1%、「仕事に必要な専門的な言葉がわからない」が20.1%と高い。しかしながら、日本語学校生等と比較して、日本語に関連する項目の割合は低い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、日本語学校生等では、習熟度が上がると「困っていることはない」の割合が高くなる傾向となった。大学生等についても、習熟度【高】では、「困っていることはない」が46.2%と高い傾向となった。

また、日本語学校生等では、仕事に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」で、習熟度【低】ほど、困っているとする者の割合が高い傾向となった。

	サンプル数	仕事 が 難 しい	仕事 が 多 い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 聞 き 取 れ な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 話 せ な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 読 め な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 書 け な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 の 言 葉 が わ か ら な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 の 方 言 が わ か ら な い	社 会 の シ ョ ン が 取 れ な い	社 会 の ル ー ル が 理 解 で き な い	日 本 の 法 律 な ど の ル ー ル を 知 ら な い	日 本 の 雇 用 ル ー ル を 知 ら な い	困 っ て い る こ と は な い	そ の 他	
上段:実数、下段:%																
日本語教育機関 全体	546 100.0	24 4.4	42 7.7	84 15.4	93 17.0	52 9.5	41 7.5	114 20.9	129 23.6	58 10.6	12 2.2	39 7.1	147 26.9	23 4.2		
日本語 習 熟 度	習熟度【低】	53 100.0	4 7.5	3 5.7	12 22.6	21 39.6	6 11.3	5 9.4	7 13.2	8 15.1	5 9.4	0 0.0	2 3.8	12 22.6	3 5.7	
	習熟度【中】	305 100.0	13 4.3	23 7.5	44 14.4	49 16.1	35 11.5	29 9.5	63 20.7	79 25.9	37 12.1	4 1.3	19 6.2	78 25.6	13 4.3	
	習熟度【高】	129 100.0	1 0.8	11 8.5	18 14.0	16 12.4	3 2.3	4 3.1	35 27.1	33 25.6	10 7.8	5 3.9	14 10.9	43 33.3	5 3.9	
大学生等全体	179 100.0	3 1.7	15 8.4	9 5.0	14 7.8	6 3.4	2 1.1	36 20.1	45 25.1	9 5.0	5 2.8	14 7.8	73 40.8	8 4.5		
日本語 習 熟 度	習熟度【低】	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	
	習熟度【中】	29 100.0	0 0.0	2 6.9	2 6.9	7 24.1	4 13.8	1 3.4	6 20.7	9 31.0	3 10.3	0 0.0	1 3.4	7 24.1	2 6.9	
	習熟度【高】	132 100.0	2 1.5	11 8.3	6 4.5	4 3.0	0 0.0	0 0.0	27 20.5	32 24.2	5 3.8	4 3.0	11 8.3	61 46.2	6 4.5	

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

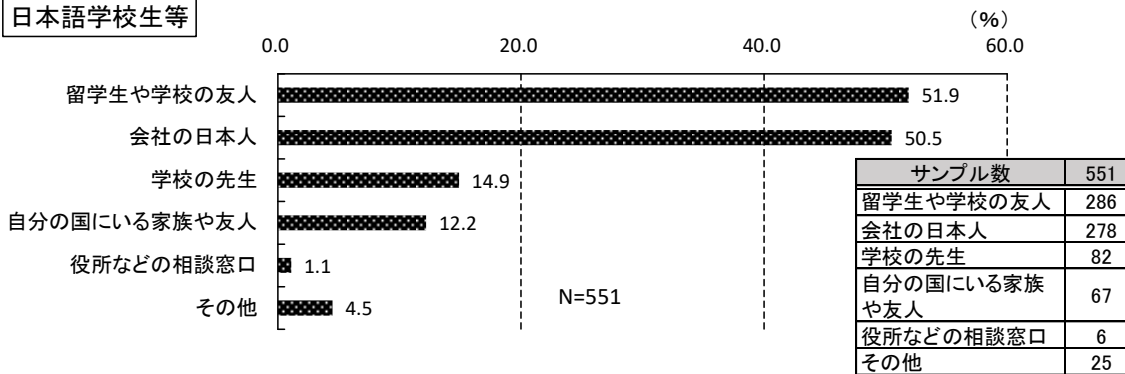
⑥ 現在の職場（アルバイト先）で困っているときの相談相手

設問：アルバイトで困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

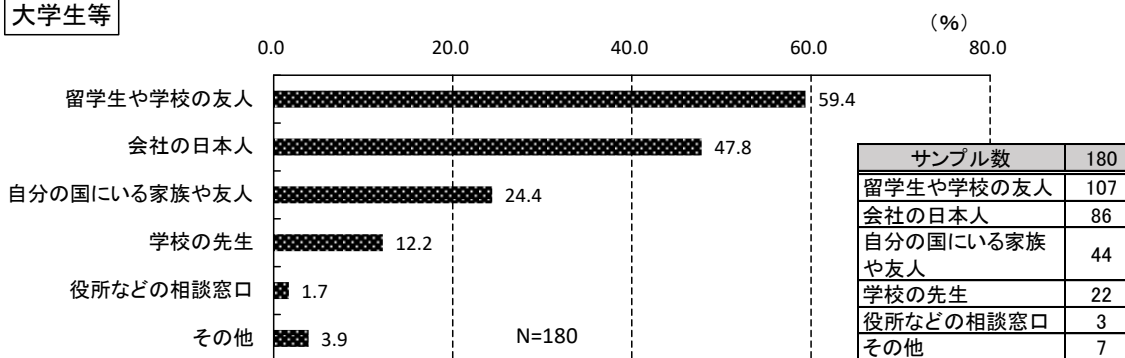
日本語学校生等では、「留学生や学校の友人」が51.9%で最も高く、次いで「会社の日本人」が50.5%、「学校の先生」が14.9%と高くなっている。

大学生等では、「留学生や学校の友人」が59.4%で最も高く、次いで「会社の日本人」が47.8%、「自分の国にいる家族や友人」が24.4%と高くなっており、アルバイトにおける相談相手上位2項目については、日本語学校生等、大学生等ともに同様の傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナム出身者で「会社の日本人」、「留学生や学校の友人」がそれぞれ53.4%、58.9%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者においては、「自分の国にいる家族や友人」が39.7%と、他国出身者と比較して高い傾向となった。

大学生等については、ベトナム出身者で「会社の日本人」が53.8%、中国出身者で「留学生や学校の友人」が62.4%と、それぞれ他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	会社の日本人	留学生や学校の友人	役所などの相談窓口	自分の国にいる家族や友人	学校の先生	その他
上段:実数, 下段:%							
日本語学校生等全体	551	278	286	6	67	82	25
	100.0	50.5	51.9	1.1	12.2	14.9	4.5
出身国	ベトナム	399	213	235	4	32	32
		100.0	53.4	58.9	1.0	8.0	8.0
	中国	58	20	25	1	23	20
		100.0	34.5	43.1	1.7	39.7	34.5
	ネパール	49	23	10	1	4	20
	100.0	46.9	20.4	2.0	8.2	40.8	
その他	43	21	15	0	8	10	
	100.0	48.8	34.9	0.0	18.6	23.3	
大学生等全体	180	86	107	3	44	22	7
	100.0	47.8	59.4	1.7	24.4	12.2	3.9
出身国	ベトナム	52	28	29	1	8	5
		100.0	53.8	55.8	1.9	15.4	9.6
	中国	109	52	68	2	31	10
		100.0	47.7	62.4	1.8	28.4	9.2
その他	19	6	10	0	5	7	
	100.0	31.6	52.6	0.0	26.3	36.8	

【アルバイトで困っている際の相談相手の関係性】

アルバイトで困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、日本語学校生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約 40%の者が「留学生や学校の友人」にも相談をしているという結果となった。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約 50%の者が、「留学生や学校の友人」にも相談しているという結果となった。

		サ ン プ ル 数	会 社 の 日 本 人	友 留 学 生 や 学 校 の 友 人	窓 役 所 な ど の 相 談 窓 口	家 自 分 の 友 国 に い る 友 人	学 校 の 先 生	そ の 他
上段:実数、下段:%								
日本語教育機関 全体		551 100.0	278 50.5	286 51.9	6 1.1	67 12.2	82 14.9	25 4.5
際 の 相 談 相 手 で 困 っ て い る	会社の日本人	278 100.0	278 100.0	99 35.6	4 1.4	17 6.1	19 6.8	2 0.7
	留学生や学校の友人	286 100.0	99 34.6	286 100.0	4 1.4	26 9.1	40 14.0	2 0.7
	役所などの相談窓口	6 100.0	4 66.7	4 66.7	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	67 100.0	17 25.4	26 38.8	0 0.0	67 100.0	14 20.9	0 0.0
	学校の先生	82 100.0	19 23.2	40 48.8	2 2.4	14 17.1	82 100.0	0 0.0
	その他	25 100.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 100.0
	大学生等全体	180 100.0	86 47.8	107 59.4	3 1.7	44 24.4	22 12.2	7 3.9
際 の 相 談 相 手 で 困 っ て い る	会社の日本人	86 100.0	86 100.0	40 46.5	2 2.3	14 16.3	8 9.3	0 0.0
	留学生や学校の友人	107 100.0	40 37.4	107 100.0	1 0.9	23 21.5	12 11.2	2 1.9
	役所などの相談窓口	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	44 100.0	14 31.8	23 52.3	0 0.0	44 100.0	3 6.8	0 0.0
	学校の先生	22 100.0	8 36.4	12 54.5	1 4.5	3 13.6	22 100.0	2 9.1
	その他	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	7 100.0

(4) 修了後の就労において求める条件等

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
(1つだけ選択)

特定技能を「知っている」者は、日本語学校等が57.5%、大学生等は31.8%で、認知度に差がみられたが、日本語学校生等は40%以上、大学生等では60%以上の者が特定技能を認知していないという結果となった。

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者で特定技能の認知度がそれぞれ20%程度と低い傾向となった。

		サンプル数	知っている	知らない
上段:実数, 下段:%				
日本語学校生等全体		562 100.0	323 57.5	239 42.5
出身国	ベトナム	395 100.0	260 65.8	135 34.2
	中国	83 100.0	23 27.7	60 72.3
	ネパール	40 100.0	20 50.0	20 50.0
	その他	42 100.0	19 45.2	23 54.8
大学生等全体		239 100.0	76 31.8	163 68.2
出身国	ベトナム	54 100.0	30 55.6	24 44.4
	中国	150 100.0	37 24.7	113 75.3
	その他	35 100.0	9 25.7	26 74.3

② 修了後の就労意向

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

① 今後（留学生の方は卒業後）、日本で働きたいですか？（1つだけ選択）

日本語学校生等では「できれば働きたい」が95.6%で、卒業後90%以上の者が日本での就労意向があるという結果となった。

大学生等についても、「できれば働きたい」が82.4%で、80%以上の者が日本での就労意向があるという結果となった。

出身国別にみると、日本語学校生等では、いずれの国の出身者も80%以上の者が「できれば働きたい」という結果となった。

大学生等では、ベトナム出身者で90%以上の者が「できれば働きたい」という結果になった。

		サンプル数	できれば働きた	働きたくない
上段:実数, 下段:%				
日本語学校生等全体		588 100.0	562 95.6	26 4.4
出身国	ベトナム	415 100.0	406 97.8	9 2.2
	中国	80 100.0	68 85.0	12 15.0
	ネパール	47 100.0	46 97.9	1 2.1
	その他	44 100.0	40 90.9	4 9.1
大学生等全体		245 100.0	202 82.4	43 17.6
出身国	ベトナム	57 100.0	53 93.0	4 7.0
	中国	151 100.0	117 77.5	34 22.5
	その他	37 100.0	32 86.5	5 13.5

③ 就労する場合に活用したい在留資格

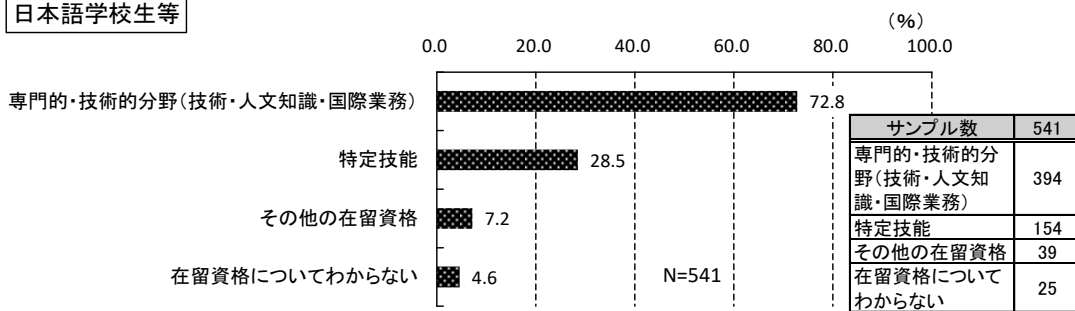
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

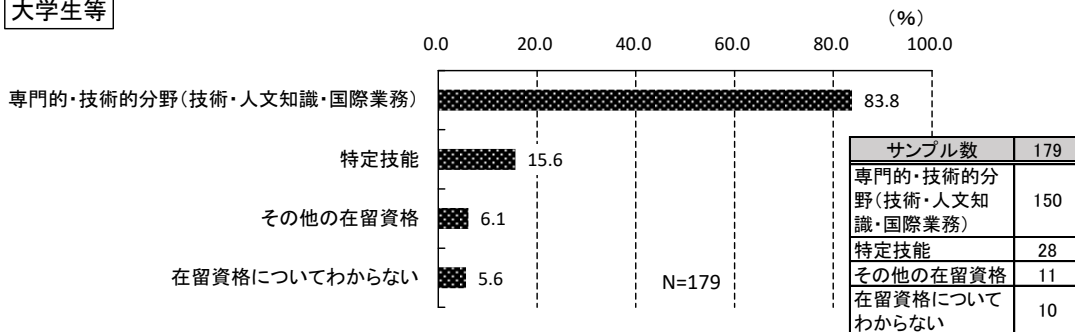
日本語学校生等では、「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が72.8%で最も高く、次いで「特定技能」が28.5%、「その他の在留資格」が7.2%となった。

大学生等においても、「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が83.8%で最も高く、次いで「特定技能」が15.6%、「その他の在留資格」が6.1%と、活用したい在留資格について、日本語学校生等と同様の傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともにベトナム、中国出身者で「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」の割合が他国出身者と比較して高く、特に大学生等ではそれぞれ約90%の者が専門的・技術的分野の活用を希望する結果となった。

一方で、日本語学校生等では、ネパール出身者において「特定技能」が47.5%と、他国出身者と比較して高い傾向となった。

出身国	サンプル数	専門的・技術的分野(技術・人文知識・国際業務)	特定技能	その他の在留資格	在留資格についてわからない
日本語学校生等全体	541	394	154	39	25
ベトナム	394	305	105	20	10
中国	66	48	15	10	7
ネパール	40	18	19	5	5
その他	39	21	15	4	3
大学生等全体	179	150	28	11	10
ベトナム	49	44	7	0	0
中国	102	91	15	9	3
その他	28	15	6	2	7

④ 就労を希望する業種

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

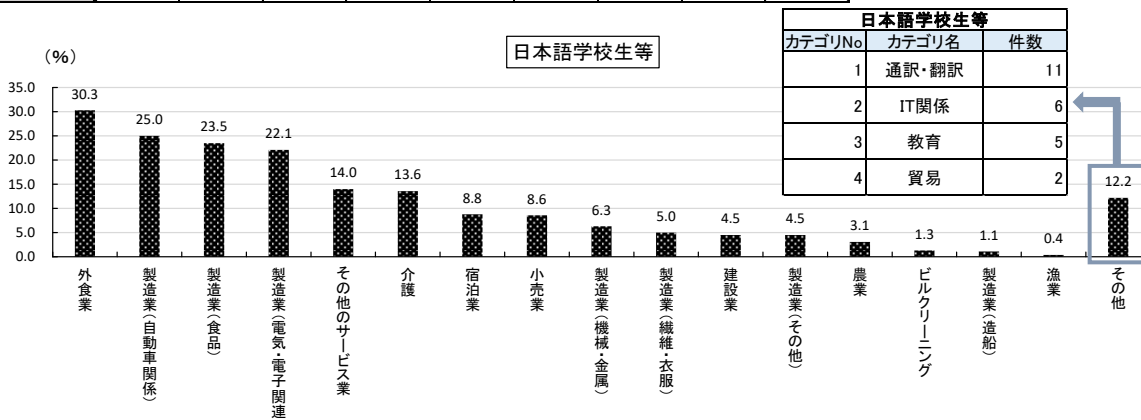
日本語学校生等では、「外食業」が30.3%で最も高く、次いで「製造業（自動車関係）」が25.0%、「製造業（食品）」が23.5%、「製造業（電気・電子関連）」が22.1%と高くなっている。

大学生等では、「その他サービス業」が26.6%で最も高く、次いで「外食業」が17.1%、「小売」が15.1%、「製造業（自動車関係）」が14.1%と高くなっている。

また、「その他」と回答した者の回答内容を見ると、日本語学校生等では「通訳・翻訳」が最も多く、そのほか「IT関係」、「教育」を希望する者がいた。

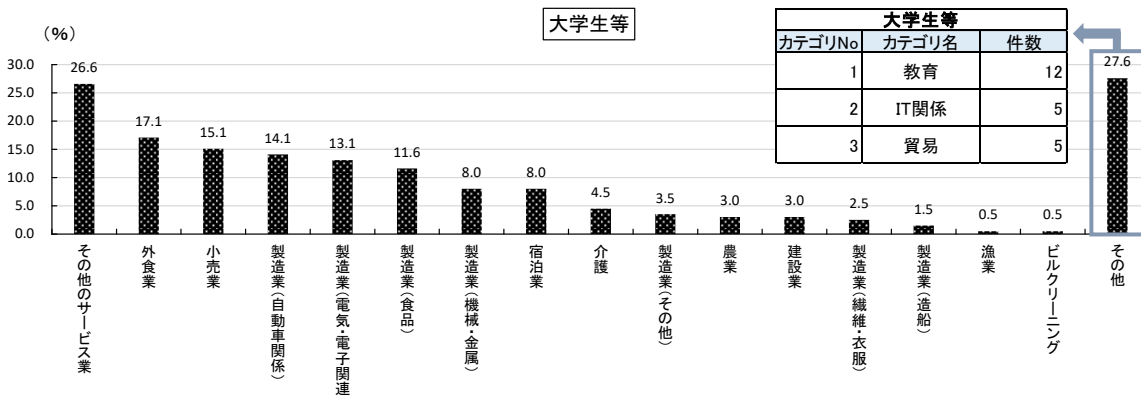
大学生等では、「教育」を希望する者が最も多く、そのほか「IT関係」、「貿易」を希望する者がいた。

サンプル数	外食業	製造業(自動車関係)	製造業(食品)	製造業(電気・電子関連)	その他のサービス業	介護	宿泊業	小売業	製造業(機械・金属)
	169	139	131	123	78	76	49	48	35
557	製造業(繊維・衣服)	建設業	製造業(その他)	農業	ビルクリーニング	製造業(造船)	漁業	その他	
	28	25	25	17	7	6	2	68	



N=557

サンプル数	その他のサービス業	外食業	小売業	製造業(自動車関係)	製造業(電気・電子関連)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	宿泊業	介護
	53	34	30	28	26	23	16	16	9
199	製造業(その他)	農業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(造船)	漁業	ビルクリーニング	その他	
	7	6	6	5	3	1	1	55	



N=199

⑤ 希望する業種を選んだ理由

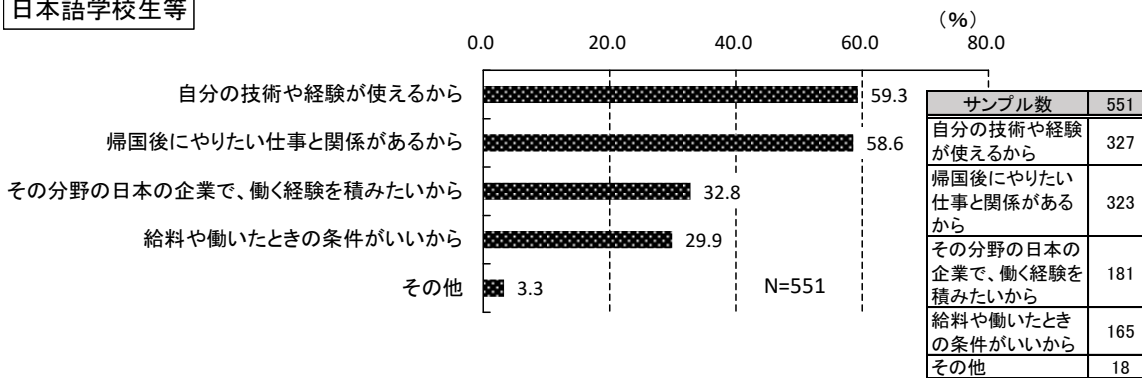
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

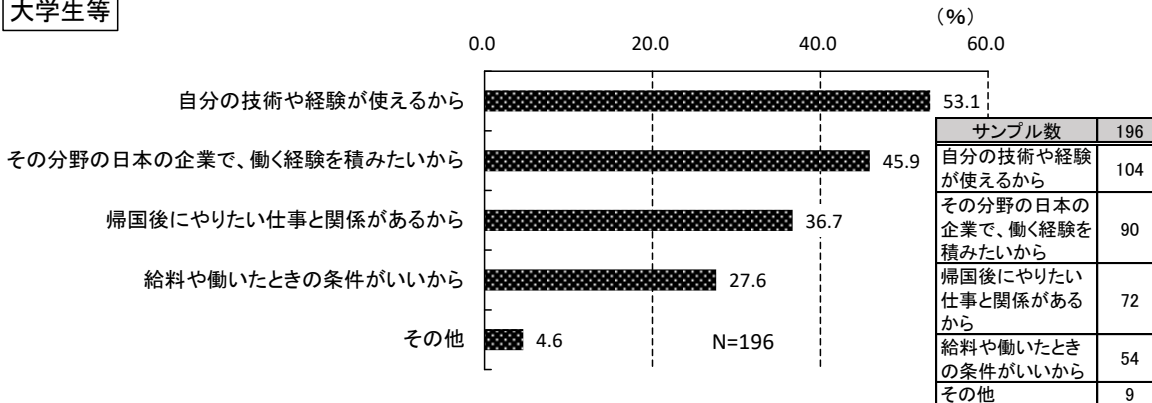
日本語学校生等では、「自分の技術が使えるから」が59.3%で最も高く、次いで「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が58.6%、「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が32.8%と高くなっている。

大学生等では、「自分の技術が使えるから」が53.1%で最も高く、次いで「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が45.9%、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が36.7%で、上位三項目は日本語学校生等と同様の結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が他国出身者と比較して低くなっているが、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」では、他国出身者と比較して高い傾向がみられた。

大学生等では、ベトナム出身者は「給料や働いたときの条件がいいから」についても、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	が自分の技術や経験が使えるから	か帰国後にやりたい仕事と関係があるから	の給料や働いたときの条件がいいから	を企業で、その分野の日本から経験	その他	
日本語学校生等	551	327	323	165	181	18	
全体	100.0	59.3	58.6	29.9	32.8	3.3	
出身国	ベトナム	399	232	254	124	97	13
		100.0	58.1	63.7	31.1	24.3	3.3
	中国	67	33	24	22	36	5
		100.0	49.3	35.8	32.8	53.7	7.5
出身国	ネパール	46	37	23	6	29	0
		100.0	80.4	50.0	13.0	63.0	0.0
	その他	37	25	21	12	19	0
	100.0	67.6	56.8	32.4	51.4	0.0	
出身国	大学生等全体	196	104	72	54	90	9
		100.0	53.1	36.7	27.6	45.9	4.6
	ベトナム	50	26	27	22	5	3
		100.0	52.0	54.0	44.0	10.0	6.0
出身国	中国	115	63	33	26	68	4
		100.0	54.8	28.7	22.6	59.1	3.5
	その他	31	15	12	6	17	2
	100.0	48.4	38.7	19.4	54.8	6.5	

⑥ 今後の就労において企業に求める条件と、就労・居住希望地域

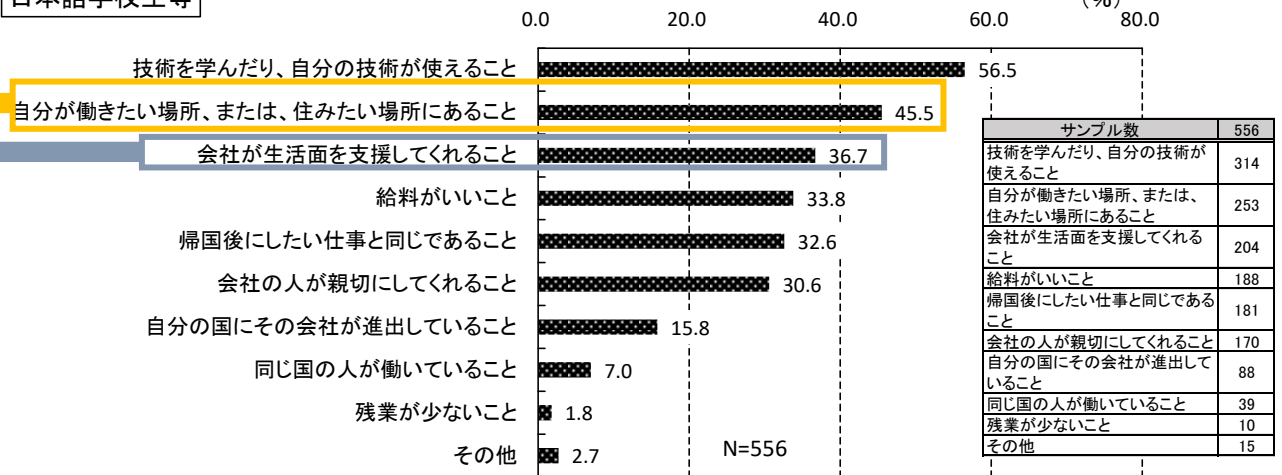
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

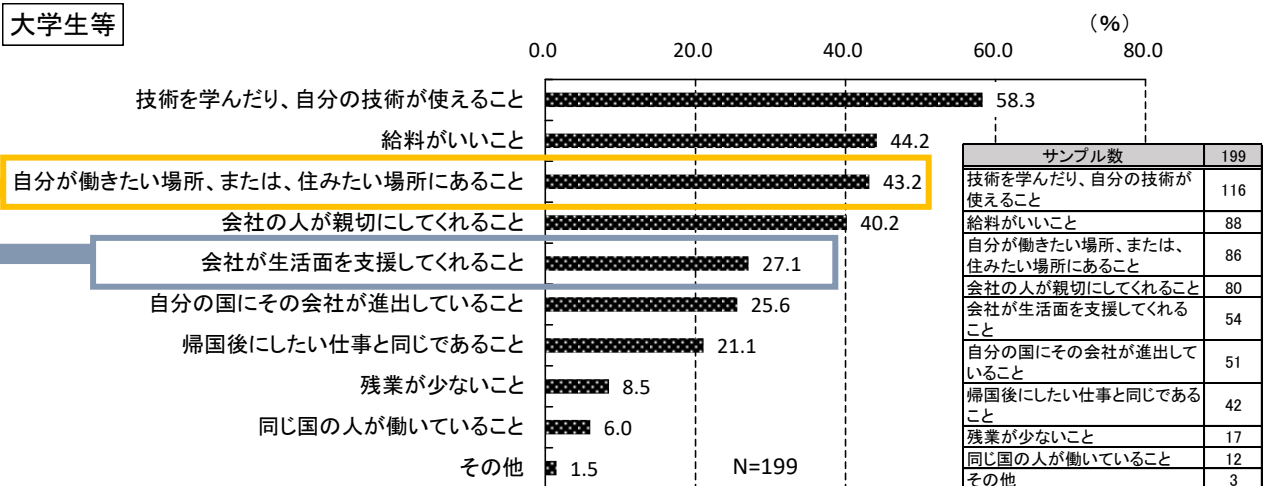
日本語学校生等では、「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が56.5%で最も高く、次いで「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が45.5%、「会社が生活面を支援してくれること」が36.7%と高くなっている。

大学生等では、「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が58.3%で最も高く、次いで「給料がいいこと」が44.2%、「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が43.2%と高く、日本語学校生等、大学生等ともに「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が50%以上となっているほか、給与面の条件以外でも「就業・居住地域」や「生活面の支援」などの項目が上位を占めた。

日本語学校生等



大学生等



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、日本語学校生等、大学生等ともに「家を借りること」がそれぞれ68.2%、75.0%で最も高い結果となった。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他	
上段:実数、下段:%					
全体	88	43	60	7	
	100.0	48.9	68.2	8.0	
出身国	ベトナム	62	30	46	5
		100.0	48.4	74.2	8.1
	中国	8	2	8	1
		100.0	25.0	100.0	12.5
	ネパール	12	8	4	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	
その他	6	3	2	1	
	100.0	50.0	33.3	16.7	
全体	28	6	21	5	
	100.0	21.4	75.0	17.9	
出身国	ベトナム	6	1	5	0
		100.0	16.7	83.3	0.0
	中国	14	1	11	4
		100.0	7.1	78.6	28.6
その他	8	4	5	1	
	100.0	50.0	62.5	12.5	

【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、日本語学校生等、大学生等ともに「広島県内」がそれぞれ68.8%、56.5%で最も高い結果となった。

出身国別にみると、いずれの国の出身者でも「広島県内」を希望する者が最も高いが、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者では「東京」を希望する者がそれぞれ20%程度という結果となった。

	サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他	
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体	247	170	22	36	19	
	100.0	68.8	8.9	14.6	7.7	
出身国	ベトナム	181	127	15	28	11
		100.0	70.2	8.3	15.5	6.1
	中国	30	20	6	2	2
		100.0	66.7	20.0	6.7	6.7
	ネパール	18	11	1	2	4
	100.0	61.1	5.6	11.1	22.2	
その他	17	11	0	4	2	
	100.0	64.7	0.0	23.5	11.8	
大学生等全体	85	48	17	13	7	
	100.0	56.5	20.0	15.3	8.2	
出身国	ベトナム	18	13	1	4	0
		100.0	72.2	5.6	22.2	0.0
	中国	56	29	12	9	6
		100.0	51.8	21.4	16.1	10.7
その他	11	6	4	0	1	
	100.0	54.5	36.4	0.0	9.1	

【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「会社の人親切にしてくれること」の条件が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

大学生等では、中国出身者で「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	と分技術と	帰国後	が自	残	給	社	社	同	自	そ
		の技術が	にしたい	分の国に	業が少	料が	会	会	じ	分	他
		使えら	仕事	その会	ないこ	いこ	社	社	の	場	
		るこ	こと	社	と	と	が	の	人	、	
		と	こと	と	と	と	生	親	が	働	
		自	こと	と	と	と	活	切	働	き	
		ら	こと	と	と	と	面	に	い	、	
		い	こと	と	と	と	を	し	て	住	
		こ	こと	と	と	と	支	て	同	み	
		と	こと	と	と	と	援	く	じ	場	
		こ	こと	と	と	と	に	れ	の	た	
		こ	こと	と	と	と	し	る	人	は	
		こ	こと	と	と	と	て	こ	が	あ	
		こ	こと	と	と	と	く	と	親	る	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	切	こ	
		こ	こと	と	と	と	と	と	に	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ	こと	と	と	と	く	れ	る	こ	
		こ	こと	と	と	と	る	こ	と	と	
		こ	こと	と	と	と	支	援	し	と	
		こ	こと	と	と	と	に	し	て	と	
		こ									

⑦ **仕事のために、勉強したい知識や技術**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい知識や技術はありますか？（1つだけ選択）

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」という者は、日本語学校生等では 84.3%、大学生等では 75.1%で、それぞれ 70%以上の者が、今後の就労のために学習したいことがあるという結果となった。

		サンプル数	ある	ない
上段:実数、下段:%				
日本語学校生等全体		527 100.0	444 84.3	83 15.7
出身国	ベトナム	389 100.0	335 86.1	54 13.9
	中国	68 100.0	55 80.9	13 19.1
	ネパール	37 100.0	28 75.7	9 24.3
	その他	31 100.0	25 80.6	6 19.4
大学生等全体		197 100.0	148 75.1	49 24.9
出身国	ベトナム	52 100.0	37 71.2	15 28.8
	中国	113 100.0	91 80.5	22 19.5
	その他	32 100.0	20 62.5	12 37.5

【仕事のために勉強したい知識や技術について（自由回答）】

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」と回答した者に学習したい内容について、自由記述の回答を分類集約したところ、日本語学校生等では「自動車関連」が最も多い結果となった。そのほか「日本語」や「IT・コンピュータ関連」、「経営」などの回答も多くみられた。

大学生等では、「日本語」が最も多く、そのほか「IT・コンピュータ関連」や「英語」などの意見が多くみられた。

日本語学校生等		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	自動車関連	38
2	日本語	17
3	IT・コンピュータ関連	13
4	経営	12
5	機械関連	8
6	英語	7

大学生等		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	日本語	18
2	IT・コンピュータ関連	11
3	英語	9
4	経営	3
5	機械関連	3
6	自動車関連	2

(5) 日本語の学習について

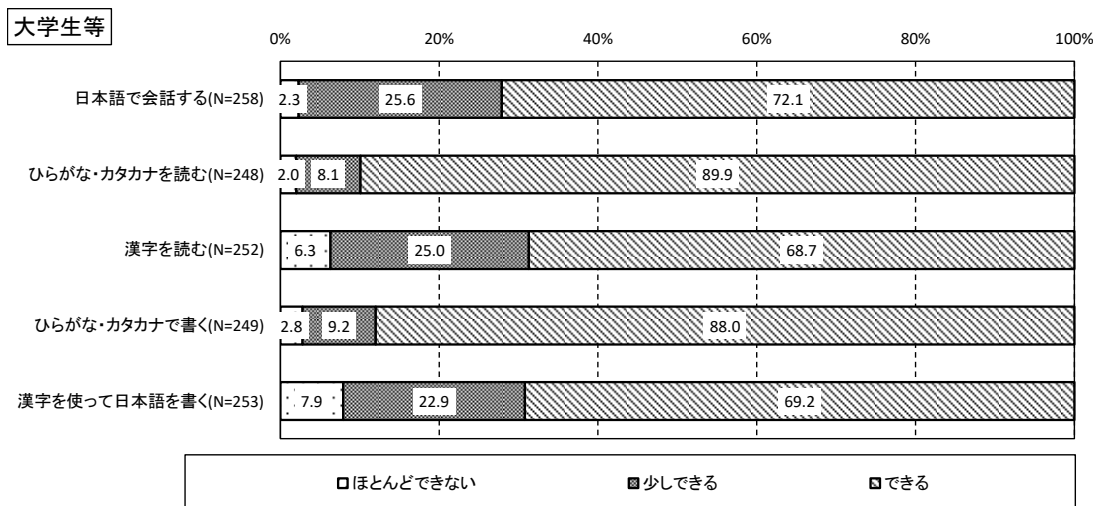
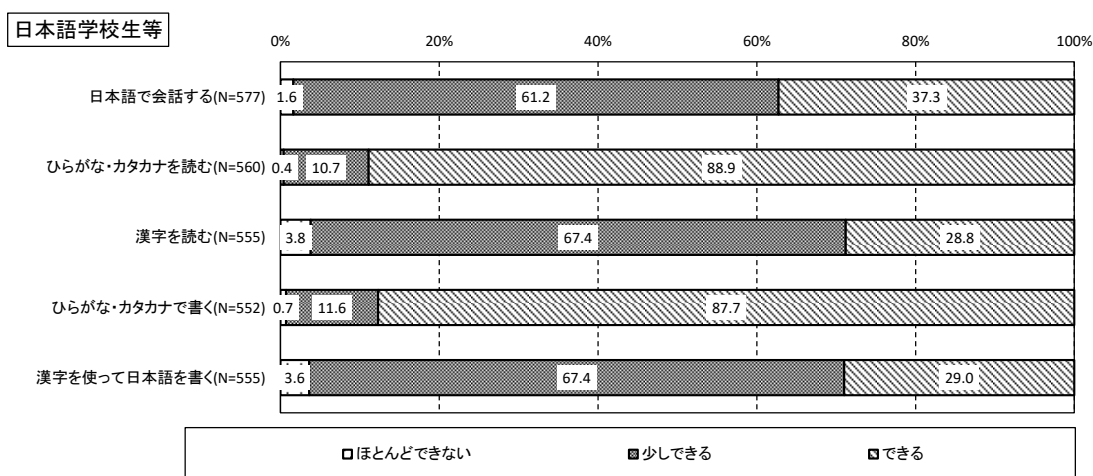
① 日本語の習熟度

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？

（それぞれの内容について、1つだけ選択）

日本語学校生等では、ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」が「できる」としている者がそれぞれ約90%、「日本語で会話する」漢字を「読む」、「書く」ができると回答している者はそれぞれ約30%～40%となった。

一方、大学生等では、すべての項目において「できる」としている者が約70%～90%となっており、日本語学校生等と大学生等との間で、日本語の習熟度に差がみられた。



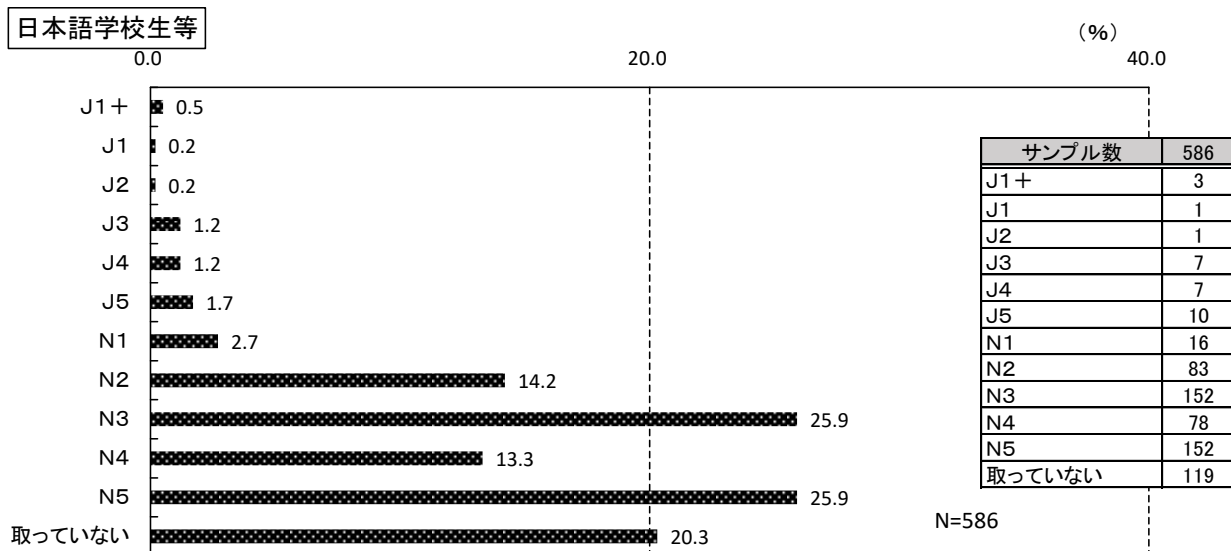
② 現在所有している日本語資格

設問：あなたが、いま、持っている日本語能力に関する資格を教えてください。

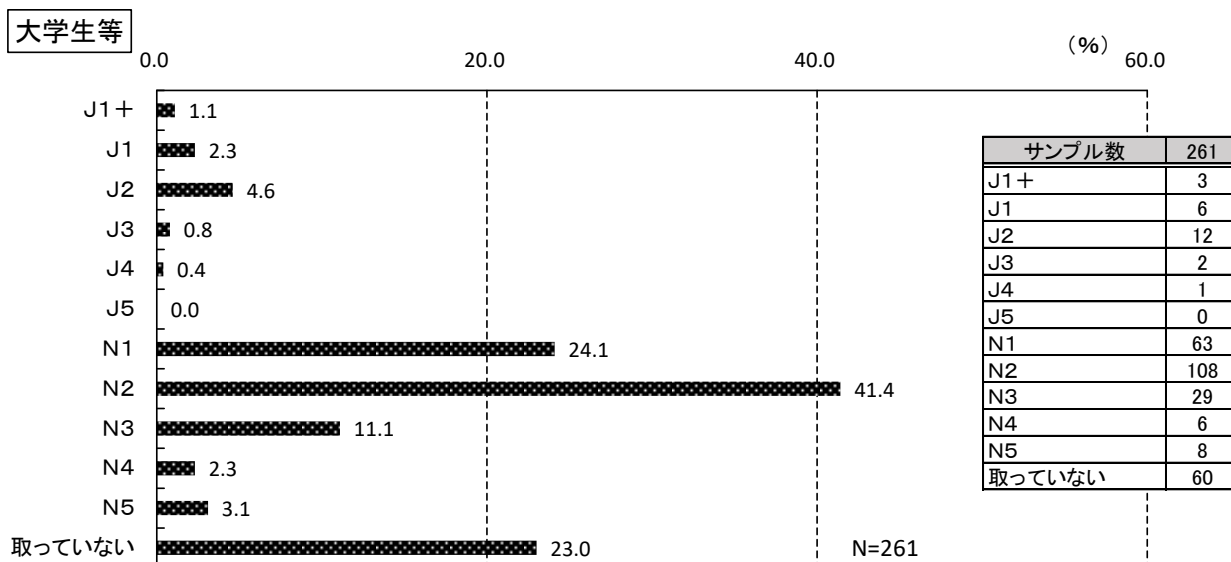
（複数回答可）

日本語学校生等では、「N3」、「N5」がそれぞれ 25.9%で最も高く、「N2」が 14.2%、「N4」が 13.3%となっているが、「取っていない」も 20.3%となっている。

大学生等では、「N2」が 41.4%で最も高く、次いで「N1」が 24.1%と高くなっている。



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

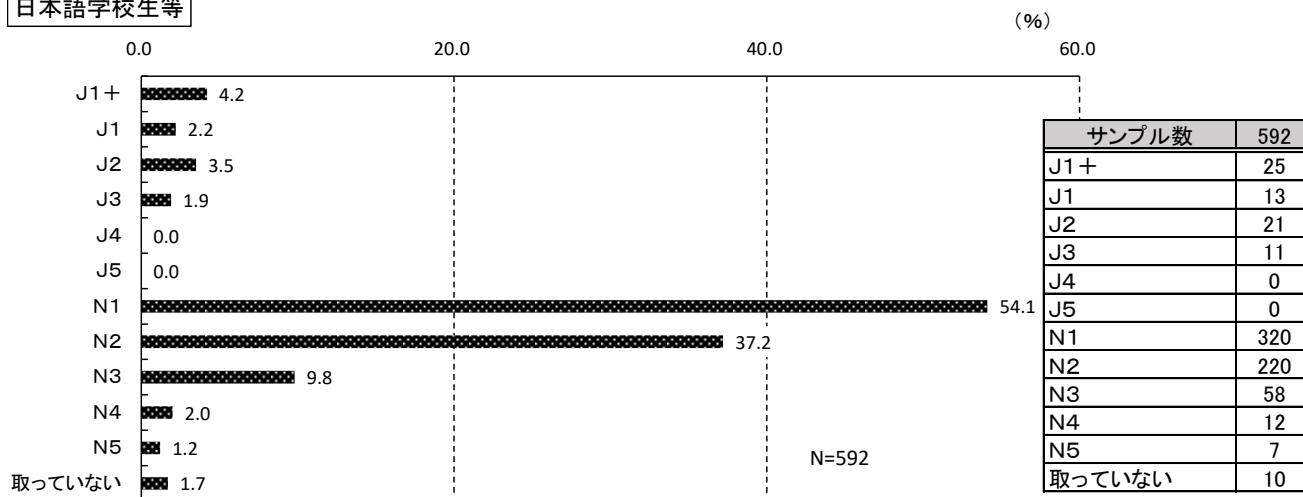
③ 今後取得したいと考えている日本語資格

設問：今後、取りたい日本語能力に関する資格を教えてください。（複数回答可）

日本語学校生等では、「N1」が54.1%で最も高く、次いで「N2」が37.2%となった。

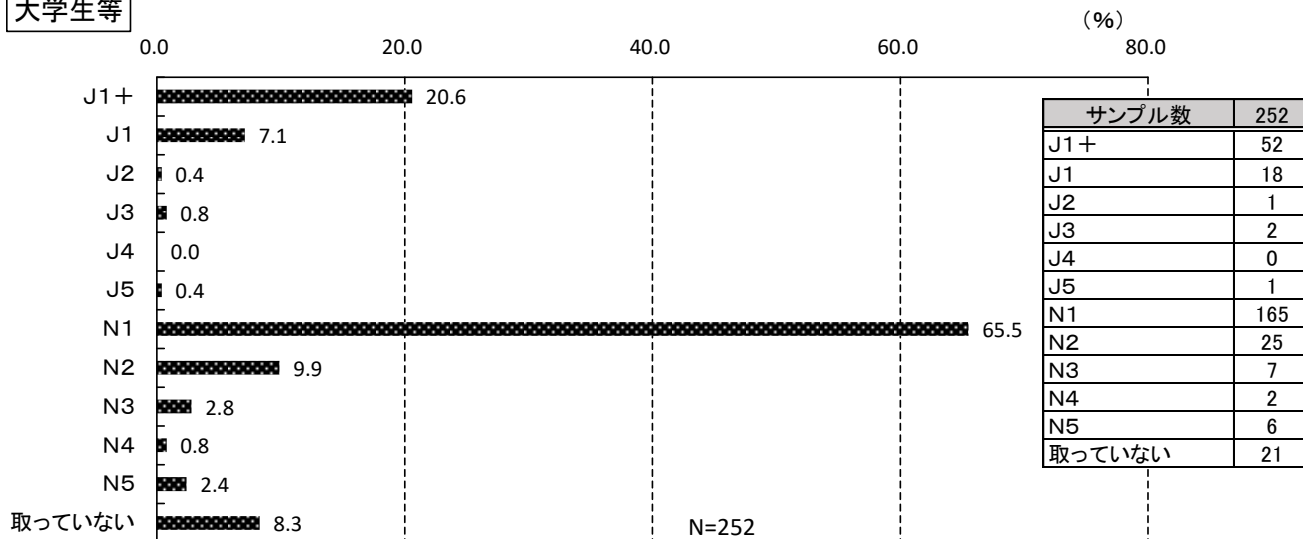
大学生等では、「N1」が65.5%で最も高く、次いで「J1+」が20.6%、「N2」が9.9%となった。

日本語学校生等



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

大学生等



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

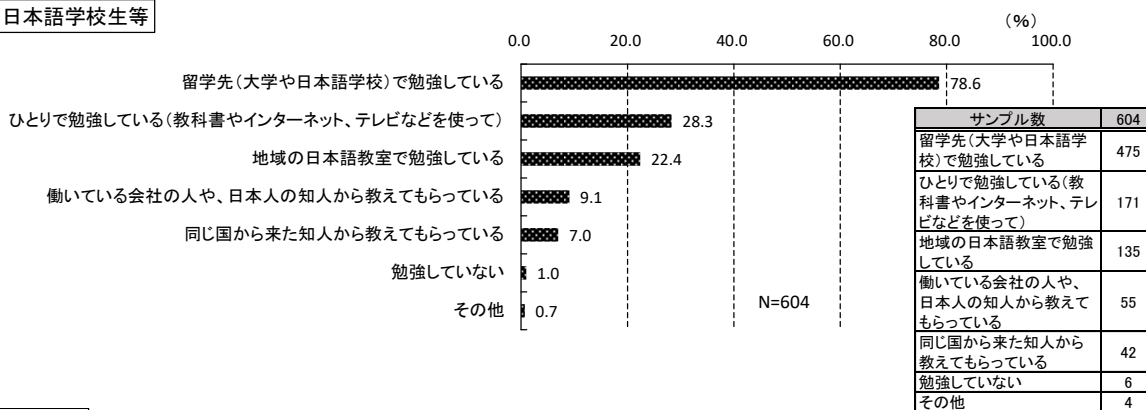
④ 日本での、日本語の学習状況

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

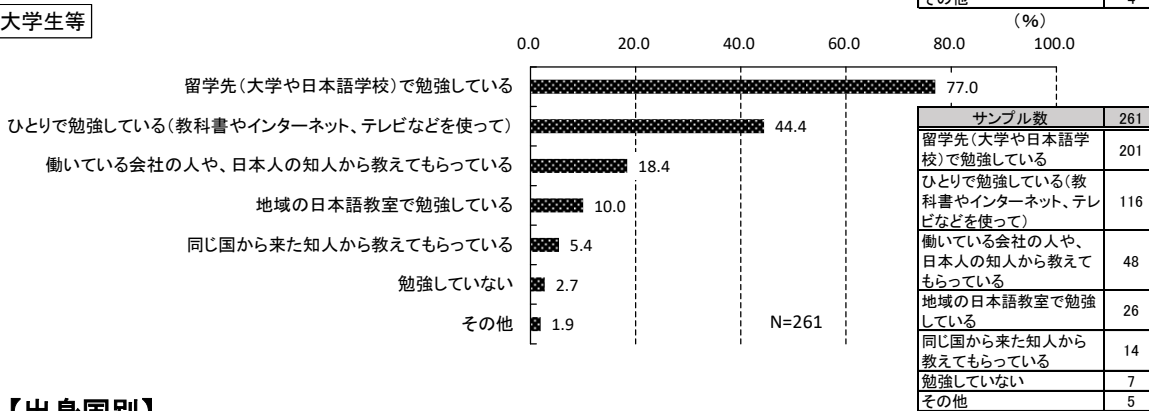
日本語学校生等では、「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が78.6%で最も高く、次いで「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が28.3%、「地域の日本語教室で勉強している」が22.4%となっている。

大学生等も同様に、「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が77.0%で最も高く、次いで「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が44.4%、「働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている」が18.4%となっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

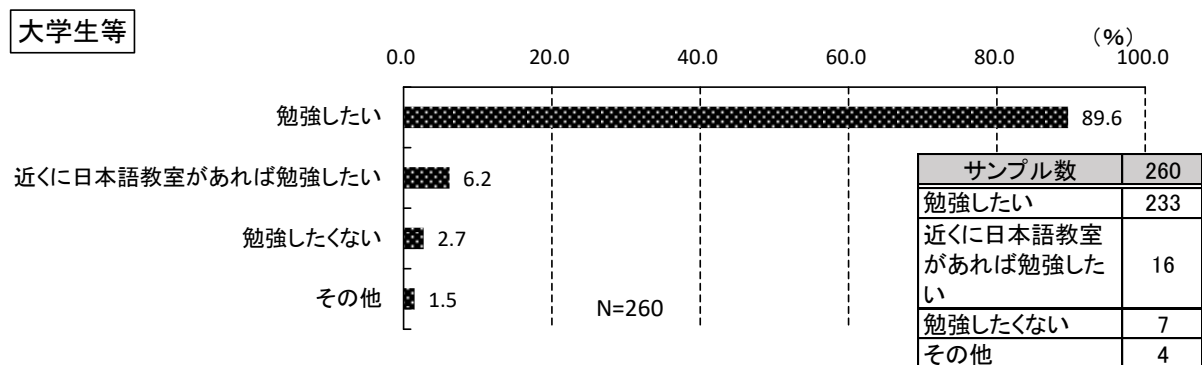
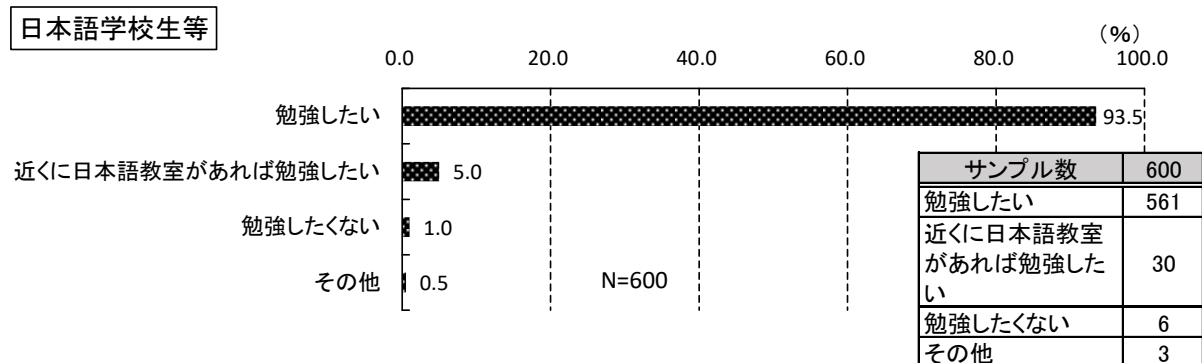
出身国別にみると、大学生等ではベトナム出身者で「留学先（大学や日本語学校）」で勉強しているが91.4%で、他国出身者と比較して高くなっている。また、中国出身者では「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が54.3%、「働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている」が27.8%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

出身国	サンプル数	学習状況 (%)							その他
		留学先(大学や日本語学校)で勉強している	ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)	地域の日本語教室で勉強している	働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている	同じ国から来た知人から教えてもらっている	勉強していない	その他	
日本語学校生等全体	604	78.6	28.3	22.4	9.1	7.0	1.0	0.7	4
出身国	ベトナム	422	91.4	30.3	23.7	7.8	5.5	0.9	2
	中国	83	79.5	54.3	18.1	14.5	2.4	0.0	2
	ネパール	49	79.6	27.7	24.5	10.2	22.4	0.0	0
	その他	48	81.3	22.4	16.7	10.4	12.5	2.1	0
	大学生等全体	261	77.0	44.4	10.0	18.4	5.4	2.7	1.9
出身国	ベトナム	58	91.4	22.4	10.3	1.7	0.0	0.0	0
	中国	151	75.5	54.3	7.9	27.8	7.3	2.0	5
	その他	52	65.4	40.4	15.4	9.6	5.8	7.7	0

⑤ 今後の、日本語の学習意向

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに、今後も日本語を「勉強したい」者がそれぞれ 90%前後で、日本語の学習意欲は非常に高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみても、日本語学校生等、大学生等ともに、今後も日本語を勉強したい者は、いずれの国の出身者においても 80%~90%程度と、学習意向は高くなっている。

		サンプル数	勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	その他
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体		600	561	30	6	3
		100.0	93.5	5.0	1.0	0.5
出身国	ベトナム	422	401	19	2	0
		100.0	95.0	4.5	0.5	0.0
	中国	82	77	1	3	1
		100.0	93.9	1.2	3.7	1.2
	ネパール	49	41	6	1	1
	100.0	83.7	12.2	2.0	2.0	
	その他	46	41	4	0	1
	100.0	89.1	8.7	0.0	2.2	
大学生等全体		260	233	16	7	4
		100.0	89.6	6.2	2.7	1.5
出身国	ベトナム	58	56	1	1	0
		100.0	96.6	1.7	1.7	0.0
	中国	151	130	13	4	4
		100.0	86.1	8.6	2.6	2.6
	その他	51	47	2	2	0
	100.0	92.2	3.9	3.9	0.0	

(6) 日本語学校生等の普段の生活状況について

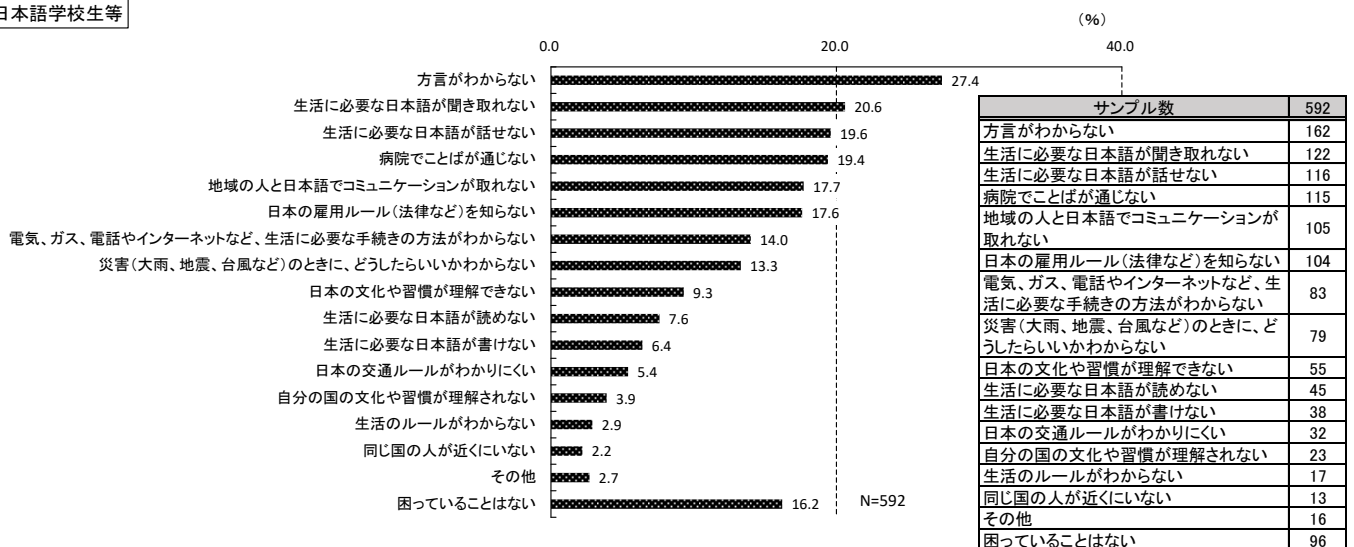
① 普段の生活において困っていること

設問：最近（6か月以内）、普段の生活で困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

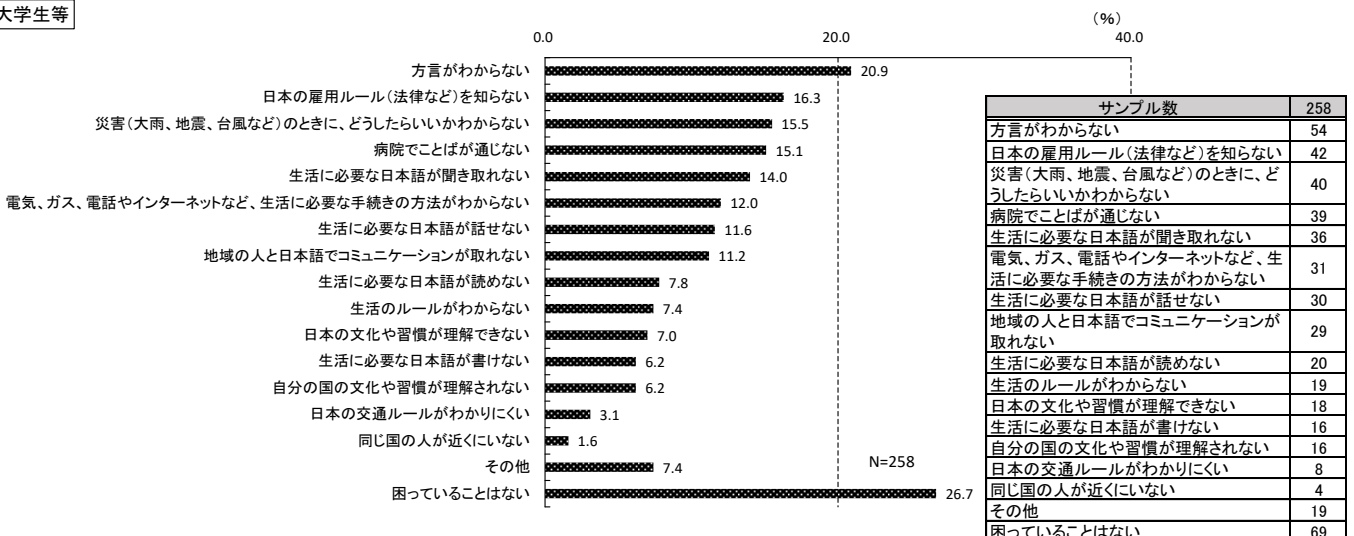
日本語学校生等では、「方言がわからない」が27.4%で最も高く、次いで「生活に必要な日本語が聞き取れない」が20.6%、「生活に必要な日本語が話せない」が19.6%、「病院でことばが通じない」が19.4%となっている。一方で、生活に必要な日本語が「読めない」、「書けない」は、いずれも10%未満で、「聞く」、「話す」上での困りごとと「読む」、「書く」、上での困りごととに差がみられた。

大学生等では、「困っていることはない」が26.7%で最も高くなっている一方で、「方言がわからない」が20.9%、「日本の雇用ルール（法律など）を知らない」が16.3%、「災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない」が15.5%、「病院でことばが通じない」が15.1%と高く、災害時の対応や病院での対応の非常時のコミュニケーションを不安視する者の割合が高い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ネパール、その他の国の出身者で「困っていることはない」がそれぞれ10%未満となっており、ベトナム、中国出身者と比較して低い傾向となった。

日本語関連の困りごとについては、いずれの国の出身者も生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」が、「読めない」、「書けない」を上回っている。

大学生等については、その他の国の出身者で生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」、「書けない」の割合が、ベトナム及び中国出身者と比較して高い傾向となった。「困っていることはない」については、ベトナム出身者が43.9%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことが通じない	電気、ガス、電話やインターネットの方法がわからない	いかにわからない、どうしたらいいかわからない	災害（大雨、地震、台風など）	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段: 素数, 下段: %																			
日本語学校生等全体		592 100.0	122 20.6	116 19.6	45 7.6	38 6.4	162 27.4	105 17.7	55 9.3	23 3.9	13 2.2	17 2.9	32 5.4	115 19.4	83 14.0	79 13.3	104 17.6	96 16.2	16 2.7
出身国	ベトナム	413 100.0	82 19.9	69 16.7	35 8.5	25 6.1	118 28.6	75 18.2	34 8.2	12 2.9	6 1.5	7 1.7	18 4.4	96 23.2	59 14.3	55 13.3	70 16.9	74 17.9	13 3.1
	中国	82 100.0	21 25.6	18 22.0	4 4.9	1 1.2	26 31.7	11 13.4	3 3.7	6 7.3	1 1.2	4 4.9	0 0.0	10 12.2	10 12.2	6 7.3	15 18.3	17 20.7	2 2.4
	ネパール	48 100.0	7 14.6	12 25.0	2 4.2	6 12.5	7 14.6	9 18.8	8 16.7	2 4.2	2 4.2	2 4.2	9 18.8	7 14.6	2 4.2	10 20.8	7 14.6	1 2.1	0 0.0
	その他	47 100.0	12 25.5	17 36.2	4 8.5	6 12.8	10 21.3	10 21.3	9 19.1	2 4.3	4 8.5	4 8.5	5 10.6	2 4.3	12 25.5	7 14.9	12 25.5	4 8.5	1 2.1
大学生等全体		258 100.0	36 14.0	30 11.6	20 7.8	16 6.2	54 20.9	29 11.2	18 7.0	16 6.2	4 1.6	19 7.4	8 3.1	39 15.1	31 12.0	40 15.5	42 16.3	69 26.7	19 7.4
出身国	ベトナム	57 100.0	4 7.0	1 1.8	1 1.8	2 3.5	7 12.3	2 3.5	6 10.5	0 0.0	0 0.0	2 3.5	2 3.5	6 10.5	4 7.0	3 5.3	13 22.8	25 43.9	4 7.0
	中国	149 100.0	14 9.4	9 6.0	4 2.7	2 1.3	37 24.8	16 10.7	8 5.4	14 9.4	2 1.3	13 8.7	5 3.4	28 18.8	23 15.4	29 19.5	20 13.4	30 20.1	8 5.4
	その他	52 100.0	18 34.6	20 38.5	15 28.8	12 23.1	10 19.2	11 21.2	4 7.7	2 3.8	2 3.8	4 7.7	1 1.9	5 9.6	4 7.7	8 15.4	9 17.3	14 26.9	7 13.5

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者を比較してみると、日本語学校生等、大学生等のいずれも、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、また「地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない」について、在留期間が短い者ほど、困っているとする者が多くなる傾向がみられた。また、「困っていることはない」については、在留期間が長くなるほど割合が高くなる傾向となった。

大学生等についてみると、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない」については、日本語学校生等と同様に、在留期間が短いほど、困っているとする者の割合が高い傾向となった。一方、「病院でことばが通じない」や「災害のときに、どうしたらいいかわからない」などについては、在留期間が長くなっても、困っている状態が継続している傾向がある。なお、「困っていることはない」については、日本語学校生等と同様に在留期間が長くなるほど割合が高くなる傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	ネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	電気、ガス、電話やインターネットなど、生活に必要なサービスがわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段：実数、下段：%																			
日本語教育機関全体	592	122	116	45	38	162	105	55	23	13	17	32	115	83	79	104	96	16	
	100.0	20.6	19.6	7.6	6.4	27.4	17.7	9.3	3.9	2.2	2.9	5.4	19.4	14.0	13.3	17.6	16.2	2.7	
在留期間	1年未満	217	70	65	24	18	67	59	22	7	7	7	11	41	31	32	39	20	6
		100.0	32.3	30.0	11.1	8.3	30.9	27.2	10.1	3.2	3.2	3.2	5.1	18.9	14.3	14.7	18.0	9.2	2.8
	1年	196	33	30	15	10	52	27	19	9	3	6	9	37	32	27	39	36	4
		100.0	16.8	15.3	7.7	5.1	26.5	13.8	9.7	4.6	1.5	3.1	4.6	18.9	16.3	13.8	19.9	18.4	2.0
	2年	107	13	10	4	7	28	9	6	4	2	2	8	23	11	10	19	22	5
	100.0	12.1	9.3	3.7	6.5	26.2	8.4	5.6	3.7	1.9	1.9	7.5	21.5	10.3	9.3	17.8	20.6	4.7	
3年	35	2	1	1	0	8	3	4	2	0	1	3	7	5	6	6	9	1	
	100.0	5.7	2.9	2.9	0.0	22.9	8.6	11.4	5.7	0.0	2.9	8.6	20.0	14.3	17.1	17.1	25.7	2.9	
4年以上	34	3	9	1	3	6	6	3	1	1	1	1	5	4	3	1	8	0	
	100.0	8.8	26.5	2.9	8.8	17.6	17.6	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9	14.7	11.8	8.8	2.9	23.5	0.0	
大学生等全体	258	36	30	20	16	54	29	18	16	4	19	8	39	31	40	42	69	19	
	100.0	14.0	11.6	7.8	6.2	20.9	11.2	7.0	6.2	1.6	7.4	3.1	15.1	12.0	15.5	16.3	26.7	7.4	
在留期間	1年未満	56	21	18	15	10	18	13	5	2	2	10	1	10	11	14	11	6	4
		100.0	37.5	32.1	26.8	17.9	32.1	23.2	8.9	3.6	3.6	17.9	1.8	17.9	19.6	25.0	19.6	10.7	7.1
	1年	29	5	7	4	2	8	5	1	2	0	4	2	4	1	6	7	5	4
		100.0	17.2	24.1	13.8	6.9	27.6	17.2	3.4	6.9	0.0	13.8	6.9	13.8	3.4	20.7	24.1	17.2	13.8
	2年	52	3	3	1	2	9	4	4	5	0	3	1	9	9	6	7	17	5
	100.0	5.8	5.8	1.9	3.8	17.3	7.7	7.7	9.6	0.0	5.8	1.9	17.3	17.3	11.5	13.5	32.7	9.6	
3年	70	4	1	0	0	14	6	6	4	2	0	3	10	7	8	9	18	4	
	100.0	5.7	1.4	0.0	0.0	20.0	8.6	8.6	5.7	2.9	0.0	4.3	14.3	10.0	11.4	12.9	25.7	5.7	
4年以上	51	3	1	0	2	5	1	2	3	0	2	1	6	3	6	8	23	2	
	100.0	5.9	2.0	0.0	3.9	9.8	2.0	3.9	5.9	0.0	3.9	2.0	11.8	5.9	11.8	15.7	45.1	3.9	

【日本語習熟度別】

習熟度別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、習熟度が高い者ほど、習熟度が低い者と比較して「困っていることはない」とする者の割合が高い傾向となった。一方で、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」、「書けない」、「地域の人とコミュニケーションが取れない」については、習熟度が低い者ほど、困っているとする者の割合が高くなる傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	電気、ガス、電話やインターネットの方法がわからない	いざというときに、どうしたらいいかわからない	災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段: 実数, 下段: %																			
日本語教育機関全体	592 100.0	122 20.6	116 19.6	45 7.6	38 6.4	162 27.4	105 17.7	55 9.3	23 3.9	13 2.2	17 2.9	32 5.4	115 19.4	83 14.0	79 13.3	104 17.6	96 16.2	16 2.7	
日本語習熟度	習熟度【低】	64 100.0	25 39.1	22 34.4	8 12.5	7 10.9	15 23.4	14 21.9	6 9.4	3 4.7	0 0.0	1 1.6	5 7.8	8 12.5	12 18.8	5 7.8	6 9.4	8 12.5	0 0.0
	習熟度【中】	313 100.0	66 21.1	70 22.4	26 8.3	22 7.0	94 30.0	59 18.8	33 10.5	8 2.6	10 3.2	5 1.6	16 5.1	71 22.7	51 16.3	47 15.0	61 19.5	40 12.8	6 1.9
	習熟度【高】	149 100.0	19 12.8	15 10.1	6 4.0	3 2.0	38 25.5	20 13.4	8 5.4	8 5.4	2 1.3	7 4.7	5 3.4	28 18.8	18 12.1	18 12.1	28 18.8	40 26.8	9 6.0
大学生等全体	258 100.0	36 14.0	30 11.6	20 7.8	16 6.2	54 20.9	29 11.2	18 7.0	16 6.2	4 1.6	19 7.4	8 3.1	39 15.1	31 12.0	40 15.5	42 16.3	69 26.7	19 7.4	
日本語習熟度	習熟度【低】	23 100.0	9 39.1	8 34.8	9 39.1	4 17.4	6 26.1	7 30.4	2 8.7	2 8.7	0 0.0	3 13.0	1 4.3	4 17.4	4 17.4	2 8.7	2 8.7	1 4.3	3 13.0
	習熟度【中】	48 100.0	14 29.2	14 29.2	8 16.7	7 14.6	12 25.0	10 20.8	4 8.3	2 4.2	2 4.2	5 10.4	2 4.2	14 29.2	7 14.6	8 16.7	10 20.8	9 18.8	2 4.2
	習熟度【高】	174 100.0	9 5.2	7 4.0	2 1.1	2 1.1	32 18.4	11 6.3	9 5.2	12 6.9	2 1.1	10 5.7	4 2.3	20 11.5	18 10.3	27 15.5	30 17.2	58 33.3	14 8.0

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

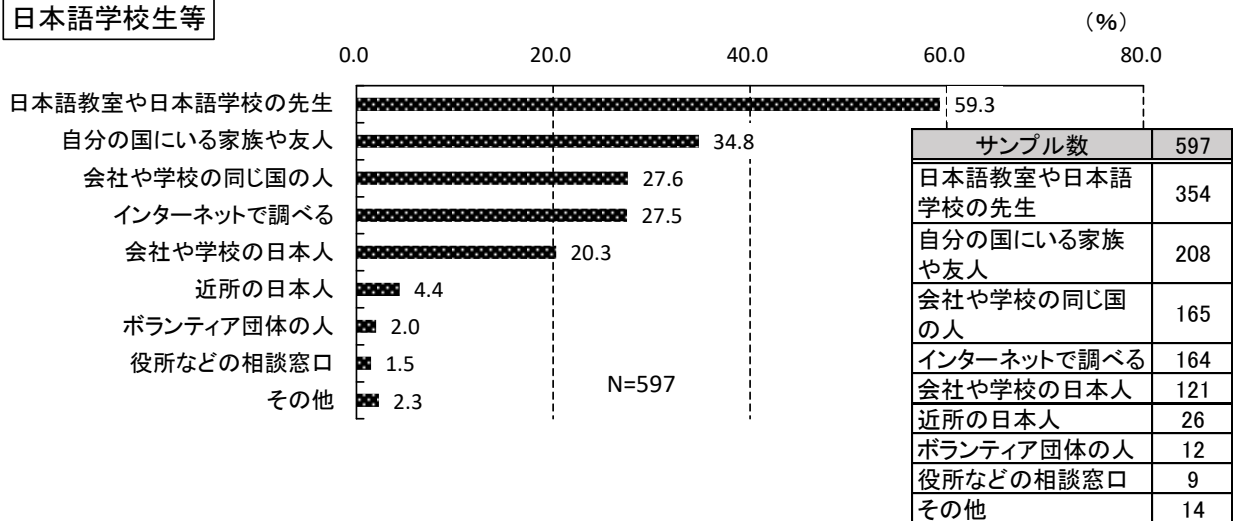
② 普段の生活において困っている際の相談相手

設問：普段の生活で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

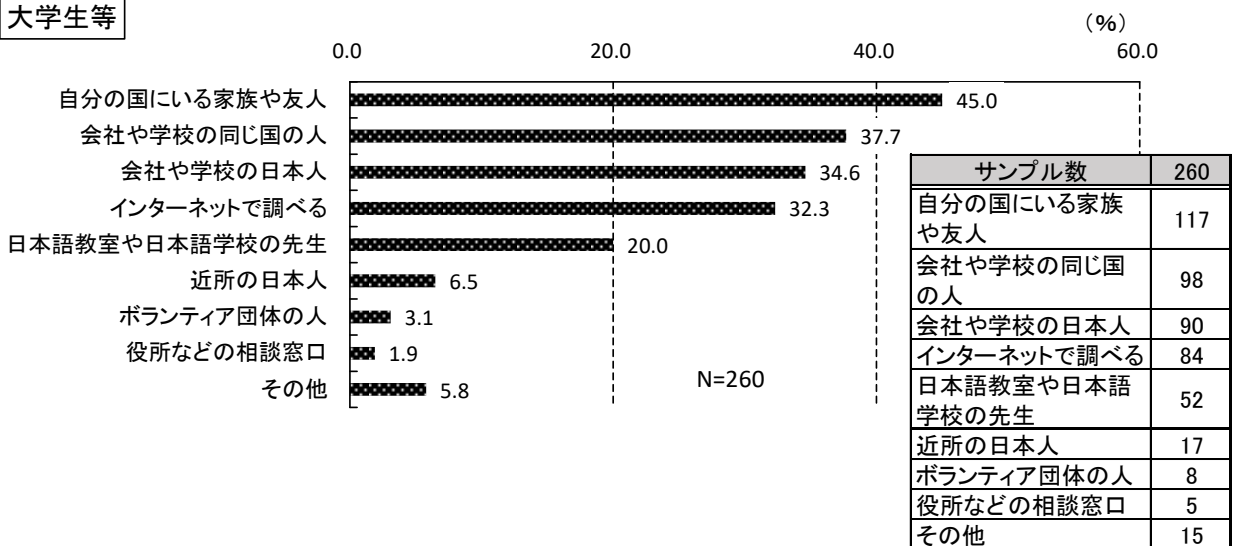
日本語学校生等では、「日本語教室や日本語学校の先生」が 59.3%で最も高く、次いで「自分の国にいる家族や友人」が 34.8%、「会社や学校の同じ国の人」が 27.6%、「インターネットで調べる」が 27.5%となっている。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」が 45.0%で最も高く、次いで「会社や学校の同じ国の人」が 37.7%、「会社や学校の日本人」が 34.6%、「インターネットで調べる」が 32.3%となっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では中国出身者が他国出身者と比較して「日本語教室や日本語学校の先生」と「インターネットで調べる」の割合が低く、「自分の国にいる家族や友人」が高くなっており、自分の国にいる家族や友人を頼る者が多い傾向がみられた。

大学生等では、特に、中国出身者では「自分の国にいる家族や友人」に相談する者の割合が高い。

	サンプル数	会社や学校の日本人	会社や学校の同じ国の人	ボランティア団体	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	家族や友人	自分の国にいる	日本語教室や日本語学校の先生	近所の日本人	その他
上段:実数,下段:%											
日本語学校生等全体	597 100.0	121 20.3	165 27.6	12 2.0	9 1.5	164 27.5	208 34.8	354 59.3	26 4.4	14 2.3	
出身国	ベトナム	418 100.0	67 16.0	120 28.7	8 1.9	5 1.2	124 29.7	148 35.4	253 60.5	13 3.1	11 2.6
	中国	80 100.0	22 27.5	29 36.3	0 0.0	1 1.3	9 11.3	43 53.8	38 47.5	1 1.3	0 0.0
	ネパール	50 100.0	13 26.0	3 6.0	0 0.0	2 4.0	15 30.0	8 16.0	34 68.0	4 8.0	2 4.0
	その他	47 100.0	19 40.4	13 27.7	3 6.4	1 2.1	16 34.0	9 19.1	28 59.6	7 14.9	1 2.1
大学生等全体	260 100.0	90 34.6	98 37.7	8 3.1	5 1.9	84 32.3	117 45.0	52 20.0	17 6.5	15 5.8	
出身国	ベトナム	58 100.0	11 19.0	11 19.0	1 1.7	0 0.0	24 41.4	26 44.8	20 34.5	1 1.7	0 0.0
	中国	150 100.0	51 34.0	71 47.3	2 1.3	4 2.7	33 22.0	76 50.7	19 12.7	10 6.7	11 7.3
	その他	52 100.0	28 53.8	16 30.8	5 9.6	1 1.9	27 51.9	15 28.8	13 25.0	6 11.5	4 7.7

【普段の生活で困っていることの相談相手の関係性】

普段の生活で困っていることの相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、日本語学校生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約50%が学校の先生にも相談しているという結果となった。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約30%が「会社や学校の日本人」や「会社や学校の同じ国の人」も頼っているという結果となった。

	サンプル数	会社や学校の日本人	会社や学校の同じ国の人	ボランティア団体	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	家族や友人	自分の国にいる	日本語教室や日本語学校の先生	近所の日本人	その他
上段:実数,下段:%											
日本語学校生等全体	597 100.0	121 20.3	165 27.6	12 2.0	9 1.5	164 27.5	208 34.8	354 59.3	26 4.4	14 2.3	
困っているときの相談相手	会社や学校の日本人	121 100.0	121 100.0	32 26.4	7 5.8	6 5.0	37 30.6	34 28.1	68 56.2	8 6.6	0 0.0
	会社や学校の同じ国の人	165 100.0	32 19.4	165 100.0	2 1.2	2 1.2	52 31.5	35 21.2	83 50.3	3 1.8	1 0.6
	ボランティア団体	12 100.0	7 58.3	2 16.7	12 100.0	2 16.7	4 33.3	2 16.7	11 91.7	1 8.3	0 0.0
	役所などの相談窓口	9 100.0	6 66.7	2 22.2	2 22.2	9 100.0	0 0.0	1 11.1	6 66.7	2 22.2	0 0.0
	インターネットで調べる	164 100.0	37 22.6	52 31.7	4 2.4	0 0.0	164 100.0	41 25.0	108 65.9	6 3.7	2 1.2
	自分の国にいる家族や友人	208 100.0	34 16.3	35 16.8	2 1.0	1 0.5	41 19.7	41 100.0	208 45.7	95 1.9	4 0.5
	日本語教室や日本語学校の先生	354 100.0	68 19.2	83 23.4	11 3.1	6 1.7	108 30.5	95 26.8	354 100.0	13 3.7	5 1.4
	近所の日本人	26 100.0	8 30.8	3 11.5	1 3.8	2 7.7	6 23.1	4 15.4	13 50.0	26 100.0	0 0.0
	その他	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	5 35.7	0 0.0	14 100.0
	大学生等全体	260 100.0	90 34.6	98 37.7	8 3.1	5 1.9	84 32.3	117 45.0	52 20.0	17 6.5	15 5.8
困っているときの相談相手	会社や学校の日本人	90 100.0	90 100.0	38 42.2	6 6.7	3 3.3	28 31.1	38 42.2	16 17.8	7 7.8	3 3.3
	会社や学校の同じ国の人	98 100.0	38 38.8	98 100.0	3 3.1	3 3.1	31 31.6	34 34.7	15 15.3	8 8.2	1 1.0
	ボランティア団体	8 100.0	6 75.0	3 37.5	8 100.0	1 12.5	5 62.5	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0
	役所などの相談窓口	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	1 100.0	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
	インターネットで調べる	84 100.0	28 33.3	31 36.9	5 6.0	5 6.0	84 100.0	35 41.7	25 29.8	10 11.9	1 1.2
	自分の国にいる家族や友人	117 100.0	38 32.5	34 29.1	3 2.6	1 0.9	35 29.9	117 100.0	21 17.9	2 1.7	2 1.7
	日本語教室や日本語学校の先生	52 100.0	16 30.8	15 28.8	4 7.7	2 3.8	25 48.1	21 40.4	52 100.0	4 7.7	0 0.0
	近所の日本人	17 100.0	7 41.2	8 47.1	1 5.9	1 5.9	10 58.8	2 11.8	4 23.5	17 100.0	0 0.0
	その他	15 100.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0

③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに「知らない」がそれぞれ70%程度で最も高いという結果となった。また、「知っているけれど、相談したことはない」がそれぞれ20%程度となっている。

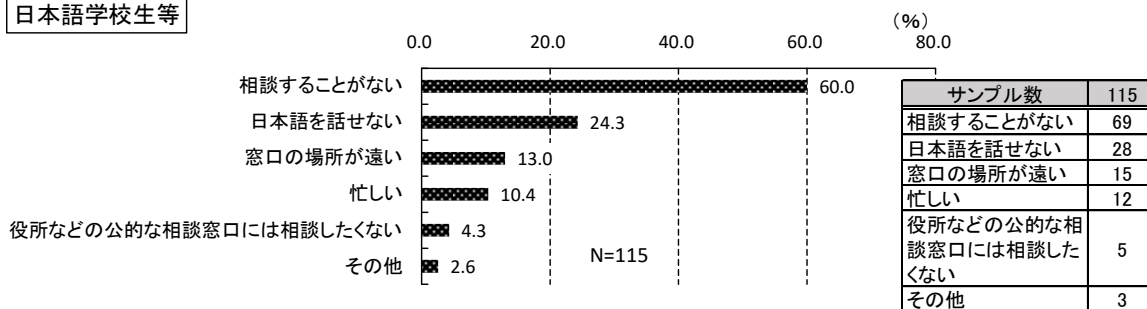
		サンプル数	知っている ところもあ る。相談し たことはい ない。	知っている ところもあ る。相談し たことはい ない。	知らない
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等 全体		575 100.0	33 5.7	148 25.7	394 68.5
出身国	ベトナム	403 100.0	23 5.7	117 29.0	263 65.3
	中国	80 100.0	5 6.3	11 13.8	64 80.0
	ネパール	48 100.0	1 2.1	11 22.9	36 75.0
	その他	43 100.0	4 9.3	9 20.9	30 69.8
大学生等全体		253 100.0	16 6.3	53 20.9	184 72.7
出身国	ベトナム	56 100.0	6 10.7	11 19.6	39 69.6
	中国	147 100.0	5 3.4	31 21.1	111 75.5
	その他	50 100.0	5 10.0	11 22.0	34 68.0

【相談したことがない理由】

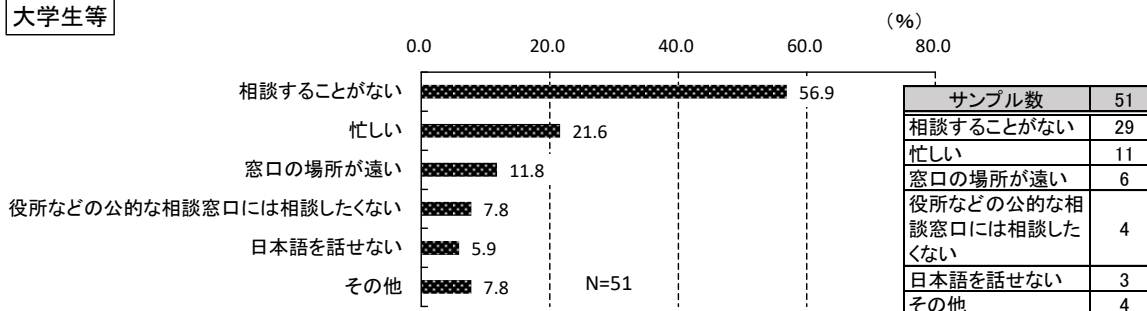
公的な相談窓口を「知っているけれど、相談したことがない」者に、その理由をたずねたところ、日本語学校生等では「相談することがない」が60.0%で最も高くなったが、「日本語が話せない」ことが理由で相談できていない者が24.3%という結果となった。

大学生等では、日本語学校生等同様に「相談することがない」が56.9%で最も高く、次いで「忙しい」が21.6%、「窓口の場所が遠い」が11.8%となった

日本語学校生等



大学生等



④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

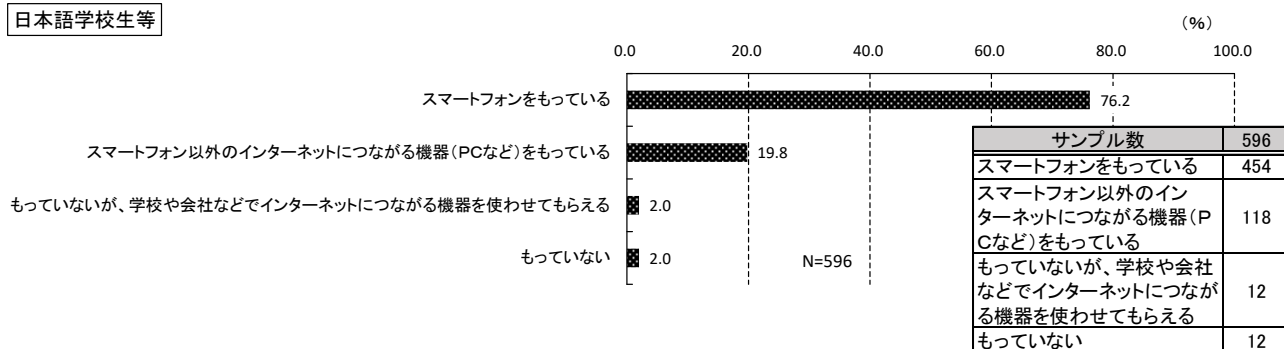
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

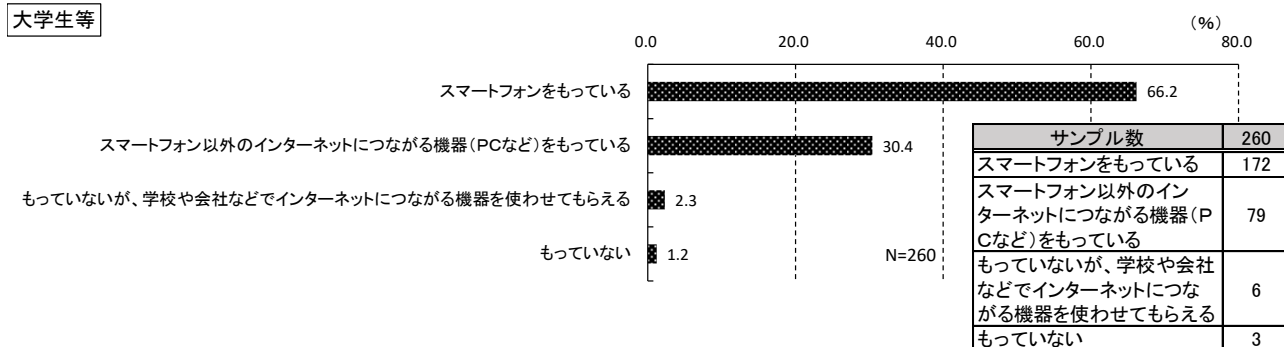
日本語学校生等では、「スマートフォンを持っている」が76.2%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）を持っている」の19.8%と合わせると、90%以上の者がインターネットから情報を得られる環境にある結果となった。

大学生等も同様に、「スマートフォンを持っている」が66.2%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）を持っている」の30.4%を合わせると、90%以上の者がインターネットから情報を得られる環境にある結果となった。

日本語学校生等



大学生等



⑤ よく利用する web サイトや SNS とその利用頻度

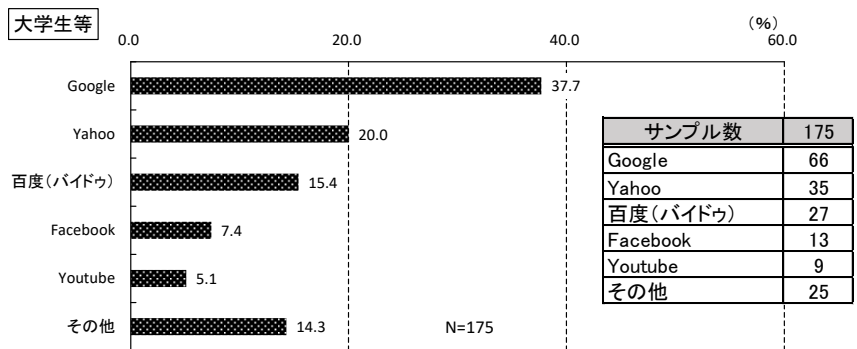
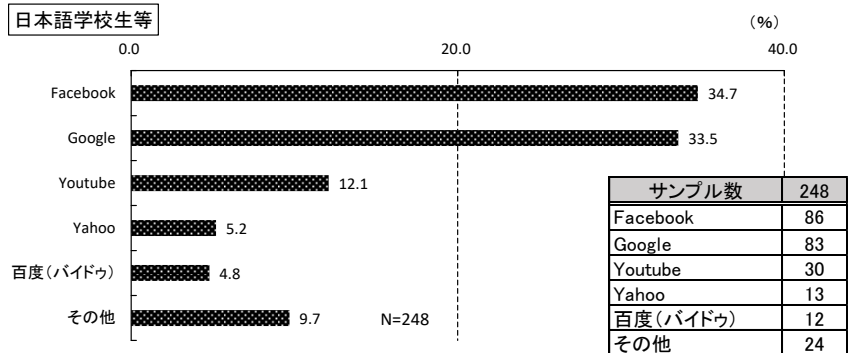
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイト】

最もよく利用する web サイトは日本語学校生等では、「facebook」が 34.7% で最も高く、次いで「Google」が 33.5% と高くなっている。

大学生等では、「Google」が 37.7% で最も高く、次いで「Yahoo」が 20.0% となった。



【出身国別】

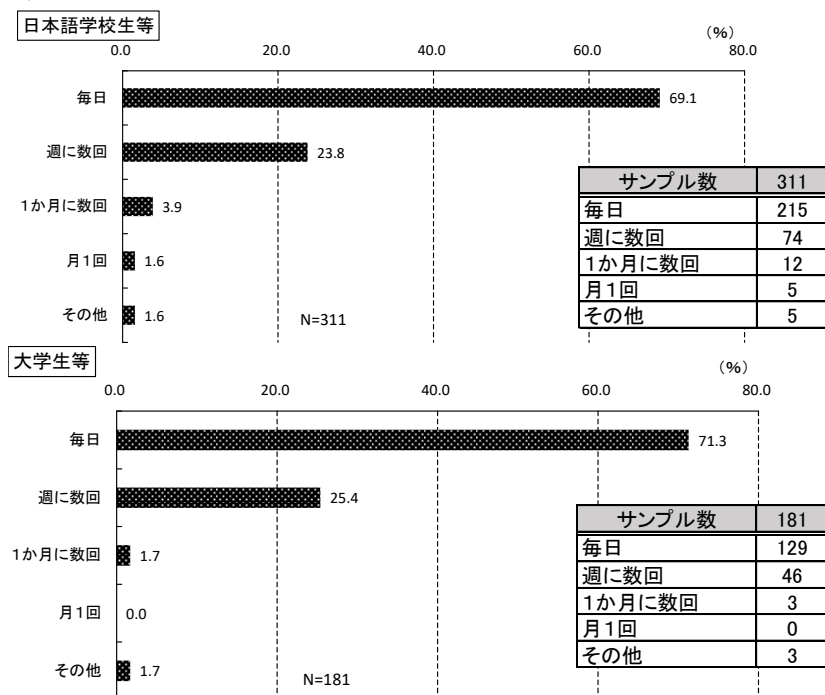
出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者では、「Facebook」の割合が他国出身者と比較して高い傾向となった。また、「Google」については、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者以外での割合が高い傾向となった。

一方、中国出身者では、大学生等、日本語学校生等ともに、「Yahoo」、「百度（バイドゥ）」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度(バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等	248	13	86	83	30	12	24
全体	100.0	5.2	34.7	33.5	12.1	4.8	9.7
出身国	ベトナム	172	0	80	57	24	11
		100.0	0.0	46.5	33.1	14.0	6.4
	中国	43	11	0	9	3	8
		100.0	25.6	0.0	20.9	7.0	18.6
出身国	ネパール	14	0	3	8	1	2
		100.0	0.0	21.4	57.1	7.1	14.3
	その他	18	2	2	9	2	3
		100.0	11.1	11.1	50.0	11.1	16.7
大学生等全体							
	175	35	13	66	9	27	25
	100.0	20.0	7.4	37.7	5.1	15.4	14.3
出身国	ベトナム	35	1	11	17	2	4
		100.0	2.9	31.4	48.6	5.7	11.4
	中国	106	33	0	30	4	12
		100.0	31.1	0.0	28.3	3.8	11.3
出身国	その他	34	1	2	19	3	9
		100.0	2.9	5.9	55.9	8.8	26.5

【最もよく利用する web サイトと利用頻度】

最もよく利用する web サイトの利用頻度をみると、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高く、次いで「週に数回」となっており、週に数回以上利用する者がそれぞれ 90%程度となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、「毎日」利用する者がいずれの国の出身者においても約 60%~70%程度に対し、大学生等では、中国出身者以外では「毎日」利用するものが約 80%~90%で、毎日利用する者の割合が高い傾向となった。しかしながら、日本語学校生等、大学生等ともに、「週に数回」以上利用する者は、いずれの国の出身者においても 90%以上と、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		311	215	74	12	5	5
		100.0	69.1	23.8	3.9	1.6	1.6
出身国	ベトナム	226	158	52	8	4	4
		100.0	69.9	23.0	3.5	1.8	1.8
	中国	47	30	13	2	1	1
		100.0	63.8	27.7	4.3	2.1	2.1
	ネパール	18	12	5	1	0	0
	100.0	66.7	27.8	5.6	0.0	0.0	
	その他	19	14	4	1	0	0
		100.0	73.7	21.1	5.3	0.0	0.0
大学生等全体		181	129	46	3	0	3
		100.0	71.3	25.4	1.7	0.0	1.7
出身国	ベトナム	36	29	6	1	0	0
		100.0	80.6	16.7	2.8	0.0	0.0
	中国	110	69	37	1	0	3
	100.0	62.7	33.6	0.9	0.0	2.7	
	その他	35	31	3	1	0	0
		100.0	88.6	8.6	2.9	0.0	0.0

【最もよく利用する web サイト別利用頻度】

最もよく利用する web サイト別の利用頻度をみると、日本語学校生等では「Facebook」、「Google」ともに、週に数回以上利用する者がそれぞれ 60%程度となった。

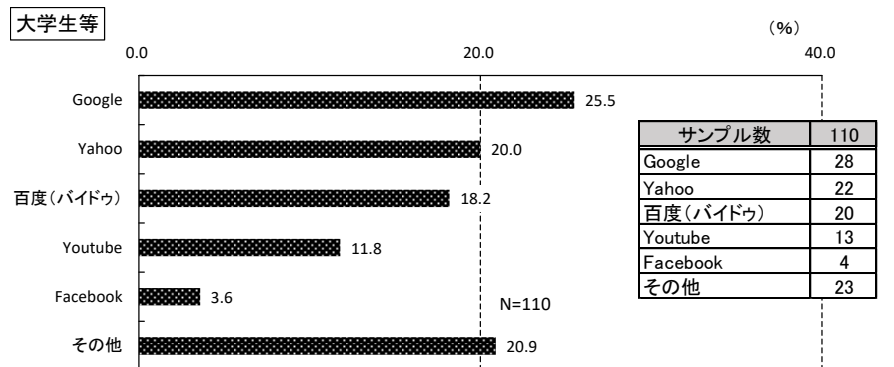
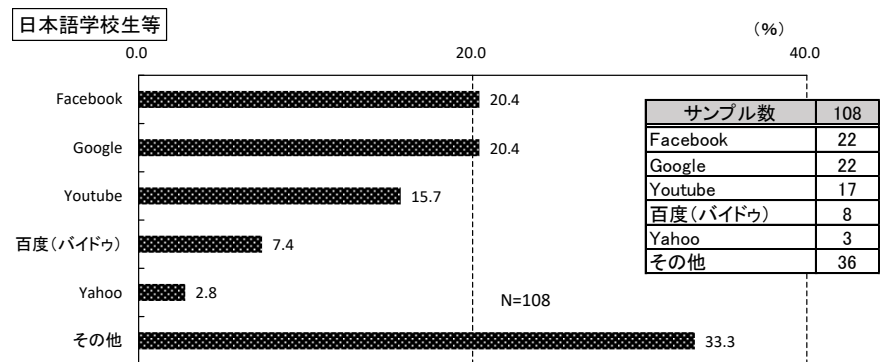
大学生等では、「Yahoo」で週に数回以上利用する者が約 40%、「Google」で約 70%という結果となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度(バイドゥ)	その他	
上段-実数 下段-%								
日本語学校生等全体	248 100.0	13 5.2	86 34.7	83 33.5	30 12.1	12 4.8	24 9.7	
利用頻度	毎日	176 100.0	8 4.5	72 40.9	56 31.8	22 12.5	7 4.0	11 6.3
	週に数回	55 100.0	5 9.1	11 20.0	18 32.7	6 10.9	3 5.5	12 21.8
	1か月に数回	8 100.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体	175 100.0	35 20.0	13 7.4	66 37.7	9 5.1	27 15.4	25 14.3	
利用頻度	毎日	123 100.0	20 16.3	10 8.1	47 38.2	9 7.3	17 13.8	20 16.3
	週に数回	44 100.0	13 29.5	3 6.8	15 34.1	0 0.0	9 20.5	4 9.1
	1か月に数回	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

【2番目によく利用するwebサイト】

2番目によく利用するwebサイトは、日本語学校生等では、「その他」を除けば、「Facebook」、「Google」がそれぞれ20.4%と高くなっている。

大学生等では、「Google」が25.5%で最も高く、次いで「その他」が20.9%、「Yahoo」が20.0%となった。



【出身国別】

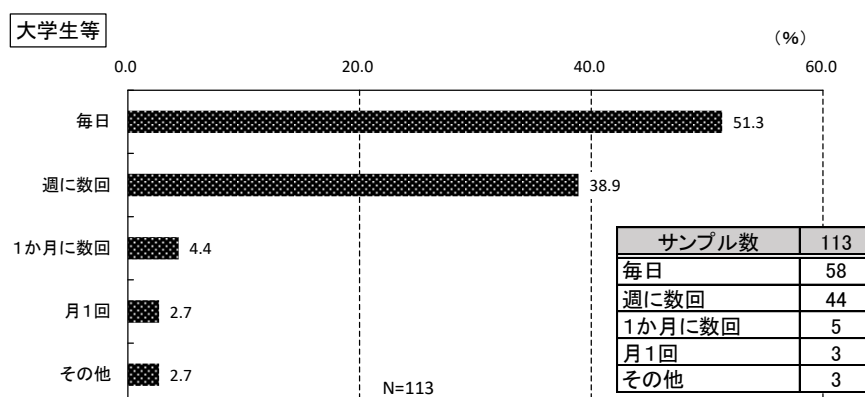
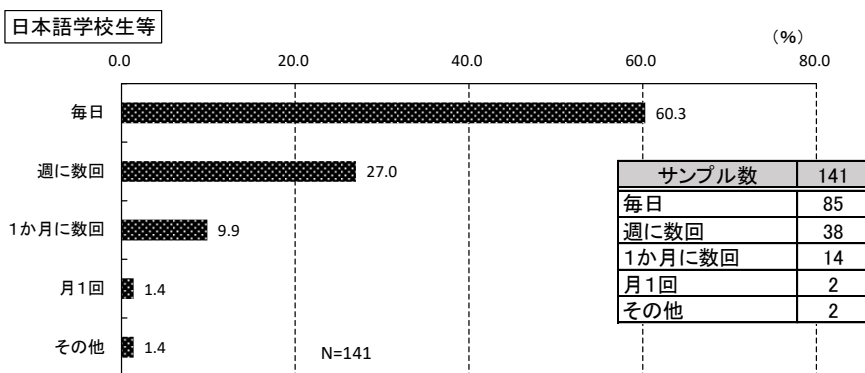
出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者では「Facebook」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者では、日本語学校生等、大学生等ともに「Google」、「百度（バイドゥ）」がそれぞれ30%程度と高くなっているが、大学生等においては、「Yahoo」も25.0%と高い傾向となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度(バイドゥ)	その他	
上段:実数, 下段:%								
日本語学校生等全体	108	3	22	22	17	8	36	
	100.0	2.8	20.4	20.4	15.7	7.4	33.3	
出身国	ベトナム	65	1	18	12	12	22	
		100.0	1.5	27.7	18.5	18.5	0.0	33.8
	中国	23	2	0	6	1	8	6
		100.0	8.7	0.0	26.1	4.3	34.8	26.1
出身国	ネパール	8	0	1	1	3	3	
		100.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	37.5
	その他	11	0	3	3	1	0	4
	100.0	0.0	27.3	27.3	9.1	0.0	36.4	
大学生等全体		110	22	4	28	13	20	23
	100.0	20.0	3.6	25.5	11.8	18.2	20.9	
出身国	ベトナム	14	0	3	3	2	0	6
		100.0	0.0	21.4	21.4	14.3	0.0	42.9
	中国	72	18	0	20	5	20	9
	100.0	25.0	0.0	27.8	6.9	27.8	12.5	
出身国	その他	24	4	1	5	6	0	8
		100.0	16.7	4.2	20.8	25.0	0.0	33.3

【2番目によく利用するwebサイトの利用頻度】

2番目によく利用するwebサイトの利用頻度は、日本語学校生等では、「毎日」が60.3%で最も高く、次いで「週に数回」が27.0%となった。

大学生等においても、「毎日」が51.3%で最も高く、次いで「週に数回」が38.9%となっており、最もよく利用するwebサイトと同様に、週に数回以上利用する者がそれぞれ約80%~90%となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、「中国出身者」以外では「毎日」利用する者が、それぞれ約60%~70%と高い傾向となった。しかしながら、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者は約80%となっており、いずれの国の出身者においても、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数, 下段:%							
日本語学校生等全体		141	85	38	14	2	2
		100.0	60.3	27.0	9.9	1.4	1.4
出身国	ベトナム	90	55	26	6	2	1
		100.0	61.1	28.9	6.7	2.2	1.1
	中国	25	11	9	4	0	1
		100.0	44.0	36.0	16.0	0.0	4.0
出身国	ネパール	13	9	2	2	0	0
		100.0	69.2	15.4	15.4	0.0	0.0
	その他	12	9	1	2	0	0
		100.0	75.0	8.3	16.7	0.0	0.0
大学生等全体		113	58	44	5	3	3
		100.0	51.3	38.9	4.4	2.7	2.7
出身国	ベトナム	14	10	3	1	0	0
		100.0	71.4	21.4	7.1	0.0	0.0
	中国	75	34	33	3	2	3
		100.0	45.3	44.0	4.0	2.7	4.0
出身国	その他	24	14	8	1	1	0
		100.0	58.3	33.3	4.2	4.2	0.0

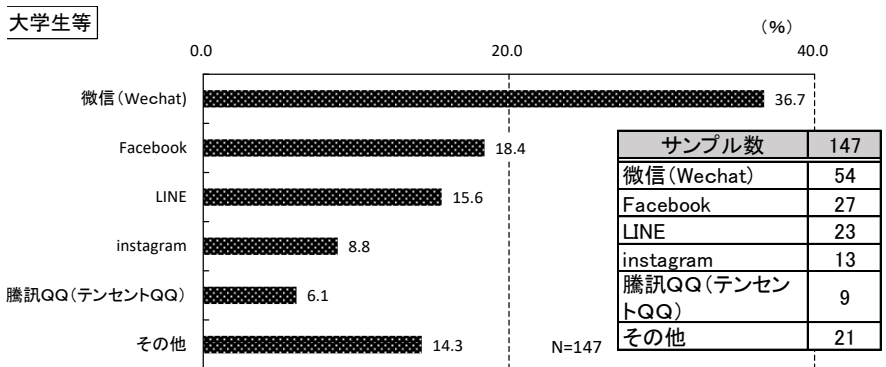
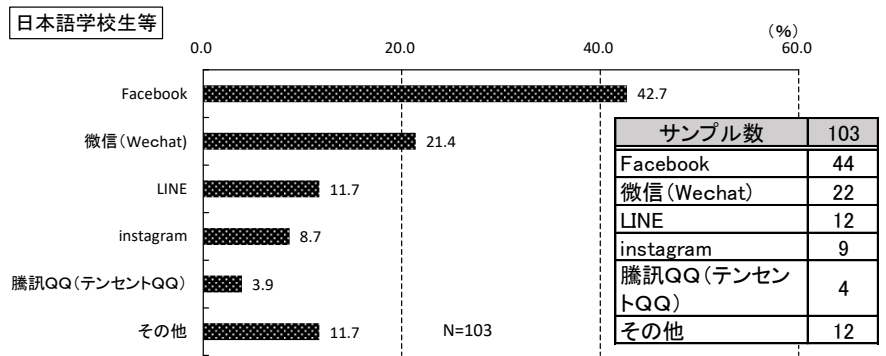
【2番目によく利用するwebサイト別利用頻度】

		サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	YouTube	百度（バイドゥ）	その他
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等全体		108 100.0	3 2.8	22 20.4	22 20.4	17 15.7	8 7.4	36 33.3
利用頻度	毎日	64 100.0	1 1.6	19 29.7	8 12.5	11 17.2	2 3.1	23 35.9
	週に数回	29 100.0	1 3.4	2 6.9	10 34.5	4 13.8	4 13.8	8 27.6
	1か月に数回	9 100.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	4 44.4
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体		110 100.0	22 20.0	4 3.6	28 25.5	13 11.8	20 18.2	23 20.9
利用頻度	毎日	56 100.0	8 14.3	4 7.1	14 25.0	10 17.9	9 16.1	11 19.6
	週に数回	42 100.0	10 23.8	0 0.0	10 23.8	3 7.1	10 23.8	9 21.4
	1か月に数回	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	月1回	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【最もよく利用する SNS】

最もよく利用する SNS は、日本語学
校生等では、「facebook」が 42.7%で
最も高く、次いで「Google」が 21.4%
と高くなっている。

大学生等では、「微信（Wechat）」が
36.7%で最も高く、次いで「Facebook」
が 18.4%となった。



【出身国別】

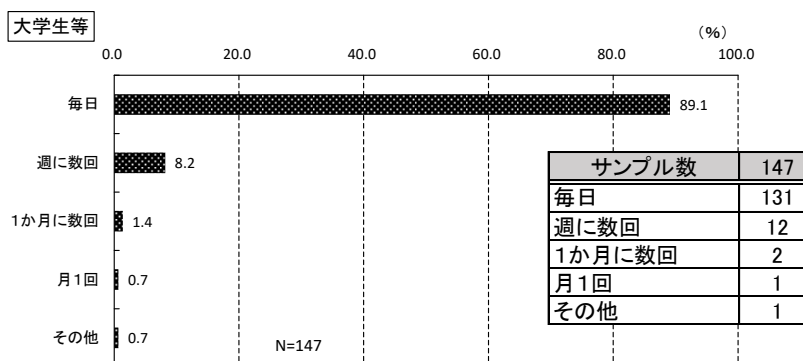
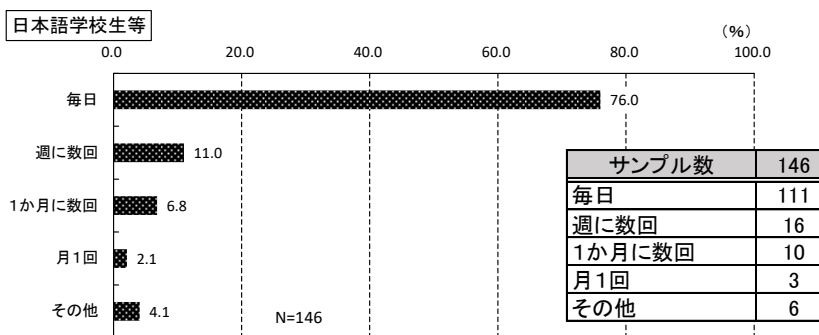
出身国別にみると、日本語学学校生等、大学生
等とともに、ベトナム出身者では「Facebook」、
中国出身者では「微信（Wechat）」を利用する
者の割合が高い傾向となった。

また、日本語学学校生等では、ネパール出身者
で「Facebook」が 92.3%と高くなっている。

	サン プル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	(微 信 W e c h a t)	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン)	そ の 他	
上段:実数、下段:%								
日本語学学校生等 全体	103	44	9	12	22	4	12	
	100.0	42.7	8.7	11.7	21.4	3.9	11.7	
出身国	ベトナム	39	24	1	3	0	11	
		100.0	61.5	2.6	7.7	0.0	28.2	
	中国	32	1	1	3	22	4	1
		100.0	3.1	3.1	9.4	68.8	12.5	3.1
	ネパール	13	12	0	1	0	0	0
	100.0	92.3	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	
その他	19	7	7	5	0	0	0	
	100.0	36.8	36.8	26.3	0.0	0.0	0.0	
大学生等全体	147	27	13	23	54	9	21	
	100.0	18.4	8.8	15.6	36.7	6.1	14.3	
出身国	ベトナム	30	20	1	7	0	2	
		100.0	66.7	3.3	23.3	0.0	6.7	
	中国	81	1	3	7	54	9	7
		100.0	1.2	3.7	8.6	66.7	11.1	8.6
その他	36	6	9	9	0	0	12	
	100.0	16.7	25.0	25.0	0.0	0.0	33.3	

【最もよく利用する SNS の利用頻度】

最もよく利用する SNS の利用頻度は、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高くなっているが、大学生等は 89.1%と、日本語学校生等と比較して、毎日利用する者の割合が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国、その他の国の出身者で「毎日」利用する者が約 90%と高い傾向となった。一方、ベトナムとネパール出身者においても、「週に数回」以上利用するものがそれぞれ 80%以上となっており、いずれの国においても、利用頻度は高い傾向となった。

大学生等では、いずれの国の出身者においても、「毎日」利用する者が約 90%と高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		146	111	16	10	3	6
		100.0	76.0	11.0	6.8	2.1	4.1
出身国	ベトナム	71	46	12	6	2	5
		100.0	64.8	16.9	8.5	2.8	7.0
	中国	35	31	2	0	1	1
		100.0	88.6	5.7	0.0	2.9	2.9
出身国	ネパール	19	14	2	3	0	0
		100.0	73.7	10.5	15.8	0.0	0.0
	その他	21	20	0	1	0	0
	100.0	95.2	0.0	4.8	0.0	0.0	
大学生等全体		147	131	12	2	1	1
		100.0	89.1	8.2	1.4	0.7	0.7
出身国	ベトナム	30	26	4	0	0	0
		100.0	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	中国	82	73	6	1	1	1
	100.0	89.0	7.3	1.2	1.2	1.2	
出身国	その他	35	32	2	1	0	0
		100.0	91.4	5.7	2.9	0.0	0.0

【最もよく利用する SNS 別利用頻度】

最もよく利用する SNS 別に利用頻度をみると、日本語学校生等では毎日利用するが「Facebook」で 43.6%、「微信（Wechat）」で 23.4%と高い。

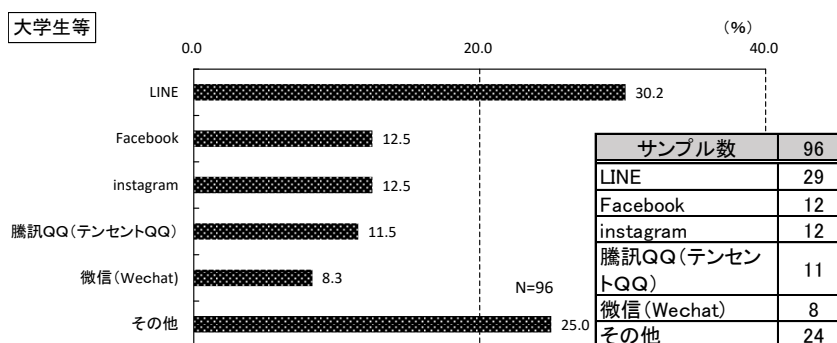
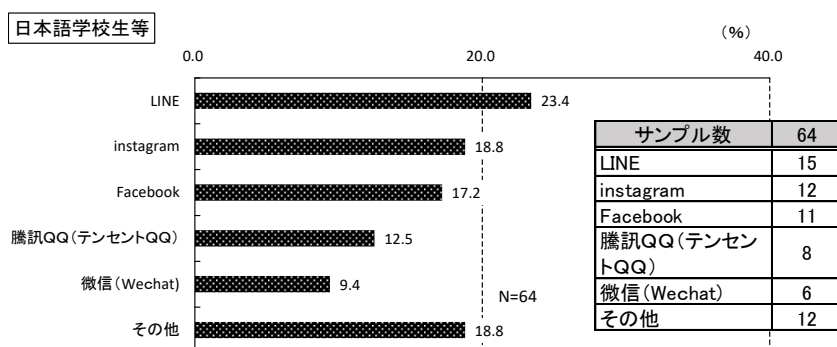
大学生等では、毎日利用するが「微信（Wechat）」で 40.9%と高い。また、「Facebook」、「LINE」では、週に数回以上利用する者がそれぞれ約 40%程度となった。

		サ ン プ ル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	微 信 （ W e c h a t ）	騰 訊 Q Q （ テ ン セ ン	そ の 他
上段：実数、下段：%								
日本語学校生等 全体		103 100.0	44 42.7	9 8.7	12 11.7	22 21.4	4 3.9	12 11.7
利用 頻 度	毎日	94 100.0	41 43.6	9 9.6	9 9.6	22 23.4	4 4.3	9 9.6
	週に数回	7 100.0	3 42.9	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	1か月に数回	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大学生等全体	147 100.0	27 18.4	13 8.8	23 15.6	54 36.7	9 6.1	21 14.3
利用 頻 度	毎日	127 100.0	22 17.3	9 7.1	18 14.2	52 40.9	9 7.1	17 13.4
	週に数回	12 100.0	3 25.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7
	1か月に数回	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	月1回	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS】

2番目によく利用する SNS は日本語学校生等では、「LINE」が23.4%で最も高く、次いで「instagram」が18.8%、「Facebook」が17.2%となっている。

大学生等では、「LINE」が30.2%で最も高く、次いで「Facebook」、「instagram」がそれぞれ12.5%となった。



【出身国別】

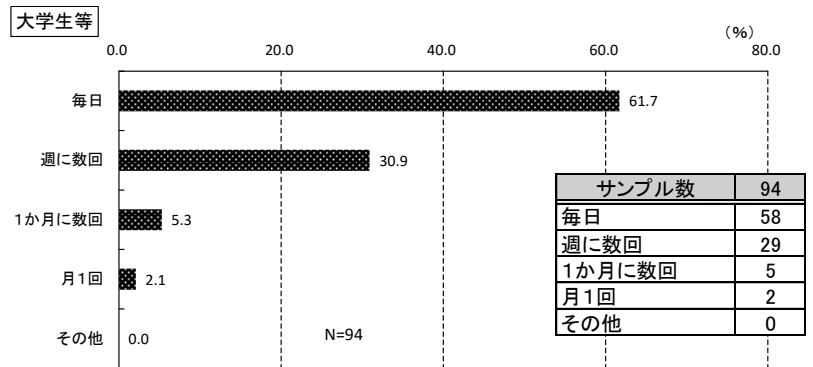
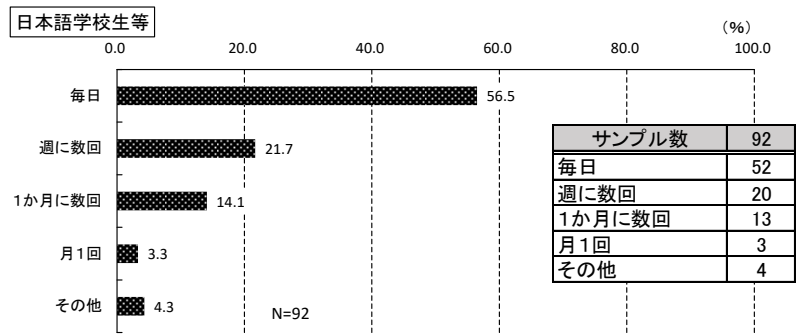
出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナム出身者で「instagram」、中国出身者で「騰訊 QQ (テンセント QQ)」、ネパール出身者で「LINE」、その他の国出身者で「Facebook」の割合が高い傾向となった。

大学生等では、ベトナムと中国出身者で「LINE」、その他の国の出身者で「Facebook」の割合が高い傾向となった。また、ベトナムとその他の国の出身者では「instagram」がそれぞれ20%程度となっている。

		サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	(微 信) W e c h a t	騰 訊 Q Q (テ ン セ ン) Q Q	そ の 他
		上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体		64	11	12	15	6	8	12
		100.0	17.2	18.8	23.4	9.4	12.5	18.8
出身国	ベトナム	22	2	8	5	0	0	7
		100.0	9.1	36.4	22.7	0.0	0.0	31.8
	中国	22	2	1	6	5	8	0
		100.0	9.1	4.5	27.3	22.7	36.4	0.0
出身国	ネパール	6	1	1	2	0	0	2
		100.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3
出身国	その他	14	6	2	2	1	0	3
		100.0	42.9	14.3	14.3	7.1	0.0	21.4
大学生等全体		96	12	12	29	8	11	24
		100.0	12.5	12.5	30.2	8.3	11.5	25.0
出身国	ベトナム	11	1	3	4	0	0	3
		100.0	9.1	27.3	36.4	0.0	0.0	27.3
	中国	58	4	3	20	8	11	12
	100.0	6.9	5.2	34.5	13.8	19.0	20.7	
出身国	その他	27	7	6	5	0	0	9
		100.0	25.9	22.2	18.5	0.0	0.0	33.3

【2番目によく利用する SNS の利用頻度】

2番目によく利用する SNS の利用頻度は、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高く、次いで「週に数回」となっており、それぞれ約 80%～90%週に数回以上利用するという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等ではネパール、その他の国出身者では「毎日」がそれぞれ 80%以上と高い傾向となった。一方、ベトナム出身者、中国出身者では、「週に数回」以上利用する者が、それぞれ約 70%～80%となっている。

大学生等では、ベトナム、その他の国出身者では「毎日」利用するものがそれぞれ 70%以上と高い傾向となった。一方、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者が約 90%と、いずれの国においても、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		92	52	20	13	3	4
		100.0	56.5	21.7	14.1	3.3	4.3
出身国	ベトナム	42	16	14	7	2	3
		100.0	38.1	33.3	16.7	4.8	7.1
	中国	25	15	5	3	1	1
		100.0	60.0	20.0	12.0	4.0	4.0
出身国	ネパール	8	7	0	1	0	0
		100.0	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	その他	17	14	1	2	0	0
	100.0	82.4	5.9	11.8	0.0	0.0	
大学生等全体		94	58	29	5	2	0
		100.0	61.7	30.9	5.3	2.1	0.0
出身国	ベトナム	10	7	3	0	0	0
		100.0	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	中国	57	30	22	3	2	0
	100.0	52.6	38.6	5.3	3.5	0.0	
出身国	その他	27	21	4	2	0	0
		100.0	77.8	14.8	7.4	0.0	0.0

【2番目によく利用する SNS 別利用頻度】

	サ ン プ ル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	（ 微 信 W e c h a t ）	ト 騰 訊 Q Q Q Q （ テ ン セ ン ）	そ の 他	
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等 全体	64 100.0	11 17.2	12 18.8	15 23.4	6 9.4	8 12.5	12 18.8	
利用 頻 度	毎日	41 100.0	7 17.1	9 22.0	7 17.1	6 14.6	5 12.2	7 17.1
	週に数回	16 100.0	3 18.8	2 12.5	4 25.0	0 0.0	2 12.5	5 31.3
	1か月に数回	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体	96 100.0	12 12.5	12 12.5	29 30.2	8 8.3	11 11.5	24 25.0	
利用 頻 度	毎日	55 100.0	6 10.9	8 14.5	13 23.6	7 12.7	7 12.7	14 25.5
	週に数回	29 100.0	2 6.9	3 10.3	13 44.8	1 3.4	3 10.3	7 24.1
	1か月に数回	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	月1回	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

⑥ 普段の生活の中で必要な情報

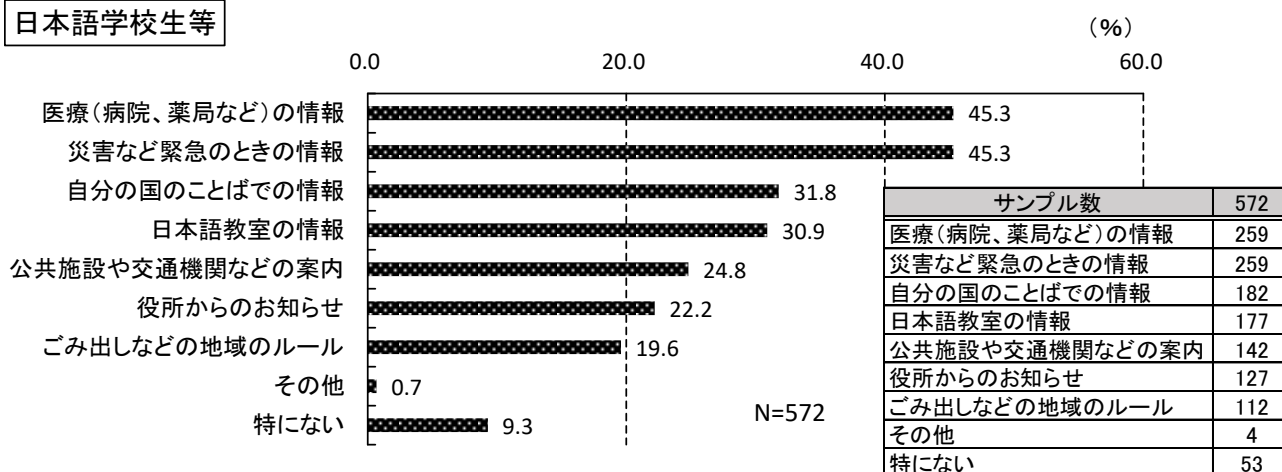
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

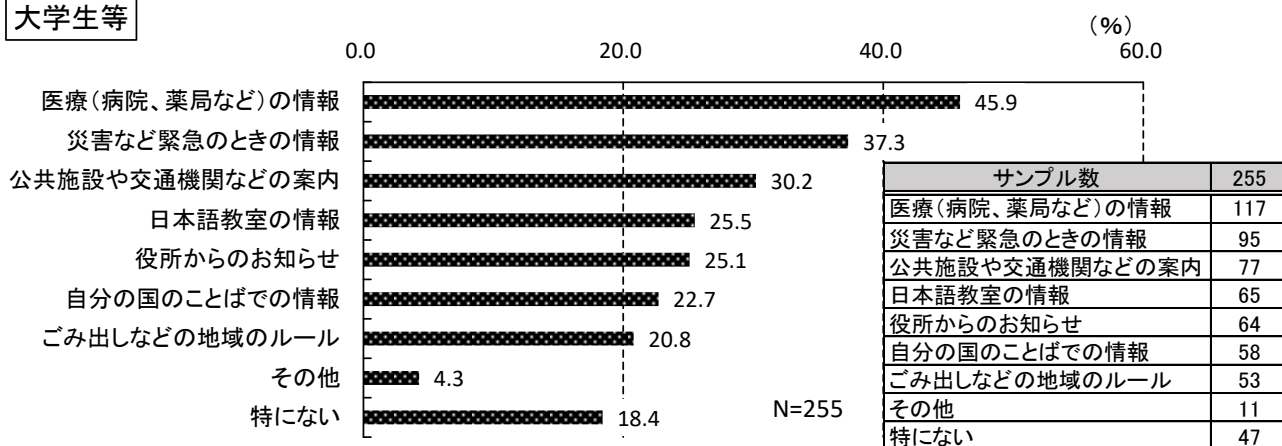
日本語学校生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」がそれぞれ45.3%で最も高く、次いで「自分の国のことばでの情報」が31.8%、「日本語教室の情報」が30.9%となっている。

大学生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」が45.9%で最も高く、次いで「災害など緊急のときの情報」が37.3%、「公共施設や交通機関などの案内」が30.2%となっており、日本語学校生等、大学生等ともに医療や災害に関する情報のニーズが高くなっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、「その他」以外の国の出身者において「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」のニーズが高い傾向となった。一方、その他の国の出身者では「日本語教室の情報」が高い傾向となった。

大学生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」において、日本語学校生等と同様にベトナム、中国出身者でのニーズが高い傾向となった。また、中国とその他の国の出身者では「公共施設や交通機関などの案内」のニーズが高い傾向となった。

	サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	ば自分の国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急のときの情報	機公共施設や案内	地ごみ出しなどの地域のルール	特にな	その他	
上段:実数、下段:%											
日本語学校生等全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
出身国	ベトナム	402 100.0	193 48.0	139 34.6	86 21.4	127 31.6	195 48.5	94 23.4	71 17.7	34 8.5	2 0.5
	中国	77 100.0	33 42.9	15 19.5	22 28.6	15 19.5	35 45.5	23 29.9	21 27.3	17 22.1	0 0.0
	ネパール	49 100.0	22 44.9	11 22.4	9 18.4	12 24.5	20 40.8	14 28.6	9 18.4	0 0.0	0 0.0
	その他	43 100.0	11 25.6	17 39.5	10 23.3	23 53.5	9 20.9	11 25.6	11 25.6	2 4.7	1 2.3
	大学生等全体	255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
出身国	ベトナム	56 100.0	27 48.2	7 12.5	11 19.6	7 12.5	21 37.5	11 19.6	8 14.3	10 17.9	2 3.6
	中国	150 100.0	72 48.0	35 23.3	40 26.7	46 30.7	53 35.3	49 32.7	32 21.3	28 18.7	4 2.7
	その他	49 100.0	18 36.7	16 32.7	13 26.5	12 24.5	21 42.9	17 34.7	13 26.5	9 18.4	5 10.2

【在留期間別】

在留期間別にみると、日本語学校生等、大学生等とも「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」に対するニーズが高く、在留期間が長くなっても大きく低減しない傾向が見られた。

大学生等については、これらに加え、在留期間1年未満の者について「公共施設や交通機関などの案内」、「ごみ出しなどの地域のルール」における情報ニーズが高い傾向がみられた。

	サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	ば自分の国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急のときの情報	機公共施設や案内	地ごみ出しなどの地域のルール	特にな	その他	
上段:実数、下段:%											
日本語教育機関全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
在留期間	1年未満	217 100.0	95 43.8	74 34.1	46 21.2	82 37.8	101 46.5	55 25.3	44 20.3	15 6.9	2 0.9
	1年	184 100.0	87 47.3	60 32.6	43 23.4	49 26.6	83 45.1	50 27.2	41 22.3	20 10.9	1 0.5
	2年	100 100.0	48 48.0	30 30.0	21 21.0	23 23.0	42 42.0	18 18.0	19 19.0	12 12.0	1 1.0
	3年	35 100.0	13 37.1	12 34.3	8 22.9	13 37.1	17 48.6	11 31.4	5 14.3	4 11.4	0 0.0
	4年以上	33 100.0	15 45.5	4 12.1	9 27.3	9 27.3	13 39.4	8 24.2	3 9.1	2 6.1	0 0.0
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
在留期間	1年未満	55 100.0	28 50.9	18 32.7	16 29.1	15 27.3	29 52.7	25 45.5	21 38.2	6 10.9	1 1.8
	1年	28 100.0	14 50.0	7 25.0	10 35.7	6 21.4	12 42.9	8 28.6	7 25.0	2 7.1	3 10.7
	2年	52 100.0	29 55.8	9 17.3	10 19.2	12 23.1	16 30.8	13 25.0	10 19.2	7 13.5	4 7.7
	3年	69 100.0	28 40.6	15 21.7	18 26.1	17 24.6	19 27.5	18 26.1	7 10.1	14 20.3	3 4.3
	4年以上	51 100.0	18 35.3	9 17.6	10 19.6	15 29.4	19 37.3	13 25.5	8 15.7	18 35.3	0 0.0

【居住地域別】

居住地域別にみると、日本語学校生等、大学生等とも、「医療（病院、薬局など）の情報」に対するニーズが居住地域を問わず概ね4割以上の高いという結果になった。

このほか、東部では、日本語学校生等、大学生等地域とも、「日本語教室の情報」のニーズが他の地域居住者と比較して高い傾向となった。

		サンプル数	医療（病院、薬局など）の情報	自分の国のこと	役所からのお知らせ	日本語教室の情報	災害などの緊急のときの情報	公共施設や交通機関などの案内	ごみ出しなどの地域のルール	特になし	その他
上段:実数、下段:%											
日本語学校生等全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
居住地域	西部	157 100.0	74 47.1	50 31.8	40 25.5	40 25.5	71 45.2	45 28.7	42 26.8	18 11.5	1 0.6
	中部	28 100.0	11 39.3	6 21.4	8 28.6	6 21.4	12 42.9	7 25.0	6 21.4	3 10.7	0 0.0
	東部	254 100.0	114 44.9	76 29.9	56 22.0	89 35.0	114 44.9	62 24.4	46 18.1	17 6.7	3 1.2
	北部	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
居住地域	西部	172 100.0	79 45.9	40 23.3	43 25.0	45 26.2	65 37.8	55 32.0	36 20.9	30 17.4	7 4.1
	中部	21 100.0	10 47.6	5 23.8	6 28.6	4 19.0	6 28.6	5 23.8	5 23.8	6 28.6	0 0.0
	東部	19 100.0	8 42.1	4 21.1	5 26.3	6 31.6	6 31.6	4 21.1	1 5.3	6 31.6	1 5.3
	北部	10 100.0	7 70.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	5 50.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、日本語学校生等、大学生等とも、習熟度が低いほど「災害などの緊急のときの情報」のニーズが高い傾向となった。

大学生等では、このほか、「医療（病院、薬局など）の情報」、「日本語教室の情報」、「公共施設や交通機関などの案内」、「ごみ出しなどの地域のルール」において、習熟度が低いほど、ニーズが高い傾向となった。

		サンプル数	医療（病院、薬局など）の情報	自分の国のこと	役所からのお知らせ	日本語教室の情報	災害などの緊急のときの情報	公共施設や交通機関などの案内	ごみ出しなどの地域のルール	特になし	その他
上段:実数、下段:%											
日本語教育機関全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
日本語習熟度	習熟度【低】	62 100.0	27 43.5	16 25.8	18 29.0	22 35.5	33 53.2	10 16.1	11 17.7	6 9.7	0 0.0
	習熟度【中】	303 100.0	143 47.2	109 36.0	64 21.1	97 32.0	144 47.5	74 24.4	57 18.8	23 7.6	3 1.0
	習熟度【高】	144 100.0	63 43.8	41 28.5	36 25.0	46 31.9	59 41.0	42 29.2	37 25.7	21 14.6	1 0.7
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
日本語習熟度	習熟度【低】	22 100.0	14 63.6	5 22.7	8 36.4	7 31.8	11 50.0	11 50.0	7 31.8	3 13.6	2 9.1
	習熟度【中】	49 100.0	25 51.0	15 30.6	7 14.3	12 24.5	19 38.8	10 20.4	11 22.4	5 10.2	2 4.1
	習熟度【高】	172 100.0	74 43.0	36 20.9	47 27.3	39 22.7	64 37.2	54 31.4	35 20.3	37 21.5	7 4.1

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

⑦ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

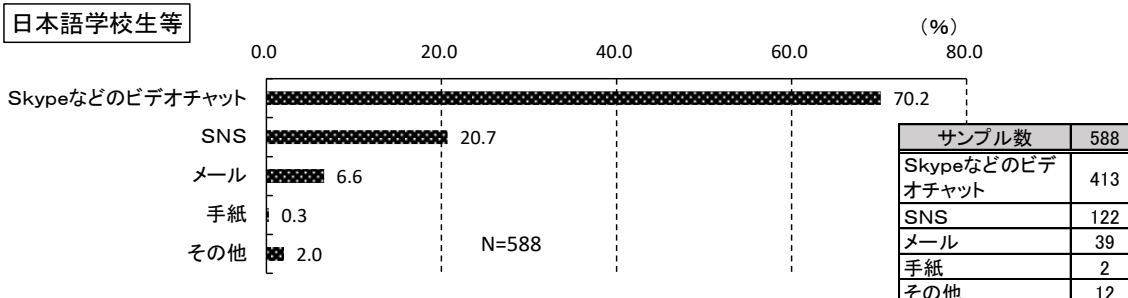
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

④ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

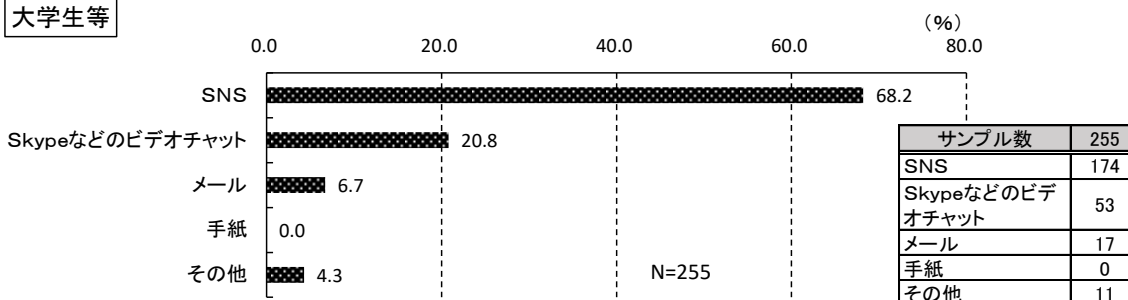
日本語学校生等では、「Skypeなどのビデオチャット」が70.2%で最も高く、次いで「SNS」が20.7%となった。

大学生等では、「SNS」が68.2%で最も高く、次いで「Skypeなどのビデオチャット」が20.8%となっており、日本語学校生等と大学生等で連絡手段に差がみられた。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国出身者以外で「Skypeなどのビデオチャット」の割合が高く、特にベトナム出身者では86.7%と80%以上の者が利用している結果となった。一方で、中国出身者では「SNS」が、73.4%と高い結果となった。

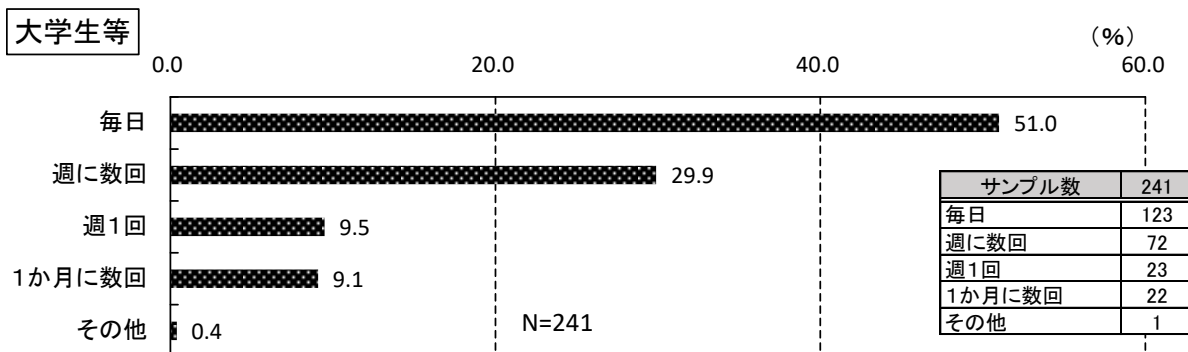
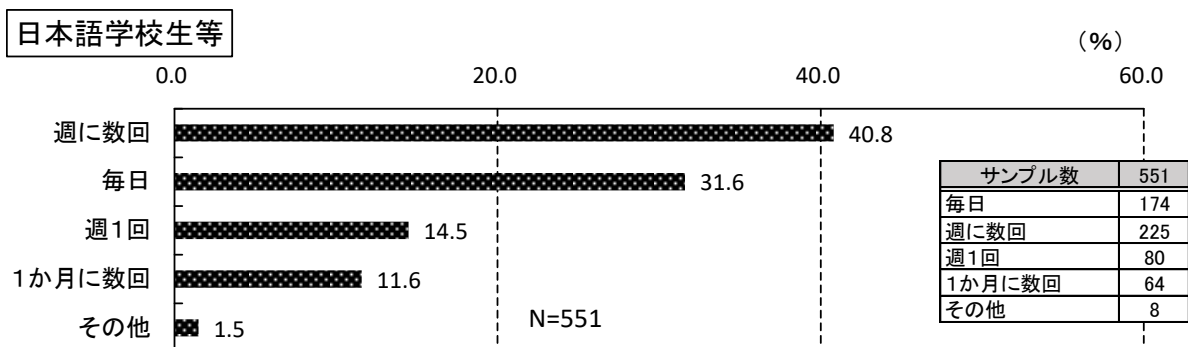
大学生等では、ベトナム出身者で「Skypeなどのビデオチャット」が71.4%と他国出身者と比較して高く、一方で、中国とその他の国の出身者では「SNS」がベトナム出身者と比較して高くなっており、日本語学校生等、大学生等ともに、出身国別の利用ツールにおいては同様の傾向となった。

	サンプル数	メール	SNS	Skypeなどのビデオチャット	手紙	その他	
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体	588	39	122	413	2	12	
	100.0	6.6	20.7	70.2	0.3	2.0	
出身国	ベトナム	414	20	32	359	1	2
		100.0	4.8	7.7	86.7	0.2	0.5
	中国	79	9	58	4	0	8
		100.0	11.4	73.4	5.1	0.0	10.1
出身国	ネパール	48	3	12	30	1	2
		100.0	6.3	25.0	62.5	2.1	4.2
出身国	その他	46	6	20	20	0	0
		100.0	13.0	43.5	43.5	0.0	0.0
大学生等全体	255	17	174	53	0	11	
	100.0	6.7	68.2	20.8	0.0	4.3	
出身国	ベトナム	56	4	12	40	0	0
		100.0	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0
	中国	147	10	123	4	0	10
	100.0	6.8	83.7	2.7	0.0	6.8	
出身国	その他	52	3	39	9	0	1
		100.0	5.8	75.0	17.3	0.0	1.9

【連絡頻度】

日本語学校生等では、「週に数回」が40.8%で最も高く、次いで「毎日」が31.6%で、約70%の者が自分の国にいる家族や友人と週に数回以上連絡を取っている結果となった。

大学生等では、「毎日」が51.0%で最も高く、次いで「週に数回」が29.9%で、約80%の者が自分の国にいる家族や友人と週に数回以上連絡を取っている結果となり、日本語学校生等と同様に、高頻度で連絡をとっている者が多い傾向となった。



【出身国別】

日本語学校生等では、「毎日」連絡を取る者が、中国出身者で52.3%と、他国出身者と比較して高くなっている。

大学生等では、「毎日」連絡を取る者が中国出身者で51.8%と、日本語学校生等と同様の傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	週1回	1か月に数回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		551	174	225	80	64	8
		100.0	31.6	40.8	14.5	11.6	1.5
出身国	ベトナム	401	108	179	59	50	5
		100.0	26.9	44.6	14.7	12.5	1.2
	中国	65	34	18	5	6	2
		100.0	52.3	27.7	7.7	9.2	3.1
	ネパール	43	14	19	8	2	0
	100.0	32.6	44.2	18.6	4.7	0.0	
	その他	41	17	9	8	6	1
	100.0	41.5	22.0	19.5	14.6	2.4	
大学生等全体		241	123	72	23	22	1
		100.0	51.0	29.9	9.5	9.1	0.4
出身国	ベトナム	52	21	20	7	4	0
		100.0	40.4	38.5	13.5	7.7	0.0
	中国	139	72	43	11	12	1
		100.0	51.8	30.9	7.9	8.6	0.7
	その他	50	30	9	5	6	0
	100.0	60.0	18.0	10.0	12.0	0.0	

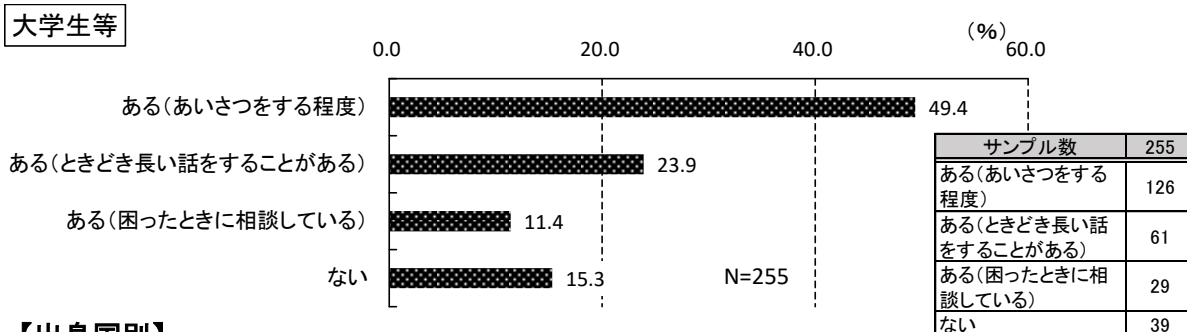
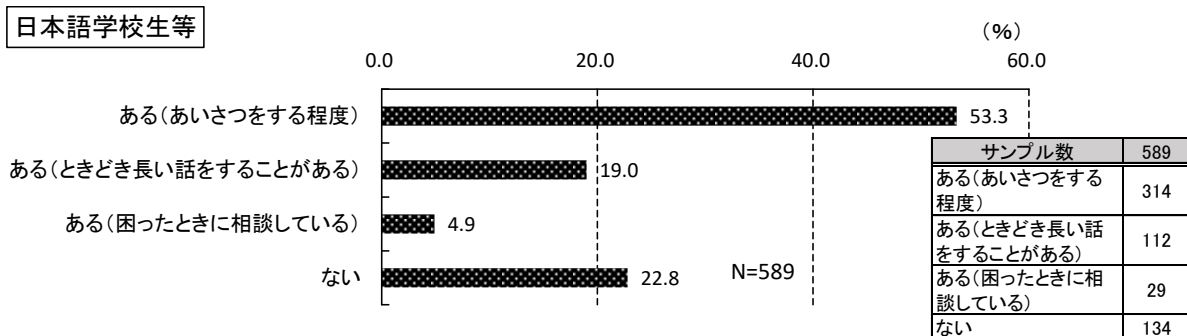
(7)日本人との交流状況

① 近所の日本人と会話をする頻度

設問：近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等では、「ある（あいさつをする程度）」が 53.3%で最も高く、「ある（ときどき長い話をすることがある）」が 19.0%、「ある（困ったときに相談している）」は 4.9%となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は 23.9%にとどまった。

大学生等では、日本語学校生等と同様に「ある（あいさつをする程度）」が 49.4%で最も高く、次いで「ある（ときどき長い話をすることがある）」が 23.9%、「ある（困ったときに相談している）」が 11.4%となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は日本語学校生等より 11.4 ポイント高い 35.3%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国出身者で「ある（あいさつをする程度）」が 67.9%で、他国出身者と比較して最も高く、「ない」とする者の割合は、最も低くなっている。

大学生等では、中国出身者で「ある（あいさつをする程度）」が 60.8%と、他国出身者と比較して高くなっており、その他の国の出身者では、「ある（ときどき長い話をする程度）」、「ある（困ったときに相談している）」がそれぞれ 30%以上と、ベトナムや中国出身者より深い交流をしている者の割合が高い傾向となった。また、ベトナム出身者では、「ない」とする者が 32.7%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	ある(あいさつをする程度)	ある(ときどき長い話をする)	ある(困ったときに相談している)	ない	
上段:実数, 下段:%						
日本語学校生等全体	589	314	112	29	134	
	100.0	53.3	19.0	4.9	22.8	
出身国	ベトナム	413	213	85	20	95
		100.0	51.6	20.6	4.8	23.0
	中国	81	55	11	0	15
		100.0	67.9	13.6	0.0	18.5
	ネパール	47	23	6	7	11
	100.0	48.9	12.8	14.9	23.4	
その他	47	22	10	2	13	
	100.0	46.8	21.3	4.3	27.7	
大学生等全体	255	126	61	29	39	
	100.0	49.4	23.9	11.4	15.3	
出身国	ベトナム	55	24	13	0	18
		100.0	43.6	23.6	0.0	32.7
	中国	148	90	31	11	16
		100.0	60.8	20.9	7.4	10.8
その他	52	12	17	18	5	
	100.0	23.1	32.7	34.6	9.6	

② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

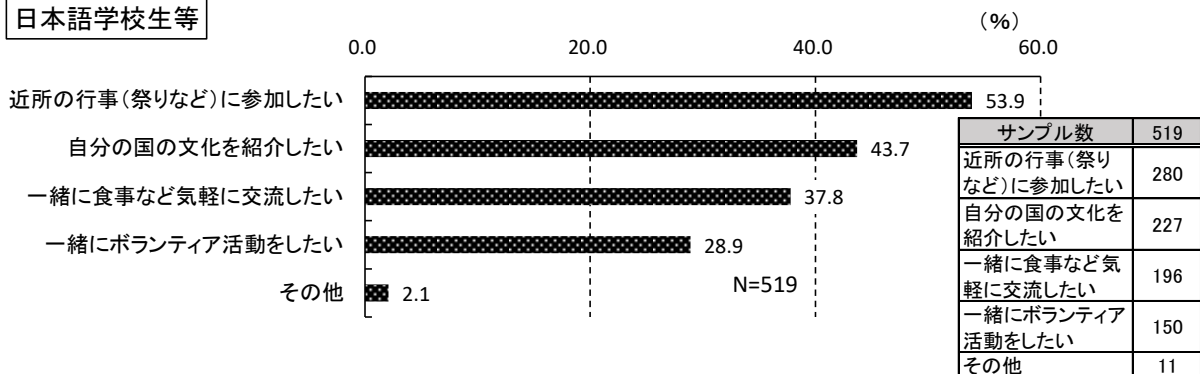
日本語学校生等、大学生等ともに、近所の日本人と今後もっと交流を深めたいと「思っている」者が、それぞれ90%以上となっており、多くの留学生が日本人と親睦を深めたいと希望している結果となった。

		サンプル数	思っている	思っていない
上段：実数、下段：%				
出身国	日本語学校生等全体	590	545	45
		100.0	92.4	7.6
	ベトナム	415	386	29
		100.0	93.0	7.0
	中国	80	73	7
	100.0	91.3	8.8	
	ネパール	48	46	2
	100.0	95.8	4.2	
	その他	46	39	7
	100.0	84.8	15.2	
大学生等全体		257	234	23
		100.0	91.1	8.9
出身国	ベトナム	56	45	11
		100.0	80.4	19.6
	中国	150	140	10
		100.0	93.3	6.7
	その他	51	49	2
	100.0	96.1	3.9	

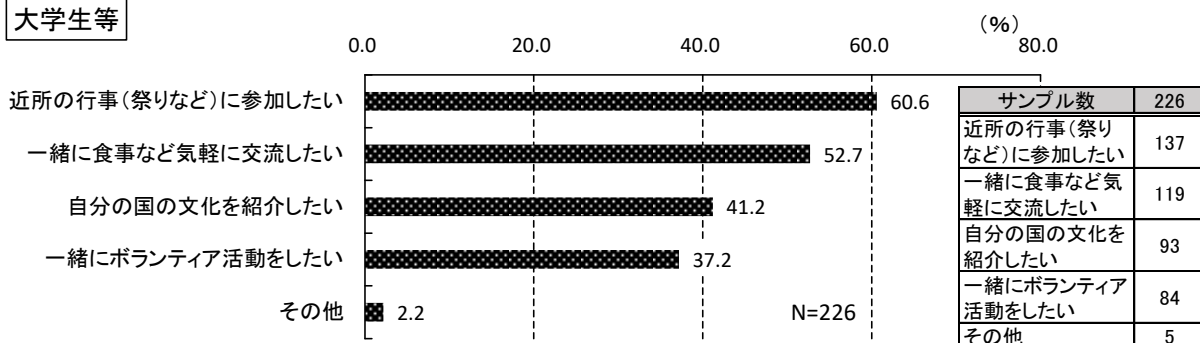
【近所の日本人とどのような交流関係を築きたいか】

日本語学校生等では、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が53.9%で最も高く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が43.7%、「一緒に食事など気軽に交流したい」が37.8%となっている。大学生等では、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が60.6%で最も高く、次いで「一緒に食事など気軽に交流したい」が52.7%、「自分の国の文化を紹介したい」が41.2%となっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等とともに、ベトナム出身者では「近所の行事に参加したい」に次いで「自分の国の文化を紹介したい」が多く、中国出身者では「近所の行事に参加したい」に次いで「一緒に食事など気軽に交流したい」が多い結果となった。

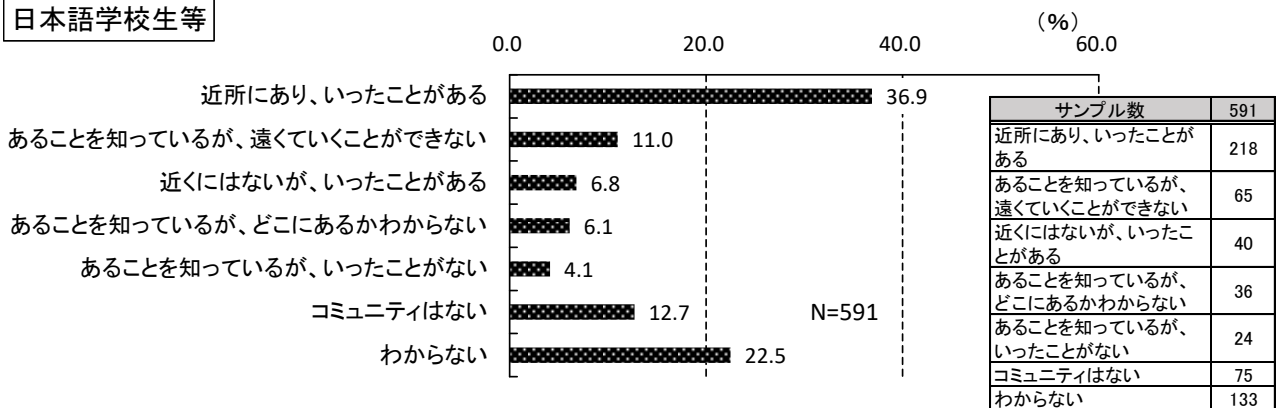
	サンプル数	近所の行事に参加したい	自分の国の文化を紹介したい	テーマと一緒に活動をし	気軽に交流したい	一緒に食事など	その他
	上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体	519 100.0	280 53.9	227 43.7	150 28.9	196 37.8	11 2.1	
出身国	ベトナム	372 100.0	192 51.6	178 47.8	100 26.9	146 39.2	6 1.6
	中国	67 100.0	45 67.2	18 26.9	26 38.8	29 43.3	4 6.0
	ネパール	43 100.0	25 58.1	13 30.2	13 30.2	6 14.0	1 2.3
	その他	36 100.0	17 47.2	17 47.2	11 30.6	14 38.9	0 0.0
大学生等全体	226 100.0	137 60.6	93 41.2	84 37.2	119 52.7	5 2.2	
出身国	ベトナム	42 100.0	21 50.0	19 45.2	17 40.5	17 40.5	0 0.0
	中国	137 100.0	83 60.6	49 35.8	51 37.2	65 47.4	4 2.9
	その他	47 100.0	33 70.2	25 53.2	16 34.0	37 78.7	1 2.1

③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

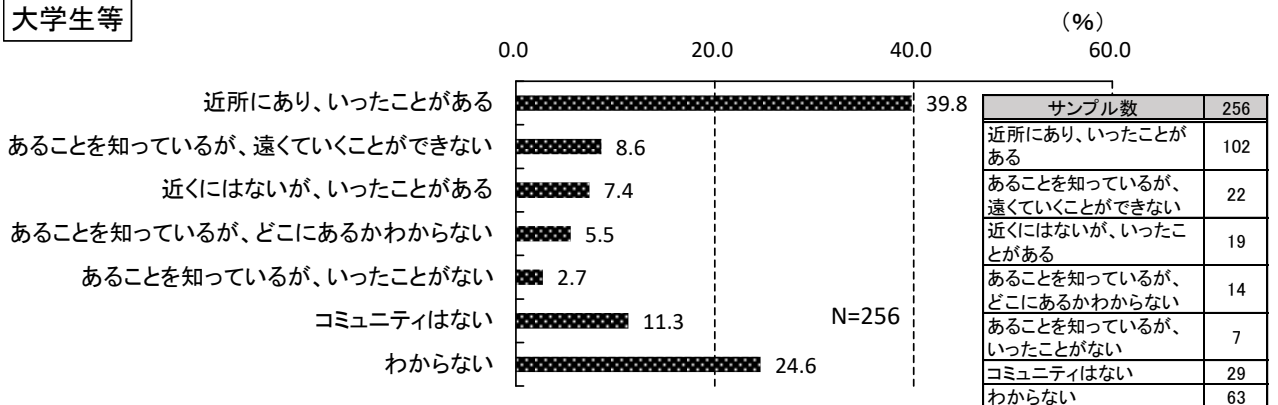
設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティは、ありますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに、「近所にあり、行ったことがある」がそれぞれ 36.9%、39.8%で最も高くなっている一方で、「わからない」と回答した者も、それぞれ 22.5%、24.6%となっており、日本語学校生等、大学生等ともに、約 20%の者が、同国籍者が集まるコミュニティの存在を認知していないという結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「近所にあり、行ったことがある」がそれぞれ他国出身者と比較して高くなっている。

一方、日本語学校生等では、中国とネパール出身者で、大学生等では中国出身者で、「わからない」が他国出身者と比較して高くなっており、出身国によって、同国籍者が集まるコミュニティの活用状況、認知度に、傾向の違いがみられた。

	サンプル数	た近所 にあり、 いっ つ	い 近 く に は な い が あ る	く い る こ と が あ る が 、 と ん ど を 知 ら な い 	あ る こ と を 知 っ て い る が 、 と ん ど を 知 ら な い 	あ る こ と を 知 っ て い る が 、 と ん ど を 知 ら な い 	い が る こ と を 知 っ て い る が 、 と ん ど を 知 ら な い 	い が る こ と を 知 っ て い る が 、 と ん ど を 知 ら な い 	わ か ら な い
日本語学校生等 全体	591	218 36.9	40 6.8	65 11.0	36 6.1	24 4.1	75 12.7	133 22.5	
出身国	ベトナム	416 100.0	182 43.8	18 4.3	62 14.9	26 6.3	22 5.3	45 10.8	61 14.7
	中国	81 100.0	14 17.3	7 8.6	1 1.2	3 3.7	1 1.2	17 21.0	38 46.9
	ネパール	48 100.0	12 25.0	4 8.3	1 2.1	3 6.3	0 0.0	8 16.7	20 41.7
	その他	45 100.0	10 22.2	11 24.4	0 0.0	4 8.9	1 2.2	5 11.1	14 31.1
大学生等全体	256	102 39.8	19 7.4	22 8.6	14 5.5	7 2.7	29 11.3	63 24.6	
出身国	ベトナム	56 100.0	31 55.4	2 3.6	10 17.9	4 7.1	3 5.4	2 3.6	4 7.1
	中国	148 100.0	51 34.5	13 8.8	5 3.4	9 6.1	1 0.7	22 14.9	47 31.8
	その他	52 100.0	20 38.5	4 7.7	7 13.5	1 1.9	3 5.8	5 9.6	12 23.1

(8) 広島県に対する評価

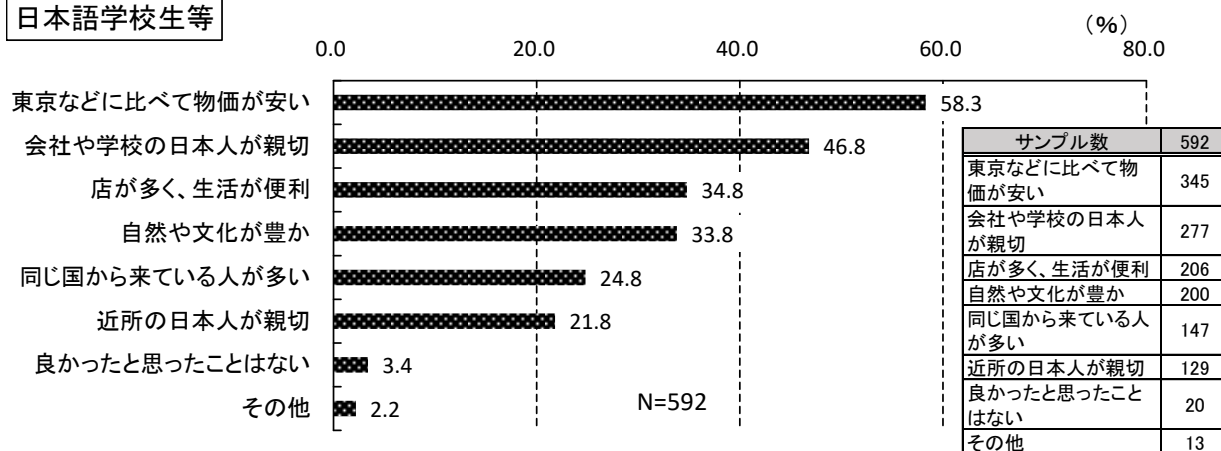
① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

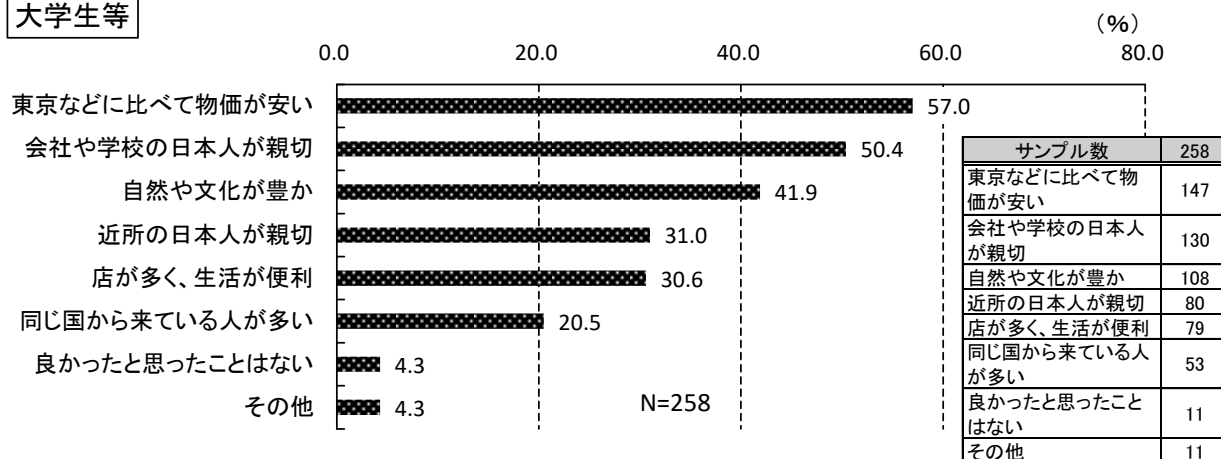
日本語学校生等では、「東京などに比べて物価が安い」が 58.3%で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が 46.8%、「店が多く、生活が便利」が 34.8%となっている。

大学生等では、「東京などに比べて物価が安い」が 57.0%で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が 50.4%、「自然や文化が豊か」が 41.9%と高く、日本語学校生等、大学生等ともに物価や人間関係における項目において評価が高い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ネパール、その他の国の出身者で「会社や学校の日本人が親切」が最も高くなっている。一方、ベトナム、中国出身者では、「東京などに比べて物価が安い」がそれぞれ62.4%、54.3%と最も高くなった。

大学生等では、中国、ベトナム出身者で、「東京などに比べて物価が安い」が最も高くなった。

	サンプル数	本人が会社や学校の日本人が親切の日	親近所の日本人が	か自然や文化が豊	が店が多く、生活	て東京などが安いに比べ	いる同じ国が多から来て	た良かったと思っ	その他
上段:実数,下段:%									
日本語学校生等全体	592 100.0	277 46.8	129 21.8	200 33.8	206 34.8	345 58.3	147 24.8	20 3.4	13 2.2
出身国	ベトナム	415 100.0	182 43.9	78 18.8	142 34.2	162 39.0	124 29.9	7 1.7	7 1.7
	中国	81 100.0	41 50.6	27 33.3	19 23.5	23 28.4	44 54.3	19 23.5	5 6.2
	ネパール	49 100.0	29 59.2	12 24.5	20 40.8	10 20.4	20 40.8	3 6.1	4 8.2
	その他	46 100.0	24 52.2	11 23.9	19 41.3	10 21.7	21 45.7	1 2.2	4 8.7
	大学生等全体	258 100.0	130 50.4	80 31.0	108 41.9	79 30.6	147 57.0	53 20.5	11 4.3
出身国	ベトナム	56 100.0	28 50.0	13 23.2	23 41.1	19 33.9	30 53.6	11 19.6	3 5.4
	中国	150 100.0	69 46.0	52 34.7	61 40.7	44 29.3	92 61.3	36 24.0	5 3.3
	その他	52 100.0	33 63.5	15 28.8	24 46.2	16 30.8	25 48.1	6 11.5	3 5.8
	その他	2 100.0	3 150.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【就業・居住希望地域別】

就労する企業の選択基準で就業・居住地を重視する者についてみると、日本語学校生等では希望地域に「広島県内」を選択した者は、他地域希望者に比べ、「会社や学校の日本人が親切」、「自然や文化が豊か」、「店が多く、生活が便利」の選択割合が上回る結果となった。

また、大学生等では「自然や文化が豊か」の選択割合が上回る結果となった。

	サンプル数	本人が会社や学校の日本人が親切の日	親近所の日本人が	か自然や文化が豊	が店が多く、生活	て東京などが安いに比べ	いる同じ国が多から来て	た良かったと思っ	その他
上段:実数,下段:%									
日本語教育機関全体	592 100.0	277 46.8	129 21.8	200 33.8	206 34.8	345 58.3	147 24.8	20 3.4	13 2.2
就業・居住希望地域	広島県内	165 100.0	87 52.7	33 20.0	63 38.2	64 38.8	97 58.8	45 27.3	3 1.8
	東京	22 100.0	9 40.9	4 18.2	5 22.7	5 22.7	19 86.4	2 9.1	0 4.5
	大阪	36 100.0	12 33.3	2 5.6	9 25.0	12 33.3	32 88.9	14 38.9	0 0.0
	その他	18 100.0	11 61.1	6 33.3	6 33.3	4 22.2	10 55.6	4 22.2	0 0.0
	大学生等全体	258 100.0	130 50.4	80 31.0	108 41.9	79 30.6	147 57.0	53 20.5	11 4.3
就業・居住希望地域	広島県内	48 100.0	24 50.0	18 37.5	26 54.2	17 35.4	28 58.3	12 25.0	3 6.3
	東京	17 100.0	13 76.5	9 52.9	7 41.2	4 23.5	11 64.7	5 29.4	0 0.0
	大阪	13 100.0	5 38.5	3 23.1	2 15.4	5 38.5	9 69.2	1 7.7	2 15.4
	その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	5 71.4	6 85.7	4 57.1	0 0.0
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

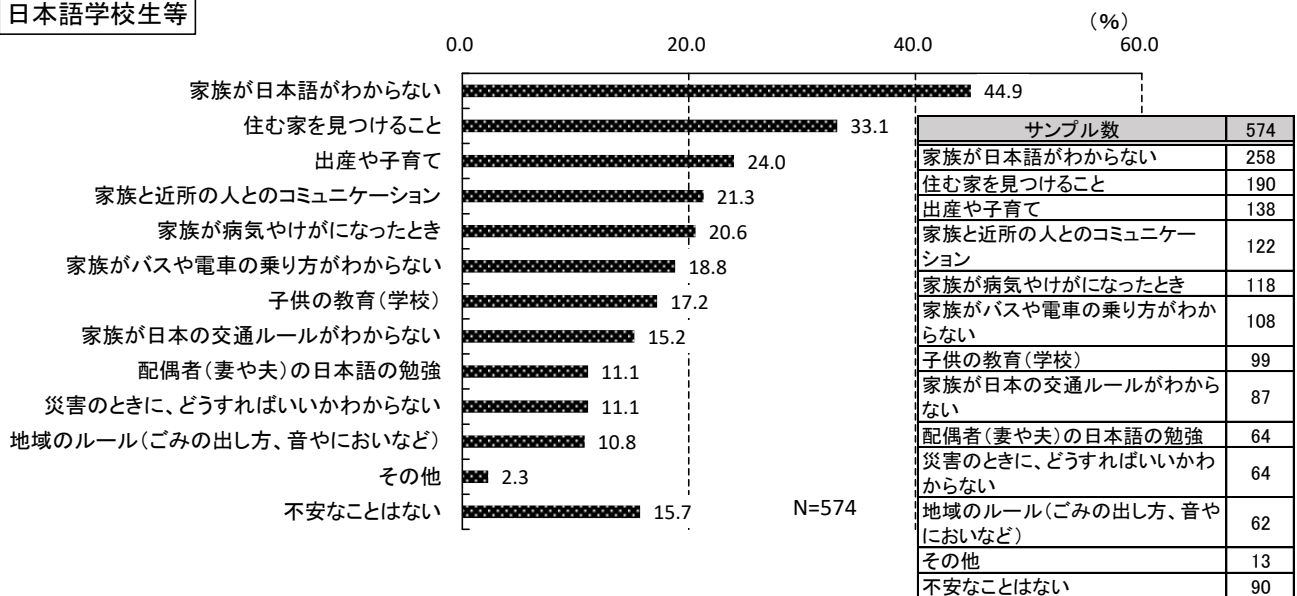
② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：広島県内で家族と一緒に生活すること（一人で日本に来ている人は、将来、家族を連れて来ることができるようになった場）に、不安なことは何ですか？（複数回答可）

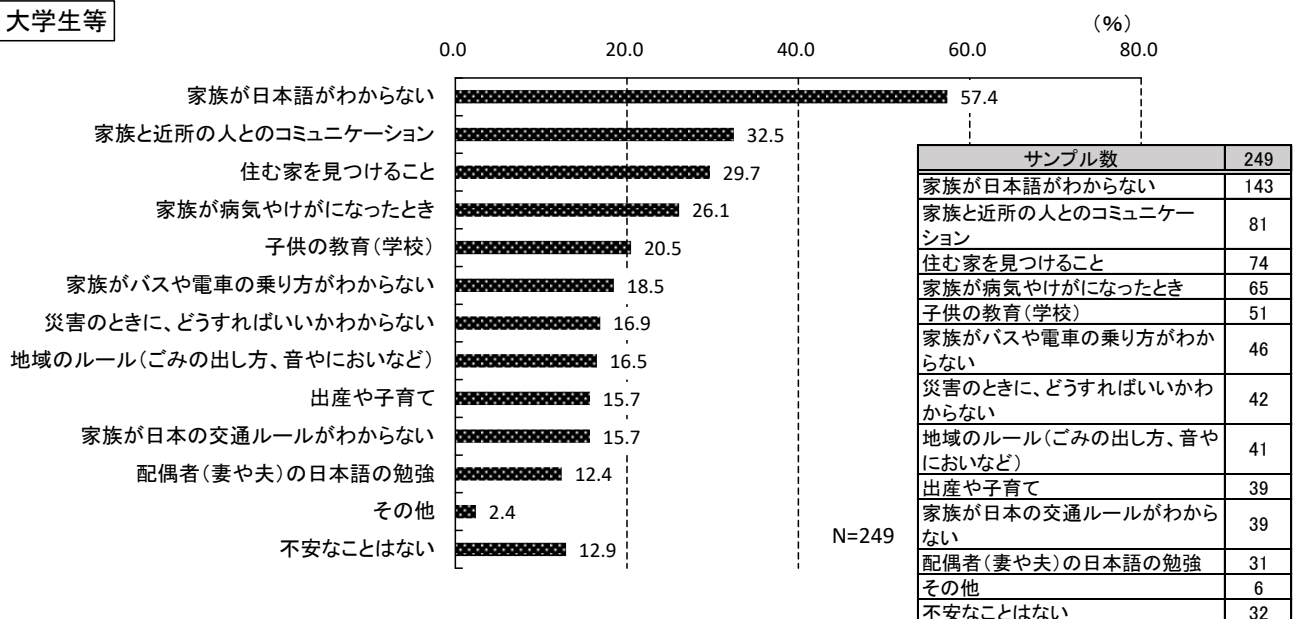
日本語学校生等では、「家族が日本語がわからない」が 44.9%で最も高く、次いで「住む家を見つけること」が 33.1%、「出産や子育て」が 24.0%、「家族と近所の人とのコミュニケーション」が 21.3%となっている。

大学生等では、「家族が日本語がわからない」が 57.4%で最も高く、次いで「家族と近所の人とのコミュニケーション」が 32.5%、「住む家を見つけること」が 29.7%、「家族が病気やけがになったとき」が 26.1%と高くなっており、日本語学校生等、大学生等ともに家族と生活する際の不安要素については、比較的近い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、どの国の出身者も「家族が日本語がわからない」を一番にあげており、中でも中国出身者はその割合が高い結果となった。

	サンプル数	住む家を見つけること	家族が病気やけがになつたとき	出産や子育て	子供の教育（学校）	家族が日本語がわからない	配偶者（妻や夫）の日本語の勉強	みのおいなど方音（地域の方）	地域のコミュニティー	家族と近所の人のコミュニケーション	家族が日本の交通	家族がバスや電車で乗れない	災害のときに、かわど	不安なことはない	その他
上段:実数、下段:%															
日本語学校生等全体	574 100.0	190 33.1	118 20.6	138 24.0	99 17.2	258 44.9	64 11.1	62 10.8	122 21.3	87 15.2	108 18.8	64 11.1	90 15.7	13 2.3	
出身国	ベトナム	405 100.0	143 35.3	87 21.5	113 27.9	75 18.5	174 43.0	46 11.4	40 9.9	90 22.2	57 14.1	68 16.8	35 8.6	58 14.3	6 1.5
	中国	79 100.0	27 34.2	20 25.3	12 15.2	12 15.2	51 64.6	13 16.5	6 7.6	21 26.6	18 22.8	25 31.6	16 20.3	15 19.0	1 1.3
	ネパール	45 100.0	8 17.8	6 13.3	6 13.3	8 17.8	14 31.1	3 6.7	5 11.1	4 8.9	3 6.7	5 11.1	6 13.3	8 17.8	4 8.9
	その他	44 100.0	11 25.0	5 11.4	7 15.9	4 9.1	19 43.2	2 4.5	11 25.0	7 15.9	9 20.5	10 22.7	7 15.9	9 20.5	2 4.5
大学生等全体	249 100.0	74 29.7	65 26.1	39 15.7	51 20.5	143 57.4	31 12.4	41 16.5	81 32.5	39 15.7	46 18.5	42 16.9	32 12.9	6 2.4	
出身国	ベトナム	55 100.0	17 30.9	8 14.5	12 21.8	12 21.8	19 34.5	7 12.7	4 7.3	11 20.0	3 5.5	5 9.1	4 7.3	8 14.5	1 1.8
	中国	145 100.0	42 29.0	42 29.0	20 13.8	28 19.3	99 68.3	19 13.1	29 20.0	58 40.0	29 20.0	36 24.8	30 20.7	14 9.7	3 2.1
	その他	49 100.0	15 30.6	15 30.6	7 14.3	11 22.4	25 51.0	5 10.2	8 16.3	12 24.5	7 14.3	5 10.2	8 16.3	10 20.4	2 4.1

3. 調査結果（一般外国人）

(1) 回答者属性

①性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
実数	48	19	29	0
構成比	100.0	39.6	60.4	0.0

②年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
実数	47	4	12	10	9	4	8
構成比	100.0	8.5	25.5	21.3	19.1	8.5	17.0

③出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	その他
実数	48	13	16	19
構成比	100.0	27.1	33.3	39.6

④結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
実数	48	27	21
構成比	100.0	56.3	43.8

⑤アルバイトの有無とアルバイト先の地域

	サンプル数	はい	いいえ
実数	48	34	14
構成比	100.0	70.8	29.2

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	22	16	2	4	0
構成比	100.0	72.7	9.1	18.2	0.0

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
実数	39	21	5	12	1
構成比	100.0	53.8	12.8	30.8	2.6

⑦日本での在住年数

	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
実数	46	8	9	4	10	15
構成比	100.0	17.4	19.6	8.7	21.7	32.6

⑧在留資格

	サンプル数	留学	配偶永住者、永住者の	定住者	日本人の配偶者等	家族滞在	技術・人文知識・国際業務	その他
実数	50	0	13	8	5	6	6	12
構成比	100.0	0.0	26.0	16.0	10.0	12.0	12.0	24.0

(2) 修了後の就労において求める条件等

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
（1つだけ選択）

特定技能を「知らない」者が41人中22人で、半数以上の者が特定技能を認知していない結果となった。

	サンプル数	知っている	知らない
実数	41	19	22
構成比	100.0	46.3	53.7

② 修了後の就労意向

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

① 今後（留学生の方は卒業後）、日本で働きたいですか？（1つだけ選択）

「できれば働きたい」が36人中31人という結果となった。

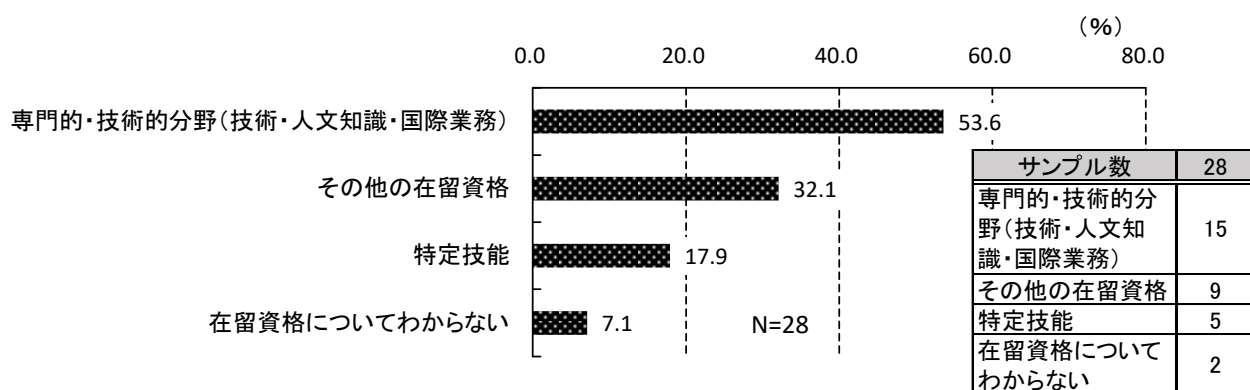
	サンプル数	できれば働きたい	働きたくない
実数	36	31	5
構成比	100.0	86.1	13.9

③ 就労する場合に活用したい在留資格

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が28人中15人で最も多く、次いで「その他の在留資格」が9人、「特定技能」が5人となった。



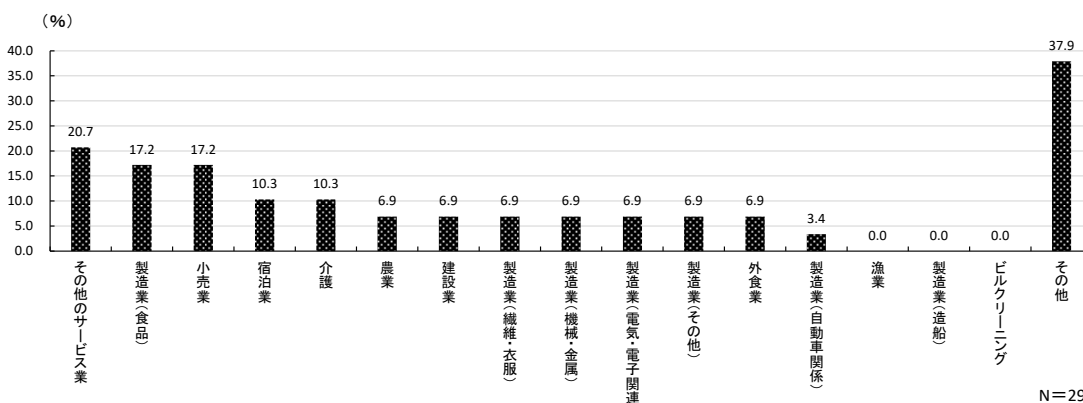
④ 就労を希望する業種

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

「その他サービス業」が6人、「製造業（食品）」、「小売業」がそれぞれ5人となっている。

サンプル数	その他のサービス業	製造業（食品）	小売業	宿泊業	介護	農業	建設業	製造業（繊維・衣服）	製造業（機械・金属）
	6	5	5	3	3	2	2	2	2
29	製造業（電気・電子関連）	製造業（その他）	外食業	製造業（自動車関係）	漁業	製造業（造船）	ビルクリーニング	その他	
	2	2	2	1	0	0	0	11	

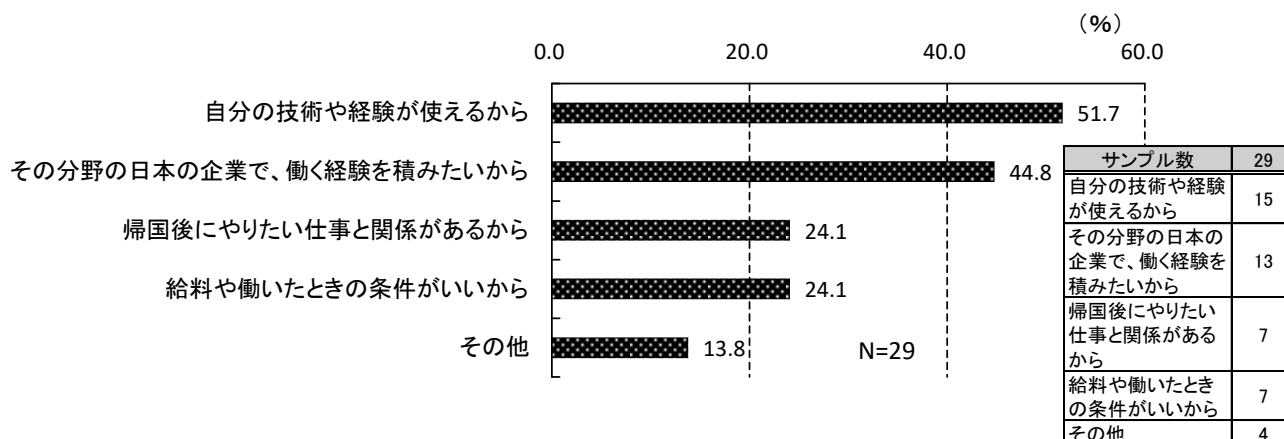


⑤ 希望する業種を選んだ理由

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

「自分の技術や経験が使えるから」が29人中15人で最も多く、次いで「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が13人、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」、「給料や働いたときの条件がいいから」がそれぞれ7人となった。

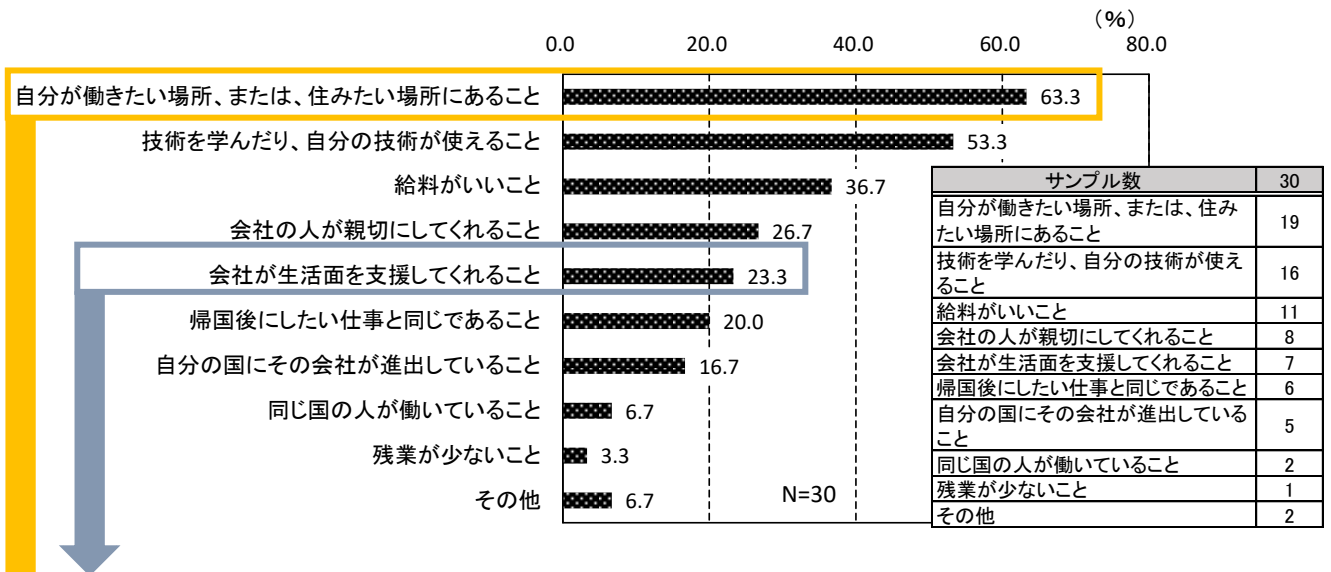


⑥ 今後の就労において企業に求める条件と、就労・居住希望地域

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

「自分が働きたい場所、また、住みたい場所にあるから」が30人中19人で最も多く、次いで「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が16人、「給料がいいこと」が11人となっている。



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、「家を借りること」が4人中3人、「日本語の勉強」が2人となった。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他
実数	4	2	3	0
構成比	100.0	50.0	75.0	0.0

【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、「広島県内」が18人中13人で東京・大阪を抑え、最も多い結果となった。

	サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他
実数	18	13	3	2	0
構成比	100.0	72.2	16.7	11.1	0.0

⑦ **仕事のために、勉強したい知識や技術**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい知識や技術はありますか？（1つだけ選択）

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」が29人中27人と、ほとんどの者が就業のために学習したいことがあるという結果となった。

	サンプル数	ある	ない
実数	29	27	2
構成比	100.0	93.1	6.9

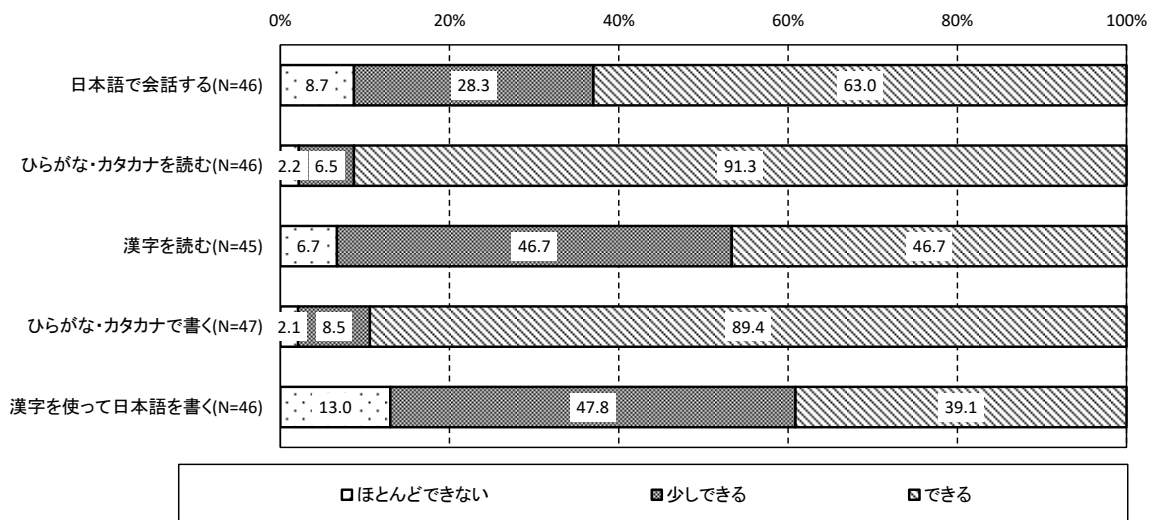
(3) **日本語の学習について**

① **日本語の習熟度**

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？
（それぞれの内容について、1つだけ選択）

ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」では「できる」がそれぞれ90%程度、漢字を「読む」、「書く」では、「できる」がそれぞれ40%程度と、ひらがな・カタカナと漢字の「読む」、「書く」で、習熟度に差がみられた。

日本語での会話については、63.0%の者が「できる」という結果となった。

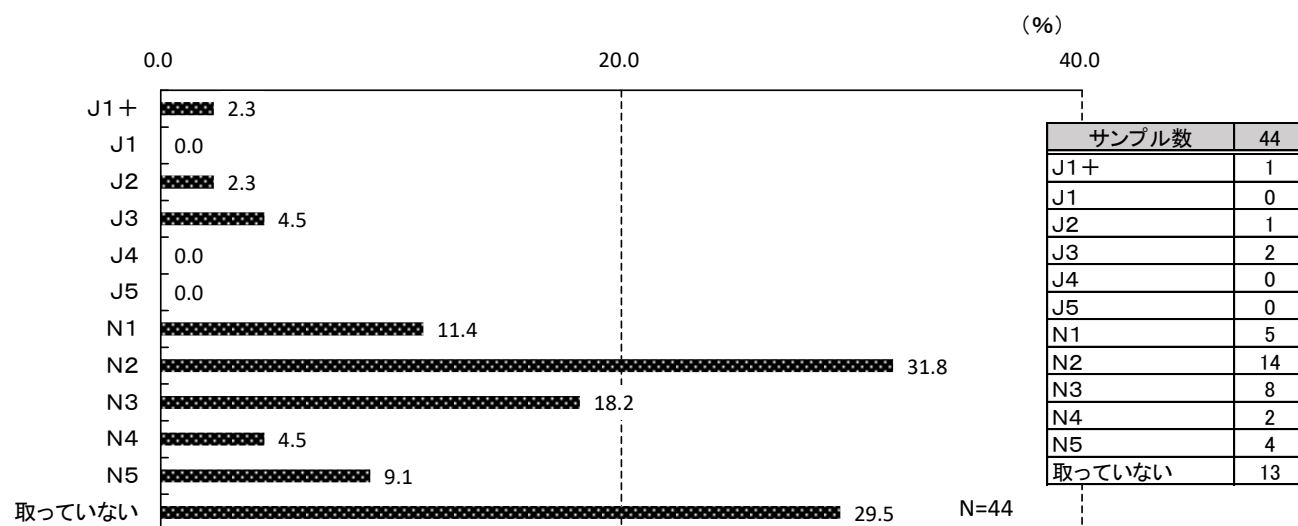


② 現在所有している日本語資格

設問：あなたが、いま、持っている日本語能力に関する資格を教えてください？

（複数回答可）

「N2」が44人中14人で最も多く、次いで「取っていない」が13人と多いが、「N3」が8人、「N1」が5人となっている。

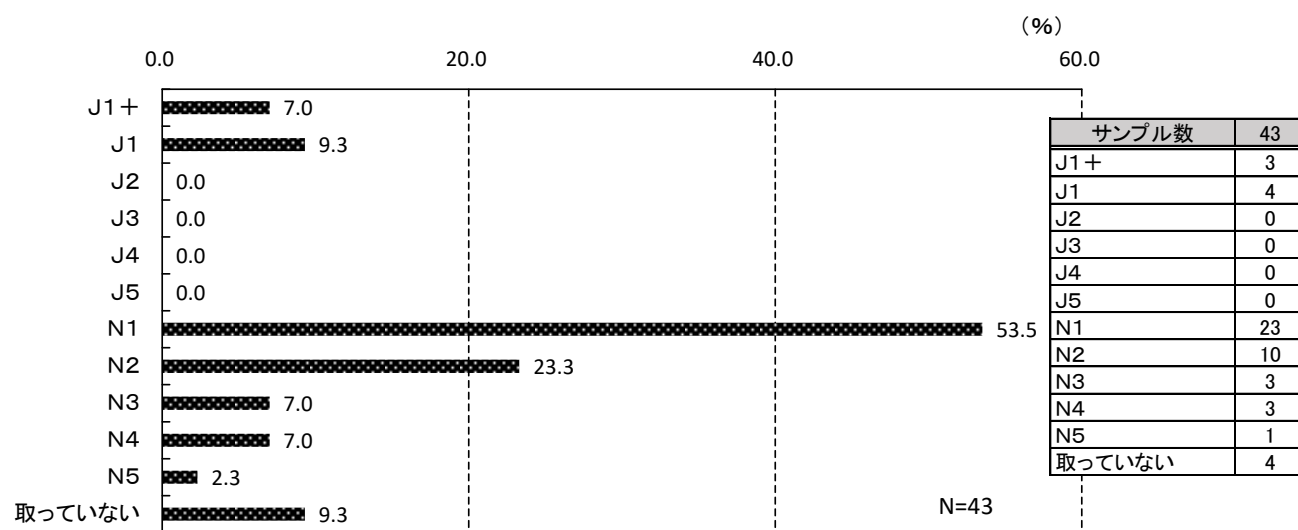


注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

③ 今後取得したいと考えている日本語資格

設問：今後、取りたい日本語能力に関する資格を教えてください。（複数回答可）

「N1」が43人中23人で最も多く、次いで「N2」が2人、「J1」が4人となっている。

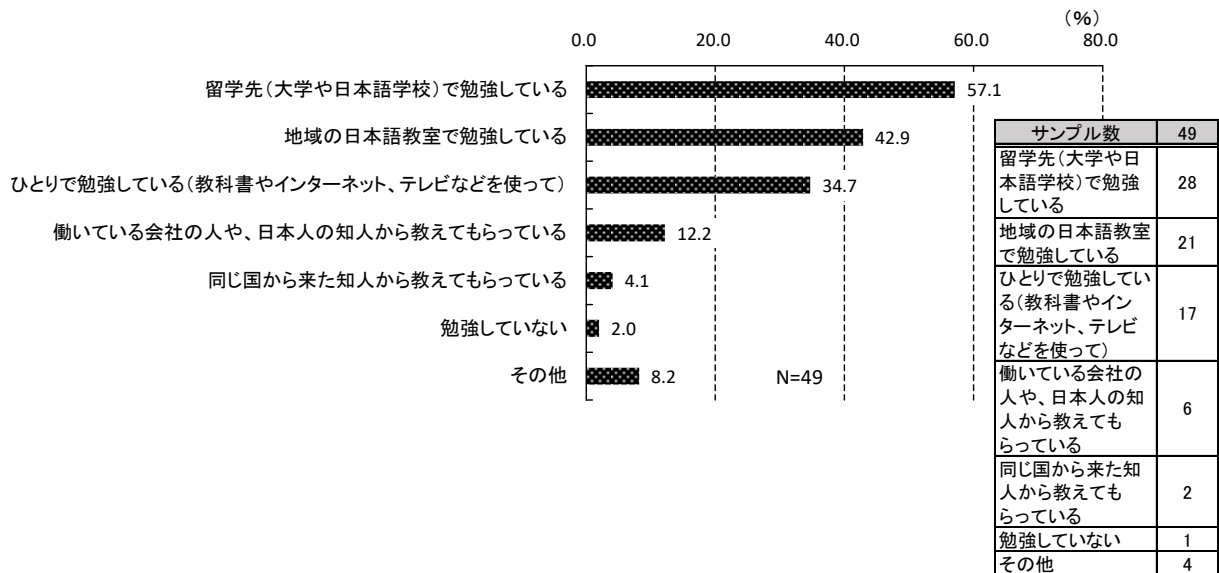


注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

④ **日本での、日本語の学習状況**

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

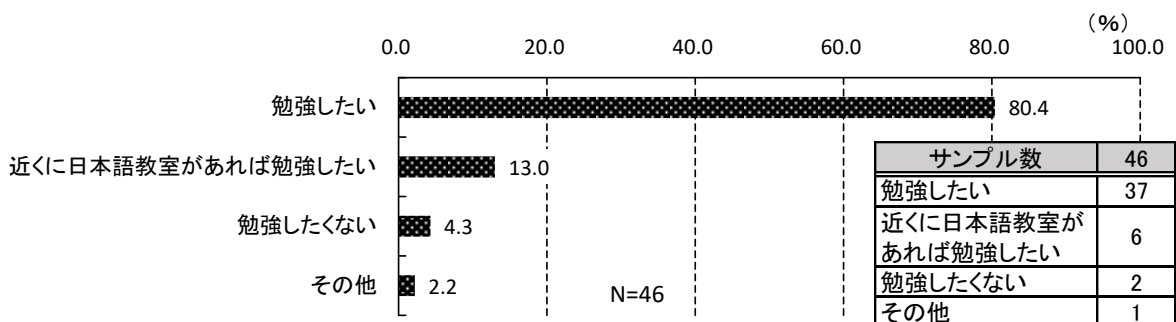
「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が49人中28人で最も多く、次いで「地域の日本語教室で勉強している」が21人、「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が17人と高くなっている。



⑤ **今後の、日本語の学習意向**

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

今後も日本語を「勉強したい」が46人中37人で最も多く、「近くに日本語教室があれば勉強したい」の6人と合わせると43人となり、ほとんどの者が、日本語の学習意欲があるという結果となった。

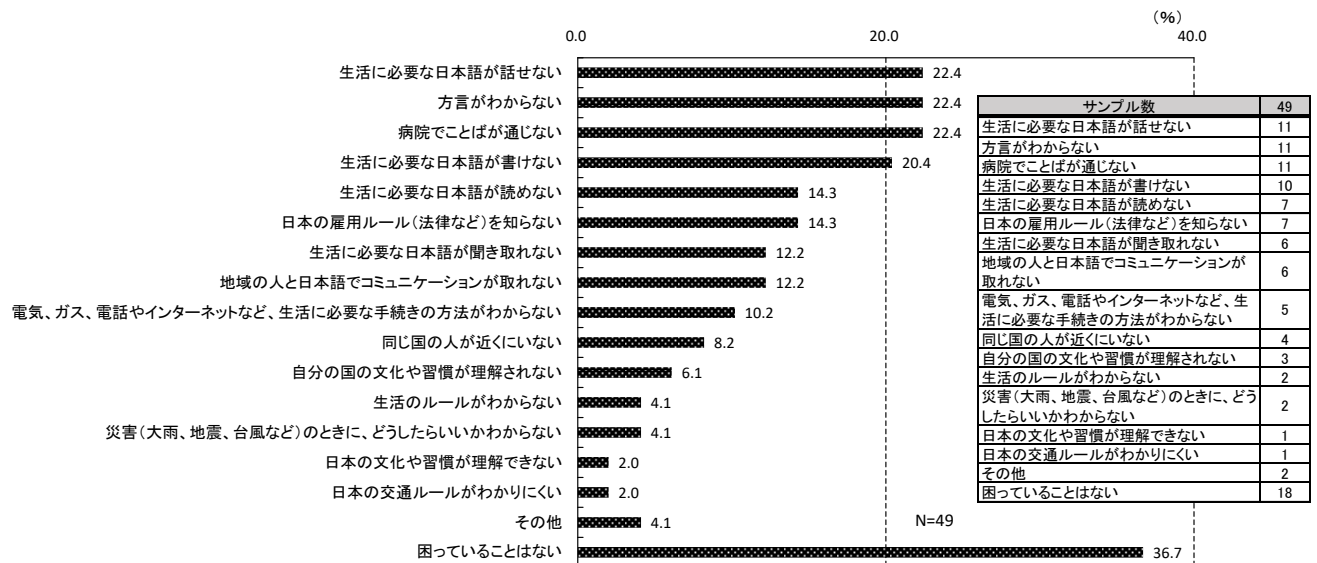


(4) 一般外国人の普段の生活状況について

① 普段の生活において困っていること

設問：最近（6か月以内）、普段の生活で困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

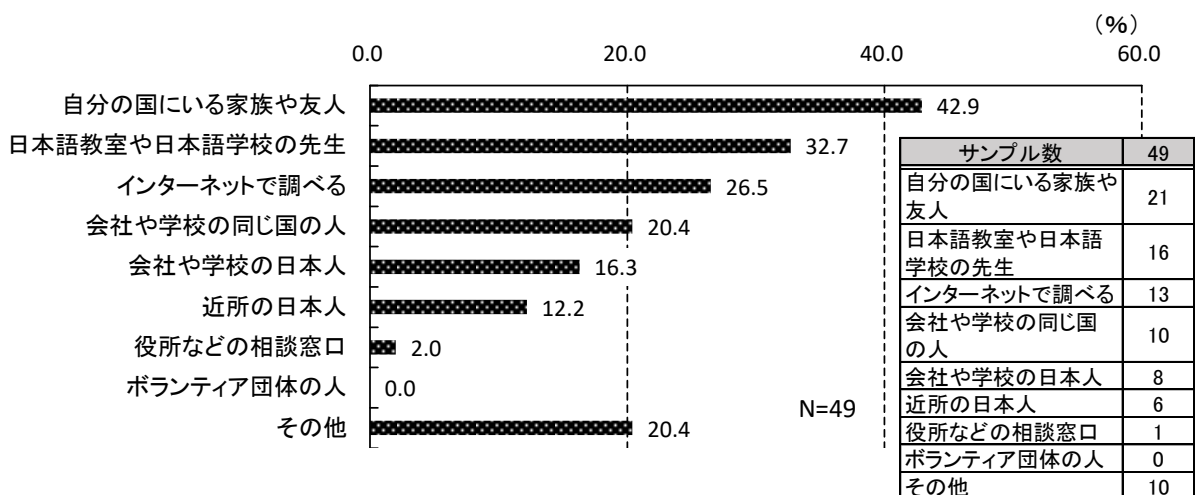
「困っていることはない」が49人中18人で最も高くなっている一方で、「生活に必要な日本語が話せない」、「方言がわからない」、「病院で言葉が通じない」がそれぞれ11人、次いで「生活に必要な日本語が書けない」が10人となっている。



② 普段の生活において困っている際の相談相手

設問：普段の生活で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

「自分の国にいる家族や友人」が49人21人で最も多く、次いで「日本語教室や日本語学校の先生」が16人、「インターネットで調べる」が13人という結果となった。



③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

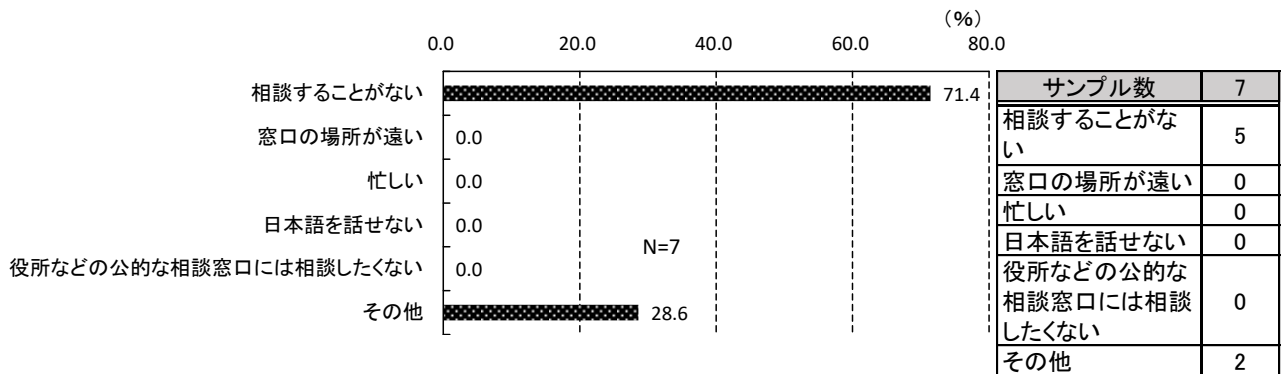
設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

公的な相談窓口を「知らない」が44人中28人と最も多く、6割以上の者が認知していない結果となった。

	サンプル数	知っている こともある。 相談	はど知 らない 相談し たけれ と	知ら ない
実数	44	7	9	28
構成比	100.0	15.9	20.5	63.6

【相談したことがない理由】

公的な相談窓口を「知っているけれど、相談したことはない」者に、その理由をたずねたところ、7人中5人が「相談することがない」と回答している。

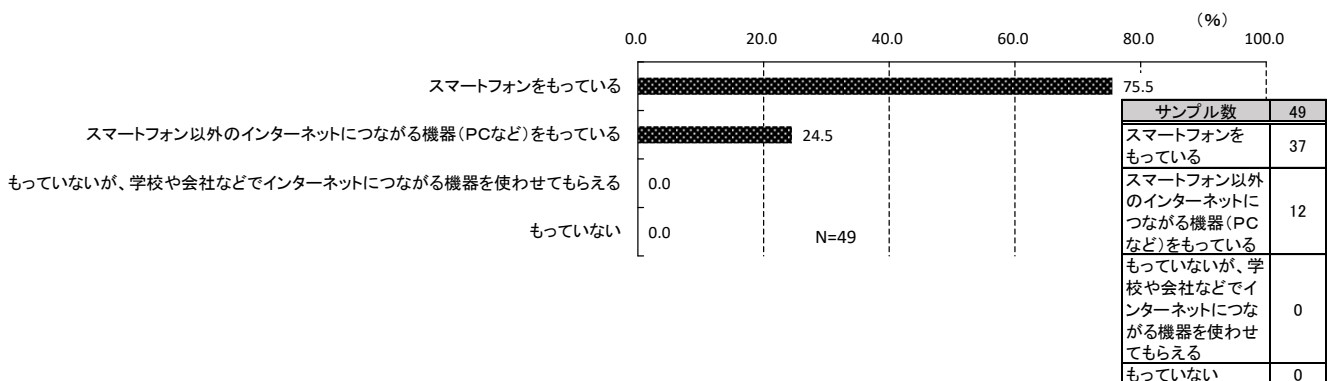


④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

「スマートフォンをもっている」が75.5%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）をもっている」と合わせると、すべての者がインターネットを利用できる環境にある結果となった。



⑤ よく利用する web サイトや SNS とその利用頻度

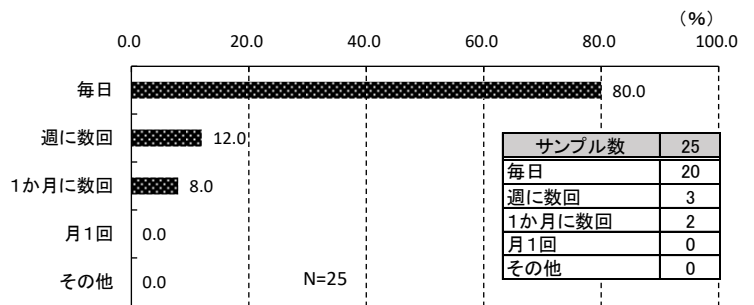
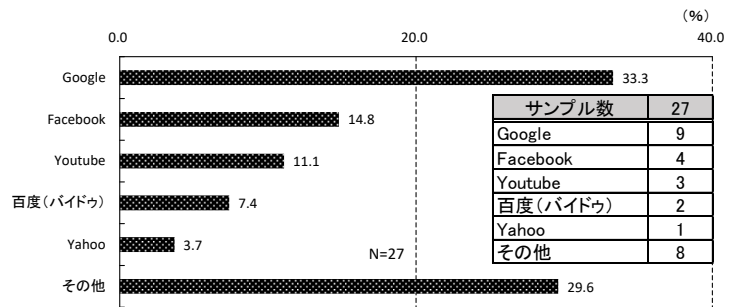
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。
また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイトと利用頻度】

「Google」が 27 人中 9 人で最も多く、次いで「その他」が 8 人、「Facebook」が 4 人となっている。

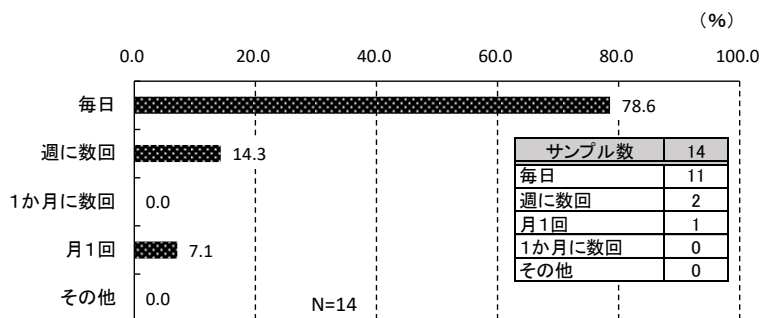
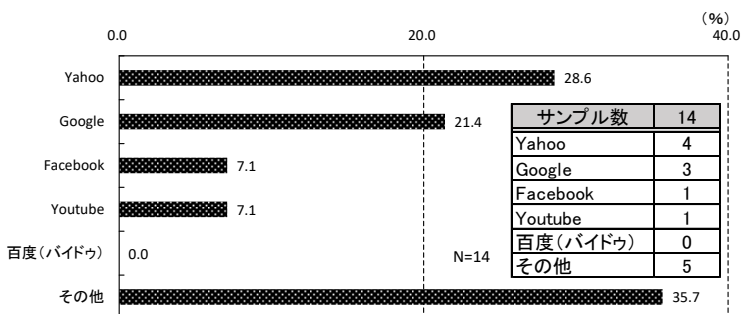
また、最もよく利用する web サイトの利用頻度は、「毎日」が 25 人中 20 人で最も多く、次いで「週に数回」が 3 人で、週に数回以上利用する者がほとんどという結果となった。



【2番目によく利用する web サイトと利用頻度】

「その他」が 14 人中 5 人で最も多くなっているが、「Yahoo」が 4 人、「Google」が 3 人となっている。

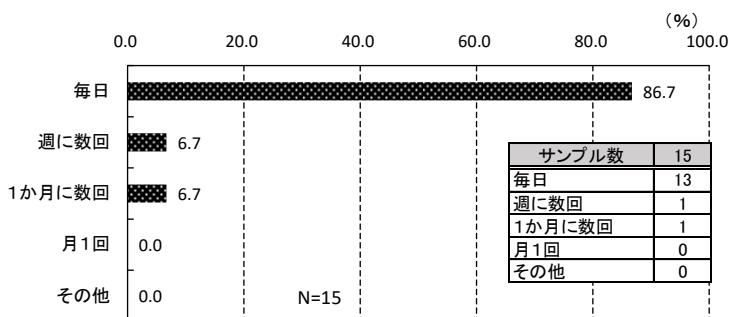
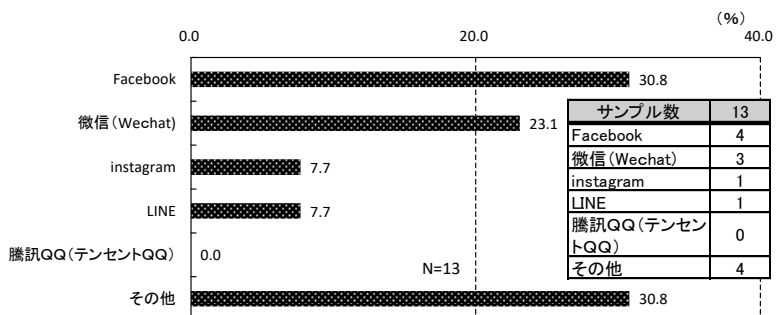
また、2 番目によく利用する web サイトの利用頻度をみると、「毎日」が 11 人で最も高く、次いで「週に数回」が 2 人で、最もよく利用する web サイトと同様に、週に数回以上利用する者がほとんどとなった。



【最もよく利用する SNS と利用頻度】

「Facebook」、「その他」がそれぞれ 13 人中 4 人で最も多く、次いで「微信 (Wechat)」が 3 人となっている。

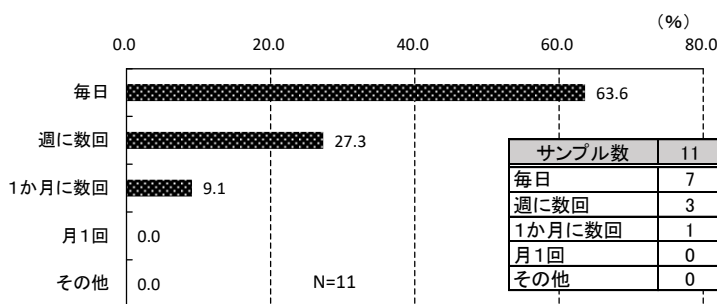
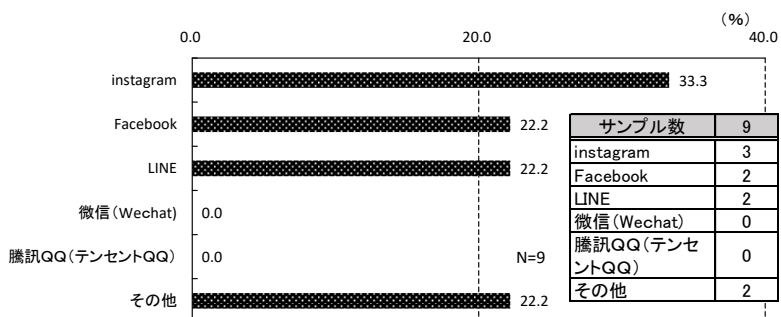
また、最もよく利用する SNS の利用頻度をみると、「毎日」が 15 人中 13 人で、高頻度で利用する者の割合が高い結果となった。



【2番目によく利用する SNS と利用頻度】

「instagram」が 9 人中 3 人で最も高く、「Facebook」、「LINE」、「その他」がそれぞれ 2 人となった。

また、2 番目によく利用する SNS の利用頻度をみると、「毎日」が 11 人中 7 人で最も高く、次いで「週に数回」が 3 人で、ほとんどの者が、週に数回以上利用しているという結果となった。

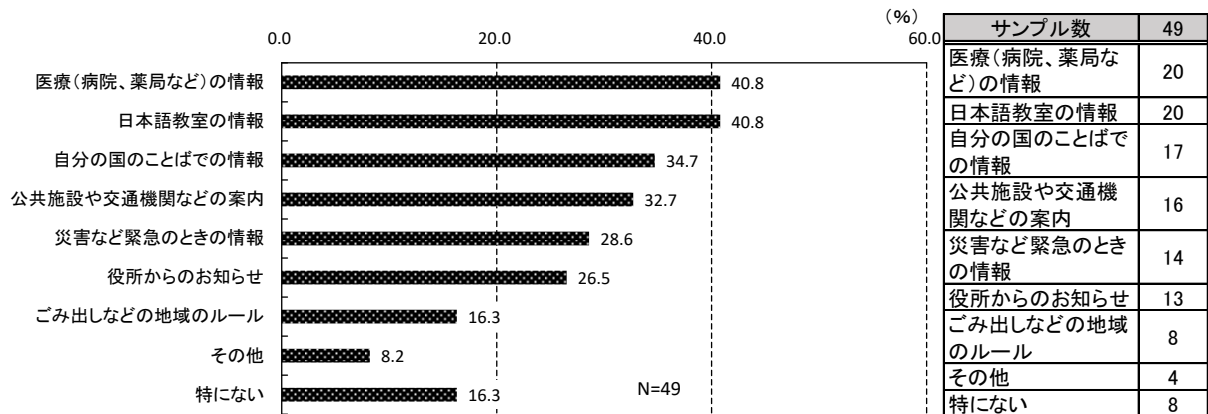


⑥ 普段の生活の中で必要な情報

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

「医療（病院や薬局など）の情報」、「日本語教室の情報」がそれぞれ49人中20人で最も多く、次いで「自分の国のことばでの情報」が17人、「公共施設や交通機関などの案内」が16人となっている。

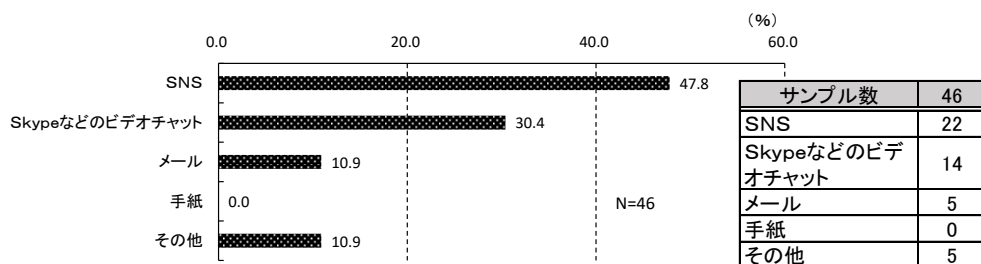


⑦ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

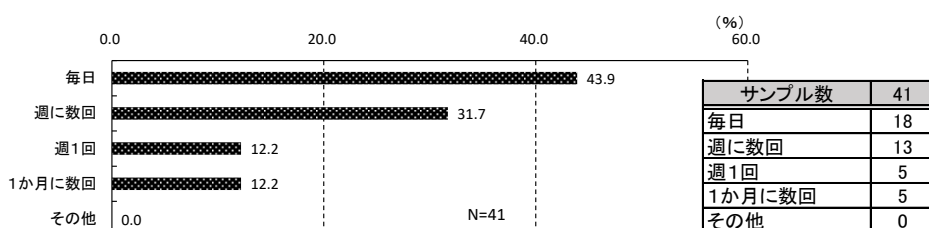
④ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

「SNS」がそれぞれ46人中22人で最も多く、次いで「Skypeなどのビデオチャット」が14人となった。



【利用頻度】（1つだけ選択）

「毎日」が41人中18人で最も多く、次いで「週に数回」が13人となっており、7割以上が、週に数回以上連絡を取っているという結果となった。

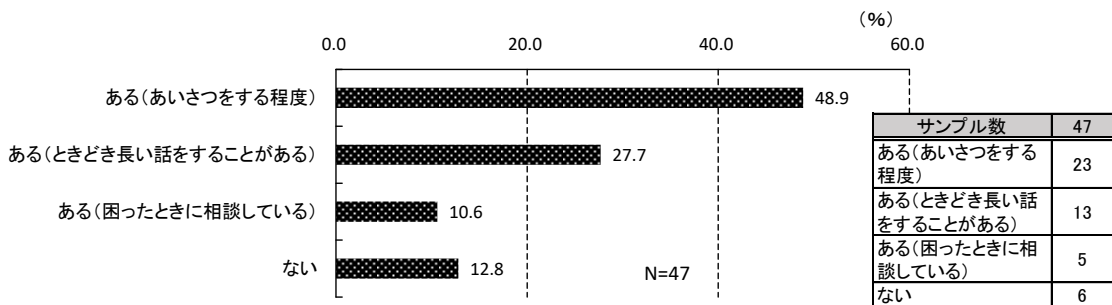


(5)日本人との交流状況

① 近所の日本人と会話をする頻度

設問：近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ選択）

「ある（あいさつをする程度）」が47人中23人で最も多くが、「ある（ときどき長い話をすることがある）」が13人、「ある（困ったときに相談している）」は5人となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は18人と4割程度であった。



② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

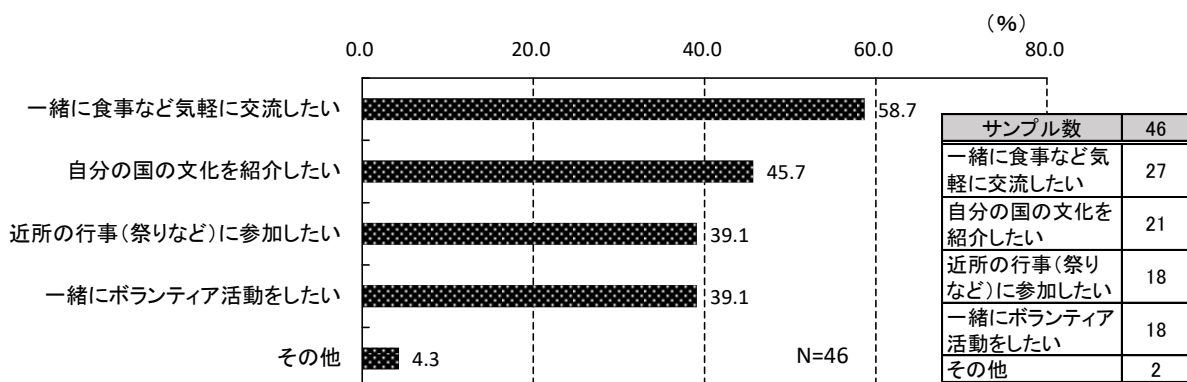
設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

ほとんど（48人中46人）の者が、近所の日本人と交流を深めたいと「思っている」という結果となった。

	サンプル数	思っている	思っていない
実数	48	46	2
構成比	100.0	95.8	4.2

【近所の日本人とどのような交流関係を築きたいか】

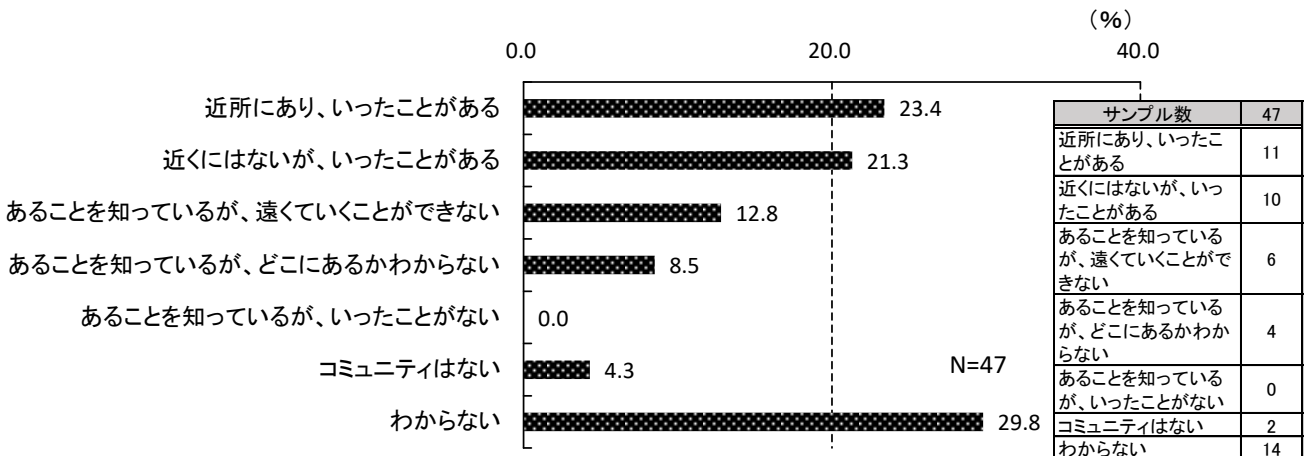
「一緒に食事など気軽に交流したい」が46人中27人で最も多く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が21人、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」、「一緒にボランティア活動をしたい」がそれぞれ18人となった。



③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティはありますか？（1つだけ選択）

「わからない」が47人中14人で最も多く、同じ国の出身者が集まるコミュニティを認知していない者の割合が高い。一方、「近所にあり、いったことがある」が11人、「近くにはないが、いったことがある」が10人と、4割以上の者が、コミュニティを活用したことがあるという結果となった。

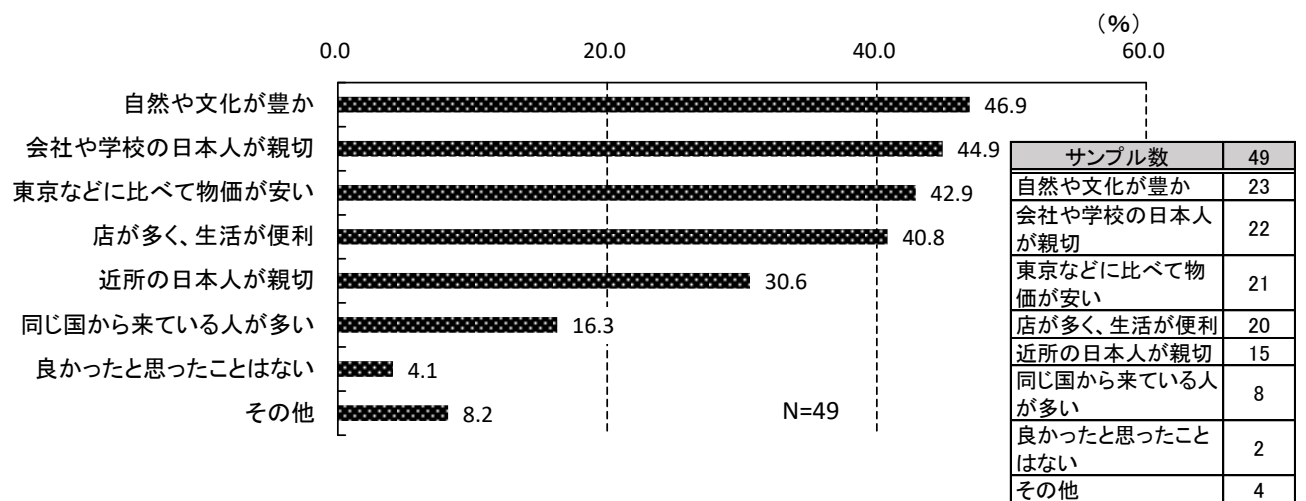


(6) 広島県に対する評価

① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

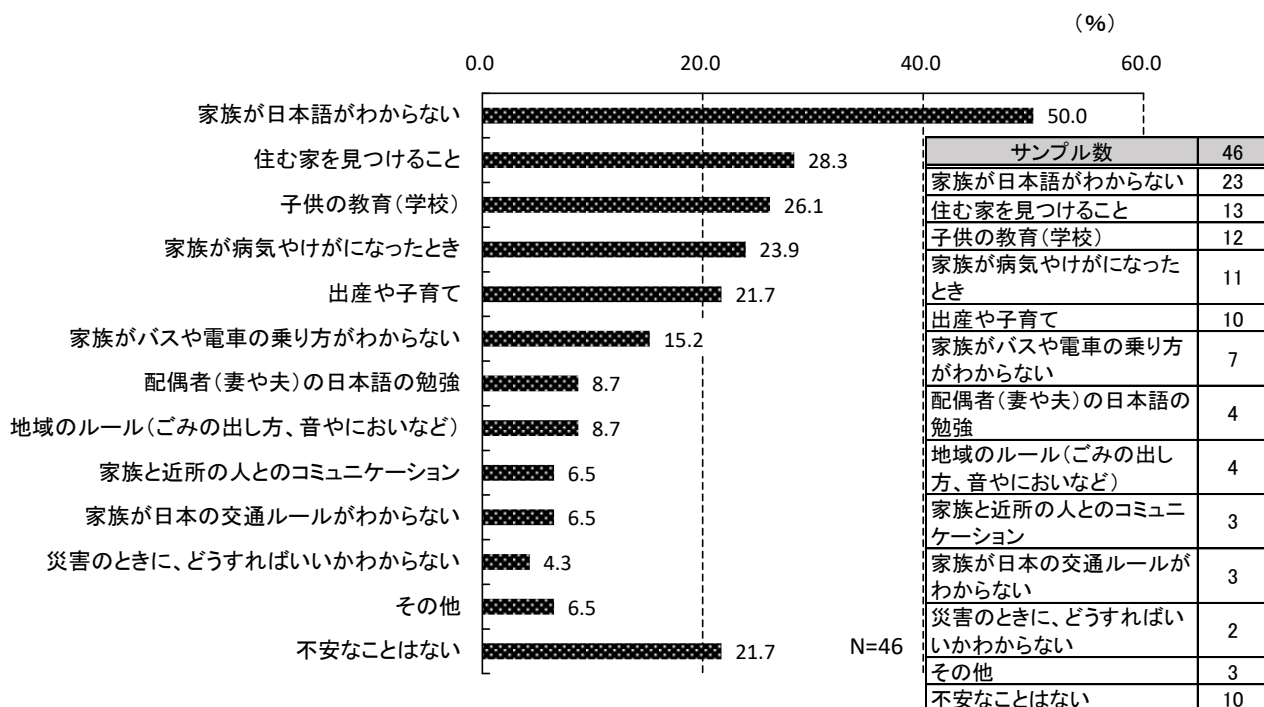
「自然や文化が豊か」が49人中23人で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が22人、「東京などに比べて物価が安い」が21人、「店が多く、生活が便利」が20人と、人間関係や生活の利便性に対する評価が高い傾向となった。



② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：設問：広島県内で家族と一緒に生活すること（一人で日本に来ている人は、将来、家族を連れて来ることができるようになった場）に、不安なことは何ですか？（複数回答可）

「家族が日本語がわからない」が46人中23人で最も多く、次いで「住む家を見つけること」が13人、「子どもの教育（学校）」が12人となっている。



第四章 グループインタビュー調査結果

1. 調査対象者

	ベトナム	中国	フィリピン	インドネシア	合計
技能実習生	6名（機械・金属）	3名（繊維・衣服）	－	－	9名
日本語教育機関	5名	8名	1名	－	14名
大学	2名	4名	－	－	6名

■詳細

①技能実習生

ベトナム国籍 6名（金属加工）

	対象者①	対象者②	対象者③	対象者④	対象者⑤	対象者⑥
在留期間	5か月	2年9か月	2年9か月	5か月	1年6か月	5か月
性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性

中国国籍 3名（縫製加工）

	対象者①	対象者②	対象者③
在留期間	1年8か月	2年8か月	8か月（在住2回目）
性別	女性	女性	女性

②日本語教育機関

ベトナム国籍 5名

	対象者①	対象者②	対象者③	対象者④	対象者⑤
在留期間	2年6か月	9か月	2年6か月	5年6か月	2年6か月
性別	男性	女性	女性	男性	男性

中国国籍 8名

	対象者①	対象者②	対象者③	対象者④	対象者⑤	対象者⑥	対象者⑦	対象者⑧
在留期間	7年	5年半	3か月	3か月	2年8か月	4年	2年	1年6か月
性別	男性	男性	男性	男性	男性	男性	女性	男性

フィリピン国籍 1名 在留期間：1年3か月 女性

③大学

中国国籍 4名（文系 2名、理系 1名）

	対象者①	対象者②	対象者③	対象者④
在留期間	1年	1年	5年	1年
性別	女性	女性	女性	男性

ベトナム国籍 2名（文系 1名、理系 1名）

	対象者①	対象者②
在留期間	2か月	1年半
性別	女性	女性

2. 調査結果

①職場での困りごとと解決方法（主な意見）	
技能実習生	<p>（1）職場での困りごとについて</p> <p>現在、「特に困っていることはない」との声が多かったが、過去に次のような困りごとがあったとの意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が早口で言っていることが聞き取れなかった、方言が分からなかった、業務に関する専門用語が分からなかった ・日本語が聞き取れず、業務の指示がうまく伝わらなかったため、自身が行った作業と求められた作業が違うことがあった ・仕事内容についてわからないことを質問しようとしたが、元々の指示を誤って理解していたので、質問をしても「何を質問しているのか？」と理解してもらえないことがあった ・来日当初は、日本人の従業員とコミュニケーションをとることが難しかった
	<p>（2）困ったことがあった際の対応・解決策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語が聞き取れない場合や、専門用語が分からない際は、同国出身の先輩や、日本人従業員などに質問をして解決した ・同じ国出身の正社員がいるので、わからないことは尋ねるようにしている ・「方言」については、初めて聞いたときは理解できなかったが、聞き直すことで、標準語に言い換えてもらう、紙に書いて説明してもらうなどの対応をしてもらっている ・専門用語などについては、ジェスチャーなどを使って、理解することもあった

①職場での困りごとと解決方法（主な意見） ※日本語教育機関、大学はアルバイト先での意見	
日本語教育機関	<p><u>(1) アルバイト先での困りごとについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人という理由でいじめられていたことがあった（他の友人からも同じ経験があると聞いたことがある） ・弁当を作る工場（ライン作業）で働いているが、最初は専門用語が分からないことがあった ・コンビニのレジで、たばこの銘柄が分からないことがあった。また「袋はいりますか？」と聞いて「いいです」と言われたときに、袋を渡して怒られたことがあった（いらぬ意味の「いいです」を、お願いしますの「いいです」と勘違いしてしまった） ・日本語が分からずに、指示を聞きとることができないことがあった ・中華料理店で働いているが、日本語が聞き取れずに怒られたことがあった。わからないことがあったが、日本語が分からないので、質問することができないことがあった ・日本人と外国人では給料が違うことがあるため、同様の賃金にしてほしい【 ・アルバイト先のスタッフと交流を深めたいと思っているが、業務が終わると、業務中とは態度が変わり、冷たいなと感じることがある ・目的外活動の上限の「28 時間」を守ってアルバイトしているが、28 時間でもらう給料だけでは、生活がとても苦しい <p><u>(2) 困ったことがあった際の対応・解決策について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ国出身のスタッフがいるので、困ったときには助けてもらっている ・わからないことは、日本人スタッフに質問し、解決するようにしている
大学	<p><u>(1) アルバイト先での困りごとについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニのレジでアルバイトをしている際、お客さんが早口だったり、方言を使っているときに、聞き取れないことがあった ・居酒屋のホールスタッフをしているときは、日本語が聞き取れなかったり、方言が分からないことがあった。また、「こちらは必要ですか？」との質問に「いいです」と答えられ、必要なのかが必要ではないのかが理解できないことがあった。居酒屋での専門用語（ビールを「生」や、「お通し」など）が理解できないことがあった ・介護現場でのアルバイトをしているが、ご年配の方や小さい子供など「ゆっくり」話されると聞き取りづらいことがあった <p><u>(2) 困ったことがあった際の対応・解決策について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト先に同じ国出身の先輩がいたので、教えてもらうことができた ・他のスタッフに尋ねることで理解し、一度学べば次回から困ることはなかった

②日常生活における困りごとと解決方法（主な意見）	
技能実習生	<p><u>（１）日常生活における困りごとについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方が分からず、自分が目指す目的地にたどり着くことができなかった（バス停の場所は分かるが、自身が行きたい方面のバスがわからず、目的地と逆の方向に行ってしまうことがあった） ・駅の電光掲示板など、日本語と英語しかないものが多いので、中国語での表示があると助かる 【中国】 ・道が分からないことがあり、人に尋ねようと思ったが、日本語が分からずに尋ねることができなかった。次回からは、簡単な日本語を用意して（すみません、教えてください、ありがとうございました等）尋ねるようにした ・自分が行きたい場所や買いたいものの情報など、日本に来た当初は分からなかった ・自身の国とは公共交通の利用方法が違うので、最初は戸惑った ・自身の国の食事と日本の食事が違うので、味に慣れることができなかった（食文化の違い） 【ベトナム】 ・郵便局で貯金口座を作ろうと思ったが、外国籍のため一人で作ることができず、会社の人に同行してもらい開設した ・ゴミ出しのルールなどについては、会社での教育や、先輩の実習生などに教えてもらうなど、特に戸惑うことはなかった ・住宅関係や入国、試験などの手続きについては、監理団体の方や会社の方にサポートしてもらうため、特に困ることはない ・病院についても、必要な場合は会社の人が同行してくれるので、特に困ることはない <p><u>（２）困ったことがあった際の対応・解決策について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地が分からないときは、地図アプリ、翻訳アプリを使用して検索するようにしている ・自分が行きたい場所、欲しいものの情報が分からないときは、同じ国出身の会社の先輩（正社員の人）に教えてもらっている。社内の日本人も、分からないことをたずねて教えてもらうこともある ・困ったときは、同じ国出身会社の先輩などに質問して解決することが多い

②日常生活における困りごとと解決方法（主な意見）	
日本語教育機関	<p><u>（１）日常生活における困りごとについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋を借りる手続きなどが分からなかった ・日本語が分からず、ボディランゲージなどで対応することがあった【中国】 ・日本にきて１週間はインターネットが使えなかったため、道に迷うことがあった。道をたずねたが日本語がなかなか伝わらず、最終的には交番に行って目的地（学校）までたどり着いた。一か月はSIMカードが買えなかったため、インターネットの環境がなく困った ・携帯、住まいの手続きが分からなかった。一人で出かけるときは道に迷うことがあった ・日本語が話せないため、バスや電車の乗り方が分からなかった（バスのシステムが分からない）目的地をマップアプリで調べるが、漢字が読めなくて困ることがあった ・生活習慣が違いため、買い物の仕方、物の買い方が分からなかった。ほしいものがあったも、日本語が通じず困ることがあった ・日本食が口に合わず、どこでどのような食べ物、食材が手に入るか分からずに困ることがあった【中国】 ・電気料金の請求書が届いたが、請求書の記載内容が読めず、どのように対応していいかわからなかった ・方言が分からないことや、早口で話されると聞き取れないことがあった ・日本人とのコミュニケーション面で、文化の違いを感じた。中国では一度食事をすれば、とても仲の良い関係を築けるが、日本人は一度食事をしたくらいではそれほど心を開いてもらえずに戸惑った【中国】 ・アルバイト先の人、仕事と仕事以外での態度の違い、戸惑った（冷たいと感じた） <p><u>（２）困ったことがあった際の対応・解決策について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身で調べるか、学校の先生や友人を頼る ・電気代の手続きについては、コンビニの店員に教えてもらった ・目的地まで行く際には、アプリを利用して電車の乗り換え方などを調べるようにしている ・目的地や買い物などで分からないことがあれば、一度自分で調べて、さらに学校の先生や友人に確認を取るようになっている ・日本人の友人に教えてもらって解決した

②日常生活における困りごとと解決方法（主な意見）	
大 学	<p><u>（１）日常生活における困りごとについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本人に、「空気が読めない人」と言われることがある。日本人は相手の表情などから気持ちを読み取る習慣があると思うが、中国ではわからないときは分からない、いやなことがあれば正直に伝えるので、相手の気持ちが分からないことが多く、「空気が読めない」と言われているのかもしれない • 買い物をする時に、日本での相場が分からなかった（高いのか安いのか） • バスの乗降口が中国では一つしかないため、日本ではどこから乗ってどこから降りたらいいのかわからなかった。また、整理券のシステムも、当初はわからずにとまどった（運転手に注意され、トラウマになりバスを利用しない時期があった）【中国】 • 携帯電話を契約する際に、保証人がいなくて困った。また、携帯電話を契約する際の契約の縛り（２年契約）も困った（交換留学生で、期間が半年のため）。 • 交通費が高いと感じた（バスや電車など） • 来日したばかりのころは、様々な手続き関連の書類が家に届いたが、日本語が分からないため、どのような要件の書類か分からずに困ることがあった • 来日当初は、携帯電話の契約ができず、インターネットにつながる機器を所有していなかった（wi-fi が使用できずインターネットが使えない状態だった）ので、道に迷ったときに地図アプリなどが使えずに困ることがあった • クレジットカードの審査が通らず、格安 SIM の携帯電話の契約ができなかった • 病院に行った際に、日本語が分からないため、どのような診断結果が出ているのかわからなかった（家に帰って自身で調べた。せめて英語での対応があると助かる） • ベトナムと日本では、コミュニケーションの取り方が違うので（文化の違い）、日本人と接するときの距離感が分からない。ベトナム人は比較的近い距離で接することが多いが、日本人にそのように対応すると、そっけない態度をとられ、日本人は冷たいなど感じることもある【ベトナム】 • 日本人と積極的にコミュニケーションをとりたいが、日本人の日本人への接し方と外国人への接し方に差があると感じることがあり、積極的になれないときもある
	<p><u>（２）困った際の解決方法について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • わからないことがあれば、自身でインターネットで調べるか、周りの友人や研究室の人などにたずねた • 手続き関連については、大学側でサポート役を手配してくれるが、迷惑をかけたくないという気持ちから、頼りづらかった（最終的には助けてもらったが） • 中国人留学生の中で SNS 内でのコミュニティ（大規模）があり、困ったことがあれば SNS 内で質問し、解決している【中国】

③地域住民との交流状況について（主な意見）	
技能実習生	<p><u>（１）現在の地域住民との交流状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを交わす程度。あいさつを交わすきっかけは、住民の方があいさつをしてきてくれて、それに答えることで習慣となった ・あいさつがきっかけで簡単な会話を交わすようになった <p><u>（２）あいさつ以上の交流に発展しない理由について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が声をかけてくれて、会話が始まることがあるが、自身の日本語能力が低いため、途中で内容が理解できなくなり、会話が続かない ・簡単な日本語しか理解できないため、積極的に会話ができない ・話しかけてくれる人がいるが、日本語がわからないため、会話を続ける気になれない <p><u>（３）地域の方と交流を深めるために必要なことについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントや祭りなどにも参加したいが、周辺地域ではあまりなく、少し離れた場所に行かなければいけないため、行くのが大変 ・地域の方と交流を深めるには、自身の日本語能力が上がれば、自然と交流の機会が増えると思う（地域の方は優しい方が多いため） ・自身の日本語能力が上がれば、自分から積極的に話しかけることができると思う
日本語教育機関	<p><u>（１）現在の地域住民との交流状況について</u></p> <p>■あいさつ以上の交流がある人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初はあいさつがきっかけで交流が級始まった。顔を合わせるうちに仕事の話で盛り上がり、その後食事をするようになった ・マッチングアプリを活用し、中国文化に興味がある日本人を検索して、実際に会うことができ、そこから友達になった【中国】 ・日本語があまり分からないときは積極的になれなかったが、理解してくるにつれて、地域の人に自身からも会話ができるようになった <p>■交流を深めたいと思っている人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺に日本人が住んでいないため、あまり交流する機会がない ・イベントなどにも参加したいが、情報が入ってこない ・日本語が上達すれば、地域の方ともっと会話ができると思っている ・自身の国の文化に興味がある日本人であれば、共通の話題があるので親しくなりやすいのではないかと考えている。そのような日本人と交流できる場があれば、すぐに友達ができる ・日本人と交流できるイベントがあればぜひ参加したい

③地域住民との交流状況について（主な意見）	
大学	<p>（１）現在の地域住民との交流状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ程度の交流しかない（周辺に、学生しか住んでいないため） ・大学の留学支援センターが主催している交流イベントなどに参加している ・東広島市で開催された酒祭りに参加した ・酒祭りのボランティアに参加しようと思ったが、直前で参加できなくなった。次の機会があればぜひ参加したい。 ・日本人にこだわることはなく、その時々で出会った人と気が合えば交流を深めたいと思っている <p>（２）地域の方と交流を深めるために必要なことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントについては、大学のサイトや、学内にあるチラシなどから情報を収集している。日本語での情報ばかりなので、せめて英語での情報があれば、もっとたくさんの人に伝わるのではないかと思う ・チラシなどでは、多くの留学生には情報が行き届かないのではないか？

④就労する際に企業に求める条件と働きたい地域（主な意見）	
技能実習生	<p>■日本国内で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できれば日本で働き続けたいと思っている。企業に求める条件は、人間関係。働くうえで人間関係は非常に重要であると考えている（現在の職場も働きやすい環境であるため）。今後も、現在と同様の業種で働きたい <p>■日本以外で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母国に帰って起業したいと考えている。会社に求めることは、技術が学べること、自身の技術が活かせること、給料、会社での人間関係。今後も現在と同様の業種で働きたい ・家族がいるため、５年後に母国に帰りたいたいと思っている。会社に求めることは、技術が学べること、自身の技術が活かせること、給料、会社での人間関係。今後も現在と同様の業種で働きたい

④就労する際に企業に求める条件と働きたい地域（主な意見）	
日本語教育機関	<p><u>（１）就労の際に希望する業種、企業を選ぶ際の条件と働きたい地域について</u></p> <p>■日本国内（広島県内）で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が働きたい業務で働けることが一番重要。広島県内を希望する理由は生活環境に慣れているから ・東京で働きたい気持ちがあるが、物価が高いため広島県内で働きたい。企業に求めることは生活面などの支援（家賃や生活費などの補助） ・日本と中国に関連する仕事（貿易関係）に就きたい。働く場所は広島県内（福山市）を希望している。福山の環境に慣れており、福山が好きということと、都会は人が多く住みづらいため ・治安がよく、できればずっと日本で働きたいと思っている ・広島県内で働きたいと思っている。大阪・東京などは物価が高く生活しづらい。広島を希望する理由は生活環境に慣れているから ・東京、大阪は物価が高いこと、また知り合いがたくさんいることから、広島県内で働きたいと考えている。企業に求めることは、給料がいいこと。できれば大企業で働きたい <p>■日本国内（広島県外）で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪で働きたいと思っている。理由は、交通の便などがいいから。企業に求める条件は、職場環境と給料 ・名古屋でIT関係の仕事をしたい。名古屋に友達がいること、広島よりも生活が便利だと思うから。企業に求める条件は給料を重視する ・東京で仕事をしたいと思っている。理由は、日本で一番の都市で、交通の便も優れているから。職場環境、人間関係を重視しているが、日本人は優しいので心配していない ・兄がいるため、大阪で働きたいと思っている。企業に求める条件は給料を重視する ・地域は特にこだわりはないが、企業にもとめる条件は給料 ・東京で映画製作の仕事をしたいと思っている。東京に行きたい理由は、大都市で日本の経済の中心であるため。日本で働きたい理由は、日本語を使う仕事がしたいことと、生活マナーが良かったため ・東京、大阪でデザイン関係（広告）の仕事がしたい。物価が高いことが気になるが、働きたい企業が東京、大阪にあるため。企業に求める条件は、大企業であることと給料

④就労する際に企業に求める条件と働きたい地域（主な意見）	
大学	<p>■日本国内（広島県内）で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県内で働いている人を見て、自分もこのような人たちと働きたいと思った（仕事に対する姿勢）。広島が好き、住み慣れているというのも理由の1つ。企業に求めることは職場環境（一生懸命働く人がいるか） <p>■日本国内（広島県以外）で働きたい人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で働くなら、東京や大阪などの大都市を希望する。働く際に企業に求めることは、収入がいいこと、自身が成長できる企業であること ・特に地域に指定はないが、日本は化学工学系の技術がとても優れているので、そういった技術が学べる企業で働きたい。また、中国よりも収入がいいことも、日本で働きたい理由の1つ ・中国では新卒採用の場合でも即戦力として期待されるため、それがストレスとなる。日本は、初任給も高いうえに、新卒採用後はしっかりと教育してもらえるイメージがあるので、日本で働きたい。十分に経験を積んで、自身の国に戻りたいと思っている【中国】 ・自身が専門の学部に入っていないので、同じ仕事をするなら給料のいい日本で働きたい。人間関係も重要 ・現在勉強している食品工学は、ベトナムではあまり発展していないので、自身が勉強していることが生かせる日本で働きたい。3年程度経験を積んだら、自身が学んだ技術を母国で活用したい【ベトナム】

⑤生活における情報の入手方法（主な意見）	
技能実習生	<p><u>（1）普段の生活における情報の入手方法について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が欲しい情報については、インターネット上からの収集や、会社の先輩から入手することが多い ・ヤフーやグーグルではなく、百度（バイドゥ）という中国の検索エンジンを使用することが多い【中国】 ・インターネットでは、グーグルを利用することが多い【ベトナム】 <p><u>（2）行政が発信する多言語対応の情報（インターネット上）の認知度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が発信している情報については、見たことがない（存在もしらない） ・インターネット上からの入手がいいと思うが、そもそもそういった情報の存在を知らないなので、情報の存在を教えてもらえれば利用したい ・各種情報については、母国語での情報があればありがたい

⑤生活における情報の入手方法（主な意見）	
大学	<p><u>（１） 普段の生活における情報の入手方法について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本語の勉強などはグーグルを活用している【中国】 • 就職などに関する情報は、大学のキャリアセンターやセミナーなどから入手することがある • 同じ研究室の人から情報をもらうことが多い • 中国人留学生の中で SNS 内でのコミュニティ（大規模）があるため、そこから情報を入手することが多い【中国】 • SNS は、インスタグラムやユーチューブを利用することが多い【中国、ベトナム】 • 学校から配信される留学生向けのメールや、学校のHP 内の掲示板などを見る人が多い（情報としては生活全般にかかる情報や防災に関する情報もそこから流れてくる） • 市役所のHP を利用することがある（英語のみ対応）が、情報が読み取れないことがある • ベトナム人は、学校内に大きなコミュニティはなく、入学当初は戸惑った【ベトナム】 <p><u>（２） 行政が発信する多言語対応の情報（インターネット上）の認知度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 東広島市のものを見たことがある【ベトナム】 • 広島県庁のものは知らない、存在を知らないので、例えば留学生に向けたメール配信など留学生が目を通しやすいツールを活用すれば、認知されるかもしれない

第五章 調査資料

1. 技能実習生向け調査票

〈外国人の就労意識に関するアンケート調査〉

技能実習生のみなさまの意見を お聞かせください

いま、広島県内で働いている外国人が増えています。

広島県庁では、外国人のみなさまが「広島県内で働き、住んで良かった」と思うことができる環境をつくるため、県内の技能実習生のみなさまに、アンケート調査を行います。

ご協力をお願いします。

2019年9月 広島県商工労働局 雇用労働政策課

記入についてのお願い

- このアンケートは、広島県庁が施策を検討するために使います。
答えた内容を、個人がわかる形で公表したり、他の人に教えることはありません。
- 質問への答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
答えは、1つだけ選ぶものと、いくつか選ぶものがありますので、答えるときに気をつけてください。
〔 〕のところは、くわしく書いてください。
- 答えをすべて書いたあとは、アンケートを、一緒に配られた返信用の封筒に入れて、自分でしっかり閉めてください。
宛先や、差出人（あなたの名前や住所）を書く必要はありません。
- アンケートを入れた封筒は、配付してくれた会社の方に、2019年9月20日（金）までに、渡してください。
会社の方に渡さないで、自分で、郵便ポストに入れても良いです。
そのときは、封筒に切手を貼る必要はありません。

この調査についての問合せ先

株式会社日本統計センター（担当：小林）

電子メール：research@nihon-toukei.co.jp

あなたについて質問します。

Q1. あなたの性別は？（1つだけ○を付けてください）

1. 男	2. 女	3. その他・答えたくない
------	------	---------------

Q2. あなたの年齢は？（1つだけ○を付けてください）

1. 20歳未満	2. 20歳～24歳	3. 25歳～29歳
4. 30歳～34歳	5. 35歳～39歳	6. 40歳以上

Q3. あなたの出身国は？（1つだけ○を付けてください）

1. ベトナム	2. 中国	3. フィリピン	4. インドネシア
5. その他 []			

Q4. あなたは、結婚していますか？（1つだけ○を付けてください）

1. 結婚している	2. 結婚していない
-----------	------------

Q5. あなたが仕事をしている場所は、どこですか？

市町名だけを書いてください []

Q6. あなたが住んでいる場所（アパートや寮の場所）は、どこですか？

市町名だけを書いてください []

Q7. あなたは、何年日本に住んでいますか？（1つだけ○を付けてください）

1. 1年未満	2. 1年	3. 2年	4. 3年	5. 4年以上
---------	-------	-------	-------	---------

Q8. あなたは、どのような仕事をしていますか？（1つだけ○を付けてください）

1. 農業	2. 漁業（かき養殖など）
3. 建設業（土木・建築など）	4. 製造業（繊維・衣服）
5. 製造業（食品）	6. 製造業（機械・金属）
7. 製造業（造船）	8. 製造業（自動車関係）
9. 小売業（ものを売るお店）	10. 介護
11. その他 []	

Q9. あなたは、なぜ働く場所として日本を選びましたか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 技術 ^{ぎじゆつ} を身につけるため	2. 日本語 ^{にほんご} の勉強 ^{べんきやう} ができるから
3. 日本 ^{にほん} が好きだから	4. ほかの国 ^{くに} よりお金 ^{かね} を稼 ^{かせ} げるから
5. 自分 ^{じぶん} の国 ^{くに} に帰 ^{かえ} ったあと、日本 ^{にほん} と関係 ^{かんけい} のある仕事 ^{しごと} をしたいから	
6. その他 []	

あなたのいまの仕事^{しごと}について質問^{しつもん}します。

Q10. どうして、いまの会社^{かいしゃ}で働く^{はたら}ことになりましたか？（1つだけ〇を付けてください）

1. いまの会社 ^{かいしゃ} の人 ^{ひと} から誘 ^{さそ} われたから	2. 友人 ^{ゆうじん} や知人 ^{ちじん} が働 ^{はたら} いていたから
3. 自分 ^{じぶん} の国 ^{くに} のあっせん機関 ^{きかん} の紹介 ^{しょうかい}	4. その他 []

Q11. いまの仕事^{しごと}の良い点^よは何^{てん}ですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 仕事 ^{しごと} の内容 ^{ないよう}	2. 給料 ^{きゅうりやう} や働 ^{はたら} く条件 ^{じやうけん}
3. 会社 ^{かいしゃ} の人 ^{ひと} が親切 ^{しんせつ}	4. 同じ国 ^{おなくに} の人 ^{ひと} が多く働 ^{おほ} いている
5. 会社 ^{かいしゃ} や地域 ^{ちいき} で、楽しい行事 ^{たのぎやうじ} がある	6. その他 []

Q12. いまの仕事^{しごと}の嫌^{いや}な点^{てん}は何^{なん}ですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 仕事 ^{しごと} が難 ^{むずか} しい	2. 給料 ^{きゅうりやう} などの働 ^{はたら} く条件 ^{じやうけん}
3. 会社 ^{かいしゃ} の人 ^{ひと} と人間関係 ^{にんげんかんけい}	4. 同じ国 ^{おなくに} の人 ^{ひと} がいない
5. 会社 ^{かいしゃ} や地域 ^{ちいき} で、楽しい行事 ^{たのぎやうじ} がない	6. その他 []

Q13. いまの仕事^{しごと}の1か月の給料^{げつきゅうりやう}はいくらですか？実際^{じっさい}にもらうお金^{かね}の平均^{へいきん}を教えてください。（1つだけ〇を付けてください）

1. 10万円未 ^{まんえん} 満 ^{まん}	2. 10万円～15万円
3. 16万円～20万円	4. 21万円～25万円
5. 26万円以上 ^{まんえんいじやう}	

Q14. 最近^{さいきん}（6か月以内^{げつい}）、仕事^{しごと}をして、困^{こま}っていることは何^{なん}ですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 仕事 ^{しごと} が難 ^{むずか} しい	2. 仕事 ^{しごと} が多い ^{おおい}
3. 仕事 ^{しごと} で必要な日本語 ^{にほんご} が聞き取 ^き れない	4. 仕事 ^{しごと} で必要な日本語 ^{にほんご} が話 ^{はな} せない
5. 仕事 ^{しごと} で必要な日本語 ^{にほんご} が読 ^よ めない	6. 仕事 ^{しごと} で必要な日本語 ^{にほんご} が書 ^か けない
7. 仕事 ^{しごと} で必要な専門 ^{せんもん} 的な言葉 ^{ことば} がわからない	8. 方言 ^{ほうげん} （広島 ^{ひろしま} 特有 ^{とくゆう} のことば）がわからない
9. 会社 ^{かいしゃ} の人 ^{ひと} と日本語 ^{にほんご} でコミュニケーション ^{こみゆにけーしょん} が取 ^と れない	10. 会社 ^{かいしゃ} のルール ^{るーる} が理解 ^{りかい} できない
11. 日本 ^{にほん} の雇用 ^{こやう} ルール（法律 ^{ほうりつ} など）を知ら ^し ない	12. 困 ^{こま} っていることはない
13. その他 []	

Q15. 仕事で困っているときに、誰に相談しますか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 会社の日本人	2. 会社の同じ国の人
3. 監理団体の人	4. 役所などの相談窓口
5. 自分の国にいる家族や友人	6. 日本語教室の先生
7. その他 []	

今後、あなたが日本で仕事することについて質問します。

Q16. あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
（1つだけ〇を付けてください）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※特定技能とは

日本語や技能を一定レベル身につけていることを試験で証明できた外国人が、次の分野で最長5年間日本で仕事ができる制度です。3年間の技能実習を終えた人は、試験を受けなくてもいい場合があります。

- ・介護業
- ・ビルクリーニング業
- ・素形材産業
- ・産業機械製造業
- ・電気・電子関連産業
- ・建設業
- ・造船・舶用業
- ・自動車整備業
- ・航空業
- ・宿泊業
- ・農業
- ・飲食料品製造業
- ・漁業
- ・外食業

Q17. 技能実習が終わったあとに、日本で働くことについて聞きます。

① あなたは、技能実習が終わったあとも、日本で働きたいですか？
（1つだけ〇を付けてください）

1. できれば働きたい [なぜ? :]
2. 働きたくない [なぜ? :]

② どの在留資格で働きたいですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 専門的・技術的分野（技術、人文・知識・国際業務）
2. 特定技能
3. その他の在留資格 [なに? :]
4. 在留資格についてわからない

③ どのような仕事をしたいですか？（最大3つまで○を付けてください）

1. 農業	2. 漁業（かき養殖など）
3. 建設業（土木・建築など）	4. 製造業（繊維・衣服）
5. 製造業（食品）	6. 製造業（機械・金属）
7. 製造業（電気・電子関連）	8. 製造業（造船）
9. 製造業（自動車関係）	10. 製造業（その他）
11. 小売業（ものを売るお店）	12. 宿泊業
13. 外食業	14. 介護
15. ビルクリーニング	16. その他のサービス業
17. その他 []	

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（最大3つまで○を付けてください）

1. 自分の技術や経験が使えるから
2. 帰国後にやりたい仕事と関係があるから
3. 給料や働いたときの条件がいいから
4. いまの会社で仕事を続けたいから
5. その他 []

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（最大3つまで○を付けてください）

1. 技術を学んだり、自分の技術が使えること	2. 帰国後にしたい仕事と同じであること
3. 自分の国にその会社の工場などがあること	4. 残業が少ないこと
5. 給料がいいこと [希望の金額を書いてください：1か月 円以上]	
6. 会社が生活面を支援してくれること [a. 日本語の勉強 b. 家を借りること c. その他]	
7. 会社の人が親切にしてくれること	8. 同じ国の人が働いていること
9. 自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること [・どこですか？（1つだけに○）： a. 広島県内 b. 東京 c. 大阪 d. その他] [・なぜそこに住みたいです？]	
10. その他 []	

Q18. あなたは、今後、仕事のために、勉強したい技術や知識はありますか？

（1つだけ○を付けてください）

1. ある [それは何ですか？]
2. ない

日本語の勉強について質問します。

Q19. あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？

(それぞれの内容について、1つだけ○を付けてください)

日本語で会話する	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
ひらがな・カタカナを読む	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
漢字を読む	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
ひらがな・カタカナで書く	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
漢字を使って日本語を書く	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる

Q20. あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？(いくつ○を付けてもいいです)

1. ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)
2. 地域の日本語教室で勉強している
3. 会社の人から教えてもらっている
4. 同じ国から来た知人から教えてもらっている
5. 勉強していない
6. その他 []

Q21. あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？(1つだけ○を付けてください)

1. 勉強したい	2. 会社が機会をつくれれば勉強したい
3. 近くに日本語教室があれば勉強したい	4. 勉強したくない
5. わからない	
6. その他 []	

あなたのいまの生活について質問します。

Q22. 最近(6か月以内)、仕事以外で、困ったことや不安なことは何ですか？

(いくつ○を付けてもいいです)

1. 生活に必要な日本語が聞き取れない	2. 生活に必要な日本語が話せない
3. 生活に必要な日本語が読めない	4. 生活に必要な日本語が書けない
5. 方言(広島特有のことば)がわからない	6. 地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない
7. 日本の文化や習慣が理解できない	8. 自分の国の文化や習慣が理解されない
9. 同じ国の人と近くにいない	10. 生活のルールがわからない
11. 日本の交通ルールがわかりにくい	12. 病院でことばが通じない
13. 電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	
14. 災害(大雨、地震、台風など)のときに、どうしたらいいかわからない	
15. 困っていることはない	16. その他 []

Q23. 仕事以外で、困っているときに、誰に相談しますか？

(いくつ○を付けてもいいです)

1. 会社の日本人	2. 会社の同じ国の人
3. 監理団体の人	4. 役所などの相談窓口
5. インターネットで調べる	6. 自分の国にいる家族や友人
7. 日本語教室の先生	8. 近所の日本人
9. その他 []	

Q24. 広島県内の役所などに、公的な相談窓口があることを知っていますか？

(1つだけ○を付けてください)

1. 知っている。相談したこともある。 [どこに? : 何について? :]
2. 知っているけれど、相談したことはない。 [どこを知っていますか? :] [なぜ相談したことがないですか? (いくつ○を付けてもいいです) a. 窓口の場所が遠い b. 忙しい c. 相談することがない d. 日本語を話せない e. 役所などの公的な相談窓口には相談したくない f. その他 []
3. 知らない

Q25. 日ごろの生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？

(1つだけ○を付けてください)

1. スマートフォンを持っている
2. スマートフォン以外のインターネットにつながる機器 (PC など) を持っている
3. もっていないが、会社や寮でインターネットにつながる機器を使わせてもらえる。
4. もっていない

② よく使うインターネットのウェブサイトやSNSなど、情報を知る方法を教えてください。
また、どれくらい見ているかも、教えてください。

	一番目によく使うもの	二番目によく使うもの
ウェブサイト	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]
SNS	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]
その他	(いくつ○を付けてもいいです) a. 会社からのお知らせ b. 同じ国から人の集まり c. テレビ・ラジオ d. その他 [_____]	(いくつ○を付けてもいいです) a. 会社からのお知らせ b. 同じ国から人の集まり c. テレビ・ラジオ d. その他 [_____]

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か? (いくつ○を付けてもいいです)

1. 医療(病院、薬局など)の情報	2. 自分の国のことばでの情報
3. 役所からのお知らせ	4. 日本語教室の情報
5. 災害など緊急のときの情報	6. 公共施設や交通機関などの案内
7. ごみ出しなどの地域のルール	8. 特にない
9. その他 [_____]	

④ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか?

一番多く使っている方法 (1つだけ○を付けてください)	どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください)
1. メール	a. 毎日 b. 週に数回 c. 週1回 d. 1か月に数回 e. その他 [_____]
2. SNS	
3. 手紙	
4. その他 [_____]	

Q26. 近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ○を付けてください）

1. ある（あいさつをする程度）	2. ある（ときどき長い話をすることがある）
3. ある（困ったときに相談している）	4. ない

Q27. 近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？

（1つだけ○を付けてください。）

1. 思っている [どのように？：（いくつ○を付けてもいいです） a. 近所の行事（祭りなど）に参加したい b. 自分の国の文化を紹介したい c. 一緒にボランティア活動をしたい d. 一緒に食事など気軽に交流したい e. その他 []]
2. 思っていない [なぜ？：]

Q28. あなたと同じ国の人が集まるコミュニティは、ありますか？

（1つだけ○を付けてください。）

1. 近所にあり、いったことがある
2. 近くにはないが、いったことがある
3. あることを知っているが、遠くへ行くことができない
4. あることを知っているが、どこにあるかわからない
5. あることを知っているが、いったことがない [なぜ？：]
6. コミュニティはない
7. わからない

Q29. 広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（いくつ○を付けてもいいです）

1. 会社の日本人が親切	2. 近所の日本人が親切
3. 自然や文化が豊か	4. 店が多く、生活が便利
5. 東京などに比べて物価が安い	6. 同じ国から来ている人が多い
7. 良かったと思ったことはない	
8. その他 []	

Q30. もし、将来、家族を連れて来ることができようになった場合、不安なことは何ですか？
(いくつ〇を付けてもいいです)

1. 住む家を見つけること	2. 家族が病氣やけがになったとき
3. 出産や子育て	4. 子供の教育(学校)
5. 家族が日本語がわからない	6. 配偶者(妻や夫)の日本語の勉強
7. 地域のルール(ごみの出し方、音やにおいなど)	8. 家族と近所の人とのコミュニケーション
9. 家族が日本の交通ルールがわからない	10. 家族がバスや電車の乗り方がわからない
11. 災害のとき、どうすればいいかわからない	12. 不安なことはない
13. その他 []	

アンケートはここで終わりです。ありがとうございました。

2. 留学生及び一般外国人向け調査票

〈外国人の就労意識に関するアンケート調査〉

留学生などのみなさまの意見を お聞かせください

いま、広島県内で働いている外国人が増えています。

広島県庁では、県内で働くことを希望する外国人のみなさまが「広島県内で働き、住んで良かった」と思うことができる環境をつくるため、県内の留学生やお住まいの外国人のみなさまに、アンケート調査を行います。

ご協力をお願いします。

2019年9月 広島県商工労働局 雇用労働政策課

記入についてのお願い

- このアンケートは、広島県庁が施策を検討するために使います。
答えた内容を、個人がわかる形で公表したり、他の人に教えることはありません。
- 質問への答えは、あてはまる番号に○印をつけてください。
答えは、1つだけ選ぶものと、いくつか選ぶものがありますので、答えるときに気をつけてください。
〔 〕のところは、くわしく書いてください。
- 答えをすべて書いたあとは、アンケートを、一緒に配られた返信用の封筒に入れて、自分でしっかり閉めてください。
宛先や、差出人（あなたの名前や住所）を書く必要はありません。
- アンケートを入れた封筒は、配付してくれた学校や相談窓口の方に、2019年9月20日（金）までに、渡してください。
学校や相談窓口の方に渡さないで、自分で、郵便ポストに入れても良いです。
そのときは、封筒に切手を貼る必要はありません。

この調査についての問合せ先

株式会社日本統計センター（担当：小林）

電子メール：research@nihon-toukei.co.jp

あなたについて質問します。(全員お答えください)

Q1. あなたの性別は？(1つだけ○を付けてください)

1. 男	2. 女	3. その他・答えたくない
------	------	---------------

Q2. あなたの年齢は？(1つだけ○を付けてください)

1. 20歳未満	2. 20歳～24歳	3. 25歳～29歳
4. 30歳～34歳	5. 35歳～39歳	6. 40歳以上

Q3. あなたの出身国は？(1つだけ○を付けてください)

1. ベトナム	2. 中国	3. フィリピン	4. インドネシア
5. その他 []			

Q4. あなたは、結婚していますか？(1つだけ○を付けてください)

1. 結婚している	2. 結婚していない
-----------	------------

Q5. あなたは仕事(アルバイトを含む)をしていますか？

1. はい [場所はどこですか？(市区町名だけで良いです):]
2. いいえ

Q6. あなたが住んでいる場所(アパートや寮の場所)は、どこですか？

市町名だけを書いてください []

Q7. あなたは何年日本に住んでいますか？(1つだけ○を付けてください)

1. 1年未満	2. 1年	3. 2年	4. 3年	5. 4年以上
---------	-------	-------	-------	---------

Q8. あなたの在留資格は何ですか？(1つだけ○を付けてください)

1. 留学	2. 永住者、永住者の配偶者
3. 定住者	4. 日本人の配偶者等
5. 家族滞在	6. 技術・人文知識・国際業務
7. その他 []	

※「1. 留学」⇒次は、Q9から答えてください。

※「1. 留学」以外の方⇒次は、Q19から答えてください。

留学について質問します。(留学生のみお答えください。)

Q9. あなたのいまの留学先(学校)は、次のどれですか？

(1つだけ○を付けてください)

1. 大学院(博士コース, 修士コース)	2. 専門職大学院課程
3. (大学の)学部正規課程	4. 短期大学
5. 専修学校専門課程(専門学校)	6. 準備教育課程
7. 日本語教育機関(日本語学校)	8. その他 []

Q10. あなたのいまの学校の専攻分野を教えてください。

(1つだけ○を付けてください)

1. 人文科学・社会科学	2. 理学・工学・農学
3. 医学・歯学・薬学	4. 日本語
5. その他 []	

Q11. あなたは、なぜ日本を留学先に選びましたか？

(最大3つまで○を付けてもいいです)

1. 日本に興味があり、日本で生活したかったから
2. 日本の教育や研究が魅力的だから
3. 自分の国と距離が近いから
4. 日本語・日本文化を勉強したいから
5. 日本と関連のある職業に就いたり、日本で就職したいから
6. 親戚、知人、友人がいたから
7. その他 []

Q12. あなたが日本に来て、一番最初に入学した学校は、次のどれですか？

(1つだけ○を付けてください)

1. 日本語教育機関(日本語学校)
2. 準備教育課程、留学生別科
3. 専修学校専門課程(専門学校)
4. 短期大学
5. 大学の学部
6. 日本に来て、初めは働いていた
7. その他 []

ある ばいと について 質問 します。 (留学生のみお答えください。)

Q13. あなたは、いま、アルバイトをしていますか？ (1つだけ○を付けてください)

1. はい	2. いいえ ⇒次は、Q19 から答えてください
-------	--------------------------

Q14. 主なアルバイトは、どのような仕事ですか？ (1つだけ○を付けてください)

1. 農業	2. 漁業 (かき養殖など)
3. 建設業 (土木・建築など)	4. 製造業 (繊維・衣服)
5. 製造業 (食品)	6. 製造業 (機械・金属)
7. 製造業 (電気・電子関連)	8. 製造業 (造船)
9. 製造業 (自動車関係)	10. 製造業 (その他)
11. 小売 (コンビニなど、ものを売るお店)	12. 宿泊業
13. 外食業	14. 介護
15. ビルクリーニング	16. その他のサービス業
17. その他 []	

Q15. いまのアルバイト先の良い点は何ですか？ (いくつ○を付けてもいいです)

1. 仕事の内容	2. 給料などの働く条件
3. 会社の人と人間関係	4. 留学生や同じ国の人が多く働いている
5. 会社や地域で、楽しい行事がある	6. その他 []

Q16. いまのアルバイト先の嫌な点は何ですか？ (いくつ○を付けてもいいです)

1. 仕事が難しい	2. 給料などの働く条件
3. 会社の人と人間関係	4. 留学生や同じ国の人がいない
5. 会社や地域で、楽しい行事がない	6. その他 []

Q17. いまのアルバイトで、困っていることは何ですか？ (いくつ○を付けてもいいです)

1. 仕事が難しい	2. 仕事が多い
3. 仕事に必要な日本語が聞き取れない	4. 仕事に必要な日本語が話せない
5. 仕事に必要な日本語が読めない	6. 仕事に必要な日本語が書けない
7. 仕事に必要な専門的な言葉がわからない	8. 方言 (広島独特のことば) がわからない
9. 会社の人と日本語でコミュニケーションが取れない	10. 会社のルールが理解できない
11. 日本の雇用ルール (法律など) を知らない	12. 困っていることはない
13. その他 []	

Q18. アルバイトで困っているときに、誰に相談しますか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 会社の日本人	2. 留学生や学校の友人
3. 役所などの相談窓口	4. 自分の国にいる家族や友人
5. 学校の先生	6. その他 []

今後、あなたが日本で仕事することについて質問します。（全員お答えください。）

Q19. あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
（1つだけ〇を付けてください）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※特定技能とは

日本語や技能を一定レベル身に付けていることを試験で証明できた外国人が、次の分野で最長5年間日本で仕事ができる制度です。

- ・介護業
- ・ビルクリーニング業
- ・素形材産業
- ・産業機械製造業
- ・電気・電子関連産業
- ・建設業
- ・造船・舶用業
- ・自動車整備業
- ・航空業
- ・宿泊業
- ・農業
- ・飲食料品製造業
- ・漁業
- ・外食業

Q20. 今日日本で働くことについて聞きます。

① 今後（留学生の方は卒業後）、日本で働きたいですか？
（1つだけ〇を付けてください）

1. できれば働きたい	2. 働きたくない
-------------	-----------

※「1. できれば働きたい」⇒次は、②から答えてください。

※「2. 働きたくない」⇒次は、Q22から答えてください。

② どの在留資格で働きたいですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 専門的・技術的分野（技術、人文・知識・国際業務）
2. 特定技能
3. その他の在留資格 []
4. 在留資格についてわからない

③ どのような仕事をしたいですか？（最大3つまで○を付けてください）

1. 農業	2. 漁業（かき養殖など）
3. 建設業（土木・建築など）	4. 製造業（繊維・衣服）
5. 製造業（食品）	6. 製造業（機械・金属）
7. 製造業（電気・電子関連）	8. 製造業（造船）
9. 製造業（自動車関係）	10. 製造業（その他）
11. 小売（ものを売るお店）	12. 宿泊業
13. 外食業	14. 介護
15. ビルクリーニング	16. その他のサービス業
17. その他 []	

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？

（最大3つまで○を付けてください）

1. 自分の技術や経験が使えるから
2. 帰国後にやりたい仕事と関係があるから
3. 給料や働いたときの条件がいいから
4. その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから
5. その他 []

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（最大3つまで○を付けてください）

1. 技術を学んだり、自分の技術が使えること	2. 帰国後にしたい仕事と同じであること
3. 自分の国にその会社が進出していること	4. 残業が少ないこと
5. 給料がいいこと [希望の金額を書いてください：1か月 円以上]	
6. 会社が生活面を支援してくれること [a. 日本語の勉強 b. 家を借りること c. その他]	
7. 会社の人が親切にしてくれること	8. 同じ国の人が働いていること
9. 自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること [・どこですか（1つだけに○）： a. 広島県内 b. 東京 c. 大阪 d. その他 ・なぜそこに住みたいですか：]	
10. その他 []	

Q21. あなたは、今後、仕事のために、勉強したい知識や技術はありますか？

（1つだけ○を付けてください）

1. ある [それは何ですか：]
2. ない

日本語の勉強について質問します。(全員お答えください。)

Q22. あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？

(それぞれの内容について、1つだけ○を付けてください)

日本語で会話する	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
ひらがな・カタカナを読む	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
漢字を読む	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
ひらがな・カタカナで書く	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる
漢字を使って日本語を書く	1. ほとんどできない	2. 少しできる	3. できる

Q23. あなたが、いま、持っている日本語能力に関する資格を教えてください。

(いくつ○を付けてもいいです)

1. J1+	2. J1	3. J2	4. J3
5. J4	6. J5	7. N1	8. N2
9. N3	10. N4	11. N5	12. 取っていない

Q24. 今後、取りたい日本語能力に関する資格を教えてください。

(いくつ○を付けてもいいです)

1. J1+	2. J1	3. J2	4. J3
5. J4	6. J5	7. N1	8. N2
9. N3	10. N4	11. N5	12. 取っていない

Q25. あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？(いくつ○を付けてもいいです)

1. 留学先(大学や日本語学校)で勉強している
2. ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)
3. 地域の日本語教室で勉強している
4. 働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている
5. 同じ国から来た知人から教えてもらっている
6. 勉強していない
7. その他 []

Q26. あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？(1つだけ○を付けてください)

1. 勉強したい
2. 近くに日本語教室があれば勉強したい
3. 勉強したくない
4. その他 []

あなたのいまの生活について質問します。(全員お答えください。)

Q27. 最近(6か月以内)、普段の生活で困ったことや不安なことは何ですか？
(いくつ〇を付けてもいいです)

1. 生活に必要な日本語が聞き取れない	2. 生活に必要な日本語が話せない
3. 生活に必要な日本語が読めない	4. 生活に必要な日本語が書けない
5. 方言(広島特有のことば)がわからない	6. 地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない
7. 日本の文化や習慣が理解できない	8. 自分の国の文化や習慣が理解されない
9. 同じ国の人近くにいる	10. 生活のルールがわからない
11. 日本の交通ルールがわかりにくい	12. 病院でことばが通じない
13. 電気、ガス、電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	
14. 災害(大雨、地震、台風など)のときに、どうしたらいいかわからない	
15. 日本の雇用ルール(法律など)を知らない	16. 困っていることはない
17. その他 []	

Q28. 普段の生活で困っているときに、誰に相談しますか？(いくつ〇を付けてもいいです)

1. 会社や学校の日本人	2. 会社や学校の同じ国の人
3. ボランティア団体の人	4. 役所などの相談窓口
5. インターネットで調べる	6. 自分の国にいる家族や友人
7. 日本語教室や日本語学校の先生	8. 近所の日本人
9. その他 []	

Q29. 広島県内の役所などに、公的な相談窓口があることを知っていますか？
(1つだけ〇を付けてください)

1. 知っている。相談したこともある。 [どこに? : 何について? :]
2. 知っているけれど、相談したことはない。 [どこを知っていますか? :] なぜ相談したことがないですか？(いくつ〇を付けてもいいです) a. 窓口の場所が遠い b. 忙しい c. 相談することがない d. 日本語を話せない e. 役所などの公的な相談窓口には相談したくない f. その他 []
3. 知らない

Q30. 日ごろの生活の情報を得る方法や、家族との連絡について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器をお持ちですか？

(1つだけ○を付けてください)

1. スマートフォンを持っている
2. スマートフォン以外のインターネットにつながる機器 (PC など) を持っている
3. もっていないが、学校や会社などでインターネットにつながる機器を使わせてもらえる。
4. もっていない

② よく使うインターネットのウェブサイトやSNSなど、情報を知る方法を教えてください。

また、どれくらいよく見たり相談したりしているかも、教えてください。

	一番目にとよく使うもの	二番目によく使うもの
ウェブサイト	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) [a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]]	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) [a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]]
SNS	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) [a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]]	[名前: _____] どれくらい頻繁に? (1つだけ○を付けてください) [a. 毎日 b. 週に数回 c. 1か月に数回 d. 月1回 e. その他 [_____]]
その他	(いくつ○を付けてもいいです) a. 会社からのお知らせ b. 同じ国から人の集まり c. テレビ・ラジオ d. その他 [_____]	(いくつ○を付けてもいいです) a. 会社からのお知らせ b. 同じ国から人の集まり c. テレビ・ラジオ d. その他 [_____]

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？ (いくつ○を付けてもいいです)

1. 医療 (病院、薬局など) の情報	2. 自分の国のことばでの情報
3. 役所からのお知らせ	4. 日本語教室の情報
5. 災害など緊急のときの情報	6. 公共施設や交通機関などの案内
7. ごみ出しなどの地域のルール	8. 特にない
9. その他 [_____]	

Q34. 広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 会社や学校の日本人が親切	2. 近所の日本人が親切
3. 自然や文化が豊か	4. 店が多く、生活が便利
5. 東京などに比べて物価が安い	6. 同じ国から来ている人が多い
7. 良かったと思ったことはない	
8. その他 []	

あなたが、広島県内で家族と一緒に生活することについて質問します。（全員お答えください。）

Q35. 広島県内で家族と一緒に生活すること（一人で日本に来ている人は、将来、家族を連れて来ることができようになった場合）に、不安なことは何ですか？

（いくつ〇を付けてもいいです）

1. 住む家を見つけること	2. 家族が病気やけがになったとき
3. 出産や子育て	4. 子供の教育（学校）
5. 家族が日本語がわからない	6. 配偶者（妻や夫）の日本語の勉強
7. 地域のルール（ごみの出し方、音やにおいなど）	8. 家族と近所の人とのコミュニケーション
9. 家族が日本の交通ルールがわからない	10. 家族がバスや電車の乗り方がわからない
11. 災害のときに、どうすればいいかわからない	12. 不安なことはない
13. その他 []	

Q36. （留学生の方だけお答えください。）

あなたが、いま勉強している学校名を教えてください。

（強制ではありません。書きたくなければ、書かなくてもいいです。）

学校名（留学生の方のみ）

アンケートはここで終わりです。ありがとうございました。